再評価

令和８年５月 19 日開催部会

イミダクロプリド

今般の残留基準の検討については、農林水産省から消費者庁に農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく再評価に係る連絡がなされたこと及び適用拡大申請に伴う基準値設定依頼がなされたこと、関連企業等から「国外で使用される農薬等に係る残留基準の設定及び改正に関する指針」に基づく残留基準の設定要請がなされたこと並びに食品安全委員会において内閣総理大臣からの依頼に伴う食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

１．概要

（１）品目名：イミダクロプリド[Imidacloprid（ISO）]

（２）分　類：農薬及び動物用医薬品

（３）用　途：殺虫剤/寄生虫駆除剤

クロロニコチニル系殺虫剤である。ニコチン性アセチルコリン受容体に結合し、神経伝達を遮断するなどの作用により殺虫効果を示すと考えられている。

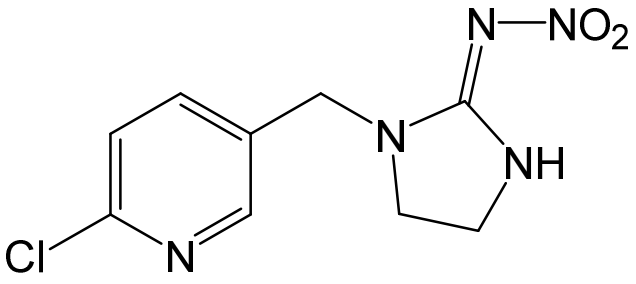
動物用医薬品としては、ペット用のノミ、シラミ等の駆除剤並びに畜鶏舎内及びその周辺のイエバエの駆除剤が国内外で使用されている。国内で承認されているイエバエの駆除剤は、動物体に直接適用しない製品である。また、海外では、大西洋さけ及びにじますに寄生するサケジラミの駆除を目的とする薬浴剤が承認されているが、国内では承認されていない。

（４）化学名及び CAS 番号

(*E*)-1-(6-Chloro-3-pyridylmethyl)-*N*-nitroimidazolidin-2-ylideneamine（IUPAC）

2-Imidazolidinimine,1-[(6-chloro-3-pyridinyl)methyl]-*N*-nitro-,(2*E*)-
（CAS：No.138261-41-3）

（５）構造式及び物性



分 子 式　　$C_9H_{10}ClN_5O_2$

分 子 量　　255.66
水溶解度　　6.1 × 10^{-1} g/L（20℃）
分配係数　　$\log_{10}$Pow ＝ 0.6（24℃，pH 4.0）
$\log_{10}$Pow ＝ 0.7（24℃，pH 7.0）
$\log_{10}$Pow ＝ 0.6（24℃，pH 9.0）

２．適用の範囲及び使用方法

（１）農薬としての使用方法

本剤の国内及び海外における適用の範囲及び使用方法は、別紙1-1、1-2及び1-3のとおり。

（２）動物用医薬品としての使用方法

①　国内での使用方法

本剤の国内における対象動物及び使用方法は以下のとおり。

製剤	対象動物及び使用方法		休薬期間
イミダクロプリドを有効成分とする防虫剤・殺虫剤	全畜産動物	設置法：床面積100 m^2当たり200 g を、畜・鶏舎内の通路及び出入口等の家畜が経口摂取できない場所に適切な容器に入れて設置する。本剤の使用量はイエバエの発生状況により増減する。 塗布法：床面積100 m^2当たり200 gを160 mLの水に均一になるように混合し、約15～30分後にペースト状になったことを確認してから、家畜が直接接触することのない壁や柱等の一ヵ所あるいは何ヵ所かに分けて、畜・鶏舎全体の塗布面積が2～4 m^2になるように塗布する。	－

－：設定されていない。

② 海外での使用方法

魚類に係る残留基準の設定についてインポートトレランス申請がなされている。

製剤	対象動物及び使用方法		休薬期間
イミダクロプリドを有効成分とする薬浴剤	大西洋さけ及びにじます	海水1 L当たり20 mgを溶解し60分間薬浴する。	98度日※

※度日（degree days）：水温と日数の積算温度（水温(摂氏)×日数）

３．代謝試験

（１）植物代謝試験

植物代謝試験が、水稲、なす、トマト、りんご、ばれいしょ、とうもろこし及び綿で実施されており、可食部で親化合物の残留が認められ、10%TRR[注)] 以上認められた代謝物は、代謝物M01（なす及びばれいしょ）、代謝物M03（とうもろこし）、代謝物M06（なす、ばれいしょ及び綿種子）及び代謝物M14（なす）であった。なお、代謝物M06（メチルエステル体を含む。）（綿種子）及び代謝物M08（メチルエステル体を含む。）（綿種子）が認められたが、抽出又は分析過程において生成したアーティファクトであると考えられた。

注）%TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

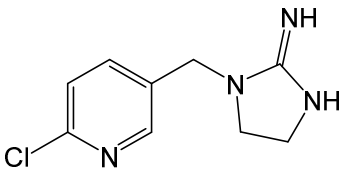
（２）家畜代謝試験

家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、一部の組織を除き、親化合物の残留が認められている。可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物M01（泌乳山羊の肝臓）、代謝物M02（泌乳山羊の筋肉、脂肪及び乳並びに産卵鶏の筋肉、脂肪及び卵）、代謝物M02（グルクロン酸抱合体を含む。）（泌乳山羊の腎臓）、代謝物M03（泌乳山羊の脂肪並びに産卵鶏の筋肉、脂肪、肝臓及び卵）、代謝物M10（泌乳山羊の腎臓）、代謝物M13（産卵鶏の卵）及び代謝物M19（産卵鶏の肝臓）であった。

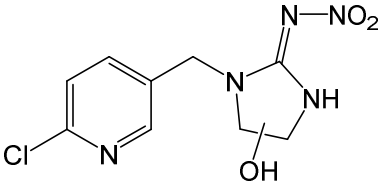
また、動物用医薬品の対象動物であるタイセイヨウサケで代謝試験が実施されており、可食部の皮膚付き筋肉において、親化合物の残留が認められている。10%TRR以上残留する代謝物は認められなかった。

【代謝物略称一覧】

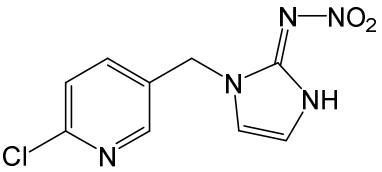
略称	JMPR評価書の略称	化学名
M01	M09 denitro compound	1-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)イミダゾリジン-2-イリデンアミン
M02	M01、M02 5-hydroxy compound 4-hydroxy compound	3-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)-2-ニトロイミノ-5-イミダゾリジノール 又は 3-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)-2-ニトロイミノ-4-イミダゾリジノール
M03	M06 olefin	1-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)-*N*-ニトロ(イミダゾリン-2-イリデン)アミン
M04	M07 nitrosimine	1-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)-*N*-ニトロソ（イミダゾリジン-2-イリデン)アミン
M06	M14 6-CNA	6-クロロニコチン酸
M08	M18 6-hydroxynicotinic acid	6-ヒドロキシニコチン酸
M10	M15 6-CNA-glycine	*N*-(6-クロロニコチノイル)グリシン
M13	M11 nitroguanidine	1-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)-2-ニトログアニジン
M14	M29 CHMP glucoside	6-クロロ-3-ピリジルメチルグリコシド
M19	M10 guanidine compound	*N*-(6-クロロピリジン-3-イルメチル)グアニジン



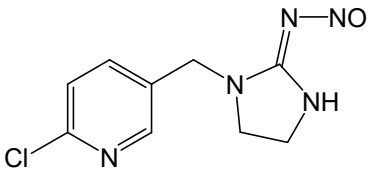
代謝物M01



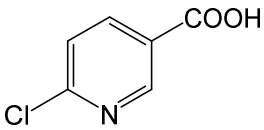
代謝物M02



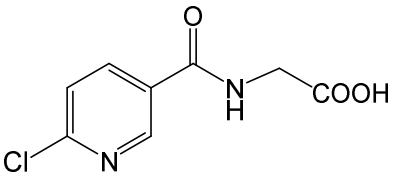
代謝物M03



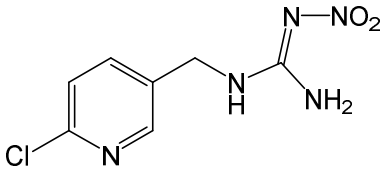
代謝物M04



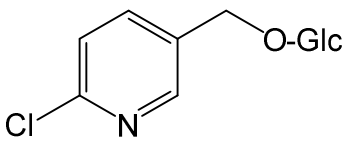
代謝物M06



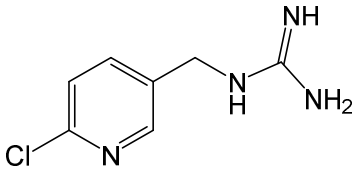
代謝物M10



代謝物M13



代謝物M14



代謝物M19

注）残留試験の分析対象、残留の規制対象及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

４．作物残留試験

（１）分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

・イミダクロプリド
・総イミダクロプリド（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）
・代謝物M01
・代謝物M04

② 分析法の概要

ｉ）イミダクロプリド

試料からアセトニトリル又はアセトニトリル・水（（9：1）又は（4：1））混液で抽出し減圧濃縮後、塩化ナトリウム溶液及び *n*-ヘキサンを加えて振とうする。ヘキサン層を廃棄し、水層にジクロロメタン又は酢酸エチルを加えて転溶する。分取したジクロロメタン層又は酢酸エチル層を炭酸カリウム溶液で洗浄し、濃縮後、シリカゲルカラムを用いて精製した後、紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ（HPLC-UV）で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し減圧濃縮後、塩化ナトリウム溶液及びジクロロメタンを加えてジクロロメタンに転溶する。分取したジクロロメタン層を濃縮後、シリカゲルカラムを用いて精製した後、HPLC-UV で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し減圧濃縮後、オクタデシルシリル化シリカゲル（C_{18}）カラムを用いて精製する。溶出液（ジクロロメタン）を炭酸カリウム溶液で洗浄し、濃縮後、HPLC-UV で定量する。

または、試料からアセトニトリル又はアセトニトリル・水（（9：1）又は（4：1））混液で抽出し、また、アセトンで抽出し減圧濃縮後、多孔性ケイソウ土カラムを用いて精製し、次いでシリカゲルカラム、グラファイトカーボンカラム、アミノプロピルシリル化シリカゲル(NH_2)カラム、フロリジルカラム又は中性アルミナカラムのいずれか、若しくは組み合わせて精製し、HPLC-UV 若しくは液体クロマ

トグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し減圧濃縮後、C_{18}カラムを用いて精製し、多孔性ケイソウ土カラム、シリカゲルカラム又はグラファイトカーボンカラムを用いて精製後、HPLC-UV で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し減圧濃縮後、グラファイトカーボンカラム及びNH_2カラム、グラファイトカーボン/エチレンジアミン-*N*-プロピルシリル化シリカゲル（PSA）積層カラム及びスチレンジビニルベンゼン共重合体（PLS-2）カラム、C_{18}カラム及びグラファイトカーボン/NH_2積層カラム、若しくはポリマー（ポリメタクリレート、ポリビニルアルコール等）系カラム及びシリカゲルカラムを用いて精製し、LC-MS/MS で定量する。

または、試料からメタノール・水（4：1）混液で磨砕抽出後濃縮し、LC-MS/MS で定量する。

または、試料からアセトンで磨砕抽出後濃縮し、5%塩化ナトリウム水溶液で溶解し、*n*-ヘキサンで洗浄後、酢酸エチルに転溶する。濃縮液を LC-MS/MS で定量する。

あるいは、試料からアセトンで抽出し減圧濃縮後、多孔性ケイソウ土カラム及びシリカゲルカラムを用いて精製し、液体クロマトグラフ・質量分析計（LC-MS）で定量する。

定量限界：0.005～0.2 mg/kg

ⅱ）イミダクロプリド及び総イミダクロプリド（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）

イミダクロプリドは、磨砕均一化した試料からメタノール・水・10%硫酸水溶液（（75：25：2）又は（45：15：2））混液を加えて抽出し、多孔性ケイソウ土カラム又はC_{18}カラムを用いて精製後、LC-MS/MS で定量する。

また、イミダクロプリド及び 6-クロロピリジル基を有する代謝物は、磨砕均一化した試料をメタノール・水・10%硫酸水溶液（（75：25：2）又は（45：15：2））混液を加えて抽出する。溶媒留去後、アルカリ条件下で過マンガン酸カリウムを加えて、加熱還流操作で酸化することにより 6-クロロニコチン酸に変換する。放冷後、反応液に硫酸を加えて酸性とし、亜硫酸水素ナトリウムを加えて過剰の過マンガン酸カリウムを消失させる。酢酸エチル転溶し、脱水後に LC-MS/MS で定量する。なお、イミダクロプリド及び 6-クロロピリジル基を有する代謝物の分析値は、換算係数 1.623 を用いて総イミダクロプリド濃度として示した。

定量限界：イミダクロプリド　　0.01 mg/kg
　　総イミダクロプリド　0.05 mg/kg

ⅲ）総イミダクロプリド

磨砕均一化した試料からメタノール・水（3：1）混液を加えて抽出する。溶媒留去後、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラムで精製し、メタノールで抽出する。溶媒留去後、アルカリ条件下で過マンガン酸カリウムを加えて加熱還流操作で酸化することにより、6-クロロニコチン酸に変換する。放冷後、反応液に硫酸を加えて酸性とし、亜硫酸水素ナトリウムを加えて過剰の過マンガン酸カリウムを消失させる。ジエチルエーテル転溶し、脱水濃縮後の残留物をアセトニトリルに溶解する。この液の一部をとり、*N*-メチル-*N*-トリメチルシリルトリフルオロアセトアミド（MSTFA）を加えてトリメチルシリル化し、ガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）で定量する。なお、分析値は、換算係数1.623を用いて総イミダクロプリド濃度として示した。

定量限界：総イミダクロプリド　0.05 mg/kg

ⅳ）代謝物M01（脱ニトロ体）

試料から水・アセトニトリル（（1：4）又は（3：7））混液で抽出し、シクロヘキサン又は*n*-ヘキサンで洗浄及びジクロロメタンで洗浄し、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラム、カルボキシエチルシリル化シリカゲル（CBA）カラム及び多孔性ケイソウ土カラムで精製又はジクロロメタン・アセトニトリル（9：1）混液に分配し、CBAカラムを用いて精製した後、HPLC-UVで定量する。

または、試料を水で膨潤後、アセトニトリルで抽出し、C_{18}カラムを用いて精製する。茶の浸出液については、アセトン及び飽和酢酸鉛溶液を加えてろ過する。それぞれジクロロメタンで洗浄する。ジクロロメタン・アセトニトリル（9：1）混液に分配し、炭酸カリウム溶液で洗浄後、CBAカラムを用いて精製した後、HPLC-UVで定量する。なお、代謝物M01の分析値は、換算係数1.213を用いてイミダクロプリド濃度に換算した値として示した。

定量限界：代謝物M01　　0.006 mg/kg（イミダクロプリド換算濃度）

ⅴ）代謝物M04（還元体）

試料から水・アセトニトリル（（1：4）又は（3：7））混液で抽出し、シクロヘキサン又は*n*-ヘキサンで洗浄する。ジクロロメタンに転溶した後、炭酸カリウム溶液で洗浄し、シリカゲルカラムを用いて精製した後、HPLC-UVで定量する。

または、試料を水で膨潤後、アセトニトリルで抽出し、C_{18}カラムを用いて精製する。茶の浸出液については、アセトン及び飽和酢酸鉛溶液を加えてろ過する。それぞれジクロロメタンに転溶し、炭酸カリウム溶液で洗浄後、シリカゲルカラムを用いて精製した後、HPLC-UVで定量する。なお、代謝物M04の分析値は、換算係数1.067を用いてイミダクロプリド濃度に換算した値として示した。

定量限界：代謝物M04　　0.005 mg/kg（イミダクロプリド換算濃度）

【海外（米国）】

①　分析対象物質

・総イミダクロプリド（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）

②　分析法の概要

ｉ）総イミダクロプリド（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）

試料からメタノール・水（3：1）混液又はメタノール・1%硫酸水溶液（3：1）混液で抽出し、*n*-ヘキサンで洗浄した後、ろ過する。必要に応じてスチレンジビニルベンゼン共重合体カラムを用いて精製した後、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物をアルカリ条件下で過マンガン酸カリウムを加えて加熱還流操作で酸化することにより代謝物M06に酸化分解し、*tert*-ブチルメチルエーテル（MTBE）又は酢酸エチルで抽出する。MSTFAで誘導体化した後、GC-MS又はLC-MS/MSで定量する。なお、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物の分析値は、換算係数1.623を用いて総イミダクロプリド濃度として示した。

定量限界：総イミダクロプリド　0.01～0.14 mg/kg

【海外（EU）】

①　分析対象物質

・イミダクロプリド

・総イミダクロプリド（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）

②　分析法の概要

ｉ）イミダクロプリド

試料からメタノール・水（3：1）混液で抽出し、多孔性ケイソウ土カラムを用いて精製し、LC-MS/MS で定量する。

ⅱ）総イミダクロプリド（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）

試料からメタノール・水（3：1）混液で抽出し、32%（w/v）水酸化ナトリウム溶液及び5%（w/v）過マンガン酸カリウム溶液を加え、加温下で還流し、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物を代謝物M06に変換後、MTBEで抽出し、LC-MS/MSで定量する。なお、代謝物M06の分析値は、換算係数1.623を用いて総イミダクロプリド濃度に換算した値として示した。

定量限界：イミダクロプリド　　0.01 mg/kg
　　総イミダクロプリド　0.05 mg/kg

（２）作物残留試験結果

国内作物残留試験については、なんてん、ほうれんそう等の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2-1に示す。海外作物残留試験については、キャベツ、ブロッコリー等の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2-2及び2-3に示す。

５．畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

（１）分析の概要

①　分析対象物質

・イミダクロプリド

・代謝物M06（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）（総イミダクロプリド）

② 分析法の概要

ｉ）イミダクロプリド及び代謝物M06（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）（総イミダクロプリド）

試料からメタノール・水（3：1）混液（乳はメタノール）で抽出する。油脂（脂肪）を含む試料については、*n*-ヘキサンに分配する。筋肉、肝臓及び腎臓については、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラムで精製する。イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物をアルカリ性過マンガン酸カリウム溶液で代謝物M06に酸化分解し、MTBEで抽出する。MSTFAで誘導体化した後、GC-MSで定量する。なお、代謝物M06の分析値は、換算係数1.623を用いて総イミダクロプリド濃度に換算した値として示した。

定量限界：総イミダクロプリド　0.02 mg/kg

（２）家畜残留試験（動物飼養試験）

①　乳牛を用いた残留試験

乳牛（ホルスタイン種、体重550～650 kg、雌3頭/時点）に対して、飼料中濃度として5、15及び50 ppmに相当する量のイミダクロプリドを含むゼラチンカプセルを28日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物を代謝物M06の濃度とし、GC-MSで測定した。また、乳については、投与開始後1、2、3、4、5、7、10、13、16、19、22、25及び28日目に搾乳したものをGC-MSで測定した。結果は表1を参照。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度*（mg/kg）

	5 ppm 投与群	15 ppm 投与群	50 ppm 投与群
筋肉	<0.02 （最大） <0.02 （平均）	0.033（最大） 0.027（平均）	0.150（最大） 0.121（平均）
脂肪	<0.02 （最大） <0.02 （平均）	<0.02 （最大） <0.02 （平均）	0.078（最大） 0.064（平均）
肝臓	0.054（最大） 0.050（平均）	0.166（最大） 0.133（平均）	0.537（最大） 0.490（平均）
腎臓	0.032（最大） 0.028（平均）	0.101（最大） 0.085（平均）	0.365（最大） 0.286（平均）
乳注)	<0.02 （平均）	0.041（平均）	0.154（平均）

定量限界： 0.02 mg/kg

注）投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に算出し、その平均値を求めた。

＊：イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物（総イミダクロプリド）

② 産卵鶏を用いた残留試験

産卵鶏（レグホン種、体重未測定、雌12羽）に対して、飼料中濃度として2、6及び20 ppm相当のイミダクロプリドを含む飼料を30～32日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪及び肝臓中のイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物を代謝物M06の濃度とし、GC-MSで測定した。また、卵については、投与開始後1、2、3、5、6、7、8、9、12、13、15、17、18、19、21、24、25、27、29及び31日目に採卵したものをGC-MSで測定した。結果は表2を参照。

表2. 産卵鶏の試料中の残留濃度*（mg/kg）

	2 ppm 投与群	6 ppm 投与群	20 ppm 投与群
筋肉	<0.02 （最大） <0.02 （平均）	0.021（最大） 0.021（平均）	0.072（最大） 0.048（平均）
脂肪	<0.02 （最大） <0.02 （平均）	<0.02 （最大） <0.02 （平均）	<0.02 （最大） <0.02 （平均）
肝臓	0.042（最大） 0.040（平均）	0.159（最大） 0.141（平均）	0.431（最大） 0.346（平均）
卵	<0.02 （平均）	0.049（平均）	0.130（平均）

定量限界：筋肉 0.02 mg/kg、脂肪 0.02 mg/kg 及び卵 0.02 mg/kg

＊：イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物（総イミダクロプリド）

（３）飼料中の残留農薬濃度

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和51年農林省令第35号）に定める飼料一般の成分規格や飼料となる作物の残留試験成績等を基に、飼料の最大給与割合等

を考慮して最大飼料由来負荷[注1)]が算出されている。今般、新たに算出された最大飼料由来負荷は、乳牛において7.57 ppm、肉牛において8.06 ppm、産卵鶏において2.40 ppm、肉用鶏において2.72 ppmと示されている。また、平均的飼料由来負荷[注2)]は、乳牛において7.57 ppm、肉牛において7.61 ppm、産卵鶏において2.40 ppm、肉用鶏において2.72 ppmと示されている。

これに関連して、JMPRにおいては、肉牛及び乳牛の最大飼料由来負荷をいずれも18.01 ppm、平均的飼料由来負荷をそれぞれ6.07及び6.14 ppmと評価している。産卵鶏においては、最大飼料由来負荷を1.02 ppm、平均的飼料由来負荷を0.37 ppmと評価している。

また、米国は、乳牛及び肉牛の最大理論的飼料由来負荷[注3)]をそれぞれ20.8及び18.2 ppmと評価している。

注1）最大飼料由来負荷（Maximum dietary burden）：飼料の原料に農薬が最大まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2）平均的飼料由来負荷（Mean dietary burden）：飼料の原料に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に（作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる）、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる平均濃度。飼料中濃度として表示される。

注3）最大理論的飼料由来負荷（Maximum theoretical dietary burden）：飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

（４）推定残留濃度

牛について、最大理論的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。推定残留濃度はイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物を総イミダクロプリドに換算した濃度で示した。結果は表3-1を参照。

表3-1. 畜産物中の推定残留濃度：牛（mg/kg）（米国）

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
牛	0.052 (0.043)	0.030 (<0.027)	0.227 (0.192)	0.145 (0.118)	0.060 (0.060)

上段：最大残留濃度*　　下段括弧内：平均的な残留濃度*

*：最大及び平均的な残留濃度は、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物（総イミダクロプリド）

鶏について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。推定残留濃度はイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物を総イミダクロプリドに換算した濃度で示した。結果は表3-2を参照。

表3-2. 畜産物中の推定残留濃度：鶏（mg/kg）（国内）

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
鶏	0.020 (0.020)	<0.020 (<0.020)	0.063 (0.058)	0.023 (0.023)

上段：最大残留濃度*　　下段括弧内：平均的な残留濃度*

＊：最大及び平均的な残留濃度は、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物（総イミダクロプリド）

６．動物用医薬品の対象動物における残留試験

（１）分析の概要

①　分析対象物質

・イミダクロプリド

②　分析法の概要

試料からメタノールで抽出した後、SPE（Solid Phase Extraction）を用いて精製し、窒素ガスで溶媒を留去した後、アセトニトリル・水（1：1）混液で溶解し、LC-MS/MSで定量する。

定量限界：0.004 mg/kg

（２）家畜残留試験

①　タイセイヨウサケ（水温7℃又は15℃飼育、平均体重576.93 g（7℃）、383.47 g（15℃）、5尾/時点、水温当たり2タンク）にイミダクロプリドを有効成分とする薬浴剤で60分間薬浴（20 mg/L（海水））し、水温7℃飼育においては薬浴1、7、21、35及び60日後に、水温15℃飼育においては薬浴1、7、14、21及び28日後にそれぞれ採取した筋肉、皮膚、皮膚つき筋肉及び肝臓におけるイミダクロプリド濃度をLC-MS/MSで測定した（表4及び5）。（企業提出資料、2025年）

表4. タイセイヨウサケを水温7℃飼育、イミダクロプリド薬浴剤で60分間薬浴後の組織中のイミダクロプリドの濃度（mg/kg）

	薬浴後日数				
	1	7	21	35	60
筋肉	0.141(5)	0.0633(5)	0.0132(5)	<0.004(2), 0.00473, 0.00547, 0.00586	<0.004(5)
	0.119(5)	0.0648(5)	0.0107(5)	<0.004(2), 0.00401, 0.00521, 0.00594	<0.004(5)
皮膚	0.0966(5)	0.0476(5)	0.0101(5)	<0.004(2), 0.00404, 0.00422, 0.00436	<0.004(5)
	0.0924(5)	0.0496(5)	0.00805(5)	<0.004(4), 0.00480	<0.004(5)
皮膚つき筋肉	0.135(5)	0.0599(5)	0.0127(5)	<0.004(2), 0.00496, 0.00557, 0.00651	<0.004(5)
	0.112(5)	0.0625(5)	0.0108(5)	<0.004(2), 0.00422, 0.00475, 0.00569	<0.004(5)
肝臓	0.305(5)	0.126 (5)	0.0280(5)	0.0123(5)	<0.004(5)
	0.272(5)	0.139 (5)	0.0205(5)	0.00860(5)	<0.004(5)

数値は平均値を示し、括弧内は検体数を示す。
なお、全ての検体において分析値が定量されている場合のみ、平均値を算出した。
定量限界：0.004 mg/kg

表5. タイセイヨウサケを水温15℃飼育、イミダクロプリド薬浴剤で60分間薬浴後の組織中のイミダクロプリドの濃度（mg/kg）

	薬浴後日数				
	1	7	14	21	28
筋肉	0.325(5)	0.0495(5)	0.00594(5)	<0.004(5)	<0.004(5)
	0.290(5)	0.0465(5)	0.00668(5)	<0.004(5)	<0.004(5)
皮膚	0.251(5)	0.0370(5)	<0.004(1), 0.00386, 0.00391, 0.00529, 0.00611	<0.004(5)	<0.004(5)
	0.247(5)	0.0354(5)	<0.004(1), 0.00390, 0.00435, 0.00490, 0.00761	<0.004(5)	<0.004(5)
皮膚つき筋肉	0.318(5)	0.0520(5)	0.00592(5)	<0.004(5)	<0.004(5)
	0.286(5)	0.0480(5)	0.00666(5)	<0.004(5)	<0.004(5)
肝臓	0.720(5)	0.0905(5)	0.00916(5)	<0.004(5)	<0.004(5)
	0.647(5)	0.0879(5)	0.0120(5)	<0.004(5)	<0.004(5)

数値は平均値を示し、括弧内は検体数を示す。
なお、全ての検体において分析値が定量されている場合のみ、平均値を算出した。
定量限界：0.004 mg/kg

② タイセイヨウサケ（体重1.19～4.04 kg、水温5.2～14.5℃、5尾/時点）及びニジマス（体重1.568～2.319 kg、水温12.9～16.0℃、5尾/時点）にイミダクロプリドを有効成分とする薬浴剤で60分間薬浴（20 mg/L（海水））し、タイセイヨウサケにおいては薬浴直後（0度日）、24時間後（10度日）、5（52度日）、10（99度日）、21日（211度日）後及び350度日後に8施設各2生けすから、ニジマスにおいては薬浴直後（0度日）、24時間後（15度日）、5（79度日）、10（152度日）、21日（294度日）後及び350度日後に4施設のうち、１施設3生けす、3施設2生けすから、それぞれ採取した皮膚つき筋肉及び肝臓におけるイミダクロプリド濃度をLC-MS/MSで測定した（表6及び７）。（企業提出資料、2025年）

表6.タイセイヨウサケをイミダクロプリド薬浴剤で60分間薬浴後の皮膚付き筋肉のイミダクロプリドの濃度（mg/kg）

施設-生けすNo.	薬浴後経過					
	直後	24時間	5日	10日	21日	350度日
	0度日	10度日	52度日	99度日	211度日	396度日
1-1	0.090(5)	ND	0.059(5)	0.048(5)	0.013(5)	<LOQ(5)
1-2	ND	ND	ND	0.051(5)	0.007(5)	<LOQ(5)
2-1	0.073(5)	0.111(5)	0.122(5)	0.063(5)	0.036(5)	0.003*(5)
2-2	0.062(5)	0.105(5)	0.051(5)	0.047(5)	0.027(5)	<LOQ(5)
3-1	0.122(5)	0.240(5)	0.177(5)	0.134(5)	0.033(5)	<LOQ(5)
3-2	0.143(5)	0.282(5)	0.183(5)	0.144(5)	0.047(5)	<LOQ(5)
4-1	0.101(5)	0.251(5)	0.184(5)	0.057(5)	0.020(5)	<LOQ(5)
4-2	0.087(5)	0.142(5)	0.180(5)	0.135(5)	0.022(5)	<LOQ(5)
5-1	0.100(5)	0.222(5)	0.134(5)	0.052(5)	0.006(5)	<LOQ(5)
5-2	0.087(5)	0.127(5)	0.106(5)	0.035(5)	0.010(5)	<LOQ(5)
6-1	0.150(5)	0.164(5)	0.119(5)	0.024(5)	0.011(5)	0.003*(5)
6-2	0.107(5)	0.172(5)	0.077(5)	0.033(5)	0.006*(5)	0.003*(5)
7-1	0.103(5)	0.133(5)	0.092(5)	0.028(5)	0.003*(5)	<LOQ(5)
7-2	0.072(5)	0.272(5)	0.120(5)	0.048(5)	0.008*(5)	0.003*(5)
8-1	0.131(5)	0.291(5)	0.183(5)	0.025(5)	0.004*(5)	ND
8-2	0.154(5)	0.300(5)	0.134(5)	0.024(5)	0.004*(5)	ND

数値は平均値を示し、括弧内は検体数を示す。
なお、全ての検体において分析値が定量されている場合のみ、平均値を算出した。
ND：データなし
＊：定量限界値及び定量限界未満を含む（定量限界未満は定量限界の1/2とし、0.002 mg/kgと計算）。
定量限界（LOQ）：0.004 mg/kg

表7.ニジマスをイミダクロプリド薬浴剤で60分間薬浴後の皮膚付き筋肉の
イミダクロプリドの濃度（mg/kg）

施設-生けすNo.	薬浴後経過					
	直後	24時間	5日	10日	21日	350度日
	0度日	15度日	79度日	152度日	294度日	390度日
1-1	0.082(5)	0.139(5)	0.022(5)	0.004* (5)	0.006*(5)	<LOQ(5)
1-2	0.373(5)	0.292(5)	0.068(5)	0.010 (5)	<LOQ(5)	<LOQ(5)
1-3	0.143(5)	0.196(5)	0.048(5)	0.008 (5)	<LOQ(5)	<LOQ(5)
2-1	0.255(5)	0.257(5)	0.069(5)	0.008* (5)	<LOQ(5)	<LOQ(5)
2-2	0.285(5)	0.197(5)	0.054(5)	0.005* (5)	<LOQ(5)	<LOQ(5)
3-1	0.173(5)	0.270(5)	0.036(5)	<LOQ(5)	<LOQ(5)	<LOQ(5)
3-2	0.268(5)	0.269(5)	0.029(5)	ND	<LOQ(5)	<LOQ(5)
4-1	0.175(5)	0.231(5)	0.051(5)	0.015 (5)	0.003*(5)	<LOQ(5)
4-2	0.207(5)	0.210(5)	0.067(5)	0.016* (5)	0.003*(5)	<LOQ(5)

数値は平均値を示し、括弧内は検体数を示す。
なお、全ての検体において分析値が定量されている場合のみ、平均値を算出した。
ND：データなし
＊：定量限界値及び定量限界未満を含む（定量限界未満は定量限界の1/2とし、0.002 mg/kgと計算）。
定量限界（LOQ）：0.004 mg/kg

③　タイセイヨウサケ（408.8 g（±2.70 g）、約1歳、6匹/時点（1タンク）、2タンク/時点）を、イミダクロプリドを有効成分とする薬浴剤で15.2～16.0℃で60、196、360分間薬浴（20.9～21.8 mg/L）し、薬浴１（15.6度日）、７（108.8度日）、14（206.8度日）、21（313.2度日）、28（422.1度日）及び33日（508.6度日）後に採取した皮膚付き筋肉におけるイミダクロプリド濃度をLC-MS/MSで測定した（表8）。（JECFA Monographs 28、2023年）

表8.タイセイヨウサケをイミダクロプリド薬浴剤で60、196及び360分間薬浴後の皮膚付き筋肉の
イミダクロプリドの濃度（mg/kg）

薬浴時間（分）	薬浴後経過					
	1日	7日	14日	21日	28日	33日
	15.6度日	108.8度日	206.8度日	313.2度日	422.1度日	508.6度日
60	0.359±0.063(12)	0.071±0.015(12)	0.01273±0.00381(12)	<LOQ(12)	<LOQ(12)	<LOQ(12)
196	0.740±0.083(12)	0.160±0.024(12)	0.02745±0.00987(12)	0.00629±0.00228(12)	<LOQ(12)	<LOQ(12)
360	1.372±0.114(12)	0.296±0.056(12)	0.05473±0.01590(12)	0.00957±0.00370(12)	0.00268±0.00164*(12)	<LOQ(12)

数値は平均値±標準偏差を示し、括弧内は検体数を示す。
なお、全ての検体において分析値が定量されている場合のみ、平均値を算出した。
＊：定量限界未満を含む（定量限界未満は定量限界の1/2とし、0.002 mg/kgと計算）。
定量限界：0.004 mg/kg

JECFAにおいては、野外条件下では、60分経過後すぐにすべての魚を処理槽から取り出すことが難しい場合があることから、上記試験における最長処理時間360分、休薬期間98度日における95%片側上限（(95%信頼限界）から基準値0.6 mg/kg）が設定され、中央値として0.340 mg/kg[注)] を算出した。

注）JECFAの暴露評価の中央値0.486 mg/kgに総残留比0.7を乗じて、イミダクロプリドの中央値を算出した。

７．許容一日摂取量（ADI）及び急性参照用量（ARfD）の評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、厚生労働大臣から食品安全委員会あて意見を求めたイミダクロプリドに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（１）ADI

ADI：0.057 mg/kg体重/日

（ADI 設定根拠資料）慢性毒性/発がん性併合試験
（動物種）　ラット
（期間）　2 年間
（投与方法）　混餌
（無毒性量）　5.7 mg/kg体重/日
（安全係数）：　100

なお、食品安全委員会は、発がん性は認められなかったと評価している。

（２）ARfD

ARfD：0.077 mg/kg体重

（ARfD 設定根拠資料）亜急性毒性試験
（動物種）　イヌ
（期間）　90 日間
（投与方法）　混餌
（無毒性量）　7.7 mg/kg体重/日
（安全係数）　100

８．諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2001年にADI及びARfDが設定されている。国際基準はりんご、バナナ等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてりんご、かんきつ類等に、カナダにおいてにんじん、ラズベリー等に、EUにおいてかんきつ類、ぶどう等に、豪州においてりんご、かんきつ類等に、ニュージーランドにおいてぶどう、レタス等に基準値が設定されている。

また、JECFAにおける毒性評価がなされ、2024年にADI及びARfDが設定されている。国際基準は全ての魚類に設定されている。

９．残留規制

（１）残留の規制対象

農産物、はちみつ及び魚類にあっては、イミダクロプリドとし、畜産物にあっては、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物とする。

植物代謝試験において主な残留物は親化合物であり、作物残留試験においても、親化合物の残留が認められており、分析の指標としては親化合物のみで十分であると考えられることから、農産物の規制対象をイミダクロプリドのみとする。

畜産物については、家畜代謝試験において、可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物M01、代謝物M02、代謝物M03、代謝物M10、代謝物M13及び代謝物M19であった。これらの代謝物はいずれも6-クロロピリジル基を有する代謝物であり、家畜残留試験においてイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物が分析の対象物質とされていること、親化合物及び代謝物をまとめて代謝物M06に変換していることから6-クロロピリジル基を有する代謝物を含めたものを対象とし、畜産物の規制対象については、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物とする。また、魚類においては、動物用医薬品の対象動物であるタイセイヨウサケで代謝試験が実施されており、可食部の皮膚付き筋肉において、親化合物の残留が認められており、10%TRR以上残留する代謝物は認められなかったことから、イミダクロプリドのみを規制対象とする。

なお、JMPRの評価では規制対象を、農産物及び畜産物にあっては、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物としている。また、JECFAの評価では規制対象を、魚類においてイミダクロプリドのみとしている。

（２）基準値案

別紙3のとおりである。

１０．暴露評価

（１）暴露評価対象

農産物及び畜産物にあっては、イミダクロプリド及び 6-クロロピリジル基を有する代謝物とし、魚類にあっては、イミダクロプリドとする。

植物代謝試験においては、可食部又は家畜用の飼料として利用される部位において10%TRR以上認められた代謝物として、代謝物M01、代謝物M03、代謝物M06及び代謝物M14であった。また、家畜代謝試験においては、代謝物M01、代謝物M02（グルクロン酸抱合体を含む。）、代謝物M03、代謝物M10、代謝物M13及び代謝物M19が10%TRR以上認められた。食品安全委員会の評価において、代謝物M01は急性経口毒性がイミダクロプリドより強く、作物残留試験において、イミダクロプリドより高い残留値が認められる場合があること、代謝物M01、代謝物M02、代謝物M03、代謝物M06、代謝物M10、代謝物M13、代謝物M14及び代謝物M19はいずれも6-クロロピリジル基を有する代謝物であり、海外の作物

残留試験及び家畜残留試験において、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物が分析の対象とされていること、さらに、JMPRの評価において、農産物及び畜産物の暴露評価対象をイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物としていることも鑑み、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質をイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物とする。魚類においては、動物用医薬品の対象動物であるタイセイヨウサケの代謝試験において、10%TRR以上残留する代謝物は認められなかったことから、暴露評価対象物質はイミダクロプリドのみとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物及び畜産物中の暴露評価対象物質をイミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物、また、水産物中の暴露評価対象物質をイミダクロプリド（親化合物のみ）と設定している。

（２）暴露評価結果

①　長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙4参照。

	EDI／ADI(%)注)
国民全体(1 歳以上)	20.0
幼小児（1～6 歳）	33.7
妊婦	15.3
高齢者（65 歳以上）	23.1

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

②　短期（1日経口）暴露評価

各食品の短期推定摂取量(ESTI)を算出したところ、国民全体（1歳以上）及び幼小児（1～6歳）のそれぞれにおける摂取量はARfDを超えていない注)。詳細な暴露評価は別紙5-1及び5-2参照。

注）基準値案、暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
稲	1.0% GR	散布	3 kg/10 a	収穫7日前まで	－	2回以内	3回以内（は種時（直播）又は移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内）
	2.0% GR 配合剤1	側条施用	1 kg/10 a	移植時	－	1回	
	0.050% GR 配合剤2	側条施用	40～50 kg/10 a	移植時	－	1回	
稲（箱育苗）	50.0% WG	灌注	250～1000倍	移植2日前～移植当日	育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり0.5 L	1回	3回以内（移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内）
			250～500倍				
	10.0% WP	灌注	100倍	移植2日前～移植当日	育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり0.5 L	1回	
	1.95% GR	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a（育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50～100 g）	は種時（覆土前）～移植当日	－	1回	
				移植2日前～移植当日			
				移植当日			
			育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50 g	は種時（覆土前）～移植当日			
				移植2日前～移植当日			
				移植当日			
	10.0% SC 配合剤3	灌注	100倍	移植3日前～移植当日	育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり0.5 L	1回	
	2.0% GR 配合剤1	育苗箱の苗の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a（育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50～100 g）	移植2日前～移植当日	－	1回	
			育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50 g				
	2.0% GR 配合剤4	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50 g	は種前	－	1回	
		育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50 g	は種時（覆土前）	－	1回	
				は種時（覆土前）～移植当日			
				移植当日			
	2.0% GR 配合剤5	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50 g	は種前	－	1回	
		育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a（育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50～100 g）	移植3日前～移植当日	－	1回	
				移植当日			
			育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50 g	は種時（覆土前）～移植当日			
				移植当日			

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
稲（箱育苗）	2.0% GR 配合剤6	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a（育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50～80 g）	移植2日前～当日	－	1回	3回以内（移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内）
			育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50 g				
	2.0% GR 配合剤7	育苗箱の苗の上から均一に散布する。	育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50 g	移植2日前～移植当日	－	1回	
	2.0% GR 配合剤8	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50 g	は種前	－	1回	
		育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a（育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50～100 g）	は種時（覆土前）	－	1回	
				は種時（覆土前）～移植当日			
				移植2日前～移植当日			
				移植当日			
			育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50 g	は種時（覆土前）			
				は種時（覆土前）～移植当日			
				移植2日前～移植当日			
				移植当日			
	2.0% GR 配合剤9	育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a（育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50～100 g）	移植3日前～移植当日	－	1回	
				移植当日			
			育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50 g	は種時（覆土前）～移植当日			
				移植当日			
	2.0% GR 配合剤10	育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50 g	移植2日前～移植当日	－	1回	
				移植当日			
	2.0% GR 配合剤11	育苗箱中の苗の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a（育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50～100 g）	移植2日前～移植当日	－	1回	
				移植当日			
			育苗箱（30×60×3 cm、使用土壌約5 L）1箱当たり50 g	移植2日前～移植当日			
				移植当日			

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
稲(箱育苗)	2.0% GR 配合剤12	育苗箱の床土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g	は種前	－	1回	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)
		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g	は種前	－	1回	
		育苗箱の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g	は種時(覆土前)～移植当日	－	1回	
				移植当日			
	2.0% GR 配合剤13	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g	は種前	－	1回	
		育苗箱の上から均一に散布する。	高密度には種する場合は1 kg/10 a(育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～100 g)	移植3日前～移植当日	－	1回	
				移植当日			
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g	は種時(覆土前)～移植当日			
				移植当日			
	2.0% GR 配合剤14	育苗箱の苗の上から均一に散布する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50～80 g	移植2日前～当日	－	1回	
			育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり50 g				
湛水直播水稲	50.0% WG	過酸化カルシウム剤との同時湿粉衣	種もみ3 kg当たり30～40 g(40 g/10 aまで)	は種前	－	1回	3回以内(は種時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)
	10.0% WP	過酸化カルシウム剤との同時湿粉衣	種もみ3 kg当たり200 g(200 g/10 aまで)	は種前	－	1回	
			種もみ3 kg当たり150～200 g(200 g/10 aまで)				
	2.0% GR 配合剤1	は種同時施薬機を用いて土中施用する。	1 kg/10 a	は種時	－	1回	
乾田直播水稲	50.0% WG	種子塗沫 (未催芽籾)	種もみ4～8 kg当たり30～40 g(40 g/10 aまで)	は種前	－	1回	3回以内(は種時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)
小麦	50.0% WG	散布	15000倍	収穫14日前まで	60～150 L/10 a	2回以内	3回以内(種子粉衣は1回以内、散布は2回以内)
	10.0% WP	種子粉衣	種子重量の0.15%	は種前	－	1回	
アマランサス(茎葉)	20.0% SC	散布	5000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
キノア	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ばれいしょ	50.0% WG	散布	5000～15000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後の処理は2回以内)
			2500倍		25 L/10 a		
		無人航空機による散布	400倍	収穫14日前まで	3.2～10 L/10 a	2回以内	
			160倍		1.6～3.2 L/10 a		
			80倍		1.6 L/10 a		
	10.0% WP	散布	1000～3000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		無人航空機による散布	16倍	収穫14日前まで	3.2 L/10 a	2回以内	
	1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	植付時	－	1回	
さといも	50.0% WG	散布	10000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後の処理は2回以内)
		無人航空機による散布	400倍	収穫14日前まで	4～10 L/10 a	2回以内	
			200倍		2～4 L/10 a		
			80倍		1.6～2 L/10 a		
	1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	植付時	－	1回	

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
さといも(葉柄)	50.0% WG	散布	10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後の処理は2回以内)
		無人航空機による散布	400倍	収穫前日まで	4～10 L/10 a	2回以内	
			200倍		2～4 L/10 a		
			80倍		1.6～2 L/10 a		
	1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	植付時	－	1回	
かんしょ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(植付前の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	1.0% GR	作条土壌混和	4～6 kg/10 a	植付前	－	1回	
		全面土壌混和	6 kg/10 a	植付前	－	1回	
	0.50% GR	作条土壌混和	8～12 kg/10 a	植付前	－	1回	
		全面土壌混和	8～12 kg/10 a	植付前	－	1回	
	0.30% GR 配合剤15	全面土壌混和	20 kg/10 a	植付前	－	1回	
やまのいも	50.0% WG	散布	10000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(植付時までの処理は1回以内、植付後の処理は2回以内)
		無人航空機による散布	400倍	収穫14日前まで	4～12 L/10 a	2回以内	
			160倍		3.2～4 L/10 a		
	1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	植付時	－	1回	
やまのいも(むかご)	1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	植付時	－	1回	1回
こんにゃく	50.0% WG	散布	10000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(培土時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	1.0% GR	茎葉散布	6 kg/10 a	生育期 ただし収穫21日前まで	－	2回以内	
		株元土壌混和	3～6 kg/10 a	培土時(基根伸長期)	－	1回	
てんさい	70.0% DS	種子被覆剤に混和後、種子にコーティングする。	130 g/ユニット:1ユニット(約100,000粒)/ha	は種前	－	1回	3回以内(種子への処理又は灌注は1回以内、散布は2回以内)
			90～130 g/ユニット:1ユニット(約100,000粒)/ha				
	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		灌注	300～500倍	定植時	ペーパーポット1冊当たり1 L(3 L/㎡)	1回	
			300倍				
	10.0% WP	灌注	60倍	定植時	ペーパーポット1冊当たり1 L(3 L/㎡)	1回	
だいこん	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、は種後の処理は2回以内)
	1.0% GR	播溝土壌混和	3～6 kg/10 a	は種時	－	1回	
かぶ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	1.0% GR	播溝土壌混和	4 kg/10 a	は種時	－	1回	
はくさい	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は2回以内)
	1.0% GR	植穴土壌混和	0.5 g/株	定植時	－	1回	
	10.0% SC 配合剤3	灌注	100倍	定植3日前～定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり0.5 L	1回	
	2.0% SC 配合剤16	灌注	100倍	定植3日前～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり0.5～1 L	1回	

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
キャベツ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は2回以内）
	1.0% GR	植穴土壌混和	0.5 g/株	定植時	－	1回	
	10.0% SC 配合剤3	灌注	100倍	定植3日前～定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L）当たり0.5 L	1回	
	2.0% SC 配合剤16	灌注	100倍	定植3日前～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L）当たり0.5～1 L	1回	
結球あぶらな科葉菜類（メキャベツを除く）	20.0% SC	散布	2000～4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は2回以内）
		無人航空機による散布	32倍		1.6～2 L/10 a		
			150倍		4～5 L/10 a		
メキャベツ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
非結球メキャベツ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
みずな	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ブロッコリー	20.0% SC	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	4回以内（育苗期の灌注は1回以内、定植時の土壌混和は1回以内、定植後の処理は2回以内）
		無人航空機による散布	80倍	収穫3日前まで	4～5 L/10 a	2回以内	
			24倍		1.6～2 L/10 a		
	1.0% GR	植穴土壌混和	0.5 g/株	定植時	－	1回	
	10.0% SC 配合剤3	灌注	100倍	定植3日前～定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L）当たり0.5 L	1回	
	2.0% SC 配合剤16	灌注	100倍	定植3日前～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L）当たり0.5～1 L	1回	
なばな類	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
わさび	20.0% SC	散布	4000倍	畑育苗期	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
畑わさび	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ごぼう	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内（は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内）
	1.0% GR	株元散布	4 kg/10 a	収穫7日前まで	－	2回以内	
		播溝土壌混和	4 kg/10 a	は種時	－	1回	
エンダイブ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
レタス	50.0% WG	散布	10000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内（定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は2回以内）
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		無人航空機による散布	150倍	収穫3日前まで	4～5 L/10 a	2回以内	
			40倍		1.6～2 L/10 a		
	1.0% GR	株元散布	0.5 g/株	育苗期後半	－	1回	
	10.0% SC 配合剤3	灌注	200倍	定植3日前～定植当日 定植当日	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L）当たり0.5 L	1回	
	2.0% SC 配合剤16	灌注	100倍	定植3日前～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L）当たり0.5～1 L	1回	

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
非結球レタス	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
		無人航空機による散布	150倍	収穫7日前まで	4～5 L/10 a	2回以内	
			32倍		1.6～2 L/10 a		
すいぜんじな	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ふき	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ふき(ふきのとう)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫45日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
食用ぎく	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
きく（葉）	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
葉ごぼう	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
たまねぎ	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内(定植時までの処理は1回以内)
		灌注	500倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり0.5 L	1回	
	20.0% SC	灌注	200倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり0.5 L	1回	
ねぎ	50.0% WG	散布	5000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時までの処理は1回以内、散布は2回以内)
		灌注	500倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり0.5 L	1回	
	20.0% SC	散布	2000～4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		灌注	200倍	定植前日～定植時	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L)当たり0.5 L	1回	
	1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	定植時	－	1回	
にら	1.0% GR	株元散布	4 kg/10 a	収穫30日前まで	－	1回	2回以内(定植時の土壌混和は1回以内、株元散布は1回以内)
		植溝土壌混和	4 kg/10 a	定植時	－	1回	
にら(花茎)	1.0% GR	株元散布	4 kg/10 a	収穫30日前まで	－	1回	2回以内(定植時の土壌混和は1回以内、株元散布は1回以内)
		植溝土壌混和	4 kg/10 a	定植時	－	1回	
アスパラガス	50.0% WG	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	20.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
わけぎ	20.0% SC	散布	2000～4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	定植時	－	1回	
あさつき	20.0% SC	散布	2000～4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	1.0% GR	植溝土壌混和	4 kg/10 a	定植時	－	1回	
食用ゆり	50.0% WG	散布	5000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
にんじん	50.0% WG	散布	10000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
パセリ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	1回	2回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は1回以内)
	1.0% GR	株元散布	3 kg/10 a	収穫14日前まで	－	1回	
		播溝散布	3 kg/10 a	は種時	－	1回	
		植穴土壌混和	0.5 g/株	定植時	－	1回	
	0.50% GR	株元散布	1 g/株	定植時	－	1回	
セルリー	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
みつば	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで ただし、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
せり科葉菜類（コリアンダー(葉)、セルリー、パセリ、みつば、せり、はまぼうふう(葉) を除く）	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
はまぼうふう(葉)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
トマト	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.0% GR	株元散布	0.5～1 g/株	育苗期後半	－	1回	
		植穴土壌混和	1～2 g/株	定植時	－	1回	
	0.50% GR	植穴土壌混和	2 g/株	定植時	－	1回	
ミニトマト	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.0% GR	株元散布	0.5～1 g/株	育苗期後半	－	1回	
		植穴土壌混和	1～2 g/株	定植時	－	1回	
	0.50% GR	植穴土壌混和	2 g/株	定植時	－	1回	
ピーマン及びとうがらし類	1.0% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半	－	1回	3回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
		植穴又は 株元土壌混和	1～2 g/株	定植時	－	1回	
	0.50% GR	植穴土壌混和	2 g/株	定植時	－	1回	
ピーマン	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
なす	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計2回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	10.0% WP	常温煙霧	100 g/10 a	収穫前日まで	5 L/10 a	2回以内	
		散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.0% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半	－	1回	
		植穴又は 株元土壌混和	1～2 g/株	定植時	－	1回	
	0.50% GR	株元土壌混和	2 g/株	定植時	－	1回	
		植穴土壌混和	2 g/株	定植時	－	1回	
とうがらし類	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
きゅうり	10.0% WP	常温煙霧	100 g/10 a	収穫前日まで	5 L/10 a	3回以内	4回以内(育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布及び常温煙霧は合計3回以内)
	1.0% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半	－	1回	
		植穴土壌混和	2 g/株	定植時	－	1回	
		植穴又は 株元土壌混和	1～2 g/株	定植時	－	1回	
	0.50% GR	株元土壌混和	2 g/株	定植時	－	1回	
		植穴土壌混和	2 g/株	定植時	－	1回	
	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
かぼちゃ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	1.0% GR	植穴土壌混和	2 g/株	定植時	－	1回	

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
すいか	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（定植時の土壌混和は1回以内、散布は3回以内）
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	1.0% GR	株元土壌混和	5 g/株	定植時	－	1回	
		植穴土壌混和	1～2 g/株	定植時	－	1回	
			1～5 g/株				
メロン	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内）
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	1.0% GR	株元散布	1 g/株	育苗期後半	－	1回	
		植穴土壌混和	2 g/株	定植時	－	1回	
		植穴又は 株元土壌混和	1～2 g/株	定植時	－	1回	
まくわうり	1.0% GR	植穴土壌混和	1 g/株	定植時	－	1回	1回
にがうり	1.0% GR	植穴又は 株元土壌混和	1～2 g/株	定植時	－	1回	2回以内（定植時の土壌混和は1回以内）
	50.0% WG	散布	10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内（定植時の土壌混和は1回以内）
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
ほうれんそう	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	1回	2回以内（は種時の土壌混和は1回以内、散布は1回以内）
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	1回	
	1.0% GR	播溝土壌混和	4 kg/10 a	は種時	－	1回	
オクラ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
さやいんげん	1.0% GR	植穴土壌混和	1～2 g/株（ただし、6 kg/10 aまで）	定植時又はは種時	－	1回	3回以内（定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内）
えだまめ	1.0% GR	本剤の所定量をセル成型育苗トレイ又はペーパーポットの培土に均一に混和する。	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60 cm、使用土壌約1.5～4 L）当たり50 g	は種時	－	1回	3回以内（定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内）
		植穴土壌混和	2 g/植穴（ただし、6 kg/10 aまで）	定植時	－	1回	
		播溝土壌混和	3 kg/10 a	は種時	－	1回	
うど	20.0% SC	散布	2000倍	根株養成期 ただし、収穫60日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
くわい	20.0% SC	散布	4000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
じゅんさい	1.0% GR	散布	3 kg/10 a	収穫前日まで	－	2回以内	2回以内
ふだんそう	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
モロヘイヤ	20.0% SC	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
れんこん	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内（植付時の土壌混和は1回以内、植付後の処理は2回以内）
	1.0% GR	散布	4 kg/10 a	収穫14日前まで	－	2回以内	
		植溝土壌混和	3 kg/10 a	植付時	－	1回	

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
食用かえで(葉)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
食用さくら(葉)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
食用プリムラ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげん、未成熟そらまめを除く)	1.0% GR	植穴土壌混和	2 g/植穴(ただし、6 kg/10 aまで)	定植時	－	1回	3回以内(定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
		播溝土壌混和	3 kg/10 a	は種時	－	1回	
豆類(未成熟、ただし、未成熟そらまめを除く)	50.0% WG	散布	10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
未成熟ささげ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内(定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内、散布は2回以内)
未成熟そらまめ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内(定植時及びは種時の土壌混和は合計1回以内)
	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	1.0% GR	植穴土壌混和	2 g/植穴	定植時	－	1回	
		播溝土壌混和	3 kg/10 a	は種時	－	1回	
かんきつ	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			5000倍				
	20.0% SC	散布	2000～4000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
			2000～5000倍				
			2000倍				
		無人航空機による散布	80倍	収穫14日前まで	8～20 L/10 a	3回以内	
			40倍		4～10 L/10 a		
			20倍		4～5 L/10 a		
りんご	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
			5000～15000倍				
			5000倍				
	10.0% WP	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
なし	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
			5000倍				
	20.0% SC	散布	5000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
	10.0% WP	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
			1000倍				
びわ	20.0% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
もも	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	20.0% SC	散布	5000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
	10.0% WP	散布	1000～2000倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
			1000倍				
ネクタリン	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	10.0% WP	散布	1000～2000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
			1000倍				
あんず	20.0% SC	散布	5000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
すもも	50.0% WG	散布	10000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
うめ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
いちご	1.0% GR	株元散布	0.5 g/株	育苗期後半	－	1回	1回
		植穴土壌混和	0.5 g/株	定植時	－	1回	
ぶどう	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
			5000倍				
	20.0% SC	散布	5000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
	10.0% WP	常温煙霧	200 g/10 a	収穫21日前まで	9 L/10 a	2回以内	
		散布	1000～2000倍	収穫21日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
			1000倍				
かき	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			5000倍				
	10.0% WP	散布	1000～2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
			1000倍				
キウイフルーツ	20.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
マンゴー	50.0% WG	散布	5000～10000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	10.0% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
パッションフルーツ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
アセロラ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
アテモヤ	50.0% WG	散布	10000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	イミダクロプリド を含む農薬の 総使用回数
ピタヤ	20.0% SC	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ごま	1.0% GR	播溝土壌混和	3 kg/10 a	は種時	－	1回	1回
いちょう (種子)	20.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
くり	10.0% WP	散布	1000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
茶	10.0% WP	散布	2000倍	摘採7日前まで	200～400 L/10 a	1回	1回
			1000～2000倍				
			1000倍				
	10.0% WG 配合剤17	散布	2000倍	摘採7日前まで	200～400 L/10 a	1回	
コリアンダー(葉)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
さんしょう(葉)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
しそ	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
しそ(花穂)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
しそ科葉菜類 (しそを除く)	20.0% SC	散布	4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
みょうが (花穂)	50.0% WG	散布、ただし花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する。	10000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
みょうが (茎葉)	50.0% WG	散布	10000倍	みょうが(花穂)の収穫前日まで ただし、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
やなぎたで	20.0% SC	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
なんてん（葉）	20.0% SC	散布	4000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内

GR：粒剤
WP：水和剤
WG：顆粒水和剤
SC：フロアブル
DS：粉剤
配合剤1：24.0%プロベナゾール
配合剤2：0.60%プロベナゾール
配合剤3：10.0%スピノサド
配合剤4：0.75%クロラントラニリプロール・2.0%イソチアニル
配合剤5：0.75%クロラントラニリプロール・2.0%イソチアニル・2.0%ペンフルフェン
配合剤6：0.75%スピノサド・3.0%チフルザミド・4.0%トリシクラゾール
配合剤7：0.75%スピノサド・4.0%トリシクラゾール
配合剤8：1.0%スピノサド・2.0%イソチアニル
配合剤9：1.0%スピノサド・2.0%イソチアニル・2.0%ペンフルフェン
配合剤10：1.0%スピノサド・2.0%イソチアニル・3.0%チフルザミド
配合剤11：12.0%チアジニル
配合剤12：2.0%イソチアニル
配合剤13：2.0%イソチアニル・2.0%ペンフルフェン
配合剤14：4.0%トリシクラゾール
配合剤15：0.50%フルオピラム
配合剤16：4.0%フルベンジアミド
配合剤17：10.0%スピノサド
今回変更申請及び基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。
－：規定されていない項目

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（米国）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たり使用量	回数	ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞの総使用量
大豆	48.7% SC	種子塗抹	－	1.6～3.2 fl oz ai/cwt	－	3.2 fl oz ai/100 lbs seeds
	40.7% SC (480 g/L)	散布	収穫21日前まで	0.05 lb ai/acre	－	0.14 lb ai/acre
豆類(種実) (いんげん、 えんどう、 そら豆、 ﾗｲﾏ豆等)	40.7% SC	種子塗抹	－	2～4 fl oz/cwt (0.63～1.25 lb ai/cwt)	－	－
まめ科野菜類 (さやいんげん、 さやえんどう等)	21.4% SC	畝処理	収穫21日前まで	0.25～0.38 lb ai/acre	－	0.38 lb ai/acre
	17.4% SC	散布	収穫7日前まで	0.043 lb ai/acre	－	0.13 lb ai/acre
根茎状野菜 (にんじん等) Subgroup 1B	21.4% SC	畝処理	収穫21日前まで	0.16～0.38 lb ai/acre	1回	0.38 lb ai/acre
根茎状野菜 (だいこん、にんじん等) Subgroup 1B except Sugarbeet plus Kava	17.4% SC	散布	収穫7日前まで	－	3回 (だいこんは1回)	0.13 lb ai/acre (だいこんは0.044 lb ai/acre)
ばれいしょ	21.4% SC	種いも処理	－	0.4～0.8 fl oz/cwt (0.12～0.25 lb ai/cwt)	－	0.31 lb ai/acre
		散布	－	0.2～0.31 lb ai/acre	－	
		植溝土壌処理	－		－	
		側条土壌処理	－		－	
根茎及び 球茎状野菜 (かぶ、ｱｰﾃｨﾁｮｰｸ、 ﾁｺﾘ、しょうが等)	21.4% SC	植溝土壌処理	収穫3日前まで（茎葉散布） 収穫125日前まで (地下茎)	0.16～0.38 lb ai/acre	1回	0.38 lb ai/acre
		側条土壌処理				
葉菜類 (ｴﾝﾀﾞｲﾌﾞ、ﾚﾀｽ等) Group 4A	21.4% SC	散布	収穫21日前まで	0.16～0.38 lb ai/acre	－	0.38 lb ai/acre
		土壌灌注			－	
		植溝土壌処理			－	
		側条土壌処理			－	
	2.5% GR	植溝土壌処理	収穫21日前まで	6.3～15.0 lb ai/acre	－	15.0 lb ai/acre
ｱﾌﾞﾗﾅ属葉菜類 Group 5	21.4% SC	散布	収穫21日前まで	0.16～0.38 lb ai/acre	－	0.38 lb ai/acre
		土壌灌注			－	
		植溝土壌処理			－	
		側条土壌処理			－	
	2.5% GR	植溝土壌処理	収穫21日前まで	6.3～15.0 lb ai/acre	－	15.0 lb ai/acre
		側条土壌処理			－	

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（米国）

作物名	剤型	使用方法	使用時期	1回当たり使用量	回数	ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞの総使用量
ｱｰﾃｨﾁｮｰｸ	21.4% SC	土壌灌注	収穫7日前まで	0.25～0.50 lb ai/acre	－	0.5 lb ai/acre
葉柄野菜類 (ｾﾛﾘ等) Group 4B	21.4% SC	土壌灌注	収穫45日前まで	0.16～0.38 lb ai/acre	－	0.38 lb ai/acre
		植溝土壌処理			－	
		側条土壌処理			－	
		畝処理			－	
仁果類果実 (りんご、なし、 ﾏﾙﾒﾛ等)	21.4% SC	土壌灌注	収穫21日前まで	0.25～0.38 lb ai/acre	－	0.38 lb ai/acre
核果類果実 (ﾈｸﾀﾘﾝ、 おうとう等)	17.4% SC	散布	収穫7日前まで	0.25～0.38 lb ai/acre	－	0.38 lb ai/acre
熱帯果実類 (ﾊﾟﾊﾟｲﾔ、ｸﾞｱﾊﾞ、 ﾊﾟｯｼｮﾝﾌﾙｰﾂ等)	17.4% SC	散布	収穫7日前まで	0.1 lb ai/acre	－	0.5 lb ai/acre
ひまわり、べにばな	40.7% SC	種子塗抹	－	0.25～0.50 mg ai/seed (0.4～0.8 oz/cwt)	－	－
綿	21.4% SC	散布	－	0.28～0.33 lb ai/acre	－	0.33 lb ai/acre
		土壌灌注	－		－	
		植溝土壌処理	－		－	
なたね、あまに	40.7% SC	種子塗抹	－	12.8～32 fl oz/cwt (0.4～0.8 oz/cwt)	－	－
ﾅｯﾂ類 (ﾍﾟｶﾝ、ﾋﾟｽﾀﾁｵ等)	21.4% SC	散布	収穫7日前まで	0.25～0.50 lb ai/acre	－	0.50 lb ai/acre
		土壌灌注			－	
		植溝土壌処理			－	
	17.4% SC	散布	収穫7日前まで	0.18～0.36 lb ai/acre	－	0.36 lb ai/acre

SC：フロアブル
GR：粒剤
－：規定されていない項目
fl oz：液量オンス（米液量オンス　1 fl oz = 0.0000295735 m3）
cwt：100 lb　(45.359 kg)
lb：ポンド（1 lb = 0.45359237 kg）
ai：active ingredient（有効成分）
acre：エーカー（1 acre = 約4,047 m2）
oz：オンス（1 oz = 28.35 g）
今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。

イミダクロプリドの適用の範囲及び使用方法（ガーナ(EU)）注)

作物名	剤型	使用方法	使用時期	使用量	使用回数	総使用量
カカオ豆	200 g/L SL	散布	－	0.030 kg ai/ha	4回	0.120 kg ai/ha

注）EU基準値の設定の根拠としているガーナの使用方法を示した。
SL：液剤
－：規定されていない項目
ai：active ingredient（有効成分）

イミダクロプリド作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計（mg/kg）[注1] イミダクロプリド/イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物（総イミダクロプリド）	残留濃度(mg/kg)[注2] 【イミダクロプリド/代謝物M01/代謝物M04】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
稲（玄米）	2	2.0% GR	80 g/箱 箱施用	1	133	圃場A：<0.05 #1)	圃場A：<0.005/<0.008($)/<0.005	
					111	圃場B：<0.05 #1)	圃場B：<0.005/<0.008($)/<0.005	
	2	2.0% GR *+0.25% DP*	80 g/箱 箱施用 +4 kg/10 a 散布	1+2	21, 28	圃場A：0.06(3回, 21日)(#) 圃場B：0.06(3回, 21日)(#)	圃場A：*0.038/*<0.008($)/*<0.005(*3回, 21日)(#) 圃場B：*0.018/*<0.008($)/*<0.005(*3回, 21日)(#)	
	2	2.0% GR +1.0% GR	80 g/箱 箱施用 *+4* kg/10 a 水面施用	1+1	*88*	圃場A：<0.05 #1)(#)	圃場A：<0.005/<0.008($)/<0.005(#)	
					66	圃場B：<0.05 #1)(#)	圃場B：<0.005/<0.008($)/<0.005(#)	
	2	2.0% GR +1.0% GR	80 g/箱 箱施用 +3 kg/10 a 水面施用	1+2	*80*	圃場A：<0.05(#)	圃場A：<0.005/<0.008($)/<0.005(#)	
					70	圃場B：<0.05(#)	圃場B：0.006/<0.008($)/<0.005(#)	
	2	2.0% GR +1.0% GR	80 g/箱 箱施用 +3 kg/10 a 湛水散布	1+2	7, 14, 35, 49, 56	圃場A：<0.05 #1)	圃場A：0.02/-/-	◎
					7, 14, 24, 31, 38	圃場B：0.086 #1)(3回, 14日)	圃場B：0.035/-/-(3回, 14日)	
	4	2.0% GR +1.0% GR	75 g/箱 育苗箱散布 +3 kg/10 a 湛水散布	1+2	7, 14, 21, 28, 42	圃場A：<0.05 #1)	圃場A：<0.005/-/-	
						圃場B：0.101 #1)(3回, 14日)	圃場B：0.041/-/-(3回, 14日)	
						圃場C：<0.05 #1)(3回, 21日)	圃場C：0.014/-/-(3回, 21日)	
						圃場D：<0.05 #1)(3回, 28日)	圃場D：0.011/-/-(3回, 28日)	
小麦（玄麦）	2	10.0% WP +50.0% WG	種子重量の0.15%は種前塗沫処理 +15000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 20, 28	圃場A：0.069 #1)	圃場A：0.028/-/-	◎
			種子重量の0.15%は種前塗沫処理 +15000倍散布 150 L/10 a	1+2	14, 21, 28	圃場B：<0.05 #1)	圃場B：<0.005/-/-	
キノア（脱穀種子）	2	20.0% SC	4000倍散布 300 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：3.20 #1) 圃場B：2.63 #1)	圃場A：1.30/-/- 圃場B：1.07/-/-	◎
	2			1	7, 14, 21	圃場A：1.85 #1)(1回, 7日) 圃場B：3.42 #1)(1回, 7日)	圃場A：0.753/-/-(1回, 7日) 圃場B：1.39/-/-(1回, 7日)	
ばれいしょ（塊茎）	2	*70% WP* +10.0% WP	100 g/水1 L/いも200 kg 種いも処理 +1000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A：0.26(3回, 14日)(#) 圃場B：<0.05(3回, 14日)(#)	圃場A：*0.18/*<0.008($)/*<0.005(*3回, 14日)(#) 圃場B：*0.017/*<0.008($)/*<0.005(*3回, 14日)(#)	
	2	1.0% GR +50.0% WG	4 kg/10 a 植付時植溝土壌混和 *+1250*倍散布 25 L/10 a	1+2	14, 21, 28	圃場A：<0.05 #16)(3回, 14日)(#) 圃場B：<0.05 #16)(3回, 21日)(#)	圃場A：0.015/-/-(3回, 14日)(#) 圃場B：0.01/-/-(3回, 21日)(#)	
	2	1.0% GR +50.0% WG	4 kg/10 a 植付時植溝土壌混和 +5000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A：<0.05 #16)(3回, 21日) 圃場B：<0.05 #16)	圃場A：0.02/-/-(3回, 21日) 圃場B：<0.01/-/-	
	4	1.0% GR +50.0% WG	4 kg/10 a 植付時植溝土壌混和 +5000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21, 28	圃場A：<0.05 #16) 圃場B：<0.05 #16) 圃場C：<0.05 #16) 圃場D：<0.05 #16)	圃場A：0.02/-/- 圃場B：<0.01/-/- 圃場C：<0.01/-/- 圃場D：0.02/-/-	
さといも（球茎）	2	1.0% GR *+20.0% SC*	4 kg/10 a 植付時植溝土壌混和 +4000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A：<0.05 #16)(3回, 14日)(#) 圃場B：<0.05 #16)(3回, 14日)(#)	圃場A：<0.01/-/-(3回, 14日)(#) 圃場B：<0.01/-/-(3回, 14日)(#)	
かんしょ（塊根）	2	1.0% GR *+20.0% SC*	6 kg/10 a 植付時作条土壌混和 +4000倍散布 188～200 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A：<0.05 #16)(3日, 7日)(#) 圃場B：<0.05 #16)(3日, 7日)(#)	圃場A：<0.01/-/-(3日, 7日)(#) 圃場B：<0.01/-/-(3日, 7日)(#)	
	1	1.0% GR +50.0% WG	6 kg/10 a 植付時作条土壌混和 +10000倍散布 199 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A：<0.05 #16)	圃場A：<0.01/-/-	
やまのいも（塊茎）	2	1.0% GR *+10.0% WP*	4 kg/10 a 植付時植溝土壌混和 +2000倍散布 150～300 L/10 a	1+2	14, 21, 28	圃場A：<0.05 #16)(3回, 14日)(#) 圃場B：<0.05 #16)(3回, 14日)(#)	圃場A：<0.01/-/-(3回, 14日)(#) 圃場B：<0.01/-/-(3回, 14日)(#)	
	1	1.0% GR +50.0% WG	4 kg/10 a 植付時植溝土壌混和 +10000倍散布 198 L/10 a	1+2	14, 21, 28	圃場A：<0.05 #16)	圃場A：<0.01/-/-	
こんにゃくいも（球茎）	2	1.0% GR	6 kg/10 a 培土時土壌混和 +6 kg/10 a 散布	1+2	21, 28, 35	圃場A：<0.05 #16)(3回, 28日) 圃場B：0.061 #16)	圃場A：0.021/-/-(3回, 28日) 圃場B：0.041/-/-	
	2	1.0% GR +50.0% WG	6 kg/10 a 培土時土壌混和 +10000倍散布 200～300 L/10 a	1+2	21, 28, 35	圃場A：<0.05 #16) 圃場B：<0.05 #16)	圃場A：0.0195/-/- 圃場B：0.008/-/-	
てんさい（根部）	2	10.0% WP	*100 g/6 L/6冊/10 a* 苗箱灌注 *+1000*倍散布 *200 L/10 a*	1+2	21, 28	圃場A：<0.05 #16)(3回, 21日)(#) 圃場B：<0.05 #16)(3回, 21日)(#)	圃場A：<0.01/-/-(3回, 21日)(#) 圃場B：<0.01/-/-(3回, 21日)(#)	
	2	70% DS +10.0% WP	130 g/ユニット コート種子処理 *+1000*倍散布 *200 L/10 a*			圃場A：<0.05 #16)(3回, 21日)(#) 圃場B：<0.05 #16)(3回, 21日)(#)	圃場A：<0.01/-/-(3回, 21日)(#) 圃場B：<0.01/-/-(3回, 21日)(#)	
	2	50.0% WG	300倍灌注 1 L/冊 +5000倍散布 200 L/10 a		*14*, 21 *13*, 21	圃場A：<0.05 #16)(3回, 14日) 圃場B：<0.05 #16)(3回, 13日)	圃場A：<0.01/-/-(3回, 14日) 圃場B：<0.01/-/-(3回, 13日)	
	1	50.0% WG	300倍灌注 1 L/冊 +5000倍散布 200 L/10 a	1+2	*14*, 21, 28	圃場A：<0.05 #16)	圃場A：<0.01/-/-	
だいこん（根部）	2	1.0% GR	6 kg/10 a 播種時播溝土壌混和	1	42, 52 57, 67	圃場A：<0.05(1回, 42日) 圃場B：0.12(1回, 57日)	圃場A：0.013/-/-(1回, 42日) 圃場B：0.009/-/-(1回, 67日)	
	2	1.0% GR +20.0% SC	6 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A：<0.05 #16) 圃場B：<0.05 #16)	圃場A：<0.01/-/- 圃場B：<0.01/-/-	
だいこん（葉部）	2	1.0% GR	6 kg/10 a 播種時播溝土壌混和	1	42, 52 57, 67	圃場A：<0.05(1回, 42日) 圃場B：0.14(1回, 67日)	圃場A：0.0115/-/-(1回, 42日) 圃場B：0.021/-/-(1回, 67日)	
	2	1.0% GR +20.0% SC	6 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A：0.42 #11) 圃場B：0.02 #11)	圃場A：0.17/-/- 圃場B：0.01/-/-	
かぶ（根部）	2	1.0% GR *+20.0% SC*	4 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 270～300 L/10 a	1+2	*7, 14*, 21	圃場A：<0.05 #16)(3回, 21日)(#) 圃場B：0.05 #16)(3回, 21日)(#)	圃場A：<0.01/-/-(3回, 21日)(#) 圃場B：0.035/-/-(3回, 21日)(#)	
かぶ（葉部）	2	1.0% GR *+20.0% SC*	4 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 270～300 L/10 a	1+2	*7, 14*, 21	圃場A：2.44 #11)(3回, 21日)(#) 圃場B：0.20 #11)(3回, 21日)(#)	圃場A：1.00/-/-(3回, 21日)(#) 圃場B：0.08/-/-(3回, 21日)(#)	
キャベツ（葉球）	2	1.0% GR +20.0% SC	0.5 g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 300 L/10 a	1+2	*3*, 7, 14	圃場A：0.30 #7) 圃場B：0.12 #7)	圃場A：0.13/- 圃場B：0.05/-	
	2	20.0% SC	*200倍 0.5 L/トレイ 定植時苗灌注* +2000倍散布 300 L/10 a	1+2	*3*, 7, 14	圃場A：0.40 #7)(#) 圃場B：0.15 #7)(#)	圃場A：0.17/-/-(#) 圃場B：0.065/-/-(#)	◎
	4	20.0% SC	*200倍 0.5 L/トレイ 定植時苗灌注* +2000倍散布 300 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A：0.02 #7)(3回, 14日)(#) 圃場B：0.09 #7)(#) 圃場C：0.09 #7)(#) 圃場D：0.09 #7)(#)	圃場A：0.01/-/-(3回, 14日)(#) 圃場B：0.04/-/-(#) 圃場C：0.04/-/-(#) 圃場D：0.04/-/-(#)	

（別紙2-1）

イミダクロプリド作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計（mg/kg）[注1] イミダクロプリド/イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物（総イミダクロプリド）	残留濃度(mg/kg)[注2] 【イミダクロプリド/代謝物M01/代謝物M04】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
芽キャベツ（芽球）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：<0.47 #7)	圃場A：<0.2/-/-	
						圃場B：<0.47 #7)	圃場B：<0.2/-/-	
非結球芽キャベツ（本葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：<0.47 #7)	圃場A：<0.2/-/-	
						圃場B：<0.47 #7)	圃場B：<0.2/-/-	
非結球芽キャベツ（えき芽葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：1.18 #7)	圃場A：0.5/-/-	
						圃場B：<0.47 #7)	圃場B：<0.2/-/-	
みずな（茎葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	1	3, 7, 14	圃場A：1.97 #6)	圃場A：1.23/-	◎
						圃場B：3.48 #6)	圃場B：2.175/-	
	2			2	3, 7, 14	圃場A：1.82 #6)	圃場A：1.14/-/-	
						圃場B：3.02 #6)	圃場B：1.89/-/-	
ブロッコリー†（花蕾）	2	20.0% SC	2000倍散布 150, 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A：0.61 #6)（2回, 3日）	圃場A：0.38/-/-（2回, 3日）	
						圃場B：3.42 #6)（2回, 3日）	圃場B：2.14/-/-（2回, 3日）	
	2	20.0% SC +1.0% GR +20.0% SC	*200倍 0.5 L/トレイ 定植時苗灌注* +0.5 g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 150, 300 L/10 a	1+1+2	3, 7, 14	圃場A：0.38 #6)（4回, 3日）(#)	圃場A：0.24/-/-（4回, 3日）(#)	◎
						圃場B：2.75 #6)（4回, 3日）(#)	圃場B：1.72/-/-（4回, 3日）(#)	
	2	20.0% SC +1.0% GR +20.0% SC	*200倍 0.5 L/トレイ 定植時苗灌注* +0.5 g/株 定植時植穴土壌混和 +2000倍散布 295～300 L/10 a	1+1+2	3, 7	圃場A：0.23（4回, 3日）(#)	圃場A：0.12/-/-（4回, 3日）(#)	
						圃場B：0.81（4回, 3日）(#)	圃場B：0.63/-/-（4回, 3日）(#)	
わさび（花及び花茎）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A：5.45 #7)	圃場A：2.30/-/-	
						圃場B：1.75 #7)	圃場B：0.74/-/-	
わさび（葉及び葉柄）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A：3.22 #7)	圃場A：1.36/-/-	
						圃場B：0.64 #7)	圃場B：0.27/-/-	
わさび（根及び根茎）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A：0.30 #16)	圃場A：0.2/-/-	
						圃場B：0.09 #16)	圃場B：0.06/-/-	
なばな（花茎）	2	50.0% WG	10000倍散布 250 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A：3.73 #7)	圃場A：1.575/-/-	◎
						圃場B：1.05 #7)	圃場B：0.445/-/-	
ごぼう（根部）	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 200 L/10 a	1+2	7, 14, 21, 28	圃場A：<0.05 #16)	圃場A：<0.01/-/-	
						圃場B：<0.05 #16)	圃場B：0.01/-/-	
	2	1.0% GR	4 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 + 4 kg/10 a 株元散布			圃場A：<0.05 #16)	圃場A：0.015/-/-	
						圃場B：<0.05 #16)	圃場B：<0.01/-/-	
エンダイブ（茎葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 200, 303～560.6 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：3.71 #10)	圃場A：2.26/-/-	◎
						圃場B：3.62 #10)	圃場B：2.21/-/-	
レタス（茎葉）	2	1.0% GR +20.0% SC	0.5 g/株 定植時ポット処理 +4000倍散布 193～206 L/10 a	1+2	1, 3, 7, 14	圃場A：0.17 #9)	圃場A：0.14/-/-	
						圃場B：0.66 #9)	圃場B：0.53/-/-	
サラダ菜（茎葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A：0.57 #10)	圃場A：0.35/-/-	
						圃場B：0.24 #10)（2回, 14日）	圃場B：0.15/-/-（2回, 14日）	
リーフレタス（茎葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A：1.31 #10)	圃場A：0.8/-/-	◎
						圃場B：0.33 #10)	圃場B：0.2/-/-	
食用ぎく（花弁）	2	20.0% SC	4000倍散布 250～300 L/10 a	2	7, 14	圃場A：1.14 #10)	圃場A：0.70/-/-	
						圃場B：0.60 #10)	圃場B：0.37/-/-	
きく（葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A：<0.49 #11)	圃場A：<0.2/-/-	
						圃場B：<0.49 #11)	圃場B：<0.2/-/-	
ふき（茎）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A：0.20 #10)	圃場A：0.12/-/-	
						圃場B：0.13 #10)	圃場B：0.08/-/-	
ふきのとう（花蕾）	2	20.0% SC	4000倍散布 300 L/10 a	2	46, 60, 75	圃場A：0.05 #11)（2回, 46日）	圃場A：0.02/-/-（2回, 46日）	
					45, 60, 75	圃場B：0.15 #11)	圃場B：0.06/-/-	
葉ごぼう（可食部）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：1.46 #11)	圃場A：0.60/-/-	
						圃場B：2.78 #11)（2回, 21日）	圃場B：1.14/-/-（2回, 21日）	
すいぜんじな（茎葉）	2	50.0% WG	10000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A：0.66 #10)	圃場A：0.4/-/-	◎
						圃場B：4.26 #10)	圃場B：2.6/-/-	
たまねぎ（鱗茎）	2	50.0% WG	5000倍散布 200 L/10 a	2	14, 21	圃場A：<0.05 #16)	圃場A：<0.01/-/-	◎
						圃場B：<0.05 #16)	圃場B：<0.01/-/-	
たまねぎ（鱗茎）	2	20% SC	200倍 0.5 L/トレイ定植時苗灌注	1	125	圃場A：<0.05 #16)（1回, 125日）(#)	圃場A：<0.01/-/-（1回, 125日）(#)	
					88	圃場B：<0.05 #16)（1回, 88日）(#)	圃場B：<0.01/-/-（1回, 88日）(#)	
根深ねぎ（茎葉）	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 定植時植溝土壌混和 +2000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A：0.37 #11)	圃場A：0.15/-/-	◎
						圃場B：<0.02 #11)	圃場B：<0.01/-/-	
	1	20.0% SC	200倍 0.5 L/トレイ定植時苗灌注 +2000倍散布 200 L/10 a	1+2	7, 14, 21, 28	圃場A：0.07 #11)（3回, 21日）	圃場A：0.03/-/-（3回, 21日）	
葉ねぎ（茎葉）	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 定植時植溝土壌混和 +2000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A：0.10 #11)	圃場A：0.04/-/-	◎
						圃場B：0.54 #11)	圃場B：0.22/-/-	
	1	20.0% SC	200倍 0.5 L/トレイ定植時苗灌注 +2000倍散布 200 L/10 a	1+2	7, 14, 21, 28	圃場A：0.07 #11)	圃場A：0.03/-/-	
にら（茎葉）	3	1.0% GR	4 kg/10 a 定植時植溝土壌混和 +4 kg/10 a 株元散布	1+1	30, 45, 60	圃場A：<2.46 #2)	圃場A：<0.205($)/-/-	◎
						圃場B：3.54 #2)（2回, 45日）	圃場B：0.295/-/-（2回, 45日）	
						圃場C：0.48 #2)（2回, 60日）	圃場C：0.04/-/-（2回, 60日）	
にら（花茎）	2	1.0% GR	4 kg/10 a 定植時植溝土壌混和 +4 kg/10 a 株元散布	1+1	30, 45, 60	圃場A：<0.60 #2)	圃場A：<0.05/-/-	◎
						圃場B：<0.60 #2)	圃場B：<0.05/-/-	
アスパラガス（若茎）	2	20.0% SC	2000倍散布 300 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.157 #8)	圃場A：0.14/-/-	◎
						圃場B：0.336 #8)	圃場B：0.30/-/-	
	2	50.0% WG	5000倍散布 300 L/10 a			圃場A：<0.056 #8)	圃場A：<0.05/-/-	
						圃場B：<0.056 #8)	圃場B：<0.05/-/-	
わけぎ（茎葉）	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 定植時植溝土壌混和 +2000倍散布 300 L/10 a	1+2	3, 7, 14	圃場A：0.868 #9)	圃場A：0.7/-/-	◎
						圃場B：1.24 #9)	圃場B：1.0/-/-	
食用ゆり（鱗茎）	2	50.0% WG	5000倍散布 300 L/10 a	3	1, 7, 14, 21	圃場A：<0.05 #16)	圃場A：<0.01/-/-	
						圃場B：<0.05 #16)	圃場B：<0.01/-/-	
にんじん（根部）	2	50.0% WG	10000倍散布 200, 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A：<0.05 #16)	圃場A：<0.01/-/-	
						圃場B：<0.05 #16)	圃場B：0.02/-/-	
パセリ（茎葉）	2	1.0% GR	0.5 g/株 定植時植溝土壌混和 +3 kg/10 a 株元散布	1+1	14, 21, 28	圃場A：11.28 #2)	圃場A：0.94/-/-	
						圃場B：4.08 #2)	圃場B：0.34/-/-	
	2	1.0% GR +20.0% SC	0.5 g/株 定植時植溝土壌混和 +4000倍散布 200 L/10 a	1+1	7, 14, 21	圃場A：3.416 #11)	圃場A：1.4/-/-	◎
						圃場B：3.172 #11)	圃場B：1.3/-/-	

イミダクロプリド作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計（mg/kg）[注1] イミダクロプリド/イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物（総イミダクロプリド）	残留濃度(mg/kg)[注2] 【イミダクロプリド/代謝物M01/代謝物M04】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
セルリー（茎葉）	3	20.0% SC	4000倍散布 182,200 L/10 a	3	7,14,21	圃場A：0.48 [#10]	圃場A：0.295/-/-	
						圃場B：0.96 [#10]	圃場B：0.59/-/-	
						圃場C：1.67 [#10]	圃場C：1.02/-/-	
みつば（茎葉）	2	50.0% WG	10000倍散布 150,200 L/10 a	2	7,14,21	圃場A：4.54 [#10]	圃場A：2.77/-/-	◎
						圃場B：4.10 [#10]	圃場B：2.50/-/-	
はまぼうふう（茎葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	7,14,21	圃場A：0.30 [#10]	圃場A：0.18/-/-	
						圃場B：0.16 [#10]	圃場B：0.10/-/-	
トマト（果実）	2	1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴処理 +*2000*倍散布 300 L/10 a	1+2	1,3,7	圃場A：0.33 [#3]（3回,1日）(#)	圃場A：0.26/-/-(3回,1日)(#)	◎
						圃場B：0.126 [#3]（3回,1日）(#)	圃場B：0.10/-/-(3回,1日)(#)	
ミニトマト（果実）	4	1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴処理 +*2000*倍散布 200,300 L/10 a	1+2	1,3,7,14	圃場A：0.284 [#3]（3回,1日）(#)	圃場A：0.225/-/-(3回,1日)(#)	◎
						圃場B：0.636 [#3]（3回,14日）(#)	圃場B：0.505/-/-(3回,14日)(#)	
		1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴処理 +*2000*倍散布 194～202 L/10 a	1+2	1,3,7,14	圃場C：0.176 [#3]（3回,7日）(#)	圃場C：0.14/-/-(3回,7日)(#)	
						圃場D：0.113 [#3]（3回,1日）(#)	圃場D：0.09/-/-(3回,1日)(#)	
ピーマン（果実）	5	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴処理 +5000倍散布 150,250 L/10 a	1+2	1,3,7	圃場A：1.008 [#3]	圃場A：0.8/-/-	◎
						圃場B：0.882 [#3]	圃場B：0.7/-/-	
		1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴処理 +*2000*倍散布 200,300 L/10 a	1+2	1,3,7,14	圃場C：0.504 [#3]（3回,1日）(#)	圃場C：0.40/-/-(3回,1日)(#)	
						圃場D：1.808 [#3]（3回,1日）(#)	圃場D：1.435/-/-(3回,1日)(#)	
		1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴処理 +*2000*倍散布 196～202 L/10 a	1+2	1,3,7	圃場E：0.454 [#3]（3回,1日）(#)	圃場E：0.36/-/-(3回,1日)(#)	
なす（果実）	2	1.0% GR	2 g/株 定植時植穴処理	1	47,57	圃場A：<0.05 [#5]（1回,47日）	圃場A：*<0.005/*<0.008($)/*<0.005(*1回,47日)	
					65,75	圃場B：<0.05 [#5]（1回,65日）	圃場B：*<0.005/*<0.008($)/*<0.005(*1回,65日)	
	2	1.0% GR +10.0% WP	2 g/株 定植時植穴処理 +2000倍散布 200 L/10 a	1+2	1,3	圃場A：0.18	圃場A：0.107/<0.008($)/<0.005	
						圃場B：0.10(3回,3日)	圃場B：0.076/<0.008($)/<0.005	
	2	1.0% GR +10.0% WP	2 g/株 定植時植穴処理 +100 g/5 L/10 a 常温煙霧処理	1+2	1,3,7	圃場A：<0.05 [#5]	圃場A：0.035/-/-	
						圃場B：0.12 [#3]	圃場B：0.10/-/-	
	4	1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴処理 +*2000*倍散布 280,300 L/10 a	1+2	1,3,7	圃場A：0.712 [#3]（3回,1日）(#)	圃場A：0.565/-/-(3回,1日)(#)	◎
						圃場B：0.353 [#3]（3回,1日）(#)	圃場B：0.28/-/-(3回,3日)(#)	
		1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴処理 +*2000*倍散布 280,300 L/10 a	1+2	1,3,7	圃場C：0.113 [#3]（3回,1日）(#)	圃場C：0.09/-/-(3回,1日)(#)	
						圃場D：0.113 [#3]（3回,1日）(#)	圃場D：0.09/-/-(3回,1日)(#)	
ししとう（果実）	2	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +5000倍散布 300,120 L/10 a	1+2	1,3,7	圃場A：1.89 [#3]	圃場A：1.5/-/-	◎
						圃場B：1.51 [#3]	圃場B：1.2/-/-	
伏見甘長とうがらし（果実）	2	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +5000倍散布 300,289.4 L/10 a	1+2	1,3,7	圃場A：1.44 [#3]（3回,3日）	圃場A：1.15/-/-(3回,3日)	
						圃場B：1.89 [#3]	圃場B：1.5/-/-	
きゅうり（果実）	2	1.0% GR	2 g/株 定植時植穴処理	1	41,51	圃場A：<0.05(1回,41日)	圃場A：*0.009/*<0.008($)/*<0.005(*1回,41日)	
					38,48	圃場B：<0.05(1回,38日)	圃場B：*<0.005/*<0.008($)/*<0.005(*1回,38日)	
	2	1.0% GR +10.0% WP	2 g/株 定植時植穴処理 +100 g/5 L/10 a 常温煙霧処理	1+3	1,3	圃場A：0.05 [#3]	圃場A：0.04/-/-	
					1,3,7	圃場B：0.05 [#3]	圃場B：0.04/-/-	
	2	1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +*2000*倍散布 150～200,300 L/10 a	1+3	1,3,7	圃場A：0.498 [#3]（4回,1日）(#)	圃場A：0.395/-/-(4回,1日)(#)	◎
						圃場B：0.189 [#3]（4回,1日）(#)	圃場B：0.15/-/-(4回,1日)(#)	
かぼちゃ（果実）	2	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +10000倍散布 188.9,200 L/10 a	1+2	1,3,7	圃場A：<0.05 [#3]（3回,3日）	圃場A：0.02/-/-(3回,3日)	
						圃場B：<0.05 [#3]	圃場B：0.035/-/-	
	2	1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +4000倍散布 300 L/10 a	1+2	1,3,7	圃場A：0.095 [#3]	圃場A：0.075/-/-	
						圃場B：0.120 [#3]	圃場B：0.095/-/-	
すいか（果実）	2	1.0% GR +20.0% SC	5 g/株 定植時植穴土壌混和 +*2000*倍散布 204～295 L/10 a	1+3	3,7,14	圃場A：0.095 [#4]（4回,3日）(#)	圃場A：0.06/-/-(4回,3日)(#)	◎
						圃場B：0.103 [#4]（4回,3日）(#)	圃場B：0.065/-/-(4回,3日)(#)	
すいか（果肉）	2	1.0% GR +20.0% SC	5 g/株 定植時植穴土壌混和 +*2000*倍散布 204～295 L/10 a	1+3	3,7,14	圃場A：- [#5]	圃場A：0.025/-/-(4回,14日)(#)	
						圃場B：- [#5]	圃場B：0.015/-/-(4回,14日)(#)	
メロン（果実）	3	20.0% SC	*2000*倍散布　250～281　L/10 a	3	3,7,14	圃場A：0.413 [#4]（#）	圃場A：0.26/-/-(#)	◎
						圃場B：0.382 [#4]（#）	圃場B：0.24/-/-(#)	
						圃場C：0.318 [#4]（#）	圃場C：0.20/-/-(#)	
メロン（果肉）	3	20.0% SC	*2000*倍散布　250～281　L/10 a	3	3,7,14	圃場A：- [#5]	圃場A：0.03/-/-(#)	
						圃場B：- [#5]	圃場B：<0.01/-/-(#)	
						圃場C：- [#5]	圃場C：0.02/-/-(#)	
メロン（果肉）	2	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +5000倍散布 300,250 L/10 a	1+3	3,7,14	圃場A：- [#5]	圃場A：0.025/-/-	
						圃場B：- [#5]	圃場B：0.025/-/-(4回,7日)	
	2	1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +*2000*倍散布 300 L/10 a	1+3	3,7,14	圃場A：- [#5]	圃場A：0.02/-/-(4回,7日)(#)	
						圃場B：- [#5]	圃場B：<0.01/-/-(4回,3日)(#)	
まくわうり（果肉）	2	1.0% GR	1 g/株 定植時植穴土壌混和	1	70,80,90	圃場A：<0.05 [#5]	圃場A：<0.02/-/-(1回,70日)	
						圃場B：<0.05 [#5]	圃場B：<0.02/-/-(1回,70日)	
にがうり（可食部）	2	10.0% WP	2000倍散布 250 L/10 a	2	1,3,7	圃場A：0.214 [#3]	圃場A：0.17/-/-	◎
						圃場B：0.510 [#3]	圃場B：0.405/-/-	
ほうれんそう（茎葉）	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 150～200 L/10 a	1+*2*	1,3,7	圃場A：3.198 [#10]（#）	圃場A：1.95/-/-(#)	
						圃場B：9.438 [#10]（#）	圃場B：5.755/-/-(#)	
	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布116～120 L/10 a	1+*2*	1,3,7	圃場A：0.82 [#10]（#）	圃場A：0.50/- (#)	
						圃場B：0.164 [#10]（#）	圃場B：0.10-/-(#)	
	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 119～203 L/10 a	1+*2*	1,3,7	圃場A：0.492 [#10]（#）	圃場A：0.30/-/-(#)	
						圃場B：1.181 [#10]（#）	圃場B：0.72/-/-(#)	
	6	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 播種時播溝土壌混和 +4000倍散布 167～190 L/10 a	1+1	*1,3*,7,14	圃場A：2.11	圃場A：0.86/-/-	◎
						圃場B：6.20	圃場B：3.90/-/-	
						圃場C：3.76	圃場C：2.42/-/-	
						圃場D：2.98	圃場D：1.76/-/-	
						圃場E：6.63	圃場E：3.88/-/-	
						圃場F：5.44	圃場F：3.71/-/-	
オクラ（さや）	2	20.0% SC	4000倍散布 132～200 L/10 a	3	1,2,3,7	圃場A：0.151 [#3]	圃場A：0.12/-/-	◎
						圃場B：0.265 [#3]	圃場B：0.21/-/-	
さやいんげん（さや）	2	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +10000倍散布 100,300 L/10 a	1+2	1,3,7,14	圃場A：0.22 [#3]	圃場A：0.175/-/-	
						圃場B：0.34 [#3]	圃場B：0.27/-/-	
さやえんどう（さや）	2	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +10000倍散布 300 L/10 a	1+2	1,3,7,14	圃場A：0.20 [#3]	圃場A：0.16/-/-	
						圃場B：0.16 [#3]	圃場B：0.125/-/-	
えだまめ（さや）	2	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +10000倍散布 200 L/10 a	1+2	1,3,7,14	圃場A：0.59 [#3]（3回,3日）	圃場A：0.47/-/-(3回,3日)	◎
						圃場B：0.51 [#3]（3回,3日）	圃場B：0.405/-/-(3回,3日)	
	1	1.0% GR +50.0% WG	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +10000倍散布 195～200 L/10 a	1+2	1,3,7	圃場A：0.38 [#3]	圃場A：0.30/-/-	
未成熟ささげ（さや）	2	1.0% GR +20.0% SC	2 g/株 定植時植穴土壌混和 +4000倍散布 200 L/10 a	1+2	1,3,7,14	圃場A：0.11 [#3]	圃場A：0.09/-/-	
						圃場B：0.16 [#3]	圃場B：0.13/-/-	

（別紙2-1）

イミダクロプリド作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計（mg/kg）[注1] イミダクロプリド/イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物（総イミダクロプリド）	残留濃度(mg/kg)[注2] 【イミダクロプリド/代謝物M01/代謝物M04】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
未成熟そらまめ（可食部）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14	圃場A：0.159 [#4]	圃場A：0.10/-/-	
						圃場B：0.262 [#4]	圃場B：0.165/-/-	
れんこん（可食部）	2	1.0% GR	3 kg/10 a 植付時植溝土壌混和 +6 kg/10 a 散布	1+2	7, 14, 21	圃場A：<0.05 [#16]（3回, 14日）(#)	圃場A：<0.01/-/-（3回, 14日）(#)	
						圃場B：<0.05 [#16]（3回, 14日）(#)	圃場B：<0.01/-/-（3回, 14日）(#)	
	2	1.0% GR +20.0% SC	3 kg/10 a 植付時植溝土壌混和 +4000倍散布 150 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A：<0.05 [#16]	圃場A：<0.01/-/-	
						圃場B：<0.05 [#16]	圃場B：<0.01/-/-	
モロヘイヤ（可食部）	2	20.0% SC	2000倍散布 300 L/10 a	1	3, 7, 14	圃場A：0.98 [#11]	圃場A：0.4/-/-	◎
						圃場B：2.44 [#11]	圃場B：1.0/-/-	
やまのいも（むかご）	2	1.0% GR	4 kg/10 a 植付時植溝土壌混和	1	210	圃場A：- [#0]	圃場A：0.06/-/-	
					140	圃場B：- [#0]	圃場B：<0.05/-/-	
くわい（塊茎）	2	20.0% SC	4000倍散布 300 L/10 a	3	21, 30, 42	圃場A：<0.05 [#16]	圃場A：<0.01/-/-	
					21, 28, 43	圃場B：<0.05 [#16]	圃場B：<0.01/-/-	
ふだんそう（茎葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：2.79 [#10]	圃場A：1.70/-/-	
						圃場B：3.30 [#10]	圃場B：2.01/-/-	
食用さくら（茎葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 300 L/10 a	1	3, 7, 14	圃場A：0.99 [#9]	圃場A：0.80/-/-	
						圃場B：0.45 [#9]	圃場B：0.36/-/-	
食用プリムラ（花器全体）	2	20.0% SC	4000倍散布 150 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：0.56 [#11]	圃場A：0.23/-/-	
						圃場B：0.44 [#11]	圃場B：0.18/-/-	
じゅんさい（葉）	2	1.0% GR	3 kg/10 a 散布	2	1, 3, 7, 14	圃場A：0.313 [#8]（2回, 3日）	圃場A：0.28/-/-（2回, 3日）	
						圃場B：0.246 [#8]	圃場B：0.22/-/-	
うど（軟化茎葉）	2	20.0% SC	2000倍散布 200 L/10 a	3	60	圃場A：<0.05 [#16]	圃場A：<0.01/-/-	
						圃場B：<0.05 [#16]	圃場B：<0.01/-/-	
さといも（葉柄）	2	1.0% GR +50.0% WG	4 kg/10 a 植付時植溝土壌混和 +10000倍散布 200 L/10 a	1+2	1, 3, 7	圃場A：0.112 [#8]	圃場A：0.10/-/-	
						圃場B：0.269 [#8]	圃場B：0.24/-/-	
アマランサス（茎葉）	3	20.0% SC	5000倍散布 300 L/10 a	2	1, 2, 4, 7	圃場A：4.76 [#10]	圃場A：2.9/-/-	◎
					1, 3, 7, 14	圃場B：<0.82 [#10]	圃場B：<0.5/-/-	
					1, 3, 7, 16	圃場C：2.95 [#10]	圃場C：1.8/-/-	
食用かえで（葉、葉柄及び枝）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	14, 21, 28	圃場A：5.90 [#11]	圃場A：2.42/-/-	◎
						圃場B：5.10 [#11]	圃場B：2.09/-/-	
温州みかん（果肉）	2	20.0% SC	2000倍散布 500, 700 L/10 a	3	14, 30, 45	圃場A：<0.05 [#21]	圃場A：0.015/-/-	△
						圃場B：0.067 [#21]	圃場B：0.04/-/-	
温州みかん（果皮）	2	20.0% SC	2000倍散布 500, 700 L/10 a	3	14, 30, 45	圃場A：1.42 [#20]	圃場A：0.98/-/-	◎
						圃場B：3.07 [#20]	圃場B：2.12/-/-	
温州みかん（果実）	2	20.0% SC	2000倍散布 500, 700 L/10 a	3	14, 30, 45	圃場A：0.564 [#14]	圃場A：0.245/-/-[注3]	○
						圃場B：1.081 [#14]	圃場B：0.47/-/-[注3]	
夏みかん（果肉）	2	20.0% SC	2000倍散布 400 L/10 a	3	14, 21	圃場A：<0.05 [#21]	圃場A：<0.01/-/-	
						圃場B：<0.05 [#21]	圃場B：<0.01/-/-	
	1		10倍無人ヘリ散布 2.5 L/10 a	3	14	圃場A：<0.05 [#21]（#）	圃場A：<0.01/-/-（#）	
夏みかん（果皮）	2	20.0% SC	2000倍散布 400 L/10 a	3	14, 21	圃場A：0.486 [#20]	圃場A：0.335/-/-	
						圃場B：0.950 [#20]	圃場B：0.655/-/-	
	1		10倍無人ヘリ散布 2.5 L/10 a	3	14	圃場A：0.239 [#20]（#）	圃場A：0.165/-/-（#）	
夏みかん（果実）	2	20.0% SC	2000倍散布 400 L/10 a	3	14, 21	圃場A：0.299 [#14]	圃場A：0.13/-/-	◎
						圃場B：0.518 [#14]（3回, 21日）	圃場B：0.225/-/-（3回, 21日）	
	1		10倍無人ヘリ散布 2.5 L/10 a	3	14	圃場A：0.115 [#14]（#）	圃場A：0.05/-/-（#）	
いよかん（果肉）	1	20.0% SC	10倍無人ヘリ散布 2.5 L/10 a	3	14	圃場A：<0.05 [#21]（#）	圃場A：<0.01/-/-（#）	
いよかん（果皮）	1	20.0% SC	10倍無人ヘリ散布 2.5 L/10 a	3	14	圃場A：0.29 [#20]（#）	圃場A：0.20/-/-（#）	
いよかん（果実）	1	20.0% SC	10倍無人ヘリ散布 2.5 L/10 a	3	14	圃場A：0.138 [#14]（#）	圃場A：0.06/-/-（#）	
すだち（果実）	1	20.0% SC	2000倍散布 250 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A：0.07 [#14]	圃場A：0.03/-/-	◎
	1		10倍無人ヘリ散布 2.5 L/10 a	3	14	圃場A：0.37 [#14]（#）	圃場A：0.16/-/-（#）	
かぼす（果実）	1	20.0% SC	2000倍散布 600 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A：0.60 [#14]	圃場A：0.26/-/-	◎
	1		10倍無人ヘリ散布 2.5 L/10 a	3	15	圃場A：0.12 [#14]（#）	圃場A：0.05/-/-（#）	
りんご（果実）	2	10.0% WP	1000倍散布 500 L/10 a	2	21, 30, 45	圃場A：0.22（2回, 30日）	圃場A：*0.096/**0.015/*<0.005（*2回, 21日、**2回, 45日）	
						圃場B：0.13（2回, 21日）	圃場B：*0.027/*<0.008（$）/*<0.005（*2回, 21日）	
	2	50.0% WG	5000倍散布 600 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A：0.286 [#4]	圃場A：0.18/-/-	◎
						圃場B：0.175 [#4]	圃場B：0.11/-/-	
なし（果実）	2	10.0% WP	1000倍散布 400 L/10 a	2	30, 37	圃場A：0.36（2回, 30日）	圃場A：*0.180/*0.027/*<0.005（*2回, 30日）	
					30, 45	圃場B：0.18（2回, 30日）	圃場B：*0.053/*0.018/*<0.005（*2回, 30日）	
	2	20.0% SC	2000倍散布 350, 400 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A：0.230 [#4]（2回, 3日）(#)	圃場A：0.145/-/-（2回, 3日）(#)	
						圃場B：0.294 [#4]（#）	圃場B：0.185/-/-（#）	
びわ（果実（無袋））	4	20.0% SC	2000倍散布 400 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：3.40 [#17]	圃場A：2.01/-/-[注3]	◎
		20.0% SC	2000倍散布 400, 533 L/10 a	2	7, 9, 14	圃場B：0.93 [#17]	圃場A：0.55/-/-[注3]	
						圃場C：0.29 [#17]	圃場B：0.17/-/-[注3]	
						圃場D：1.37 [#17]	圃場C：0.81/-/-[注3]	
もも（果肉）	2	10.0% WP	1000倍散布 400 L/10 a	2	30, 45	圃場A：0.27（2回, 45日）	圃場A：*0.157/*<0.008（$）/*<0.005（*2回, 30日）	
						圃場B：0.28（2回, 30日）	圃場B：*0.131/*<0.008（$）/*<0.005（*2回, 30日）	
	2	20.0% SC	2000倍散布 400 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A：0.239 [#4]（2回, 3日）(#)	圃場A：0.15/-/-（2回, 3日）(#)	△
						圃場B：0.223 [#4]（2回, 3日）(#)	圃場B：0.14/-/-（2回, 3日）(#)	
もも（果皮）	2	10.0% WP	1000倍散布 400 L/10 a	2	30, 45	圃場A：- [#0]	圃場A：*0.480/*0.471/*0.0315（*2回, 30日）	
						圃場B：- [#0]	圃場B：*0.380/**0.371/*0.028（*2回, 30日、**2回, 45日）	
	2	20.0% SC	2000倍散布 400 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A：- [#0]	圃場A：0.9/-/-（2回, 3日）(#)	
						圃場B：- [#0]	圃場B：1.7/-/-（2回, 3日）(#)	
もも（果実）	2	10.0% WP	1000倍散布 400 L/10 a	2	30, 45	圃場A：0.79 [#13]（2回, 30日）	圃場A：*0.191/**0.052/*0.003[注4]（*2回, 30日、**2回, 45日）	
						圃場B：0.67 [#13]（2回, 30日）	圃場B：*0.163/**0.041/*0.0035[注4]（*2回, 30日、**2回, 45日）	
	2	20.0% SC	2000倍散布 400 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A：0.421 [#4]（#）	圃場A：0.265/-/-[注4]（#）	○
						圃場B：0.580 [#4]（#）	圃場B：0.365/-/-[注4]（#）	
ネクタリン（果実）	2	10.0% WP	1000倍散布 15 L/樹, 700 L/10 a	2	1, 3, 7, 14, 21	圃場A：0.61 [#18]	圃場A：0.28/-/-	
						圃場B：0.39 [#18]（2回, 21日）	圃場B：0.18/-/-（2回, 21日）	
あんず（果実）	2	20.0% SC	5000倍散布 400, 300 L/10 a	2	3, 7, 11, 18	圃場A：0.621 [#18]	圃場A：0.285/-/-	
					7, 14, 21	圃場B：0.371 [#18]	圃場B：0.17/-/-	
すもも（果実）	2	10.0% WP	2000倍散布 300, 400 L/10 a	2	21, 28	圃場A：0.096 [#12]	圃場A：0.03/-/-	
						圃場B：<0.05 [#12]	圃場B：<0.01/-/-	

（別紙2-1）

イミダクロプリド作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計（mg/kg）[注1] イミダクロプリド/イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物（総イミダクロプリド）	残留濃度(mg/kg)[注2] 【イミダクロプリド/代謝物M01/代謝物M04】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
うめ（果実）	2	10.0% WP	2000倍散布 300,400 L/10 a	2	21,28	圃場A：0.208 [#12]	圃場A：0.065/-/-	
						圃場B：0.176 [#12]	圃場B：0.055/-/-	
いちご（果実）	2	1.0% GR	*1* g/株 定植時植穴処理	1	105,113	圃場A：0.05 [#19]（1回,105日）(#)	圃場A：0.01/-/-（1回,105日）(#)	
					150,160	圃場B：0.125 [#19]（1回,150日）(#)	圃場B：0.025/-/-（1回,150日）(#)	
ぶどう（果実）	2	10.0% WP	1000倍散布 300 L/10 a	2	21,30	圃場A：1.64	圃場A：1.209/0.01/0.006	◎
						圃場B：0.39	圃場B：0.208/<0.01/<0.01	
ぶどう（果実）	2	50.0% WG	5000倍散布 300 L/10 a	2	21,28	圃場A：1.069 [#15]	圃場A：0.78/-/-	
						圃場B：0.562 [#15]（2回,28日）	圃場B：0.41/-/-（2回,28日）	
ぶどう（果実）	4	10.0% WP	*50*倍常温煙霧 10 L/10 a	2	21,30,45	圃場A：0.10 [#15]（#）	圃場A：0.07/-/-（#）	
						圃場B：0.08 [#15]（#）	圃場B：0.06/-/-（#）	
						圃場C：0.08 [#15]（#）	圃場C：0.055/-/-（#）	
						圃場D：0.14 [#15]（#）	圃場D：0.10/-/-（#）	
かき（果実）	2	10.0% WP	1000倍散布 500 L/10 a	3	7,14,21	圃場A：0.575 [#17]（3回,21日）	圃場A：0.34/-/-（3回,21日）	◎
					7,15,21	圃場B：0.414 [#17]	圃場B：0.245/-/-	
キウイフルーツ（果肉）	5	20.0% SC	2000倍散布 333～380 L/10 a	2	1	圃場A：－[#0]	圃場A：0.0107/-/-	
						圃場B：－[#0]	圃場B：0.058/-/-	
					1,3,7	圃場C：－[#0]	圃場C：0.008/-/-	
						圃場D：－[#0]	圃場D：0.004/-/-	
						圃場E：－[#0]	圃場E：0.002/-/-	
キウイフルーツ（果実）	5	20.0% SC	2000倍散布 333～380 L/10 a	2	1	圃場A：1.90 [#3]	圃場A：1.51/-/-	◎
						圃場B：8.78 [#3]	圃場B：6.97/-/-	
					1,3,7	圃場C：1.73 [#3]	圃場C：1.37/-/-	
						圃場D：0.709 [#3]	圃場D：0.563/-/-	
						圃場E：0.830 [#3]	圃場E：0.659/-/-	
マンゴー（果実）	2	10.0% WP	*1000*倍散布 450 L/10 a	2	14,21,30	圃場A：0.883 [#18]（#）	圃場A：0.405/-/-（#）	◎
						圃場B：0.850 [#18]（#）	圃場B：0.39/-/-（#）	
パッションフルーツ（果実）	2	50.0% WG	10000倍散布 250,625 L/10 a	2	7,14,21	圃場A：0.254 [#17]	圃場A：0.15/-/-	◎
						圃場B：0.473 [#17]	圃場B：0.28/-/-	
アセロラ（果実）	2	20.0% SC	4000倍散布 400,500 L/10 a	2	7,14,21	圃場A：0.30 [#17]	圃場A：0.18/-/-	
						圃場B：0.51 [#17]	圃場B：0.30/-/-	
ピタヤ（果実）	2	20.0% SC	2000倍散布 200 L/10 a	2	7,14,21	圃場A：0.439 [#17]	圃場A：0.26/-/-	
						圃場B：0.186 [#17]	圃場B：0.11/-/-	
アテモヤ（果実）	2	50.0% WG	10000倍散布 270, 300 L/10 a	2	7,14,21	圃場A：0.30 [#17]	圃場A：0.18/-/-	
						圃場B：<0.05 [#17]	圃場B：<0.02/-/-	
くり（果実）	2	10.0% WP	1000倍散布 300 L/10 a	3	7,14,21	圃場A：<0.05 [#17]	圃場A：<0.01/-/-	◎
					7,13,21	圃場B：<0.05 [#17]	圃場B：<0.01/-/-	
ギンナン（種子）	2	20.0% SC	2000倍散布 300 L/10 a	2	1,7,14	圃場A：<0.05 [#3]	圃場A：<0.005/-/-	◎
						圃場B：<0.05 [#3]	圃場B：0.01/-/-	
ごま（種子）	2	1.0% GR	3 kg/10 a 播種時播溝土壌混和	1	86	圃場A：<0.05 [#1]	圃場A：<0.01/-/-	◎
					81	圃場B：<0.05 [#1]	圃場B：<0.01/-/-	
茶（荒茶）	2	10.0% WP	1000倍散布 200 L/10 a	1	13,20,27	圃場A：4.96 [#11]（1回,13日）	圃場A：*2.035/*1.04/*0.03（*1回,13日）	
					14,21,28	圃場B：4.00 [#11]（1回,14日）	圃場B：*1.64/**0.82/*<0.01（*1回,14日、**1回,21日）	
	2	*50.0% WG*	5000倍散布 200 L/10 a	1	7,14,21	圃場A：5.61 [#10]（#）	圃場A：3.42/-/-（#）	
						圃場B：6.00 [#10]（#）	圃場B：3.66/-/-（#）	
茶（浸出液）	2	10.0% WP	1000倍散布 200 L/10 a	1	13,20,27	圃場A：4.45 [#11]（1回,13日）	圃場A：*1.825/*0.85/*0.02（*1回,13日）	
					14,21,28	圃場B：3.68 [#11]（1回,14日）	圃場B：*1.51/**0.48/*<0.01（*1回,14日、**1回,21日）	
	2	*50.0% WG*	5000倍散布 200 L/10 a	1	7,14,21	圃場A：4.14 [#10]（#）	圃場A：2.53/-/-（#）	
						圃場B：5.42 [#10]（#）	圃場B：3.31/-/-（#）	
コリアンダー（茎葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 150,200 L/10 a	2	3,7,14	圃場A：1.84 [#9]	圃場A：1.49/-/-	
						圃場B：1.32 [#9]	圃場B：1.07/-/-	
あさつき（茎葉）	2	1.0% GR +20.0% SC	4 kg/10 a 定植時植溝土壌混和 +2000倍散布 300 L/10 a	1+2	3,7,14	圃場A：2.98 [#9]	圃場A：2.4/-/-	
						圃場B：1.74 [#9]	圃場B：1.4/-/-	
しそ（葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	*1*,3,7,14	圃場A：5.46 [#9]	圃場A：4.4/-/-	
						圃場B：10.5 [#9]	圃場B：8.5/-/-	
バジル（茎葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	*1*,*3*,7	圃場A：3.94 [#10]	圃場A：2.40/-/-	
						圃場B：3.21 [#10]	圃場B：1.96/-/-	
しそ（花穂）	2	20.0% SC	4000倍散布 150 L/10 a	2	7,14,21	圃場A：2.76 [#10]	圃場A：1.68/-/-	
						圃場B：0.30 [#10]	圃場B：0.18/-/-	
みょうが（花穂）	2	50.0% WG	10000倍散布 300, 350 L/10 a	2	1,3,7	圃場A：<0.05 [#8]	圃場A：<0.02/-/-	
						圃場B：<0.05 [#8]	圃場B：<0.04/-/-	
さんしょう（葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	3	14,21,28	圃場A：12.4 [#11]	圃場A：5.08/-/-	
						圃場B：16.6 [#11]	圃場B：6.79/-/-	

（別紙2-1）

イミダクロプリド作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計（mg/kg）注1) イミダクロプリド/イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物（総イミダクロプリド）	残留濃度(mg/kg)注2) 【イミダクロプリド/代謝物M01/代謝物M04】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
やなぎたで（茎葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 300 L/10 a	3	3,7,14	圃場A：9.67 #9)	圃場A：7.8/-/-	◎
						圃場B：11.9 #9)	圃場B：9.6/-/-	
なんてん（葉）	2	20.0% SC	4000倍散布 200 L/10 a	2	*7,14*,21	圃場A：12.2 #11)	圃場A：5.00/-/-	◎
						圃場B：0.78 #11)	圃場B：0.32/-/-	

-：分析せず
SC：フロアブル
WP：水和剤
WG：顆粒水和剤
GR：粒剤
DS：粉剤

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

($)同一圃場から採取された１つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。

基準値の設定の根拠に○、暴露評価に使用されているものに△、基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物の測定値がない農作物は以下の方法で総残留濃度を算出した。

#0)参照可能な補正係数が得られなかったため、各化合物の残留濃度の合計（総残留濃度）は算出しなかった。

#1)水稲（玄米）の作物残留試験成績（収穫前期間：21日）より算出した補正係数2.46をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
ただし、総残留濃度の定量限界（0.05 mg/kg)未満となる場合は、<0.05とする。

#2)だいこん（葉）の作物残留試験成績（収穫前期間：42日）より算出した補正係数12.0をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#3)なすの作物残留試験成績（収穫前期間：1日）より算出した補正係数1.26をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
ただし、総残留濃度の定量限界（0.05 mg/kg)未満となる場合は、<0.05とする。

#4)なすの作物残留試験成績（収穫前期間：3日）より算出した補正係数1.59をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#5)きゅうりの定植時植穴処理の作物残留試験成績（収穫期間38～51日）より、総残留濃度は<0.05とした。

#6)ブロッコリーの作物残留試験成績（収穫前期間：3日）より算出した補正係数1.60をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#7)ブロッコリーの作物残留試験成績（収穫前期間：7日）より算出した補正係数2.37をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#8)ほうれんそうの作物残留試験成績（収穫前期間：1日）より算出した補正係数1.12をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
ただし、総残留濃度の定量限界（0.05 mg/kg)未満となる場合は、<0.05とする。

#9)ほうれんそうの作物残留試験成績（収穫前期間：3日）より算出した補正係数1.24をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#10)ほうれんそうの作物残留試験成績（収穫前期間：7日）より算出した補正係数1.64をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#11)ほうれんそうの作物残留試験成績（収穫前期間：14日）より算出した補正係数2.44をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
ただし、総残留濃度の定量限界（0.05 mg/kg)未満となる場合は、<0.05とする。

#12)りんごの作物残留試験成績（収穫前期間：21日）より算出した補正係数3.20をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
ただし、総残留濃度の定量限界（0.05 mg/kg)未満となる場合は、<0.05とする。

#13)りんごの作物残留試験成績（収穫前期間：30日）より算出した補正係数4.13をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#14)JMPR（2002年）のオレンジの作物残留試験成績（収穫前期間：14日及び15日）より算出した補正係数2.3をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#15)ぶどうの作物残留試験成績（収穫前期間：21日）より算出した補正係数1.37をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#16)ばれいしょの作物残留試験成績（収穫前期間：14日）より算出した補正係数1.49をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
ただし、総残留濃度の定量限界（0.05 mg/kg)未満となる場合は、<0.05とする。

#17)JMPR（2002年）の仁果類（Pome fruits)の作物残留試験成績（収穫前期間：7日）より算出した補正係数1.69をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
ただし、総残留濃度の定量限界（0.05 mg/kg)未満となる場合は、<0.05とする。

#18)JMPR（2002年）の核果類（Stone fruits)の作物残留試験成績（収穫前期間：14日）より算出した補正係数2.18をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
ただし、総残留濃度の定量限界（0.05 mg/kg)未満となる場合は、<0.05とする。

#19)JMPR（2002年）のピーマンの作物残留試験成績（点滴灌漑、収穫前期間：56日）より算出した補正係数5をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#20)JMPR（2002年）のオレンジの果皮の作物残留試験成績（収穫前期間：14日及び15日）より算出した補正係数1.45をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。

#21)JMPR（2002年）のオレンジの果肉の作物残留試験成績（収穫前期間：15日）より算出した補正係数1.67をイミダクロプリドの濃度に乗じて総残留濃度を算出した。
ただし、総残留濃度の定量限界（0.05 mg/kg)未満となる場合は、<0.05とする。

注1）イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物の合計濃度（イミダクロプリドに換算した値）を示した。

注2）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。
6-クロロピリジル基を有する代謝物の代謝物M01及び代謝物M04の残留濃度は、イミダクロプリドに換算した値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

注3）作物残留試験において測定した果肉及び果皮の重量比のデータから、果実全体の残留濃度を算出した。
注4）種子の重量割合が不明のため、作物残留試験等のデータから、種子8%として果実全体の残留濃度を算出した。また、種子の残留濃度は測定していないことから残留していないものとして算出した。
(†)：再評価において、ブロッコリーについては、作物残留試験の例数が増えたもの。ほうれんそうについては、適用の範囲及び使用方法の変更並びに作物残留試験の例数が増えたもの。

（別紙2-2）

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg)[注1]	設定の根拠等[注3]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
大豆 (子実)	3	48.7% SC	*10.0 oz ai/cwt* *(100ポンド種子)* *(6.25 g ai/kg種子)* 種子塗沫	1	115	圃場A：0.455(#)	
					176	圃場B：0.16(#)	
					104	圃場C：0.48(#)	
	21	40.7% (480 g/L)SC	*0.25 lb ai/cwt* *(2.50 g ai/kg種子)* 種子塗沫 ＋ 0.142 lb ai/acre (0.159 kg ai/ha) 散布	1+3	*19*	圃場A：0.207(#)	△
					20	圃場B：0.382(#)	
					21	圃場C：0.674(#)	
						圃場D：0.376(#)	
					19	圃場E：0.182(#)	
					20	圃場F：0.107(#)	
					21	圃場G：0.193(#)	
					20	圃場H：0.428(#)	
					19	圃場I：0.483(#)	
						圃場J：0.630(#)	
					21	圃場K：1.49(#)	
					20	圃場L：0.605(#)	
					21	圃場M：0.734(#)	
					32	圃場N：0.027(#)	
					21	圃場O：1.49(#)	
						圃場P：0.617(#)	
						圃場Q：0.052(#)	
					25	圃場R：0.052(#)	
						圃場S：0.094(#)	
					7, *14*, 21, 28, 34	圃場T：0.050(4回, 21日)(#)	
					8, *14*, 20, 27, 34	圃場U：0.040(4回, 8日)(#)	
いんげん (子実)	8	40.7% SC ＋21.4% SC ＋17.4% SC	4.0 oz ai/cwt(2.50 g ai/kg種子) 種子塗沫 ＋0.375 lb.ai/acre(0.42 kg ai/ha) 畝処理 ＋0.132 lb ai/acre(0.15 kg ai/ha) 散布	1+1+3	*6*	圃場A：0.589 (#)	
						圃場A：0.693 (#)	△
					7	圃場B：0.711	△
						圃場C：0.205	△
						圃場D：0.990	△
						圃場E：0.7885	△
						圃場F：0.126	△
					8	圃場G：0.248	△
						圃場H：0.338	
						圃場H：0.491	△
	1	40.7% SC ＋21.4% SC ＋17.4% SC	4.0 oz ai/cwt(2.50 g ai/kg種子) 種子塗沫 ＋*0.108* lb.ai/acre(*0.12* mg ai/ha) 畝処理 ＋0.132 lb ai/acre(0.15 kg ai/ha) 散布	1+1+3	*6*	圃場A：0.211(#)	△
					7	圃場A：0.126(#)	
えんどう (子実)	4	40.7% SC ＋21.4% SC ＋17.4% SC	4.0 oz ai/cwt(2.50 g ai/kg種子) 種子塗沫 ＋0.375 lb.ai/acre(0.42 kg ai/ha) 畝処理 ＋0.132 lb ai/acre(0.15 kg ai/ha) 散布	1+1+3	8	圃場A：0.123	
						圃場B：0.272	
					3, 7, 13	圃場C：0.826 (5回, 13日)	
					7	圃場C：0.688	
						圃場C：0.825	
						圃場D：0.180	

（別紙2-2）

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg)[注1]	設定の根拠等[注3]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
にんじん（根部）	6	21.4% SC ＋17.4% SC	*0.630 lb ai/acre(0.71 kg ai/ha)* 畝処理 ＋0.130 lb ai/acre(0.15 kg ai/ha) 散布	1+3	7	圃場A：0.0826(#)	
			0.375 lb ai/acre(0.42 kg ai/ha) 畝処理 ＋0.131～*0.178* lb ai/acre(0.15～*0.20* kg ai/ha) 散布	1+*4*		圃場B：<0.05(#)	
				1+3	7	圃場C：<0.05	
					7	圃場D：<0.05	
					7	圃場E：<0.05	
					6	圃場F：<0.05(#)	
ビート［カエンサイ］（根部）	5	21.4% SC ＋17.4% SC	0.375 lb ai/acre(0.42 kg ai/ha) 畝処理 ＋0.115～0.132 lb ai/acre(0.13～0.15 kg ai/ha) 散布	1+3	*6*	圃場A：0.256(#)	
					8	圃場B：0.292	
					7	圃場C：0.294	
					8	圃場D：<0.100	
					7	圃場E：<0.100	
ビート［カエンサイ］（葉部）	5	21.4% SC ＋17.4% SC	0.375 lb ai/acre(0.42 kg ai/ha) 畝処理 ＋0.115～0.132 lb ai/acre(0.13～0.15 kg ai/ha) 散布	1+3	*6*	圃場A：2.125(#)	△
					8	圃場B：1.40	
					7	圃場C：3.40	
					8	圃場D：2.98	
					7	圃場E：2.96	
ラディッシュ（根部）	5	21.4% SC ＋17.4% SC	*0.612 lb ai/acre(0.69 kg ai/ha)* 畝処理 ＋0.044 lb ai/acre(0.05 kg ai/ha) 散布	1+1	8	圃場A：<0.05(#)	
			0.375 lb ai/acre(0.42 kg ai/ha) 畝処理 ＋0.044 lb ai/acre(0.05 kg ai/ha) 散布		7	圃場B：0.123	
						圃場C：<0.05	
					3,7,12	圃場D：<0.05(2回,7日)	
					6	圃場E：<0.05(#)	
ラディッシュ（葉部）	5	21.4% SC ＋17.4% SC	*0.612 lb ai/acre(0.69 kg ai/ha)* 畝処理 ＋0.044 lb ai/acre(0.05 kg ai/ha) 散布	1+1	8	圃場A：1.787(#)	
			0.375 lb ai/acre(0.42 kg ai/ha) 畝処理 ＋0.044 lb ai/acre(0.05 kg ai/ha) 散布		7	圃場B：2.736	
						圃場C：0.692	
					3,7,12	圃場D：0.503(2回,7日)	
					6	圃場E：0.574(#)	

（別紙2-2）

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg)[注1)]	設定の根拠等[注3)]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ばれいしょ（塊茎）	15	*2.5% GR* ＋21.4%(240 g/L) SC	*0.26～0.36 lb ai/acre (0.118～0.163 kg ai/ha,* 0.03 g ai/m(列)) 植付時畝処理 ＋0.04～0.05 lb ai/acre (0.018～0.023 kg ai/ha) 散布	1+4	7,14,21,28	圃場A：<0.05(5回,7日)(#)	△
						圃場B：<0.05(5回,7日)(#)	△
						圃場C：0.28(5回,14日)(#)	△
						圃場D：<0.05(5回,7日)(#)	△
						圃場E：<0.05(5回,7日)(#)	△
						圃場F：<0.05(5回,7日)(#)	△
						圃場G：<0.05(5回,7日)(#)	△
						圃場H：0.05(5回,7日)(#)	△
						圃場I：<0.05(5回,7日)(#)	△
						圃場J：<0.05(5回,7日)(#)	△
						圃場K：0.07(5回,7日)(#)	△
						圃場L：<0.05(5回,7日)(#)	△
						圃場M：0.13(5回,7日)(#)	
						圃場N：<0.05(5回,7日)(#)	△
						圃場O：0.05(5回,14日)(#)	△
						圃場H：0.05(5回,14日)(#)	
						圃場I：<0.05(5回,7日)(#)	
						圃場L：<0.05(5回,7日)(#)	
						圃場M：0.16(5回,7日)(#)	△
	3	21.4% SC	0.29～0.30 lb ai/acre (0.325～0.336kg ai/ha) 畝処理	1	71	圃場A：0.06	
					113	圃場B：0.02	
					111	圃場C：0.14	
ほうれんそう (Group 4A)	2	21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 播溝処理 ＋0.1 lb ai/acre (0.112 kg ai/ha) 散布	1+2	*0*,6,13	圃場A：4.22(2回,6日)(#)	△
					0,7,14	圃場B：2.09(2回,7日)(#)	
						圃場B：2.50(2回,7日)(#)	△
レタス（茎葉）（外葉有り）(Group 4A)	12	21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 土壌灌注 ＋*0.22* lb ai/acre (*0.224* kg ai/ha) 散布	1+2	*0*,*7*,*14*	圃場A：1.68(3回,7日)(#)	
						圃場B：0.59(3回,7日)(#)	
						圃場C：0.67(3回,7日)(#)	
						圃場D：2.13(3回,7日)(#)	
						圃場E：0.67(3回,7日)(#)	
						圃場F：0.32(3回,7日)(#)	
						圃場G：0.60(3回,7日)(#)	
						圃場H：1.27(3回,7日)(#)	
						圃場I：0.57(3回,7日)(#)	
						圃場J：0.73(3回,7日)(#)	
						圃場K：0.31(3回,7日)(#)	
						圃場L：0.99(3回,14日)(#)	
	11	21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 土壌灌注	1	29	圃場A：0.38(#)	
					40	圃場B：<0.05(#)	
					94	圃場C：<0.05(#)	
		2.5% GR	*0.5* lb ai/acre (*0.03* g ai/m) 植溝土壌処理		77	圃場D：0.14(#)	
					133	圃場E：<0.05(#)	
		21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 植溝土壌処理		77	圃場F：0.14(#)	
					133	圃場G：<0.05(#)	
		2.5% GR	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 側条土壌処理		28	圃場H：0.06(#)	
					91	圃場I：<0.05(#)	
		21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 側条土壌処理		27	圃場J：0.12(#)	
					91	圃場K：<0.05(#)	

（別紙2-2）

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg)[注1]	設定の根拠等[注3]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
レタス（茎葉）（外葉無し）（Group 4A）	12	21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 土壌灌注 ＋*0.2* lb ai/acre (*0.224* kg ai/ha) 散布	1+2	*0, 7, 14*	圃場A：0.72(3回,7日)(#)	
						圃場B：0.15(3回,14日)(#)	
						圃場C：0.15(3回,7日)(#)	
						圃場D：0.58(3回,7日)(#)	
						圃場E：0.08(3回,14日)(#)	
						圃場F：0.07(3回,7日)(#)	
						圃場G：0.12(3回,7日)(#)	
						圃場H：0.38(3回,7日)(#)	
						圃場I：0.20(3回,14日)(#)	
						圃場J：0.16(3回,7日)(#)	
						圃場K：0.10(3回,7日)(#)	
						圃場L：0.12(3回,7日)(#)	
	11	21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 土壌灌注	1	29	圃場A：0.09(#)	
					40	圃場B：<0.05(#)	
					94	圃場C：<0.05(#)	
		2.5% GR	*0.5* lb ai/acre (*0.03* g ai/m) 植溝土壌処理		77	圃場D：<0.05(#)	
					133	圃場E：<0.05(#)	
		21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 植溝土壌処理		77	圃場F：<0.05(#)	
					133	圃場G：<0.05(#)	
		2.5% GR	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 側条土壌処理		28	圃場H：<0.05(#)	
					91	圃場I：<0.05(#)	
		21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 側条土壌処理		27	圃場J：0.05(#)	
					91	圃場K：<0.05(#)	
リーフレタス（茎葉）（Group 4A）	12	21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 土壌灌注 ＋*0.2* lb ai/acre (*0.224* kg ai/ha) 散布	*1+2*	*0, 7, 14*	圃場A：2.49(3回,7日)(#)	
						圃場B：1.46(3回,7日)(#)	
						圃場C：2.25(3回,7日)(#)	
						圃場D：2.18(3回,7日)(#)	
						圃場E：0.10(3回,14日)(#)	
						圃場F：1.24(3回,7日)(#)	
						圃場G：1.47(3回,7日)(#)	
						圃場H：0.92(3回,7日)(#)	
						圃場I：0.95(3回,7日)(#)	
						圃場J：0.54(3回,7日)(#)	
						圃場K：2.61(3回,14日)(#)	
						圃場L：2.42(3回,7日)(#)	
	13	21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 土壌灌注	1	36	圃場A：0.62(#)	
					13	圃場B：2.04(#)	
					43	圃場C：0.50(#)	
					39	圃場D：0.14(#)	
		2.5% GR	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 植溝土壌処理		68	圃場E：0.40(#)	
					63	圃場F：0.40(#)	
					85	圃場G：0.24(#)	
		21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 植溝土壌処理		68	圃場H：0.70(#)	
					63	圃場I：0.29(#)	
					85	圃場J：0.32(#)	
		2.5% GR	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 側条土壌処理		27	圃場K：0.64(#)	
					13	圃場L：0.86(#)	
					43	圃場M：<0.05(#)	
		21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 側条土壌処理		27	圃場A：0.84(#)	
					12	圃場B：0.70(#)	
					43	圃場D：0.05(#)	

（別紙2-2）

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg)[注1]	設定の根拠等[注3]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
キャベツ（茎葉）（外葉有り）（Group 5）	13	21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 土壌灌注 ＋*0.22* lb ai/acre (*0.246* kg ai/ha) 散布	1+2	*0, 7, 14*	圃場A：0.47(3回,7日)(#)	△
						圃場B：1.27(3回,14日)(#)	
						圃場C：3.25(3回,14日)(#)	
						圃場D：1.56(3回,7日)(#)	
						圃場E：0.94(3回,7日)(#)	
						圃場F：0.28(3回,7日)(#)	
						圃場G：0.49(3回,14日)(#)	
						圃場H：0.27(3回,7日)(#)	
						圃場I：0.34(3回,7日)(#)	
						圃場J：0.76(3回,7日)(#)	
						圃場K：0.45(3回,7日)(#)	
						圃場L：0.05(3回,7日)(#)	
						圃場M：0.27(3回,7日)(#)	
	16	21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 土壌灌注	1	47	圃場A：0.26(#)	
					40	圃場B：0.19(#)	
					64	圃場C：<0.05(#)	
					51	圃場D：0.30(#)	
		2.5% GR	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 植溝土壌処理		92	圃場E：0.25(#)	
					86	圃場F：0.06(#)	
					104	圃場G：0.07(#)	
		21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 植溝土壌処理		92	圃場H：0.20(#)	
					86	圃場I：0.05(#)	
					104	圃場J：0.07(#)	
		2.5% GR	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 側条土壌処理		56	圃場K：0.37(#)	
					41	圃場L：0.14(#)	
					72	圃場M：<0.05(#)	
		21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 側条土壌処理		56	圃場N：0.34(#)	
					40	圃場O：0.20(#)	
					72	圃場P：<0.05(#)	

（別紙2-2）

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg)[注1]	設定の根拠等[注3]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
キャベツ（茎葉）（外葉無し）（Group 5）	13	21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 土壌灌注 ＋0.22 lb ai/acre (0.246 kg ai/ha) 散布	1+2	*0, 7, 14*	圃場A：0.09(3回,7日)(#)	
						圃場B：0.27(3回,14日)(#)	
						圃場C：0.94(3回,14日)(#)	
						圃場D：0.16(3回,7日)(#)	
						圃場E：0.16(3回,14日)(#)	
						圃場F：0.11(3回,7日)(#)	
						圃場G：0.07(3回,7日)(#)	
						圃場H：<0.05(3回,7日)(#)	
						圃場I：0.17(3回,7日)(#)	
						圃場J：0.16(3回,7日)(#)	
						圃場K：0.17(3回,14日)(#)	
						圃場L：<0.05(3回,7日)(#)	
						圃場M：0.12(3回,14日)(#)	
		21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 土壌灌注	1	47	圃場A：0.08(#)	
					40	圃場B：0.12(#)	
					64	圃場C：0.06(#)	
					51	圃場D：0.25(#)	
		2.5% GR	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 植溝土壌処理		92	圃場E：0.11(#)	
					86	圃場F：<0.05(#)	
					104	圃場G：<0.05(#)	
		21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 植溝土壌処理		92	圃場H：0.06(#)	
					86	圃場I：0.09(#)	
					104	圃場J：0.05(#)	
		2.5% GR	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 側条土壌処理		56	圃場K：0.09(#)	
					41	圃場L：0.09(#)	
					72	圃場M：<0.05(#)	
		21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 側条土壌処理		56	圃場N：0.14(#)	
					40	圃場O：<0.05(#)	
					72	圃場P：<0.05(#)	

（別紙2-2）

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg)[注1]	設定の根拠等[注3]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ブロッコリー（花蕾及び茎）（Group 5）	12	21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 土壌灌注 ＋0.22 lb ai/acre (0.246 kg ai/ha) 散布	1+2	*0, 7, 14*	圃場A：0.19(3回,14日)(#)	
						圃場B：0.18(3回,7日)(#)	
						圃場C：0.25(3回,7日)(#)	
						圃場D：0.33(3回,7日)(#)	
						圃場E：0.62(3回,7日)(#)	
						圃場F：0.32(3回,14日)(#)	
						圃場G：2.25(3回,7日)(#)	
						圃場H：0.49(3回,14日)(#)	
						圃場I：0.38(3回,14日)(#)	
						圃場J：0.63(3回,7日)(#)	
						圃場K：0.10(3回,7日)(#)	
						圃場L：0.41(3回,7日)(#)	
	16	21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 土壌灌注	1	32	圃場A：0.20(#)	
					37	圃場B：0.20(#)	
					36	圃場C：<0.05(#)	
					50	圃場D：<0.05(#)	
		21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 植溝土壌処理		92	圃場E：0.24(#)	
					85	圃場F：<0.05(#)	
					78	圃場G：<0.05(#)	
		2.5% GR	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 植溝土壌処理		92	圃場H：0.42(#)	
					85	圃場I：0.06(#)	
					78	圃場J：<0.05(#)	
		21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 側条土壌処理		42	圃場K：0.33(#)	
					56	圃場L：0.22(#)	
					17	圃場M：<0.05(#)	
		2.5% GR	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 側条土壌処理		56	圃場N：0.06(#)	
					38	圃場O：0.15(#)	
					17	圃場P：<0.05(#)	

（別紙2-2）

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg)[注1]	設定の根拠等[注3]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
カリフラワー（花蕾）（Group 5）	12	21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 土壌灌注 ＋0.22 lb ai/acre (0.246 kg ai/ha) 散布	1+2	*0, 7, 14*	圃場A：0.11(3回,14日)(#)	
						圃場B：<0.05(3回,7日)(#)	
						圃場C：0.27(3回,7日)(#)	
						圃場D：0.14(3回,7日)(#)	
						圃場E：0.16(3回,14日)(#)	
						圃場F：0.13(3回,7日)(#)	
						圃場G：0.09(3回,7日)(#)	
						圃場H：0.11(3回,7日)(#)	
						圃場I：0.34(3回,7日)(#)	
						圃場J：0.09(3回,14日)(#)	
						圃場K：0.23(3回,7日)(#)	
						圃場L：0.60(3回,14日)(#)	
	16	21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 土壌灌注	1	151	圃場A：0.24(#)	
					47	圃場B：0.14(#)	
					38	圃場C：0.20(#)	
					50	圃場D：0.125(#)	
		2.5% GR	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 植溝土壌処理		152	圃場E：0.09(#)	
					91	圃場F：<0.05(#)	
					82	圃場G：0.07(#)	
		21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 植溝土壌処理		152	圃場H：0.05(#)	
					91	圃場I：<0.05(#)	
					82	圃場J：0.06(#)	
		2.5% GR	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 側条土壌処理		116	圃場K：0.09(#)	
					41	圃場L：0.06(#)	
					50	圃場M：0.08(#)	
		21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.03 g ai/m)* 側条土壌処理		116	圃場N：0.10(#)	
					47	圃場O：0.12(#)	
					50	圃場P：0.07(#)	
セロリ（茎葉）（Group 4B）	6	21.4% SC	*0.50 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 灌注	1	46	圃場A：4.31(#)	△
					43	圃場B：0.42(#)	
					45	圃場C：0.13(#)	
					43	圃場D：0.13(#)	
					45	圃場E：0.57(#)	
					46	圃場F：1.00(#)	
	3	21.4% SC	*0.50 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 側条施用	1	45	圃場A：2.83(#)	
					43	圃場B：0.78(#)	
					45	圃場C：5.62(#)	
	3	21.4% SC	*0.50 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 畝処理	1	97	圃場A：1.24(#)	
					81	圃場B：0.38(#)	
					103	圃場C：1.36(#)	

（別紙2-2）

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg)[注1]	設定の根拠等[注3]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
アーティチョーク（花蕾）	3	21.4% SC	0.50 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 散布	2	7	圃場A：1.552	△
						圃場B：1.008	
						圃場C：1.606	
りんご（果実）	13	21.4% SC	*0.67 oz ai/acre(0.04 lb ai/acre)散布*	5	*6*, *13*, 20, 29	圃場A：0.11(5回,20日)(#)	
			2.7 oz ai/acre(0.17 lb ai/acre)散布		*7*, *14*, 21, 30	圃場B：0.09(#)	
			2.8 oz ai/acre(0.18 lb ai/acre)散布			圃場C：<0.05(#)	
			1.35 oz ai/acre(0.08 lb ai/acre)散布			圃場D：0.14(5回,30日)(#)	
			2.0 oz ai/acre(0.12 lb ai/acre)散布		*7*, *14*, 21, 30	圃場F：<0.05(#)	
			1.0 oz ai/acre(0.06 lb ai/acre)散布			圃場G：<0.05(#)	
			0.33 oz ai/acre(0.02 lb ai/acre)散布		*7*, *14*, 21, 30	圃場H：<0.05(#)	
			0.67 oz ai/acre(0.04 lb ai/acre)散布			圃場I：0.07(#)	
			0.67 oz ai/acre(0.04 lb ai/acre)散布		*7*, *14*, 21, 30	圃場J：0.08(#)	
			2.7 oz ai/acre(0.17 lb ai/acre)散布		*7*, *14*, 21, 30	圃場K：0.24(5回,30日)(#)	
			1.5 oz ai/acre(0.09 lb ai/acre)散布		*7*, *14*, 21, 30	圃場L：<0.05(#)	
			2.1 oz ai/acre(0.13 lb ai/acre)散布		*7*, *14*, 21, 30	圃場I：<0.05(#)	
なし（果実）	6	21.4% SC	*0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha)* 散布	2	*0*, *7*, *14*, 21	圃場A：0.33(#)	△
					0, *7*, *14*, 21	圃場B：0.18(#)	
					0, *7*, *14*, 21	圃場B：0.22(#)	△
					0, *7*, *14*, 21	圃場C：0.22(#)	△
					0, *7*, *14*, 21	圃場D：0.25(#)	△
					0, *7*, *14*, 21	圃場E：0.32(#)	△
					0, *7*, *14*, 21	圃場F：0.16(#)	△
おうとう（酸味）（果実）	4	17.4% SC	0.1 lb ai/acre (0.112 kg ai/ha) 散布	5	*6*	圃場A：2.544(#)	△
					0, *3*, 7, 14	圃場B：1.069(5回,7日)(#)	
					7	圃場C：1.458(#)	
					7	圃場D：0.929(#)	
おうとう（甘味）（果実）	8	17.4% SC	0.1 lb ai/acre (0.112 kg ai/ha) 散布	5	7	圃場A：0.342(#)	
					7	圃場B：0.426(#)	
					8	圃場C：0.243(#)	
					7	圃場D：0.362(#)	
					7	圃場E：0.278(#)	
					7	圃場F：0.615(#)	
				6	7	圃場G：0.596(#)	
					7	圃場H：0.630(#)	
パパイヤ（果実）	3	17.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 散布	5	*5*	圃場A：0.22(#)	△
					0, *6*, 14, 21	圃場B：0.51(5回,14日)	
					7	圃場C：0.19	
グアバ（果実）	2[注2]	17.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 散布	5	14	圃場A：0.264	
					14	圃場B：0.124	
					15	圃場A：0.375	△
					15	圃場B：0.277	

（別紙2-2）

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg)[注1]	設定の根拠等[注3]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ひまわり（種子）	4	40.7% SC	*16.8 oz ai/cwt(100ポンド種子)* *(10.5 g ai/kg種子)* 種子塗沫	1	129	圃場A：<0.05(#)	
					141	圃場B：<0.05(#)	
					143	圃場C：<0.05(#)	
					119	圃場D：<0.05(#)	
	2		*84.0 oz ai/cwt* *(52.5 g ai/kg種子)* 種子塗沫		131	圃場A：<0.05(#)	
					143	圃場B：<0.05(#)	
綿実（種子）	3	*21.4% SC* ＋21.4% SC ＋21.4% SC	*250g ai/100 kg種子（2.5 g ai/kg種子）種子塗沫* *＋4.3～4.8 oz ai/acre（0.27～0.30 lb ai/acre）* *(0.301～0.336 kg ai/ha）畝処理* *＋7.6 oz ai/acre（0.48 lb ai/acre）（0.532 kg ai/ha)散布*	1+1+2	*7*,14,21	圃場A：0.22(4回,21日)(#)	△
						圃場B：0.41(4回,21日)(#)	△
						圃場C：0.20(4回,21日)(#)	△
	6	*21.4% SC* ＋*2.5% GR* ＋21.4% SC	*250g ai/100 kg種子（2.5 g ai/kg種子）種子塗沫* *＋4.3～4.8 oz ai/acre（0.27～0.30 lb ai/acre）* *(0.301～0.336 kg ai/ha）畝処理* *＋7.6 oz ai/acre（0.48 lb ai/acre）（0.532 kg ai/ha)散布*	1+1+2		圃場D：2.32(4回,21日)(#)	△
						圃場E：0.20(4回,14日)(#)	
						圃場F：2.51(4回,21日)(#)	
						圃場A：0.18(4回,21日)(#)	
						圃場B：0.36(4回,14日)(#)	
						圃場C：0.17(4回,21日)(#)	
	4	*21.4% SC* ＋*2.5% GR* ＋21.4% SC	*250 g ai/100 kg種子（2.5 g ai/kg種子）種子塗沫* *＋4.3～4.8 oz ai/acre（0.27～0.30 lb ai/acre）* *(0.301～0.336 kg ai/ha）畝処理* *＋7.6 oz ai/acre（0.48 lb ai/acre）（0.532 kg ai/ha)散布*	1+1+2	*8*,15,22	圃場A：2.00(4回,22日)(#)	△
					7,14,21	圃場B：0.19(4回,21日)(#)	
						圃場C：0.44(4回,14日)(#)	
					7,13,21	圃場D：0.55(4回,13日)(#)	
		21.4% SC ＋21.4% SC ＋21.4% SC	*250 g ai/100 kg種子（2.5 g ai/kg種子）種子塗沫* *＋4.3～4.8* oz ai/acre *（0.27～0.30 lb ai/acre）* *(0.301～0.336 kg ai/ha）畝処理* *＋7.6 oz ai/acre（0.48 lb ai/acre）（0.532 kg ai/ha)散布*	1+1+2	*7*,14,21	圃場B：0.21(4回,21日)(#)	△
			250 g ai/100 kg種子（2.5 g ai/kg種子）種子塗沫 *＋4.3～4.8 oz ai/acre（0.27～0.30 lb ai/acre）* *(0.301～0.336 kg ai/ha）畝処理* *＋7.6 oz ai/acre（0.48 lb ai/acre）（0.532 kg ai/ha)散布*	1+1+2		圃場C：0.55(4回,14日)(#)	△
					7,13,21	圃場D：0.83(4回,21日)(#)	△
	3	*21.4% SC* ＋21.4% SC ＋21.4% SC	*250 g ai/100 kg種子（2.5 g ai/kg種子）* *種子塗沫* *＋0.03 g ai/m（条）* *畝処理* *＋7.5 fl oz 製剤/acre* *(0.525 kg ai/ha)散布*	1+1+2	20	圃場A：<1.00(#)	△
					13	圃場B：<1.00(#)	△
					14	圃場C：<1.00(#)	△

（別紙2-2）

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				総イミダクロプリドの残留濃度(mg/kg)[注1]	設定の根拠等[注3]
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
なたね（種子）	6	40.7% SC	*16 oz ai/cwt* *(10 g ai/kg種子)* 種子塗沫	1	199	圃場A：<0.05(#)	△
					288	圃場B：<0.05(#)	
					277	圃場C：<0.05(#)	
					129	圃場D：<0.05(#)	
					112	圃場E：<0.05(#)	
					146	圃場F：<0.05(#)	
ペカン（可食部）	6	21.4% SC	0.5 lb ai/acre (0.56 kg ai/ha) 土壌処理	1	150	圃場A：<0.05	
					150	圃場B：<0.05	
					109	圃場C：<0.05	
					127	圃場D：<0.05	
					115	圃場E：<0.05	
					102	圃場F：<0.05	
					99	圃場F：<0.05	
	5	21.4% SC	*0.17* lb ai/acre *(0.19* kg ai/ha) 散布	2	31	圃場A：<0.05(#)	
					20	圃場B：<0.05(#)	
					4	圃場C：<0.05(#)	
					21	圃場D：<0.05(#)	
					17	圃場E：<0.05(#)	
					8	圃場E：<0.05(#)	
	5	17.4% SC	0.34～0.36 lb ai/acre (0.38～0.40 kg ai/ha) 散布	2	*0*,<u>7</u>,14,21	圃場A：<0.01	
					<u>7</u>	圃場B：<0.01	
						圃場C：<0.01	
						圃場D：0.01	
						圃場E：<0.01	
アーモンド（可食部）	5	17.4% SC	0.34～0.36 lb ai/acre (0.38～0.40 kg ai/ha) 散布	2	*0*,<u>7</u>,14,21	圃場A：<0.01(#)	
					<u>7</u>	圃場B：<0.01(#)	
						圃場C：<0.01(#)	
						圃場D：<0.01(#)	
						圃場E：<0.01(#)	

SC：フロアブル
GR：粒剤
－：分析せず
(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

暴露評価にも使用されているものに△で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

注1）イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を含む代謝物をイミダクロプリドに換算したもの（総イミダクロプリド）。

注2）グアバについて、これらの作物残留試験は同一圃場同一時期で実施されているが、試験で使用されている作物の品種が異なることから独立の圃場とみなされている。

注3）米国環境保護庁（EPA）は、企業から提出された作物残留試験成績を審査し、使用方法及びこれに対応する残留濃度を総合的に評価し、
イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物を規制対象とする米国基準設定の根拠としている。
消費者庁は、IT申請がなされた作物について、EPAの審査結果*を適切なものであると判断した。
米国基準値は、国内の規制対象であるイミダクロプリドに換算するため、国内の作物残留試験成績等から係数を割り出し、乗じる値として採用している。
（＊:EPA archive document PP#3F04169/3H05655, PP#3F4231, PP#5F4480/FAP5H5723及びPP#6F04765 (1993～1994)）

当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

(別紙2-3)

イミダクロプリド海外作物残留試験一覧表(EU)

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計 (mg/kg) 注1)	残留濃度(mg/kg) 注2) 【イミダクロプリド/イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
カカオ豆 (種子)	4	200 g/L SL	0.123～0.126 kg ai/ha 散布	4	0,1,3	圃場A：<0.05(4回,3日)	圃場A：*0.011/*<0.05(*4回,3日)	◎
					0,1,3	圃場B：<0.05(4回,1日)	圃場B：*0.017/*<0.05(*4回,1日)	
					0,1,3,7,14,20	圃場C：0.069(4回,7日)	圃場C：*0.037/*0.069(*4回,7日)	
					0,1,3,7,14,20	圃場D：0.051(4回,20日)	圃場D：*0.030/*0.051(*4回,20日)	

SL：液剤
基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。
注1) イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物の合計濃度（イミダクロプリドに換算した値）を示した。
注2) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

農動薬名　　イミダクロプリド

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値* 現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
米（玄米をいう。）	0.08	1	○				<0.005～0.041(n=6)
小麦	0.2	0.2	○	0.05§			<0.005,0.028(¥)
大麦	0.02	0.04		0.05§			§1
ライ麦	0.02	0.04		0.05§			§1
とうもろこし	0.02	0.05		0.05§			§1
そば	0.02	0.04		0.05§			§1
その他の穀類	3	3	○	0.05§			1.07,1.30(¥)(キノア)
大豆	2	3		3§	3.5§	米国	【0.027～1.49(#)(n=21)(米国)】§9
小豆類	2	3		2§	4.0§	米国	【0.126～0.990(#)(n=9)(米国いんげん)】§9
えんどう	2	3		2§	4.0§	米国	【小豆類参照】
そら豆	2	3		2§	4.0§	米国	【小豆類参照】
らっかせい	0.5	0.7		1§			§1
その他の豆類	2	3		2§	4.0§	米国	【小豆類参照】
ばれいしょ	0.3	0.4	○	0.5§			§2
さといも類（やつがしらを含む。）	0.3	0.4	○	0.5§			§2
かんしょ	0.3	0.4	○	0.5§			§2
やまいも（長いもをいう。）	0.3	0.4	○	0.5§			§2
こんにゃくいも	0.3	0.4	○	0.5§			§2
その他のいも類	0.3	0.4		0.5§			§2
てんさい	0.3	0.4	○	0.5§			§2
さとうきび		0.04		0.5§			
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.3	0.4	○	0.5§			§2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	3	4	○	5§			§3
かぶ類の根	0.3	0.4	○	0.5§			§2
かぶ類の葉	2	3	○		4.0§	米国	【1.40～3.40（#）(n=5)(米国ビート葉部)】§10
西洋わさび	0.3	0.4		0.5§			§2
クレソン	2	3			3.5§	米国	【2.5,4.22(#)（米国ほうれんそう）】§10
はくさい	2	0.5	○・申・IT		3.5§	米国	【0.05～3.25(#)(n=13)(米国キャベツ外葉あり)】§10
キャベツ	2	0.5	○・申・IT	0.5§	3.5§	米国	【はくさい参照】
芽キャベツ	2	0.5	○・IT	0.5§	3.5§	米国	【はくさい参照】
ケール	0.7	5		5§			§15
こまつな	2	5	IT		3.5§	米国	【はくさい参照】
きょうな	5	5	○				1.23,2.175(¥)（みずな）
チンゲンサイ	2	5	IT		3.5§	米国	【はくさい参照】
カリフラワー	2	0.4	IT	0.5§	3.5§	米国	【はくさい参照】
ブロッコリー	4	5	○	0.5§			0.12～1.72(#)(n=4)
その他のあぶらな科野菜	5	5	○	0.5§			0.445,1.575(¥)（なばな）
ごぼう	0.3	0.4	○	0.5§			§2
サルシフィー	0.3	0.4		0.5§			§2
アーティチョーク	2	2			2.5§	米国	【1.008,1.552,1.606(米国)】§10
チコリ	2	3			4.0§	米国	【かぶ類の葉参照】
エンダイブ	5	5	○				2.21,2.26(¥)
しゅんぎく	2	3			3.5§	米国	【クレソン参照】
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	2	3	○	2§			0.15（サラダ菜）、0.2,0.8(リーフレタス)
その他のきく科野菜	5	5	○	0.5§			0.4,2.6(¥)（すいぜんじな）
たまねぎ	0.05	0.07	○	0.1§			<0.01,<0.01(¥)
ねぎ（リーキを含む。）	0.5	0.7	○	0.05§			<0.01,0.15（根深ねぎ）、0.04,0.22(葉ねぎ)
にら	0.7	0.7	○				0.04,<0.205,0.295
アスパラガス	0.6	0.7	○				<0.05～0.30(n=4)
わけぎ	2	2	○				0.7,1.0(¥)
その他のゆり科野菜	0.2	0.2	○				<0.05,<0.05(¥)（にら花茎）
にんじん	0.3	0.4	○	0.5§			§2
パースニップ	0.3	0.4		0.5§			§2
パセリ	3	3	○				1.3,1.4(¥)
セロリ	4	4	○	6§			§3
みつば	5	5	○				2.50,2.77(¥)
その他のせり科野菜	4	4	○	0.5§	6.0§	米国	【0.13～5.62(n=12)(米国セロリ)】§10

農動薬名　　イミダクロプリド

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値* 現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
トマト	0.9	2	○	0.5§			0.09～0.505(#)(n=5)（トマト、ミニトマト）
ピーマン	3	3	○	1§			0.36～1.435(#)(n=5)
なす	1	2	○	0.2§			0.09～0.565(#)(n=4)
その他のなす科野菜	4	5	○	1§			1.2,1.5（ししとう）、1.15,1.5（伏見甘長とうがらし）
きゅうり（ガーキンを含む。）	1	1	○	1§			0.15,0.395(#)(¥)
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.6	1	○	1§			§4
しろうり	0.1	1		0.2§			§4
すいか		0.5	○				
すいか（果皮を含む。）	0.3		○	0.2§			0.06,0.065(#)(¥)
メロン類果実		0.2	○				
メロン類果実（果皮を含む。）	0.7		○	0.2§			0.20,0.24,0.26(#)
まくわうり		0.1	○				
まくわうり（果皮を含む。）	0.1		○	0.2§			§4
その他のうり科野菜	1	1	○	0.5§			0.17,0.405(¥)（にがうり）
ほうれんそう	9	15	○				0.86～3.90(n=6)
オクラ	0.7	0.7	○	1§			0.12,0.21(¥)
しょうが	0.3	0.3			0.40§	米国	【<0.05～0.28(#)(n=15)(米国ばれいしょ)】§11
未成熟えんどう	3	4	○	5§			§5
未成熟いんげん	2	3	○	2§	4.0§	米国	【小豆類参照】
えだまめ	1	3	○				0.30,0.405,0.47
その他の野菜		5	○	0.5§			
その他の野菜(アマランサス(茎葉)、なんてん(葉)、食用かえで(葉)及びふだんそうを除く。)	2		○	0.5§			0.4,1.0(¥)(モロヘイヤ)
その他の野菜(食用かえで(葉)及びふだんそうに限る。)	5		○	0.5§			2.09,2.42(¥)(食用かえで(葉))
その他の野菜(アマランサス(茎葉)に限る。)	7		○				<0.5,1.8,2.9(アマランサス(茎葉))
その他の野菜(なんてん(葉)に限る。)	10		○・申				0.32,5.00(¥)(なんてん(葉))
みかん		0.3	○				
みかん（外果皮を含む。）	1		○	1§			0.245,0.47(¥)
なつみかんの果実全体	0.7	0.7	○	1§			0.13,0.225(¥)
レモン	0.7	0.7	○	1§			0.03(すだち)、0.26(¥)(かぼす)
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	1	0.7	○	1§			（みかん（外果皮を含む。）参照）
グレープフルーツ	0.7	0.7	○	1§			（なつみかんの果実全体参照）
ライム	0.7	0.7	○	1§			（レモン参照）
その他のかんきつ類果実	1	0.7	○	1§			（みかん（外果皮を含む。）参照）
りんご	0.5	0.5	○	0.5§			0.11,0.18(¥)
日本なし	0.6	0.7	○	1§			§5
西洋なし	0.6	0.7	○	1§			§5
マルメロ	0.4	0.4			0.6§	米国	【0.16～0.33(#)(n=6)(米国なし)】§12
びわ		0.5	○				
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	4		○				0.17～2.01(n=4)
もも		0.5	○				
もも（果皮及び種子を含む。）	1		○	1.5§			0.265,0.365(#)(¥)
ネクタリン	2	2	○	1.5§	3.0§	米国	【0.929～2.544(#)(n=4))(米国酸味おうとう)、0.243～0.630(#)(n=8))(米国甘味おうとう)】§13
あんず（アプリコットを含む。）	2	2	○	1.5§	3.0§	米国	【ネクタリン参照】
すもも（プルーンを含む。）	2	2	○	1.5§	3.0§	米国	【ネクタリン参照】
うめ	1	0.3	○	1.5§			§6
おうとう（チェリーを含む。）	2	2		4§			§5
いちご	0.3	0.4	○	0.5§			§5
ラズベリー	3	4		5§			§4
ブラックベリー	3	4		5§			§4
ブルーベリー	3	4		5§			§4
クランベリー	0.01	0.04		0.05§			§7
ハックルベリー	3	4		5§			§4
その他のベリー類果実	3	4		5§			§4

農動薬名　イミダクロプリド

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値* 現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
ぶどう	3	3	○	1§			0.208～1.209(n=4)
かき	1	1	○				0.245,0.34(¥)
バナナ	0.04	0.04		0.05§			§6
キウィー		0.2	○				
キウィー（果皮を含む。）	15		○				0.563～6.97(n=5)
パパイヤ	0.6	0.7			1.0§	米国	【0.19,0.22,0.51(米国)】§12
アボカド	0.6	0.7			1.0§	米国	【パパイヤ参照】
グアバ	0.4	0.7			1.0§	米国	【0.277,0.375(米国)】§14
マンゴー	1	1	○	0.2§			0.39,0.405(#)(¥)
パッションフルーツ	0.7	0.7	○				0.15,0.28(¥)
その他の果実	3	4	○	5§			§4
ひまわりの種子	0.01	0.04		0.05§			§16
ごまの種子	0.05	0.05	○				<0.01,<0.01(¥)
べにばなの種子	0.01	0.04		0.05§			§16
綿実	3	4			6.0§	米国	【0.2～2.51(#)(n=13)(米国)】§9
なたね	0.01	0.04		0.05§			§16
その他のオイルシード	0.02	0.04		0.05§	0.05§	米国	【<0.05(#)(n=6)(米国なたね)】§9
ぎんなん	0.05	0.05	○	0.01§			<0.005,0.01(¥)
くり	0.05	0.05	○	0.01§			<0.01,<0.01(¥)
ペカン	0.01	0.04		0.01§			§17
アーモンド	0.01	0.04		0.01§			§17
くるみ	0.01	0.04		0.01§			§17
その他のナッツ類	0.01	0.04		0.01§			§17
茶	30	10	○	50§			§18
コーヒー豆	0.6	0.7		1§			§5
カカオ豆	0.05	0.05			0.05	EU	【0.011～0.037(n=4)(EU)】
ホップ	3	7		10§			§8
その他のスパイス	5	5	○	5§			0.98,2.12(¥)（温州みかん（果皮））
その他のハーブ	15	15	○	20§			7.8,9.6(¥)（やなぎたで）
牛の筋肉	0.3	0.3		0.1	0.30	米国	【推：0.052】
豚の筋肉	0.3	0.3		0.1	0.30	米国	【牛の筋肉参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.3	0.3		0.1	0.30	米国	【牛の筋肉参照】
牛の脂肪	0.3	0.3		0.1	0.30	米国	【推：0.030】
豚の脂肪	0.3	0.3		0.1	0.30	米国	【牛の脂肪参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3	0.3		0.1	0.30	米国	【牛の脂肪参照】
牛の肝臓	0.3	0.3		0.3	0.30	米国	【推：0.227】
豚の肝臓	0.3	0.3		0.3	0.30	米国	【牛の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3	0.3		0.3	0.30	米国	【牛の肝臓参照】
牛の腎臓	0.3	0.3		0.3	0.30	米国	【推：0.145】
豚の腎臓	0.3	0.3		0.3	0.30	米国	【牛の腎臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.3	0.3		0.3	0.30	米国	【牛の腎臓参照】
牛の食用部分	0.3	0.3		0.3	0.30	米国	【牛の肝臓参照】
豚の食用部分	0.3	0.3		0.3	0.30	米国	【牛の肝臓参照】
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.3	0.3		0.3	0.30	米国	【牛の肝臓参照】
乳	0.1	0.1		0.1	0.10	米国	【推：0.060】
鶏の筋肉	0.02	0.02		0.02			推：0.020
その他の家きんの筋肉	0.02	0.02		0.02			(鶏の筋肉参照)
鶏の脂肪	0.02	0.02		0.02			推：<0.020
その他の家きんの脂肪	0.02	0.02		0.02			(鶏の脂肪参照)
鶏の肝臓	0.06	0.05		0.05			推：0.063
その他の家きんの肝臓	0.06	0.05		0.05			(鶏の肝臓参照)
鶏の腎臓	0.06	0.05		0.05			(鶏の肝臓参照)
その他の家きんの腎臓	0.06	0.05		0.05			(鶏の肝臓参照)
鶏の食用部分	0.06	0.05		0.05			(鶏の肝臓、腎臓参照)
その他の家きんの食用部分	0.06	0.05		0.05			(鶏の肝臓、腎臓参照)

農動薬名　　イミダクロプリド

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値* 現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
鶏の卵	0.02	0.02		0.02			推：0.023
その他の家きんの卵	0.02	0.02		0.02			（鶏の卵参照）
魚介類（さけ目魚類に限る。）	0.6		IT	0.6			
魚介類（うなぎ目魚類に限る。）	0.6		IT	0.6			
魚介類（すずき目魚類に限る。）	0.6		IT	0.6			
魚介類（その他の魚類に限る。）	0.6		IT	0.6			
はちみつ	0.05						※1
小麦粉（全粒粉を除く。）				0.03§			※2
小麦ふすま				0.3§			※2
とうがらし（乾燥させたもの）				10§			※2

太枠：本基準（暫定基準以外の基準）を見直した基準値

斜線：食品区分を別途新設すること等に伴い、削除した食品区分、もしくは加工食品につき基準値を設定しないもの

○：既に、国内において登録等がされているもの

申：農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

IT：海外で設定されている基準値を参照するようインポートトレランス申請されたもの

(#)：適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥)：基準値設定の根拠とした作物残留試験成績（最大値）

推：推定される残留濃度

※1）「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」（令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会）の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

※2）加工食品である「小麦粉（全粒粉を除く。）」、「小麦ふすま」及び「とうがらし（乾燥させたもの）」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。なお、本物質について、JMPRは小麦粉（全粒粉を除く。）、小麦ふすま及びとうがらし（乾燥させたもの）の加工係数をそれぞれ0.5、3.5及び7と算出した。

*：「基準値現行」の国際基準及び米国基準を参考とする食品については、国内の規制対象は、農産物にあってはイミダクロプリド（親化合物のみ）とされているのに対し、国際基準及び米国基準の規制対象は総イミダクロプリド（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）とされている。これらを踏まえ、植物代謝試験データより各作物の換算係数0.7と算出し、国際基準又は米国基準に換算係数を乗じてそれぞれの基準値を算出した。

§：「参考基準値」の国際基準及び米国基準に係る農産物の規制対象については、国内の規制対象はイミダクロプリド（親化合物のみ）とされているのに対し、総イミダクロプリド（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）とされている。

§1）大麦、ライ麦、とうもろこし、そば及びらっかせいについては、国内の水稲（玄米）の作物残留試験成績（収穫前日数：21日）より算出した換算係数0.47を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§2）ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）、こんにゃくいも、その他のいも類、てんさい、だいこん類（ラディッシュを含む）の根、かぶ類の根、西洋わさび、ごぼう、サルシフィー、にんじん及びパースニップについては、国内のばれいしょの作物残留試験成績（収穫前日数：14日）より算出した換算係数0.67を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§3）だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉及びセロリについては、国内のほうれんそうの作物残留試験成績（収穫前日数：7日）より算出した換算係数0.61を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§4）かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、まくわうり（果皮を含む。）、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、ハックルベリー、その他のベリー類果実及びその他の果実については、国内のなすの作物残留試験成績（収穫前日数：3日）より算出した換算係数0.63を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§5）未成熟えんどう、日本なし、西洋なし、おうとう（チェリーを含む。）、いちご及びコーヒー豆については、JMPRの評価書（2002年）の仁果類の作物残留試験成績（収穫前日数：7日）より算出した換算係数0.59を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§6）うめ及びバナナについては、国内のなすの作物残留試験成績（収穫前日数：1日）より算出した換算係数0.82を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§7）クランベリーについては、JMPRの評価書（2002年）のピーマンに係る作物残留試験成績（収穫前日数：56日）より算出した換算係数0.2を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§8）ホップについては、JMPRの評価書（2002年）の乾燥させたまり花（Cone, kiln-dried (RAC)）の作物残留試験成績（収穫前日数：35日）より算出した換算係数0.29を国際基準に乗じて基準値を算出した。

§9）大豆、小豆類、えんどう、そら豆、その他の豆類、未成熟いんげん、綿実及びその他のオイルシードについては、国内の水稲（玄米）の作物残留試験成績（収穫前日数：21日）より算出した換算係数0.47を米国基準に乗じて基準値を算出した。

§10）かぶ類の葉、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、こまつな、チンゲンサイ、カリフラワー、アーティチョーク、チコリ、しゅんぎく及びその他のせり科野菜については、国内のほうれんそうの作物残留試験成績（収穫前日数：7日）より算出した換算係数0.61を米国基準に乗じて基準値を算出した。

§11）しょうがについては、国内のばれいしょの作物残留試験成績（収穫前日数：14日）より算出した換算係数0.67を米国基準に乗じて基準値を算出した。

§12）マルメロ、パパイヤ及びアボカドについては、JMPRの評価書（2002年）の仁果類に係る作物残留試験成績（収穫前日数：7日）より算出した換算係数0.59を米国基準に乗じて基準値を算出した。

§13）ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）及びすもも（プルーンを含む。）については、国内のなすの作物残留試験成績（収穫前日数：1日）より算出した換算係数0.82を米国基準に乗じて基準値を算出した。

§14）グアバについては、JMPRの評価書（2002年）のオレンジに係る作物残留試験成績（収穫前日数：14日及び15日）より算出した換算係数0.43を米国基準に乗じて基準値を算出した。なお、グアバの作物残留試験成績は同一圃場同一時期で実施されているが、試験で使用されている作物の品種が異なることから独立の圃場とみなされている。

§15）ケールについては、JMPRの評価書（2015年）にイミダクロプリドの作物残留試験成績が記載されているため、換算係数を用いず、イミダクロプリドの残留濃度から基準値を算出した。

§16）ひまわりの種子、べにばなの種子及びなたねについては、JMPRの評価書（2002年）に「なたね（使用方法：種子処理）」のイミダクロプリド及び総イミダクロプリド（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）の残留濃度が、全て定量限界未満又は最高残留濃度（HR）が0.01mg/kgと記載されていること、他の種子処理の作物での残留性も考慮し総合的に0.01で問題ないと判断し、換算係数を用いず、基準値を0.01と算出した。

§17）ペカン、アーモンド、くるみ及びその他のナッツ類については、JMPRの評価書（2008年）に「アーモンド」にイミダクロプリド及び総イミダクロプリド（イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物）の残留濃度が、全て定量限界未満又は最高残留濃度（HR）が0.01mg/kgと記載されていることから、換算係数を用いず、基準値を0.01と算出した。

§18）茶については、JMPRの評価書（2015年）にイミダクロプリドの作物残留試験成績が記載されているため、換算係数を用いず、イミダクロプリドの残留濃度から基準値を算出した。

（別紙4）

イミダクロプリドの推定摂取量 （単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）EDI
米（玄米をいう。）	0.08	0.05	8.2	4.3	5.3	9.0
小麦	0.2	0.06	3.6	2.7	4.1	3.0
大麦	0.02	0.05	0.3	0.2	0.4	0.2
ライ麦	0.02	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
とうもろこし	0.02	0.05	0.2	0.3	0.3	0.2
そば	0.02	0.05	0.1	0.0	0.1	0.1
その他の穀類	3	2.915	0.6	0.3	0.3	0.9
大豆	2	0.376	14.7	7.7	11.8	17.3
小豆類	2	0.491	1.2	0.4	0.4	1.9
えんどう	2	0.491	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	2	0.491	0.3	0.1	0.4	0.4
らっかせい	0.5	0.12	0.2	0.1	0.1	0.2
その他の豆類	2	0.491	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.3	0.05	1.9	1.7	2.1	1.8
さといも類（やつがしらを含む。）	0.3	0.05	0.3	0.1	0.1	0.4
かんしょ	0.3	0.05	0.3	0.3	0.6	0.5
やまいも（長いもをいう。）	0.3	0.05	0.2	0.0	0.1	0.2
こんにゃくいも	0.3	0.05	0.1	0.0	0.0	0.1
その他のいも類	0.3	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.3	0.05	1.6	1.4	2.1	1.7
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.3	0.05	1.7	0.6	1.0	2.3
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	3	0.7	1.2	0.4	2.2	2.0
かぶ類の根	0.3	0.05	0.1	0.0	0.0	0.3
かぶ類の葉	2	2.96	0.9	0.3	0.3	1.8
西洋わさび	0.3	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	2	3.36	0.3	0.3	0.3	0.3
はくさい	2	0.47	8.3	2.4	7.8	10.2
キャベツ	2	0.47	11.3	5.5	8.9	11.2
芽キャベツ	2	0.47	0.0	0.0	0.0	0.0
ケール	0.7	1.3	0.3	0.1	0.1	0.3
こまつな	2	0.47	2.4	0.8	3.0	3.0
きょうな	5	2.725	6.0	1.1	3.8	7.4
チンゲンサイ	2	0.47	0.8	0.3	0.8	0.9
カリフラワー	2	0.47	0.2	0.1	0.0	0.2
ブロッコリー	4	0.595	3.1	2.0	3.3	3.4
その他のあぶらな科野菜	5	2.39	8.1	1.4	1.9	11.5
ごぼう	0.3	0.05	0.2	0.1	0.2	0.2
サルシフィー	0.3	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	2	1.552	0.2	0.2	0.2	0.2
チコリ	2	2.96	0.3	0.3	0.3	0.3
エンダイブ	5	3.665	0.4	0.4	0.4	0.4
しゅんぎく	2	3.36	5.0	1.0	8.7	8.4
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	2	0.33	3.2	1.5	3.8	3.0
その他のきく科野菜	5	2.46	3.7	0.2	1.5	6.4
たまねぎ	0.05	0.05	1.6	1.1	1.8	1.4
ねぎ（リーキを含む。）	0.5	0.235	2.2	0.9	1.6	2.5
にら	0.7	2.46	4.9	2.2	4.4	5.2
アスパラガス	0.6	0.107	0.2	0.1	0.1	0.3
わけぎ	2	1.054	0.2	0.1	0.1	0.2
その他のゆり科野菜	0.2	0.6	0.4	0.1	0.1	0.7
にんじん	0.3	0.05	0.9	0.7	1.1	0.9
パースニップ	0.3	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
パセリ	3	3.294	0.3	0.3	0.3	0.7
セロリ	4	0.365	0.4	0.2	0.1	0.4
みつば	5	4.32	1.7	0.4	0.4	2.2
その他のせり科野菜	4	0.89	0.2	0.1	0.3	0.3
トマト	0.9	0.284	9.1	5.4	9.1	10.4
ピーマン	3	0.882	4.2	1.9	6.7	4.3
なす	1	0.233	2.8	0.5	2.3	4.0
その他のなす科野菜	4	1.7	1.9	0.2	2.0	2.0
きゅうり（ガーキンを含む。）	1	0.344	7.1	3.3	4.9	8.8
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.6	0.31	2.9	1.1	2.4	4.0
しろうり	0.1	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
すいか（果皮を含む。）	0.3	0.099	0.8	0.5	1.4	1.1
メロン類果実（果皮を含む。）	0.7	0.382	1.3	1.0	1.7	1.6
まくわうり（果皮を含む。）	0.1	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	1	0.362	1.0	0.4	0.2	1.2

（別紙4）

イミダクロプリドの推定摂取量 （単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）EDI
ほうれんそう	9	4.6	58.9	27.1	65.3	80.0
オクラ	0.7	0.208	0.3	0.2	0.3	0.4
しょうが	0.3	0.05	0.1	0.0	0.1	0.1
未成熟えんどう	3	0.6	1.0	0.3	0.1	1.4
未成熟いんげん	2	0.491	1.2	0.5	0.0	1.6
えだまめ	1	0.51	0.9	0.5	0.3	1.4
その他の野菜（アマランサス（茎葉）、なんてん（葉）、食用かえで（葉）及びふだんそうを除く。）	2	1.71	67.0	27.1	65.3	80.0
その他の野菜（食用かえで（葉）及びふだんそうに限る。）	5	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜（アマランサス（茎葉）に限る。）	7	2.95	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜（なんてん（葉）に限る。）	10	6.49	0.0	0.0	0.0	0.0
みかん（外果皮を含む。）	1	0.823	14.6	13.5	0.5	21.6
なつみかんの果実全体	0.7	0.409	0.5	0.3	2.0	0.9
レモン	0.7	0.335	0.2	0.0	0.1	0.2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	1	0.823	5.8	12.0	10.3	3.5
グレープフルーツ	0.7	0.409	1.7	0.9	3.6	1.4
ライム	0.7	0.335	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のかんきつ類果実	1	0.823	4.9	2.2	2.1	7.8
りんご	0.5	0.231	5.6	7.1	4.3	7.5
日本なし	0.6	0.38	2.4	1.3	3.5	3.0
西洋なし	0.6	0.38	0.2	0.1	0.0	0.2
マルメロ	0.4	0.235	0.0	0.0	0.0	0.0
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	4	1.15	0.6	0.3	2.2	0.5
もも（果皮及び種子を含む。）	1	0.501	1.7	1.9	2.7	2.2
ネクタリン	2	0.606	0.1	0.1	0.1	0.1
あんず（アプリコットを含む。）	2	0.606	0.1	0.1	0.1	0.2
すもも（プルーンを含む。）	2	0.606	0.7	0.4	0.4	0.7
うめ	1	0.355	0.5	0.1	0.2	0.6
おうとう（チェリーを含む。）	2	0.55	0.2	0.4	0.1	0.2
いちご	0.3	0.17	0.9	1.3	0.9	1.0
ラズベリー	3	0.89	0.1	0.1	0.1	0.1
ブラックベリー	3	0.89	0.1	0.1	0.1	0.1
ブルーベリー	3	0.89	1.0	0.6	0.4	1.2
クランベリー	0.01	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ハックルベリー	3	0.89	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のベリー類果実	3	0.89	0.1	0.1	0.2	0.1
ぶどう	3	0.816	7.1	6.7	16.5	7.3
かき	1	0.495	4.9	0.8	1.9	9.0
バナナ	0.04	0.01	0.1	0.2	0.2	0.2
キウィー（果皮を含む。）	15	1.73	3.8	2.4	4.0	5.0
パパイヤ	0.6	0.22	0.0	0.1	0.0	0.0
アボカド	0.6	0.22	0.1	0.0	0.0	0.1
グアバ	0.4	0.326	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴー	1	0.867	0.3	0.3	0.1	0.3
パッションフルーツ	0.7	0.364	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	3	0.89	1.1	0.4	0.8	1.5
ひまわりの種子	0.01	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ごまの種子	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
べにばなの種子	0.01	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
綿実	3	0.83	0.1	0.1	0.1	0.1
なたね	0.01	0.05	0.3	0.2	0.3	0.2
その他のオイルシード	0.02	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ぎんなん	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	30	6.4	42.2	6.4	23.7	60.2
コーヒー豆	0.6	0.35	1.2	0.0	0.1	0.8
カカオ豆	0.05	0.051	0.0	0.0	0.0	0.0
ホップ	3	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のスパイス	5	2.245	0.2	0.2	0.2	0.4
その他のハーブ	15	10.79	9.7	3.2	1.1	15.1
牛の筋肉及び脂肪	0.3	0.043	0.7	0.4	0.9	0.4
牛の肝臓	0.3	0.192	0.0	0.0	0.3	0.0
牛の腎臓	0.3	0.118	0.0	0.0	0.0	0.0
牛の食用部分	0.3	0.3	0.2	0.0	1.0	0.1
豚の筋肉及び脂肪	0.3	0.3	12.6	10.0	13.0	9.2

（別紙4）

イミダクロプリドの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）EDI
豚の肝臓	0.3	0.3	0.0	0.2	0.0	0.0
豚の腎臓	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
豚の食用部分	0.3	0.3	0.2	0.1	0.0	0.1
その他の陸棲哺乳類の肉類	0.3	0.3	0.1	0.0	0.1	0.1
乳	0.1	0.06	15.8	19.9	21.9	13.0
鶏の筋肉及び脂肪	0.02	0.02	0.4	0.3	0.4	0.3
鶏の肝臓	0.06	0.058	0.0	0.0	0.0	0.0
鶏の腎臓	0.06	0.058	0.0	0.0	0.0	0.0
鶏の食用部分	0.06	0.06	0.1	0.1	0.2	0.1
その他の家きんの肉類	0.06	0.06	0.0	0.0	0.0	0.0
鶏の卵	0.02	0.023	0.9	0.8	1.1	0.9
その他の家きんの卵	0.02	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
魚介類＊	0.6	0.34	31.7	13.5	18.1	39.0
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			628.9	316.8	511.4	739.2
ADI比（%）			20.0	33.7	15.3	23.1

EDI：推定一日摂取量（Estimated Daily Intake）
EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量
●：個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値（案）の数値を用いた。
国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。
茶については、浸出液における作物残留試験結果がないため、JMPR（2015年）の荒茶の作物残留試験結果を用いてEDI試算をした。
牛、豚及び鶏については、筋肉及び脂肪の摂取量に、高い方の平均的残留濃度等を乗じてEDI試算した。
その他の陸棲哺乳類については、その他の陸棲哺乳類の肉類の摂取量に、各組織のうち最も高い平均的残留濃度を乗じてEDI試算した。

＊「魚介類（さけ目魚類に限る。）、魚介類（うなぎ目魚類に限る。）、魚介類（すずき目魚類に限る。）及び魚介類（その他の魚類に限る。）については、動物用医薬品としての対象動物は魚類であるが、魚類のみの摂取量のデータがないため、魚類を含む魚介類の摂取量を用いて暴露評価を実施した。

イミダクロプリドの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)		ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
米（玄米をいう。）	米	0.08	○	0.05	0.3	0
小麦	小麦	0.2	○	0.06	0.1	0
大麦	大麦	0.02	○	0.05	0.0	0
	麦茶	0.02	○	0.05	0.0	0
とうもろこし	スイートコーン	0.02	○	0.05	0.6	1
そば	そば	0.02	○	0.05	0.1	0
大豆	大豆	2	○	0.376	0.4	1
小豆類	いんげん	2	○	0.491	0.8	1
らっかせい	らっかせい	0.5	○	0.12	0.2	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.3	○	0.28	2.6	3
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.3	○	0.28	1.5	2
かんしょ	かんしょ	0.3	○	0.28	3.5	5
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.3	○	0.28	2.3	3
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.3	○	0.28	3.2	4
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	3	○	2.7	22.3	30
かぶ類の根	かぶの根	0.3	○	0.28	2.1	3
かぶ類の葉	かぶの葉	2	○	3.40	9.0	10
はくさい	はくさい	2	○	3.25	42.1	50
キャベツ	キャベツ	2	○	3.25	31.0	40
ケール	ケール	0.7	○	2.0	16.1	20
こまつな	こまつな	2	○	3.25	13.8	20
きょうな	きょうな	5		10	33.3	40
チンゲンサイ	チンゲンサイ	2	○	3.25	24.1	30
カリフラワー	カリフラワー	2	○	3.25	24.1	30
ブロッコリー	ブロッコリー	4	○	2.75	16.5	20
その他のあぶらな科野菜	たかな	5		10	78.5	100
	菜花	5		10	27.6	40
ごぼう	ごぼう	0.3	○	0.28	1.4	2
しゅんぎく	しゅんぎく	2		10	32.6	40
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	2		3	16.9	20
たまねぎ	たまねぎ	0.05		0.2	1.6	2
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.5	○	0.54	2.1	3
にら	にら	0.7		9	12.1	20
アスパラガス	アスパラガス	0.6	○	0.336	0.7	1
わけぎ	わけぎ	2		3	5.9	8
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	0.2		2	3.5	5
	らっきょう	0.2		2	2.1	3
にんじん	にんじん	0.3	○	0.28	1.3	2
	にんじんジュース	0.3	○	0.05	0.3	0
パセリ	パセリ（生）	3		10	1.6	2
	パセリ（乾燥）	3	○	3.294	2.9	4
セロリ	セロリ	4	○	3.2	17.6	20
みつば	みつば	5		10	8.1	10
その他のせり科野菜	せり	4	○	5.62	9.2	10
トマト	トマト	0.9	○	0.636	7.0	9
ピーマン	ピーマン	3	○	1.808	4.6	6
なす	なす	1	○	0.712	4.6	6
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	4	○	1.89	3.0	4
	ししとう	4	○	1.89	1.9	2
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	1		1	6.3	8
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.6	○	0.39	3.8	5
	ズッキーニ	0.6	○	0.39	2.8	4
しろうり	しろうり	0.1	○	0.11	0.9	1
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.3		0.5	16.5	20
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	0.7		1	17.0	20
その他のうり科野菜	とうがん	1		2	34.0	40
	にがうり	1		2	16.1	20
ほうれんそう	ほうれんそう	9	○	6.63	32.1	40

イミダクロプリドの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
オクラ	オクラ	0.7	0.7	1.0	1
しょうが	しょうが	0.3	○ 0.28	0.3	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	3	○ 3.8	6.2	8
	未成熟えんどう（豆）	3	○ 3.8	6.4	8
未成熟いんげん	未成熟いんげん	2	○ 0.491	1.0	1
えだまめ	えだまめ	1	1	2.5	3
その他の野菜（アマランサス(茎葉）、なんてん(葉）、食用かえで(葉)及びふだんそうを除く。）	ずいき	2	5	50.6	70
	もやし	2	5	11.5	10
	れんこん	2	5	31.1	40
	そら豆（生）	2	5	14.7	20
みかん（外果皮を含む。）	みかん	1	0.3	2.8	4
なつみかんの果実全体	なつみかん	0.7	2	24.9	30
レモン	レモン	0.7	2	4.2	5
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	1	3	28.2	40
	オレンジ果汁	1	○ 0.059	0.6	1
グレープフルーツ	グレープフルーツ	0.7	2	34.4	40
その他のかんきつ類果実	きんかん	1	0.3	0.7	1
	ぽんかん	1	0.3	3.2	4
	ゆず	1	0.3	0.5	1
	すだち	1	0.3	0.5	1
りんご	りんご	0.5	0.7	10.0	10
	りんご果汁	0.5	○ 0.231	2.4	3
日本なし	日本なし	0.6	○ 0.71	10.7	10
西洋なし	西洋なし	0.6	○ 0.71	10.0	10
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	びわ	4	○ 3.4	24.4	30
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	0.7	9.5	10
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	2	○ 2.544	14.9	20
うめ	うめ	1	○ 0.77	1.1	1
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	2	○ 2.5	6.2	8
いちご	いちご	0.3	○ 0.35	1.3	2
ブルーベリー	ブルーベリー	3	○ 2.8	4.0	5
ぶどう	ぶどう	3	○ 1.64	22.1	30
かき	かき	1	2	28.6	40
バナナ	バナナ	0.04	○ 0.05	0.6	1
キウィー（果皮を含む。）	キウィー	15	○ 8.78	49.7	60
アボカド	アボカド	0.6	1	7.1	9
マンゴー	マンゴー	1	2	27.0	40
その他の果実	いちじく	3	○ 2.8	21.5	30
ごまの種子	ごまの種子	0.05	○ 0.05	0.0	0
ぎんなん	ぎんなん	0.05	○ 0.05	0.0	0
くり	くり	0.05	○ 0.05	0.1	0
アーモンド	アーモンド	0.01	○ 0.01	0.0	0
くるみ	くるみ	0.01	○ 0.01	0.0	0
茶	緑茶類	30	○ 6.4	3.9	5
カカオ豆	カカオ豆	0.05	○ 0.056	0.0	0
ホップ	ホップ	3	○ 0.7	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

茶については、浸出液における作物残留試験結果がないため、JMPR（2015年）の荒茶の作物残留試験結果を用いて試算をした。

みかん(外果皮を含む。）、その他のかんきつ類果実及びもも（果皮及び種子を含む。）については、果肉の作物残留試験結果より算出した果肉の基準値に相当する値を用いて短期摂取量を推計した。

イミダクロプリドの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI (μg/kg体重)	ESTI/ARfD (%)
米（玄米をいう。）	米	0.08	○ 0.05	0.5	1
小麦	小麦	0.2	○ 0.06	0.2	0
大麦	大麦	0.02	○ 0.05	0.0	0
	麦茶	0.02	○ 0.05	0.1	0
とうもろこし	スイートコーン	0.02	○ 0.05	1.2	2
大豆	大豆	2	○ 0.376	0.4	1
らっかせい	らっかせい	0.5	○ 0.12	0.1	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.3	○ 0.28	6.4	8
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.3	○ 0.28	3.5	5
かんしょ	かんしょ	0.3	○ 0.28	7.1	9
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.3	○ 0.28	3.8	5
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.3	○ 0.28	6.1	8
はくさい	はくさい	2	○ 3.25	50.9	70
キャベツ	キャベツ	2	○ 3.25	50.8	70
こまつな	こまつな	2	○ 3.25	28.9	40
ブロッコリー	ブロッコリー	4	○ 2.75	39.6	50
ごぼう	ごぼう	0.3	○ 0.28	1.8	2
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	2	3	29.5	40
たまねぎ	たまねぎ	0.05	0.2	3.5	5
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.5	○ 0.54	3.5	5
にら	にら	0.7	9	19.0	20
にんじん	にんじん	0.3	○ 0.28	2.9	4
パセリ	パセリ（生）	3	10	1.7	2
トマト	トマト	0.9	○ 0.636	17.3	20
ピーマン	ピーマン	3	○ 1.808	11.8	20
なす	なす	1	○ 0.712	11.1	10
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	1	1	14.6	20
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.6	○ 0.39	6.3	8
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.3	0.5	43.3	60
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	0.7	1	29.3	40
ほうれんそう	ほうれんそう	9	○ 6.63	74.4	100
オクラ	オクラ	0.7	0.7	3.0	4
しょうが	しょうが	0.3	○ 0.28	0.4	1
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	3	○ 3.8	4.7	6
	未成熟えんどう（豆）	3	○ 3.8	6.8	9
未成熟いんげん	未成熟いんげん	2	○ 0.491	2.0	3
えだまめ	えだまめ	1	1	2.8	4
その他の野菜	もやし	2	5	21.0	30
	れんこん	2	5	51.4	70
みかん（外果皮を含む。）	みかん	1	0.3	8.2	10
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	1	3	80.8	100
	オレンジ果汁	1	○ 0.059	1.1	1
りんご	りんご	0.5	0.7	22.5	30
	りんご果汁	0.5	○ 0.231	7.8	10

イミダクロプリドの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI (μg/kg体重)	ESTI/ARfD (%)
日本なし	日本なし	0.6	○ 0.71	20.4	30
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	0.7	29.7	40
うめ	うめ	1	○ 0.77	2.6	3
いちご	いちご	0.3	○ 0.35	3.8	5
ぶどう	ぶどう	3	○ 1.64	50.2	70
かき	かき	1	2	41.8	50
バナナ	バナナ	0.04	○ 0.05	1.9	2
ごまの種子	ごまの種子	0.05	○ 0.05	0.0	0
茶	緑茶類	30	○ 6.4	6.2	8
カカオ豆	カカオ豆	0.05	○ 0.056	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

茶については、浸出液における作物残留試験結果がないため、JMPR（2015年）の荒茶の作物残留試験結果を用いて試算をした。

みかん(外果皮を含む。）及びもも（果皮及び種子を含む。）については、果肉の作物残留試験結果より算出した果肉の基準値に相当する値を用いて短期摂取量を推計した。

（参考）

これまでの経緯

平成　４年１１月　４日　初回農薬登録
平成１７年１１月２９日　残留基準告示
平成１８年　３月１７日　農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：稲）
平成１８年　９月　４日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成１９年　２月２３日　厚生労働大臣から残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成１９年　６月１４日　食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２１年　５月２０日　薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２１年　６月１９日　薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２２年　４月　６日　残留基準告示

平成２１年　５月１１日　農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：なす、ほうれんそう等）
平成２１年１０月２１日　農林水産大臣から食品安全委員会委員長あてに飼料中（穀類及び乾牧草）残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２１年１２月１８日　インポートトレランス設定の申請（牛の筋肉等）
平成２２年　１月２５日　厚生労働大臣から食品安全委員会長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２２年　９月　９日　食品安全委員会委員長から農林水産大臣及び厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２３年　５月２７日　薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２３年１２月２７日　残留基準告示

平成２４年１０月　４日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２４年１０月１５日　食品安全委員会委員長から農林水産大臣及び厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２４年１０月２３日　薬事・食品衛生審議会諮問
平成２４年１０月３０日　薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２５年　７月　２日　残留基準告示

平成２７年　２月２０日　農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：食用ゆり、ごま等）
平成２７年１１月１７日　農林水産大臣から食品安全委員会委員長あてに飼料中（穀類及び乾牧草）残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２７年１１月１６日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２８年　７月１２日　食品安全委員会委員長から農林水産大臣及び厚生労働大臣あて

に食品健康影響評価について通知
平成２８年１２月２７日　薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２９年　７月１８日　残留基準告示

令和　４年　６月　２日　インポートトレランス申請（こまつな、チンゲンサイ）
令和　４年１０月２０日　インポートトレランス申請（魚類）
令和　４年１２月１４日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請及び農林水産大臣から食品安全委員会委員長あてに農薬の再評価に係る食品健康影響評価について要請
令和　５年　７月　３日　インポートトレランス申請（はくさい、キャベツ等）
令和　７年　４月　４日　農林水産省から消費者庁へ農薬の再評価に係る連絡
令和　７年　７月１６日　食品安全委員会委員長から内閣総理大臣及び農林水産大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和　８年　４月　３日　農林水産省から消費者庁へ農薬の適用拡大申請及び農薬の再評価の連絡並びに基準値設定依頼（適用拡大：なんてん（葉））
令和　８年　５月１３日　食品衛生基準審議会へ諮問
令和　８年　５月１９日　食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

［委員］

大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	国立医薬品食品衛生研究所薬品部長
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部本部長
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
◎堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所（薬学系兼任）教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

（◎：部会長、○：部会長代理）

答申（案）

イミダクロプリドについては、以下のとおり食品中の農薬及び動物用医薬品の残留基準を設定することが適当である。

イミダクロプリド

今回残留基準を設定する「イミダクロプリド」の規制対象は、農産物、はちみつ及び魚類にあっては、イミダクロプリドとし、畜産物にあっては、イミダクロプリド及び6-クロロピリジル基を有する代謝物とする。ただし、6-クロロピリジル基を有する代謝物はイミダクロプリドの濃度に換算するものとする。

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	0.08
小麦	0.2
大麦	0.02
ライ麦	0.02
とうもろこし	0.02
そば	0.02
その他の穀類[注1)]	3
大豆	2
小豆類[注2)]	2
えんどう	2
そら豆	2
らっかせい	0.5
その他の豆類[注3)]	2
ばれいしょ	0.3
さといも類（やつがしらを含む。）	0.3
かんしょ	0.3
やまいも（長いもをいう。）	0.3
こんにゃくいも	0.3
その他のいも類[注4)]	0.3
てんさい	0.3
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.3
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	3
かぶ類の根	0.3
かぶ類の葉	2
西洋わさび	0.3
クレソン	2
はくさい	2
キャベツ	2
芽キャベツ	2
ケール	0.7
こまつな	2

食品名	残留基準値 ppm
きょうな	5
チンゲンサイ	2
カリフラワー	2
ブロッコリー	4
その他のあぶらな科野菜[注5)]	5
ごぼう	0.3
サルシフィー	0.3
アーティチョーク	2
チコリ	2
エンダイブ	5
しゅんぎく	2
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	2
その他のきく科野菜[注6)]	5
たまねぎ	0.05
ねぎ（リーキを含む。）	0.5
にら	0.7
アスパラガス	0.6
わけぎ	2
その他のゆり科野菜[注7)]	0.2
にんじん	0.3
パースニップ	0.3
パセリ	3
セロリ	4
みつば	5
その他のせり科野菜[注8)]	4
トマト	0.9
ピーマン	3
なす	1
その他のなす科野菜[注9)]	4
きゅうり（ガーキンを含む。）	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.6
しろうり	0.1
すいか（果皮を含む。）	0.3
メロン類果実（果皮を含む。）	0.7
まくわうり（果皮を含む。）	0.1
その他のうり科野菜[注10)]	1
ほうれんそう	9
オクラ	0.7
しょうが	0.3
未成熟えんどう	3
未成熟いんげん	2

食品名	残留基準値 ppm
えだまめ	1
その他の野菜[注11)]（アマランサス（茎葉）、なんてん（葉）、食用かえで（葉）及びふだんそうを除く。） その他の野菜（食用かえで（葉）及びふだんそうに限る。） その他の野菜（アマランサス（茎葉）に限る。） その他の野菜（なんてん（葉）に限る。）	2 5 7 10
みかん（外果皮を含む。） なつみかんの果実全体 レモン オレンジ（ネーブルオレンジを含む。） グレープフルーツ ライム その他のかんきつ類果実[注12)]	1 0.7 0.7 1 0.7 0.7 1
りんご 日本なし 西洋なし マルメロ びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	0.5 0.6 0.6 0.4 4
もも（果皮及び種子を含む。） ネクタリン あんず（アプリコットを含む。） すもも（プルーンを含む。） うめ おうとう（チェリーを含む。）	1 2 2 2 1 2
いちご ラズベリー ブラックベリー ブルーベリー クランベリー ハックルベリー その他のベリー類果実[注13)]	0.3 3 3 3 0.01 3 3
ぶどう かき	3 1
バナナ キウィー（果皮を含む。） パパイヤ アボカド グアバ マンゴー パッションフルーツ	0.04 15 0.6 0.6 0.4 1 0.7
その他の果実[注14)]	3
ひまわりの種子	0.01

食品名	残留基準値 ppm
ごまの種子 べにばなの種子 綿実 なたね その他のオイルシード[注15)]	0.05 0.01 3 0.01 0.02
ぎんなん くり ペカン アーモンド くるみ その他のナッツ類[注16)]	0.05 0.05 0.01 0.01 0.01 0.01
茶 コーヒー豆 カカオ豆 ホップ	30 0.6 0.05 3
その他のスパイス[注17)]	5
その他のハーブ[注18)]	15
牛の筋肉 豚の筋肉 その他の陸棲哺乳類に属する動物[注19)]の筋肉	0.3 0.3 0.3
牛の脂肪 豚の脂肪 その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.3 0.3 0.3
牛の肝臓 豚の肝臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.3 0.3 0.3
牛の腎臓 豚の腎臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.3 0.3 0.3
牛の食用部分[注20)] 豚の食用部分 その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.3 0.3 0.3
乳	0.1
鶏の筋肉 その他の家きん[注21)]の筋肉	0.02 0.02
鶏の脂肪 その他の家きんの脂肪	0.02 0.02
鶏の肝臓 その他の家きんの肝臓	0.06 0.06
鶏の腎臓 その他の家きんの腎臓	0.06 0.06

食品名	残留基準値 ppm
鶏の食用部分 その他の家きんの食用部分	0.06 0.06
鶏の卵 その他の家きんの卵	0.02 0.02
魚介類（さけ目魚類[注22)]に限る。） 魚介類（うなぎ目魚類に限る。） 魚介類（すずき目魚類に限る。） 魚介類（その他の魚類[注23)]に限る。）	0.6 0.6 0.6 0.6
はちみつ	0.05

注1）「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。
注2）「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。
注3）「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。
注4）「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。
注5）「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。
注6）「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。
注7）「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。
注8）「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
注9）「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。
注10）「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。
注11）「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
注12）「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。
注13）「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。
注14）「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウィー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。
注15）「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。
注16）「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。
注17）「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。
注18）「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。
注19）「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。
注20）「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。
注21）「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

注22）「さけ目魚類」には、さけ目魚類のほか、にしん目魚類及びきゅうりうお目魚類を含む。
注23）「その他の魚類」とは、魚類のうち、さけ目類（にしん目魚類及びきゅうりうお目魚類を含む。）、うなぎ目類及びすずき目類以外のものをいう。

令和８年５月 19 日開催部会

クロロタロニル

今般の残留基準の検討については、食品中の農薬等のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値（いわゆる暫定基準）の見直し等について食品安全委員会において厚生労働大臣からの依頼に伴う食品健康影響評価がなされたこと及び農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会（以下「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、当該基準値設定依頼に当たっては、毒性や代謝物に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に内閣総理大臣から食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

１．概要

（１）品目名：クロロタロニル[Chlorothalonil（ISO）]

（２）分　類：農薬

（３）用　途：殺菌剤

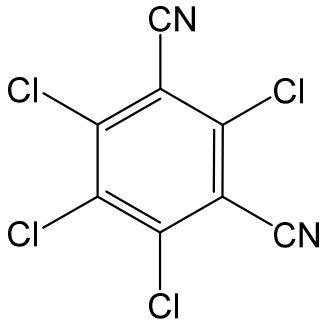
クロロニトリル（フタロニトリル）類の殺菌剤である。多作用点接触活性を有する多作用点阻害剤であると考えられている。

（４）化学名及びCAS番号

2,4,5,6-Tetrachloroisophthalonitrile（IUPAC）

1,3-Benzenedicarbonitrile, 2,4,5,6-tetrachloro-（CAS：No. 1897-45-6）

（５）構造式及び物性



分 子 式	$C_8Cl_4N_2$
分 子 量	265.90
水溶解度	8.1×10^{-4} g/L（25℃）
分配係数	$\log_{10}Pow = 2.94$（25℃）

２．適用の範囲及び使用方法

本剤の国内における適用の範囲及び使用方法は、別紙1のとおり。

３．代謝試験

（１）植物代謝試験

植物代謝試験が、レタス、にんじん、トマト、セルリー、いんげんまめ及びりんごで実施されており、可食部で親化合物の残留が認められ、10%TRR[注)]以上認められた代謝物は認められなかった。また後作作物での代謝試験が春小麦、にんじん、レタス及び豆について実施されており、にんじん及び豆の可食部で親化合物の残留が認められ、10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物I（にんじん根部及び豆のさや部分）及び代謝物III（春小麦穀粒、にんじん根部及びレタス葉部）であった。

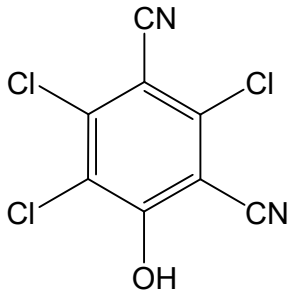
注）%TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

（２）家畜代謝試験

[^{14}C]クロロタロニルを用いた家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、すべての組織、乳及び卵において親化合物の残留が認められていない。可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物I（泌乳山羊の乳）であった。また[^{14}C]代謝物Iを用いた家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施され、可食部で10%TRR以上認められた残留物は、代謝物I（泌乳山羊のすべての組織及び乳並びに産卵鶏の卵黄）のみであった。産卵鶏のその他の組織については、代謝物の分析は実施されなかった。

【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
I	SDS-3701	2,5,6-トリクロロ-4-ヒドロキシイソフタロニトリル
III	SDS-46851 R611965	3-カルボキシ-2,5,6-トリクロロベンズアミド



代謝物I

注）残留試験の分析対象、残留の規制対象及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

４．作物残留試験

（１）分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

・クロロタロニル

② 分析法の概要

ｉ）クロロタロニル

試料を磨砕して5%又は10%リン酸溶液を加えて膨潤させた後、アセトンを加えて抽出する。または磨砕してアセトン・50%リン酸溶液（20～50：1、必要に応じて10%(w/v)硫酸ナトリウムを加える）を加えて抽出する。若しくは試料に等重量の10%リン酸溶液を加えてから破砕し、アセトンを加えて抽出する。アセトンを留去後、*n*-ヘキサンに溶解し、5%硫酸ナトリウム溶液若しくは5%又は10%塩化ナトリウム溶液で洗浄する。必要に応じて*n*-ヘキサンからアセトニトリルに転溶する。シリカゲルカラム、フロリジルカラム又はフロリジルカラム及びシリカゲルカラムを用いて精製した後、電子捕獲型検出器付きガスクロマトグラフ（GC-ECD）、高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ（GC-NPD）又はアルカリ熱イオン化検出器付きガスクロマトグラフ（GC-FTD）で定量する。

または、試料に重量比1～10%リン酸溶液を加えて破砕する。アセトンを加えて抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、フロリジルカラム、多孔性ケイソウ土カラム及びフロリジルカラム、多孔性ケイソウ土/シリカゲル連結カラム、オクタデシルシリル化シリカゲル（C_{18}）カラム及びフロリジルカラム、必要に応じてグラファイトカーボンカラムを用いて精製し、GC-ECD、GC-NPD又はGC-FTDで定量する。

または、試料に1/2重量の10%リン酸溶液を加えて破砕し、アセトンを加えて抽出する。多孔性ケイソウ土カラム、グラファイトカーボン/アミノプロピルシリル化シリカゲル（NH_2）積層カラム及びフロリジルカラム又はグラファイトカーボン/NH_2積層カラムを用いて精製し、GC-ECD又はガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）で定量する。

または試料を重量の4倍液量の5%リン酸溶液で膨潤し、アセトンで抽出する。必要に応じてヘキサン処理した後、抽出液に等量の凝固液（240 g塩化アンモニウム、40 mLリン酸を水360 mLに溶解した貯蔵液を用時10倍希釈）を加えて凝固物を除き、塩化ナトリウム粉末を加えて溶解した後に*n*-ヘキサンに転溶する。フロリジルカラム又はシリカゲルカラムを用いて精製し、GC-NPD又はGC-ECDで定量する。

あるいは試料に沸騰水を入れて抽出する。ろ液にアセトン及び飽和酢酸鉛溶液を加えて凝固物を除き、塩化ナトリウム粉末を加えて溶解した後に*n*-ヘキサンを加えて転溶する。シリカゲルカラムで精製し、GC-NPDで定量する。

定量限界：0.0003～0.1 mg/kg

（２）作物残留試験結果

国内作物残留試験については、アスパラガス、トマト、ミニトマト、ピーマン、なす、きゅうり、かぼちゃ、すいか、メロン、まくわうり、もも及びおうとうの試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2に示す。

５．畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

（１）分析の概要

①　分析対象物質

・代謝物Ｉ

②　分析法の概要

ｉ）代謝物Ｉ

試料から、筋肉、肝臓及び腎臓についてはアセトン・5 mol/L硫酸（19：1）混液で、脂肪についてはアセトニトリル・5 mol/L硫酸（19：1）混液で、乳についてはアセトニトリルで、卵についてはアセトニトリル・水（3：1）混液で抽出後、C_{18}カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計(LC-MS/MS)で定量する。

定量限界：代謝物Ｉ　　0.01 mg/kg

（２）家畜残留試験（動物飼養試験）

①　乳牛を用いた残留試験

乳牛（ホルスタイン種、体重500～550 kg、4頭/時点）に対して、飼料中濃度としてクロロタロニル1.5 ppm及び代謝物Ｉ 0.1 ppm、クロロタロニル3 ppm及び代謝物Ｉ 0.2 ppm、クロロタロニル9 ppm及び代謝物Ｉ 0.6 ppm、クロロタロニル30 ppm及び代謝物Ｉ 2.0 ppmに相当する量を含むカプセルを28日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳に含まれる代謝物Iの濃度をLC-MS/MSで測定した。結果は表1を参照。

表1. 乳牛の試料中の代謝物Iの残留濃度（mg/kg）

		クロロタロニル 1.5 ppm／代謝物I 0.1 ppm 投与群	クロロタロニル 3 ppm／代謝物I 0.2 ppm 投与群	クロロタロニル 9 ppm／代謝物I 0.6 ppm 投与群	クロロタロニル 30 ppm／代謝物I 2.0 ppm 投与群
筋肉	背最長筋肉	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	0.020（最大） 0.013（平均）	0.070（最大） 0.050（平均）	0.240（最大） 0.150（平均）
	大腿部筋肉	<0.01 （最大） <0.01 （平均）	0.020（最大） 0.012（平均）	0.090（最大） 0.055（平均）	0.150（最大） 0.138（平均）
脂肪	大網脂肪	0.030（最大） 0.025（平均）	0.070（最大） 0.040（平均）	0.060（最大） 0.035（平均）	0.360（最大） 0.210（平均）
	腎周囲脂肪	0.020（最大） 0.015（平均）	0.050（最大） 0.038（平均）	0.080（最大） 0.060（平均）	0.850（最大） 0.665（平均）
肝臓		0.030（最大） 0.023（平均）	0.040（最大） 0.025（平均）	0.180（最大） 0.155（平均）	0.550（最大） 0.445（平均）
腎臓		0.140（最大） 0.135（平均）	0.280（最大） 0.202（平均）	0.550（最大） 0.488（平均）	1.200（最大） 0.950（平均）
乳注)		0.030（平均）	0.056（平均）	0.199（平均）	0.479（平均）

定量限界：0.01 mg/kg

注）投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に分析して平均し、その平均残留濃度がプラトーに達する投与開始後11日目以降の残留濃度の平均値を求めた。

② 産卵鶏を用いた代謝試験

産卵鶏を用いた残留試験は実施されていないが、放射性同位体標識化合物を用いた代謝試験が実施されている。

産卵鶏に対し、^{14}C-クロロタロニルを飼料中濃度として2、6及び20 ppmに相当する量を21日間にわたりカプセルにて投与し、最終投与6時間後に総放射性残留物の濃度を液体シンチレーション計測装置（LSC）で測定した。その結果、卵黄からは20 ppm投与群で0.035～0.047 mg eq/kg注)、肝臓からは6 ppm投与群で0.098 mg eq/kg、20 ppm投与群で0.05 mg eq/kgの総放射性残留物が検出された。それ以外の組織では放射性残留物は定量限界未満であった（定量限界：0.01 mg eq/kg）。

また^{14}C-代謝物Ⅰを飼料中濃度として0.1、0.3及び1.0 ppmに相当する量を21日間にわたりカプセルにて投与し、最終投与6時間後に総放射性残留物の濃度をLSCで測定した。その結果、0.1 ppm投与群では、卵白、筋肉、脂肪、皮膚からは放射性残留物は検出されず、肝臓からは0.056 mg eq/kg、卵黄からは0.044 mg eq/kgの総放射性残留物が検出された。

注）mg eq/kg：投与放射性同位体標識化合物に換算した濃度（mg/kg）

（３）飼料中の残留農薬濃度

飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和51年農林省令第35号）に定める飼料一般の成分規格や飼料となる作物の残留試験成績等を基に、飼料の最大給与割合等

を考慮して最大飼料由来負荷[注1)]が算出されている。最大飼料由来負荷は、乳牛及び肉牛において0.707 ppm、産卵鶏において0.414 ppm、肉用鶏において0.235 ppmと示されている。また、平均的飼料由来負荷[注2)]は、乳牛及び肉牛において0.553 ppmと示されている。

JMPRは、クロロタロニルに対する最大飼料由来負荷を乳牛において2.0 ppm、肉牛において2.06 ppm、産卵鶏において0.38 ppm、肉用鶏において0.42 ppmと示している。また、クロロタロニルに対する平均的飼料由来負荷は、乳牛において2.0 ppm、肉牛において2.06 ppm、産卵鶏において0.38 ppm、肉用鶏において0.42 ppmと示している。代謝物Ⅰに対する最大飼料由来負荷は、乳牛において0.30 ppm、肉牛において0.31 ppm、産卵鶏において0.09 ppm、肉用鶏において0.069 ppmと示している。また、代謝物Ⅰに対する平均的飼料由来負荷は乳牛において0.28 ppm、肉牛において0.27 ppm、産卵鶏において0.07 ppm、肉用鶏において0.05 ppmと示している。

注1）最大飼料由来負荷（Maximum dietary burden）：飼料の原料に農薬が最大まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2）平均的飼料由来負荷（Mean dietary burden）：飼料の原料に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に（作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる）、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる平均濃度。飼料中濃度として表示される。

（４）推定残留濃度

牛について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残試験結果から、畜産物中の代謝物Iの推定残留濃度を算出した。結果は表2を参照。

表2. 畜産物中の代謝物Iの推定残留濃度：牛（mg/kg）

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
牛	0.013 (0.01)	0.05 (0.025)	0.033 (0.03)	0.18 (0.16)	(0.05)

上段：最大残留濃度　　下段括弧内：平均的な残留濃度

鶏について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜代謝試験結果から、畜産物中の代謝物Iの推定残留濃度を算出した。結果は表3を参照。

表3. 畜産物中の代謝物Iの推定残留濃度：鶏（mg/kg）

	筋肉	脂肪	肝臓	卵
鶏	<0.01 (<0.01)	<0.01 (<0.01)	0.050 (0.039)	(0.031)

上段：最大残留濃度　　下段括弧内：平均的な残留濃度

６．許容一日摂取量（ADI）及び急性参照用量（ARfD）の評価

先の審議の際に食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号及び第2項の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたクロロタロニルに係る食品健康影響評価において、代謝物Iはクロロタロニルより最小の無毒性量が低く、毒性プロファイルが異なることから、クロロタロニルに加え、代謝物Iに関して、以下のとおり評価されている。

（１）ADI

① クロロタロニル

ADI：0.018 mg/kg体重/日

（ADI設定根拠資料）発がん性試験

（動物種）　マウス

（期間）　2年間

（投与方法）　混餌

（無毒性量）　1.86 mg/kg体重/日

（安全係数）　100

前胃乳頭腫及び扁平上皮癌並びに腎尿細管腺腫及び腺癌の発生頻度の増加がそれぞれ認められたが、腫瘍の発生機序はいずれも遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

② 代謝物I（2,5,6-トリクロロ-4-ヒドロキシイソフタロニトリル）

ADI：0.0083 mg/kg体重/日

（ADI設定根拠資料）慢性毒性試験

（動物種）　イヌ

（期間）　1年間

（投与方法）　混餌

（無毒性量）　0.83 mg/kg体重/日

（安全係数）　100

（２）ARfD

① クロロタロニル

ARfD ：0.6 mg/kg体重

（ARfD 設定根拠資料）単回経口投与毒性試験及び腎臓の病理組織学的検査の総合評価

（動物種）　ラット

（期間）　1、2、3又は4日間

（投与方法）　強制経口

（無毒性量）　60 mg/kg体重

（安全係数）　100

②　代謝物Ｉ（2,5,6-トリクロロ-4-ヒドロキシイソフタロニトリル）

ARfD　：0.025 mg/kg体重

（ARfD 設定根拠資料）　発生毒性試験

（動物種）　　ウサギ

（期間）　　妊娠 6～18 日

（投与方法）　強制経口

（無毒性量）　2.5 mg/kg体重

（安全係数）　100

７．諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2009年にADI及びARfDが設定されている。国際基準は大豆、ばれいしょ等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてばれいしょ、カリフラワー等に、カナダにおいてキャベツ、たまねぎ等に、EUにおいて小麦、リンゴ等に、豪州においてだいこん、ぶどう等に、ニュージーランドにおいてレタス、ネクタリン等に基準値が設定されている。

８．残留規制

（１）残留の規制対象

農産物及びはちみつにあっては、クロロタロニルとし、畜産物にあっては、代謝物Iとする。

植物代謝試験において、主な残留物は親化合物であり、作物残留試験においても親化合物の残留が認められ、分析の指標として親化合物のみで十分であると考えられることから、農産物では残留の規制対象には代謝物を含めず、クロロタロニルのみとする。

泌乳山羊及び産卵鶏で放射性同位体標識したクロロタロニルを投与した家畜代謝試験では、泌乳山羊の筋肉と脂肪への移行はごくわずかで、肝臓及び腎臓ではクロロタロニルは検出されず、代謝物Iの残留が認められた。また産卵鶏では肝臓及び卵黄においてのみ移行が認められた。また放射性同位体標識した代謝物Iを投与した家畜代謝試験では代謝物Iが泌乳山羊のすべての可食部組織及び乳並びに産卵鶏の卵黄において主要残留物として認められた。一方で乳牛における家畜残留試験において、最大飼料由来負荷相当で筋肉、及び乳で代謝物Iの残留が認められ、分析の指標として代謝物Iのみで十分であると考えられることから、畜産物では残留の規制対象を代謝物Iとする。

（２）基準値案

別紙3のとおりである。

９．暴露評価

（１）暴露評価対象

農産物にあっては、クロロタロニル及び代謝物Iとし、畜産物にあっては、代謝物Ｉとする。

JMPR並びに食品安全委員会における毒性評価において、クロロタロニルと代謝物Iに対して個別にADI及びARfDが設定されており、植物代謝試験において代謝物Iは可食部において10%TRRを超えていないものの、JMPRにおいて報告されている作物残留試験成績において、いくつかの作物で代謝物Iの残留が認められていることから、クロロタロニル及び代謝物Iについて、各々の化合物を暴露評価対象とする。

家畜代謝試験において、放射性同位体標識したクロロタロニルの投与でクロロタロニルは認められず、代謝物Iが認められること、EU、豪州及びニュージーランドにおいて暴露評価対象は代謝物Iのみとされ、親化合物は対象にされていないこと、またJMPRにおける評価においても同様であることから、畜産物における暴露評価対象は代謝物Iのみとする。

なお、先の審議の際に食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をクロロタロニル（親化合物のみ)、畜産物中ではクロロタロニル及び代謝物Ｉとしている。

（２）暴露評価結果

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価はクロロタロニルについては別紙4-1、代謝物Iについては別紙4-2参照。

	EDI／ADI(%)注)	EDI／ADI(%)注)
	クロロタロニル	代謝物Ｉ
国民全体（1歳以上）	39.5	5.6
幼小児（1～6歳）	78.5	17.9
妊婦	36.5	6.4
高齢者（65歳以上）	46.4	5.3

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。
EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

② 短期（1日経口）暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を算出したところ、国民全体（1歳以上）及び幼小児（1～6歳）のそれぞれにおける摂取量はARfDを超えていない注)。詳細な暴露評価はクロロタロニルについては別紙5-1及び5-2、代謝物Iについては別紙5-3及び5-

4参照。

注）基準値案、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づき ESTIを算出した。

（３）本剤については、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）第1 食品の部A　食品一般の成分規格の項7に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

（別紙1）

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニルを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	82.5% WP	土壌灌注	4000倍	は種時～緑化期 ただし、移植15日前まで	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり1 L	2回以内	2回以内
			2000倍		育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり500 mL		
	53.0% SC	土壌灌注	1000倍	は種時	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり500 mL	1回	
	4.0% DP	育苗箱土壌に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり15～20 g	は種前	－	1回	
	40.0% SC	土壌灌注	1000～2000倍	は種時から緑化期 ただし、は種14日後まで	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり1 L	2回以内	
			500～1000倍		育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり500 mL		
	9.0% DP 配合剤1	覆土に均一に混和する。	育苗箱(30×60×3 cm、覆土約1 L)覆土1 L当たり5 g	覆土前	－	1回	
	50.0% WP 配合剤2	灌注	800～1200倍	は種時から緑化期 ただし、は種14日後まで	育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり1 L	2回以内	
			400～600倍		育苗箱(30×60×3 cm、使用土壌約5 L)1箱当たり0.5 L		
			400倍	は種時		1回	
小麦	53.0% SC	全面散布後土壌混和	20～30倍	は種前	80～100 L/10 a	1回	1回
麦類(秋播栽培)	10.0% DP	作条施用土壌混和	10～20 kg/10 a	は種前	－	1回	1回
		全面施用土壌混和	20～30 kg/10 a				
だいず	82.5% WP	散布	2000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	60.0% WP 配合剤3	散布	1000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
					100～300 mL/㎡		
あずき	60.0% WP 配合剤3	散布	800倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
らっかせい	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
	40.0% SC	散布	500倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	

（別紙1）

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニルを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	82.5% WP	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内
	53.0% SC	散布	750～1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
			125倍		25 L/10 a		
		無人航空機による散布	16倍		3.2 L/10 a		
			8倍		1.6 L/10 a		
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
			500～1000倍				
		無人航空機による散布	16倍		3.2 L/10 a		
			8倍		1.6 L/10 a		
	32.0% SC 配合剤5	散布	500～1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
	60.0% WP 配合剤3	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	
			800～1000倍				
			800～1500倍				
			250倍		25 L/10 a		
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 mL/㎡	5回以内	
			750～1000倍		100～300 L/10 a		
					100～300 mL/㎡		
			250倍		25 L/10 a		
		無人航空機による散布	32倍		3.2 L/10 a		
			16倍		1.6 L/10 a		
	50.0% WP 配合剤6	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
やまのいも	82.5% WP	散布	2000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	6回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	
やまのいも(むかご)	82.5% WP	散布	2000倍	収穫45日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	6回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫45日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	
てんさい	53.0% SC	散布	750～1000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
			750倍				
			200倍		25 L/10 a		
		無人航空機による散布	16倍		3.2 L/10 a		
			8倍		1.6 L/10 a		
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
だいこん	82.5% WP	散布	2000倍	収穫45日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫45日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫45日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
かぶ	10.0% DP	作条施用土壌混和	20～40 kg/10 a	は種前	－	1回	1回

（別紙1）

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニルを含む農薬の総使用回数
はくさい	82.5% WP	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内（は種又は定植前の土壌混和は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内）
	10.0% DP	作条施用土壌混和	30 kg/10 a	は種又は定植前	－	1回	
			30～40 kg/10 a				
		植穴処理土壌混和	10 g/植穴1穴				
		全面施用土壌混和	30～40 kg/10 a				
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	2回以内	
			800～1000倍				
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	2回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	60.0% WP 配合剤3	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	50.0% WP 配合剤2	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
					100～300 mL/㎡		
	50.0% WP 配合剤6	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
非結球はくさい	40.0% SC	散布	1000倍	収穫28日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
キャベツ	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内（は種又は定植前の土壌混和は1回以内、散布、無人航空機散布及びエアゾル剤の噴射は合計2回以内）
	10.0% DP	作条及び全面施用土壌混和	30～40 kg/10 a	は種又は定植前	－	1回	
		植穴処理土壌混和	5～10 g/植穴1穴				
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～400 L/10 a	2回以内	
			800～1000倍				
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	50.0% WP 配合剤2	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
					100～300 mL/㎡		
	50.0% WP 配合剤6	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	0.030% AE 配合剤10	噴霧液が均一に付着するように噴射する。	－	収穫3日前まで	－	2回以内	
みずな	40.0% SC	土壌灌注	1000倍	は種時	3 L/㎡	1回	1回
カリフラワー	82.5% WP	散布	2000倍	出蕾前 ただし、収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	出蕾前 ただし、収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	

（別紙1）

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニルを含む農薬の総使用回数
ブロッコリー	82.5% WP	散布	2000倍	出蕾前 ただし、収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内（土壌灌注は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計2回以内）
	40.0% SC	散布	1000倍	出蕾前 ただし、収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		土壌灌注		定植時	3 L/㎡	1回	
	32.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	出蕾前 ただし、収穫21日前まで	100～400 L/10 a	2回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	出蕾前 ただし、収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	50.0% WP 配合剤2	散布	1000倍	出蕾前 ただし、収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	出蕾前 ただし、収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
					100～300 mL/㎡		
なばな	40.0% SC	散布	1000倍	出蕾前 ただし、収穫21日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
なばな類	82.5% WP	散布	2000倍	出蕾前 ただし、収穫21日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
なばな類（なばなを除く）	40.0% SC	散布	1000倍	収穫60日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ひろしまな	32.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	収穫28日前まで	100～400 L/10 a	2回以内	2回以内
ごぼう	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	
リーフレタス	32.0% SC 配合剤5	散布	800倍	収穫21日前まで	100～400 L/10 a	2回以内	2回以内
レタス	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	5回以内（土壌灌注は2回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内）
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		土壌灌注		収穫42日前まで	1.5～3 L/㎡	2回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	800倍	収穫14日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	50.0% WP 配合剤2	散布	1500倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	50.0% WP 配合剤6	散布	1500倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
非結球レタス	82.5% WP	散布	2000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
ふき	40.0% SC	散布	1000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
もりあざみ	40.0% SC	散布	1000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
食用ぎく	82.5% WP	散布	2000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	

（別紙1）

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニルを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	82.5% WP	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	6回以内
	53.0% SC	散布	750～1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	
			750倍				
		無人航空機による散布	16倍		3.2 L/10 a		
			8倍		1.6 L/10 a		
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	
	60.0% WP 配合剤3	散布	1200倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	50.0% WP 配合剤2	散布	800倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
					100～300 mL/㎡		
	50.0% WP 配合剤6	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
			800倍				
ねぎ	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（土壌灌注は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内）
		土壌灌注	1000倍	出芽揃い後（出芽3日後から10日後まで）	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60 cm、使用土壌約5 L）当たり0.5 L	1回	
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		土壌灌注	500倍	出芽揃い後（出芽3日後から10日後まで）	0.5 L/㎡	1回	
					セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊（30×60 cm、使用土壌約5 L）当たり0.5 L		
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
					100～300 mL/㎡		
		無人航空機による散布	32倍		3.2 L/10 a		
			16倍		1.6 L/10 a		
	50.0% WP 配合剤6	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫14日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	

（別紙1）

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニルを含む農薬の総使用回数
にんにく	82.5% WP	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	6回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
アスパラガス	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	5回以内	5回以内
	53.0% SC	散布	1500倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	5回以内	
		無人航空機による散布	16倍		3.2 L/10 a		
			8倍		1.6 L/10 a		
	40.0% SC	常温煙霧	40倍	収穫前日まで	10 L/10 a	5回以内	
		散布	1000倍		100～400 L/10 a		
	50.0% WP 配合剤2	散布	1000倍	収穫終了後	100～500 L/10 a	4回以内	4回以内
	50.0% WP 配合剤4	散布	1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
					100～300 mL/㎡		
	32.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	4回以内	
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	32.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	3回以内	
わけぎ	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	3回以内（土壌灌注は1回以内、散布は2回以内）
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
		土壌灌注	500倍	出芽揃い後（出芽3日後から10日後まで）	0.5 L/㎡	1回	
	32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫14日前まで	100～400 L/10 a	2回以内	
らっきょう	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
					100～300 mL/㎡		
	32.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
食用ゆり	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	6回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	6回以内	
にんじん	82.5% WP	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内（種子への吹き付け処理は1回以内）
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	53.0% SC	散布	750～1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
			750倍				
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
		無人航空機による散布	16倍		3.2 L/10 a		
			8倍		1.6 L/10 a		
		吹き付け処理（種子消毒機使用）	12倍	は種前	乾燥種子1 kg当たり60 mL	1回	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫21日前まで	100～400 L/10 a	2回以内	

（別紙1）

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニルを含む農薬の総使用回数
セルリー	82.5% WP	散布	2000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
みつば	40.0% SC	散布	1000倍	根株養成期 ただし、収穫75日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
あしたば	82.5% WP	散布	2000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
トマト	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	10回以内	12回以内（土壌灌注は2回以内、散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計10回以内）
	53.0% SC	散布	1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	10回以内	
	40.0% SC	常温煙霧	40倍	収穫前日まで	10 L/10 a	10回以内	
		散布	1000倍		100～300 L/10 a		
		土壌灌注		は種時又は活着後 ただし、定植14日後まで	3 L/㎡	2回以内	
	46.0% FU	くん煙（通常10～15時間）	くん煙室容積100 m^3（床面積50 ㎡，高さ2 m）当たり20 g	収穫前日まで	－	4回以内	6回以内（土壌灌注は2回以内、散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計4回以内）
	4.0% DP	散布	3 kg/10 a	収穫前日まで	－	4回以内	
	60.0% WP 配合剤3	散布	1200～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
			1200倍				
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000～1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
					100～300 mL/㎡		
			1000倍		100～300 L/10 a		
					100～300 mL/㎡		
	50.0% WP 配合剤6	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫前日まで	150～300 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	4回以内	
			800倍				
	0.030% AE 配合剤10	噴霧液が均一に付着するように噴射する。	－	収穫前日まで	－	3回以内	
ミニトマト	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	10回以内	12回以内（土壌灌注は2回以内、散布及び常温煙霧は合計10回以内）
	53.0% SC	散布	1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	10回以内	
	40.0% SC	常温煙霧	40倍	収穫前日まで	10 L/10 a	10回以内	
		散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	10回以内	
		土壌灌注	1000倍	は種時又は活着後 ただし、定植14日後まで	3 L/㎡	2回以内	
	60.0% WP 配合剤3	散布	1200～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
			1200倍				

（別紙1）

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニルを含む農薬の総使用回数
ミニトマト	50.0% WP 配合剤4	散布	1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a 100～300 mL/㎡	2回以内	2回以内
	50.0% WP 配合剤6	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	2回以内	
	40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍 800倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	2回以内	
ピーマン	82.5% WP	常温煙霧	100倍	収穫前日まで	10 L/10 a	3回以内	3回以内
		散布	2000倍		100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
	40.0% SC	常温煙霧	50倍	収穫前日まで	10 L/10 a	4回以内	
		散布	1000倍		100～300 L/10 a		
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
なす	82.5% WP	常温煙霧	100倍	収穫前日まで	10 L/10 a	4回以内	4回以内
		散布	2000倍		100～300 L/10 a		
	46.0% FU	くん煙(通常10～15時間)	くん煙室容積100 m^3(床面積50 ㎡,高さ2 m)当たり20 g	収穫前日まで	－	4回以内	
	40.0% SC	常温煙霧	33倍	収穫前日まで	10 L/10 a	4回以内	
		散布	1000倍		100～300 L/10 a		
	60.0% WP 配合剤3	散布	1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a 100～300 mL/㎡	4回以内	
	50.0% WP 配合剤6	散布	1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤12	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍 800倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	3回以内	
	0.030% AE 配合剤10	噴霧液が均一に付着するように噴射する。	－	収穫前日まで	－	3回以内	

（別紙1）

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニルを含む農薬の総使用回数
きゅうり	82.5% WP	常温煙霧	100倍	収穫前日まで	10 L/10 a	12回以内	14回以内（土壌灌注は2回以内、散布、常温煙霧、くん煙及びエアゾル剤の噴射は合計12回以内）
		散布	2000倍		100～300 L/10 a		
		土壌灌注	2000～4000倍	は種時	セル成型育苗トレイ1箱（30×60 cm、使用土壌約5 L）当たり0.5 L	1回	
				は種時又は活着後 ただし、定植14日後まで	3 L/㎡	2回以内	
	53.0% SC	散布	1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	12回以内	
	46.0% FU	くん煙（通常10～15時間）	くん煙室容積100 m^3（床面積50 ㎡，高さ2 m）当たり20 g	収穫前日まで	－	8回以内	
	40.0% SC	常温煙霧	33倍	収穫前日まで	10 L/10 a	12回以内	
		散布	1000倍		100～300 L/10 a		
		土壌灌注		は種時又は活着後 ただし、定植14日後まで	3 L/㎡	2回以内	
	4.0% DP	散布	3～4 kg/10 a	収穫前日まで	－	8回以内	
	60.0% WP 配合剤3	散布	1500～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
			1500倍				
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000～1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
					100～300 mL/㎡		
			1000倍		100～300 L/10 a		
					100～300 mL/㎡		
	50.0% WP 配合剤6	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫前日まで	150～300 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤12	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫前日まで	100～400 L/10 a	3回以内	
			800倍				
	0.030% AE 配合剤10	噴霧液が均一に付着するように噴射する。	－	収穫前日まで	－	3回以内	

（別紙1）

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニルを含む農薬の総使用回数
かぼちゃ	53.0% SC	散布	1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	16倍		3.2 L/10 a		
			8倍		1.6 L/10 a		
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
					100～300 mL/㎡		
	50.0% WP 配合剤6	散布	1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		無人航空機による散布	16倍		1.6 L/10 a		
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
ズッキーニ	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
すいか	82.5% WP	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内
	53.0% SC	散布	1500倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
	40.0% SC	散布	700～1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
			700倍				
	4.0% DP	散布	5 kg/10 a	収穫3日前まで	－	5回以内	
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
					100～300 mL/㎡		
	50.0% WP 配合剤6	散布	1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～400 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫3日前まで	150～300 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
			800倍				

（別紙1）

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニルを含む農薬の総使用回数
メロン	82.5% WP	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内
	53.0% SC	散布	1500倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
			700～1000倍				
			700倍				
	60.0% WP 配合剤3	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
					100～300 mL/㎡		
	50.0% WP 配合剤6	散布	1500倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫3日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
			800倍				
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～400 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫3日前まで	150～300 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	32.0% SC 配合剤5	散布	800～1000倍	収穫3日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
			800倍				
うり類(成熟、ただし、すいか、まくわうりを除く)	82.5% WP	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内
うり類(漬物用、ただし、ゆうがおを除く)	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
まくわうり	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	50.0% WP 配合剤4	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
にがうり	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	4回以内	
	40.0% SC 配合剤7	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤8	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～400 L/10 a	3回以内	
	40.0% SC 配合剤11	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
ゆうがお	82.5% WP	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	
オクラ	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内
しょうが	82.5% WP	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	5回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	5回以内	
		無人航空機による散布	16倍		3.2 L/10 a		

（別紙1）

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニルを含む農薬の総使用回数
うど	40.0% SC	散布	1000倍	根株養成期 ただし、収穫200日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（散布は3回以内、根株瞬間浸漬は1回以内）
	32.0% SC 配合剤5	根株瞬間浸漬	800倍	伏込時 ただし、収穫25日前まで	－	1回	
りんご	72.0% WP	散布	1000～1500倍	収穫45日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			1000倍				
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫45日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
なし	40.0% SC	散布	1000倍	収穫45日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
なし（西洋なしを除く）	72.0% WP	散布	1000倍	収穫後～落葉終了まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
西洋なし	72.0% WP	散布	1000倍	収穫30日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
				収穫後～落葉終了まで			
マルメロ	40.0% SC	散布	1000倍	収穫30日前まで	200～700 L/10 a	4回以内	4回以内
もも	72.0% WP	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	6回以内	6回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	6回以内	
	50.0% WP 配合剤2	散布	1000～1500倍	収穫3日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
			1000倍				
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	
ネクタリン	72.0% WP	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	6回以内	6回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	
すもも	40.0% SC 配合剤9	散布	1000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
おうとう	72.0% WP	散布	2000倍	収穫後～落葉終了まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
ぶどう	72.0% WP	散布	250～400倍	休眠期	100～300 L/10 a	1回	3回以内（休眠期は1回以内）
	32.0% SC 配合剤5	散布	1500倍	収穫60日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
	40.0% SC 配合剤9	散布	2000倍	収穫60日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
かき	72.0% WP	散布	1500倍	収穫30日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
キウイフルーツ	72.0% WP	散布	1000倍	収穫60日前まで	200～700 L/10 a	7回以内	7回以内
	40.0% SC	散布	500～1000倍	収穫60日前まで	200～700 L/10 a	7回以内	
			500倍				
パパイヤ	40.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	5回以内	5回以内
パッションフルーツ	72.0% WP	散布	1500倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
いちじく	72.0% WP	散布	3000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
	40.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	
かりん	40.0% SC	散布	1000倍	収穫45日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内

（別紙1）

クロロタロニルの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月1日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は 使用量	使用時期	散布液量	使用回数	クロロタロニルを含む農薬の総使用回数
茶	82.5% WP	散布	2000倍	摘採10日前まで	200～400 L/10 a	1回	1回
	53.0% SC	散布	1500倍	摘採10日前まで	200～400 L/10 a	1回	
	40.0% SC	散布	1000倍	摘採10日前まで	200～400 L/10 a	1回	
			700～1000倍				
			700倍				
しそ	40.0% SC	株元散布	1000倍	収穫前日まで	150 L/10 a	4回以内	4回以内
みょうが(花穂)	40.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内
みょうが(茎葉)	40.0% SC	散布	1000倍	みょうが(花穂)の収穫14日前まで ただし花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで	100～300 L/10 a	4回以内	4回以内

SC：フロアブル
DP：粉剤
WP：水和剤
AE：エアゾル
FU：くん煙剤
配合剤1：4.6% カスガマイシン
配合剤2：20.0% ベノミル
配合剤3：24.0% シモキサニル
配合剤4：5.0% ベンチアバリカルブイソプロピル
配合剤5：3.3% メタラキシルM
配合剤6：20.0% ジメトモルフ
配合剤7：6.4% ペンチオピラド
配合剤8：5.1% アゾキシストロビン
配合剤9：3.2% シアゾファミド
配合剤10：0.010% ペルメトリン
配合剤11：5.0% ピラジフルミド
配合剤12：0.8% フルチアニル
今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。
－：規定されていない項目

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
水稲（箱育苗）（玄米）	1	*75.0% WP*	600倍灌注 300 mL/箱	1	129	圃場A:<0.001/-(#)	
			600倍灌注 500 mL/箱	2	121	圃場A:<0.001/-(#)	
	1		500倍灌注 500 mL/箱	2	101	圃場A:<0.001/-(#)	
	2		20倍種子浸漬 +500倍灌注 500 mL/箱	1 +1,2	154,160	圃場A:<0.004(§)/-(3回,154日)(#)	
					131,138	圃場B:<0.004(§)/-(3回,131日)(#)	
	2	40.0% SC	500倍灌注 500 mL/箱	2	127	圃場A:<0.005/<0.005($1)	◎
					145	圃場B:<0.01/<0.010($1)	
	2		*250倍*灌注 500 mL/箱	2	119	圃場C:<0.010/-(#)	
					96	圃場D:<0.010/-(#)	
小麦（玄麦）	2	53.0% SC	20倍散布 100 L/10 a 播種前土壌全面処理 秋播栽培 （耕起後、当日播種）	1	313	圃場A:<0.01/<0.01($1)	
					175	圃場B:<0.01/<0.01($1)	
	2	10.0% DP	全面施用 土壌混和 秋播栽培 30 kg/10 a	1	316	圃場A:<0.01/<0.01($1)	◎
					217	圃場B:<0.01/<0.01($1)	
	1		全面施用 土壌混和 秋播栽培 20 kg/10 a	1	203	圃場A:<0.025/-	
			作条施用 土壌混和 秋播栽培 20 kg/10 a	1	203	圃場A:<0.025/-	
大麦（玄麦）	1	10.0% DP	全面施用 土壌混和 秋播栽培 30 kg/10 a	1	203	圃場A:<0.004(§)/<0.004($1)	◎
			作条施用 土壌混和 秋播栽培 20 kg/10 a			圃場A:<0.004(§)/-	
大豆（乾燥子実）	2	82.5% WP	*1250倍*散布 200 L/10 a	3	14,21,28	圃場A:0.030/-(3回,21日)(#)	
						圃場B:0.015/-(3回,21日)(#)	
	6	*5.0% DP*	4 kg/10 a 散布	4	7,14,21	圃場A:0.070/-(4回,21日)(#)	
					7,14,19	圃場B:0.057/-(4回,19日)(#)	
				2	14,21,28	圃場A:0.035/-(2回,21日)(#)	
						圃場B:0.010/-(2回,21日)(#)	
						圃場C:0.010/-(2回,21日)(#)	
						圃場D:<0.01/-(2回,21日)(#)	
あずき（乾燥子実）	2	*82.5% WP*	1100倍散布 150～200 L/10 a	3	7,14,21	圃場A:0.050/-(3回,14日)(#)	
					7,15,22	圃場B:0.038/-(3回,15日)(#)	
	2	*75.0% WP*	600倍散布 100 L/10 a	3	16	圃場A:0.036/-(#)	
					14	圃場B:0.041/-(#)	
				4	7	圃場A:0.046/-(#)	
						圃場B:0.098/-(#)	
いんげんまめ（乾燥子実）	2	*40.0% SC*	1000倍散布 100～200 L/10 a	3	21	圃場A:<0.01/-(#)	
					22	圃場B:<0.01/-(#)	
らっかせい（乾燥子実）	2	*75.0% WP*	600倍散布 150～167 L/10 a	1,4	47,79	圃場A:<0.001/-(4回,47日)(#)	
					30(1回),51(1回) 16(4回),37(4回)	圃場B:<0.001/-(4回,16日)(#)	
	2	40.0% SC	500倍散布 200 L/10 a	4	*3*,*7*,14	圃場A:<0.005/-	
						圃場B:<0.005/-	
	2		500倍散布 150 L/10 a	4	*9*,15,23	圃場A:<0.005/-(4回,15日)	
					14,21	圃場B:<0.01/-	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ばれいしょ（塊茎）	2	82.5% WP	*1000倍散布* 200 L/10 a	5	7, 14, 21	圃場A:0.001/-(5回, 21日)(#)	
						圃場B:0.002/-(#)	
	2	*75.0% WP*	600倍散布 100 L/10 a	7, 10	7, 14	圃場A:0.005/-(7回, 7日)(#)	
						圃場B:0.003/-(10回, 7日)(#)	
	2	53.0% SC	125倍散布 25 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:<0.01/-	
						圃場B:<0.01/-	
	5	40.0% SC	500倍散布 200 L/10 a	5	7, 14, 21	圃場A:<0.005/-	
						圃場B:<0.005/-	
					7, 14	圃場C:<0.005/-	
					3, 7, 14	圃場D:<0.01/-	
						圃場E:<0.01/-	
	2		*300倍散布* 200 L/10 a	5	*1, 3*, 7	圃場A:<0.01/-(#)	
						圃場B:<0.01/-(#)	
やまのいも（塊茎）	3	*75.0% WP*	600倍散布 300 L/10 a	3, 6	23, 43, 63	圃場A:0.010/-(6回, 23日)(#)	
			600倍散布 250～300 L/10 a	4, 7	30, 40, 50	圃場B:<0.0002/-(7回, 30日)(#)	
						圃場C:<0.0002/-(7回, 30日)(#)	
	3	40.0% SC	1000倍散布 250 L/10 a	6	*7, 14, 21*	圃場A:<0.001/-(6回, 21日)(#)	
						圃場B:<0.001/-(6回, 21日)(#)	
			1000倍散布 200 L/10 a		*27*, 45, 60	圃場C:<0.005/-(6回, 27日)(#)	
てんさい（根部）	6	53.0% SC	750倍散布 200 L/10 a	3	*28*, 35	圃場A:0.03/-(3回, 35日)	
			750倍散布 195 L/10 a			圃場B:0.01/-(3回, 28日)(#)	
			750倍散布 180 L/10 a			圃場C:0.02/-(3回, 28日)(#)	
			750倍散布 200 L/10 a		*21*, *28*, 35	圃場D:0.09/-(3回, 28日)(#)	
			750倍散布 188 L/10 a			圃場E:0.02/-(3回, 28日)(#)	
			750倍散布 180 L/10 a			圃場F:0.06/-(3回, 28日)(#)	
	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	3	30, 45, 60	圃場A:<0.01/-	
			1000倍散布 100 L/10 a		*27*, 41, 56	圃場B:<0.01/-(3回, 56日)	
	2		1000倍散布 100 L/10 a	*4*	30	圃場A:<0.005/-(#)	
					42	圃場B:<0.005/-(#)	
	2	*75.0% WP*	500倍散布 100 L/10 a	3, 5	21, 32, 40	圃場A:0.108/-(5回, 32日)(#)	
					20, 30, 40	圃場B:0.675/-(5回, 30日)(#)	
てんさい（葉部）	1	40.0% SC	1000倍散布 100 L/10 a	*4*	42	圃場A:1.610/-(#)	
	2	*75.0% WP*	500倍散布 100 L/10 a	3, 5	21, 32, 40	圃場A:7.88/-(5回, 32日)(#)	
					20, 30, 40	圃場B:24.4/-(5回, 30日)(#)	
さとうきび（茎）	2	*75.0% WP*	400倍散布 150 L/10 a	1, 2	191, 201	圃場A:<0.0004/-(2回, 191日)(#)	
					67, 78	圃場B:0.0024/-(2回, 67日)(#)	
だいこん（根部）	2	40.0% SC	1000倍散布 100 L/10 a	3	*30*, 45, 60	圃場A:<0.01/-	
			1000倍散布 150～300 L/10 a		*30*, 44, 59	圃場B:<0.01/-(3回, 44日)	
だいこん（葉部）	2	40.0% SC	1000倍散布 100 L/10 a	3	*30*, 45, 60	圃場A:0.108/0.007($2)	◎
			1000倍散布 150～300 L/10 a		*30*, *44*, 59	圃場B:0.810/0.054($2)	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
かぶ（根部）	2	10.0% DP	作条施用 土壌混和 40 kg/10 a	1	75	圃場A:0.002/-	
					62	圃場B:0.001/-	
	2	10.0% DP *+75.0% WP*	作条施用 土壌混和 40 kg/10 a +800倍作条灌注 1000 L/10 a	1+1	54	圃場A:0.002/-(#)	
			作条施用 土壌混和 40 kg/10 a +600倍作条灌注 3000 L/10 a		42	圃場B:0.001/-(#)	
かぶ（葉部）	2	10.0% DP	作条施用 土壌混和 40 kg/10 a	1	62	圃場A:0.002/<0.0002($2)	◎
					53	圃場B:<0.01/<0.0007($2)	
	1	10.0% DP *+75.0% WP*	作条施用 土壌混和 40 kg/10 a +600倍作条灌注 3000 L/10 a	1+1	42	圃場B:0.006/-(#)	
はくさい（茎葉）	2	*75.0% WP*	800倍散布 150 L/10 a	2	14,21,30	圃場A:0.037/-（2回,14日)(#)	
					14,21	圃場B:2.930/-（2回,14日)(#)	
	1		600倍散布 150 L/10 a	2,5	1,7,14	圃場A:0.95/-（2回,7日)(#)	
	1		600倍散布 200 L/10 a	3,5		圃場B:4.79/-（3回,7日)(#)	
	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	2	14,21,30	圃場A:0.155/-（2回,21日）	
					14,21,31	圃場B:0.280/-（2回,21日）	
	3	10.0% DP	土壌混和 40 kg/10 a	1	70	圃場A:<0.002(§)/-	
			土壌混和 30 kg/10 a		84	圃場B:<0.002(§)/-	
			土壌混和 40 kg/10 a		83	圃場C:<0.002(§)/-	
			土壌混和 *80* kg/10 a	1	83	圃場C:<0.002/-(#)	
	2	*20.0% DP*	土壌混和 40 kg/10 a	1	70	圃場A:<0.002(§)/-(#)	
			土壌混和 30 kg/10 a		84	圃場A:<0.002(§)/-(#)	
	2	10.0% DP +40.0% SC	植穴処理 土壌混和 *15 g/植穴* +1000倍散布 200 L/10 a	1+*4*	7,14,21	圃場A:0.908/-（5回,14日)(#)	
						圃場B:0.292/-（5回,7日)(#)	
	2	10.0% DP +82.5% WP	植穴処理 土壌混和 *15 g/植穴* +*1250倍*散布 200 L/10 a	1+2	7,14,21	圃場A:0.518/0.010($3)（3回,7日)(#)	◎
						圃場B:0.295/0.006($3)（3回,7日)(#)	
キャベツ（葉球）	3	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	2	*7*,14,20	圃場A:0.024/-	
					7,14,21	圃場B:0.121/-	
					14,21	圃場C:<0.01/-	
	2	10.0% DP	土壌混和 40 kg/10 a	1	99	圃場A:0.002/-	
					69	圃場B:<0.001/-	
			土壌混和 *80* kg/10 a	1	99	圃場A:<0.001/-(#)	
					69	圃場B:<0.001/-(#)	
	2	10.0% DP *+53.0%* SC	植穴処理 土壌混和 10 g/植穴 +1100倍散布 200 L/10 a	1+*2*	*7*,14,21	圃場A:0.562/0.0107($3)(#)	◎
					7,*13*,21	圃場B:0.010/0.0002($3)（3回,13日)(#)	
	2	10.0% DP +82.5% WP	植穴処理 土壌混和 *15 g/植穴* ＋1250倍散布 150, 200 L/10 a	1+2	14,21,28	圃場A:0.090/-（3回,14日)(#)	
			植穴処理 土壌混和 *15 g/植穴* ＋1250倍散布 300 L/10 a			圃場B:0.775/-（3回,14日)(#)	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
キャベツ（葉球）	2	10.0% DP *+75.0% WP*	土壌混和 40 kg/10 a +600倍散布 193, 235 L/10 a	1+1	14, 21	圃場A:0.024/-（2回,14日）(#)	
			土壌混和 40 kg/10 a +600倍散布 200 L/10 a			圃場B:0.020/-（2回,14日）(#)	
	2		土壌混和 40 kg/10 a +600倍散布 193, 235 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A:0.018/-（3回,14日）(#)	
			土壌混和 40 kg/10 a +600倍散布 200 L/10 a			圃場B:0.026/-（3回,14日）(#)	
	2	*0.03% AE (エアロゾル)*	原液噴霧 9.4～16.3 g/株 60 L/10 a	4	3, 7, 14, 21	圃場A:0.102/-（4回,3日）(#)	
				3		圃場B:0.026/-（3回,3日）(#)	
カリフラワー（花蕾）	2	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	3	*7*, 14, 21, 28	圃場A:<0.012(§)/-	
			1000倍散布 150 L/10 a		*2*, *9*, 16	圃場B:0.022/-（3回,16日）	
ブロッコリー（花蕾）	4	40.0% SC	1000倍灌注3 L/m^2 ＋散布260 L/10 a	1+2	*8*, *15*, 30	圃場A:0.065/-（3回,20日）	
			1000倍灌注3 L/m^2 ＋散布250 L/10 a		*4*, *20*, 35	圃場B:0.050/-（3回,35日）	
			1000倍灌注3 L/m^2 ＋散布200 L/10 a		21, 28, 42	圃場C:0.148/-	
						圃場D:0.035/-	
ひろしまな（茎葉）	2	*40.0% SC*	1000倍散布 150 L/10 a	2	*14*, *21*, 28, 34	圃場A:<0.1/-	
					14, *21*, 28, 35	圃場B:<0.1/-	
みずな（茎葉）	2	40.0% SC	1000倍 土壌全面散布 *3000 L/10 a*	1	29	圃場A:0.002/0.00004($3)	◎
						圃場B:0.007/0.0001($3)	
	2	40.0% SC	*500倍* 土壌全面散布 *3000 L/10 a*	1	29	圃場A:0.017/-(#)	
						圃場B:0.021/-(#)	
なばな（茎葉）	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	3	21, 28, 35	圃場A:0.055/0.0010($3)	
						圃場B:0.030/0.0006($3)（3回,28日）	
ごぼう（根部）	3	40.0% SC	1000倍散布 189 L/10 a	5	1	圃場A:<0.01/-	
			1000倍散布 189 L/10 a		1, 3, 7	圃場B:0.010/-	
			1000倍散布 179 L/10 a			圃場C:0.010/-	
	2	*10.0% DP*	*土壌混和 20 kg/10 a*	*1*	*237*	圃場A:0.037/-(#)	
					206	圃場B:0.029/-(#)	
レタス（茎葉）	2	*75.0% WP*	600倍散布 200 L/10 a	3	14, 21	圃場A:0.023/-(#)	
						圃場B:0.052/-(#)	
	3	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.008/0.0002($3)（3回,21日）	◎
					7, 14, 23	圃場B:0.242/0.0046($3)	
					14, 21	圃場C:<0.01/0.0002($3)	
	2	40.0% SC	1000倍灌注 3 L/m^2＋ 1000倍散布 200 L/10 a	2+3	7, 14, 21	圃場A:0.012/-	
					14, 21, 28	圃場B:0.162/-	
	2	*10.0% DP ＋75.0% WP*	土壌混和 40 kg/10 a ＋600倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21	圃場A:0.040/-（3回,14日）(#)	
						圃場B:0.032/-（3回,14日）(#)	
リーフレタス（茎葉）	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	*3*	*14*, 21, 28	圃場A:0.010/-(#)	
				2	*14*, 20, 28	圃場B:0.082/-（2回,20日）	
ふき（葉柄）	2	40.0% SC	1000倍散布 150 L/10 a	2	21, 30, 45	圃場A:0.285/<0.01($4)	◎
						圃場B:0.370/<0.01($4)	
食用菊（花弁）	3	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	4	*7, 14, 21, 28*	圃場A:0.092/-（4回,28日）(#)	
					7, 14, 21	圃場B:0.650/-（4回,21日）(#)	
					7, 14, 21, 28	圃場C:0.021/-（4回,28日）(#)	
やまごぼう（根部）	2	40.0% SC	1000倍散布 100 L/10 a	3	30, 45, 60	圃場A:<0.01/-	
						圃場B:<0.01/-	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
たまねぎ（鱗茎）	2	82.5% WP	*1000倍*散布 200 L/10 a	6	7, 14, 21	圃場A:<0.01/-(#)	
						圃場B:0.015/-(#)	
	4	*75.0% WP*	600倍散布 150 L/10 a	7	1, 7	圃場A:0.009/-（7回, 7日)(#)	
			600倍散布 200 L/10 a			圃場B:<0.006(§)/-（7回, 1日)(#)	
			600倍散布 90～150 L/10 a	4, 7	5, 10, 14	圃場C:<0.005/-（7回, 5日)(#)	
				5, 7	5, 10, 20	圃場D:<0.005/-（7回, 5日)(#)	
	3	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	*7*	*3*, 7, 14	圃場A:<0.005/-(#)	
						圃場B:<0.005/-(#)	
					1, 7	圃場C:0.008/-(#)	
	2		*500倍*散布 150 L/10 a	*7*	7, 14, 21	圃場A:<0.01/-(#)	
						圃場B:0.025/-(#)	
ねぎ（茎葉）	2	40.0% SC ＋82.5% WP	500倍育苗箱土壌灌注 0.5 L/m^2 ＋*1250倍*散布 200 L/10 a	1+3	14, 21, 28	圃場A:0.30/-（4回, 14日)(#)	
			500倍土壌灌注 0.5 L/m^2 ＋*1250倍*散布 200 L/10 a			圃場A:1.66/-（4回, 14日)(#)	
	4	40.0% SC	500倍定植前日 土壌灌注 0.5 L/m^2 ＋1000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21, 30	圃場A:0.675/-	
						圃場B:0.180/-	
			500倍灌注 0.5 L/m^2＋ 1000倍散布 200 L/10 a	1+2	14, 21, 30	圃場A:0.215/-	
			500倍灌注 0.5 L/m^2＋ 1000倍散布 150 L/10 a			圃場B:0.360/-	
	2		500倍 0.5 L/m^2(苗トレイ) ＋1000倍散布 200 L/10 a	1+3	14, 21, 30	圃場A:0.25/-	
			500倍土壌灌注 0.5 L/m^2 ＋1000倍散布 200 L/10 a			圃場B:2.48/-	
	2		500倍灌注 0.5 L/セルトレイ ＋1000倍散布 200 L/10 a	1+*4*	*7*, 14, 21	圃場A:0.760/-(#)	
			500倍灌注 0.5 L/セルトレイ ＋1000倍散布 187 L/10 a			圃場B:<0.01/-(#)	
	2		500倍灌注 0.5 L/セルトレイ	1	194	圃場A:<0.01/-	
					97	圃場B:<0.01/-^	
にんにく（鱗茎）	3	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	6	*3*, 7, 14	圃場A:<0.01/0.0003($5)	◎
						圃場B:<0.01/0.0003($5)	
			1000倍散布 250 L/10 a		7, 14, 21	圃場C:<0.005/0.0001($5)	
	2	*75.0% WP*	600倍散布 200 L/10 a	6	7, 14, 21	圃場A:0.068/0.0018($5)（6回, 14日)(#)	◎
			600倍散布 250 L/10 a			圃場B:0.032/0.0008($5)（6回, 7日)(#)	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
アスパラガス（若茎）	2	*75.0% WP*	600倍散布 500 L/10 a	6	228	圃場A:0.012/-(#)	
			600倍散布 400 L/10 a		249	圃場B:0.012/-(#)	
	1		600倍散布 160 L/10 a	3	234,275	圃場A:<0.0005/-（3回,234日)(#)	
				6	224,265	圃場A:<0.0005/-（6回,224日)(#)	
				9	193,234	圃場A:<0.0005/-（9回,193日)(#)	
	6	40.0% SC	1000倍散布 238 L/10 a	4	1,3,7	圃場A:0.445/-	
			1000倍散布 289 L/10 a			圃場B:0.300/-	
			1000倍散布 278 L/10 a			圃場C:0.505/-	
			1000倍散布 224～282 L/10 a			圃場D:1.045/-	
			1000倍散布 289 L/10 a			圃場E:0.150/-	
			1000倍散布 205～288 L/10 a			圃場F:1.070/-	
	2		1000倍散布 *500 L*/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.470/-(#) 圃場B:0.610/-(#)	
	2		1000倍散布 400 L/10 a	3	3,7	圃場A:0.398/-	
			1000倍散布 *500 L/10 a*			圃場B:0.125/-(#)	
	2		1000倍散布 400 L/10 a	5	1,3,7	圃場A:1.195/<0.01($4) 圃場B:1.890/<0.01($4)	◎
	2		1000倍散布 400 L/10 a	5	3,7	圃場A:3.355/-	
			1000倍散布 *500 L/10 a*			圃場B:0.425/-(#)	
	1		*500倍*散布 400 L/10 a	*6*	254	圃場A:<0.005/-(#)	
	1	53.0% SC	16倍無人ヘリ散布 3.2 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.590/-	
	1		8倍無人ヘリ散布 1.6 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.810/-	
わけぎ（茎葉）	2	40.0% SC	500倍土壌灌注 0.5 L/m^2 ＋1000倍散布 150 L/10 a	1+2	*7*,14,21	圃場A:0.708/0.028($6) 圃場B:1.205/0.048($6)	◎
らっきょう（鱗茎）	2	82.5% WP	*1250倍散布* 250 L/10 a	3	14,21,28	圃場A:<0.01/-(#)	
			1250倍散布 300 L/10 a			圃場B:<0.01/-(#)	
	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	3	*13*,20,27	圃場A:<0.015/-（3回,13日）	
					14,21,28	圃場B:<0.010/-	
	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	*5*	14,21	圃場A:<0.015/-（5回,14日)(#)	
					14,29	圃場B:<0.202/-（5回,29日)(#)	
食用ゆり（鱗茎）	2	40.0% SC	1000倍散布 150 L/10 a	6	14,21	圃場A:<0.006/- 圃場B:<0.006/-	
			*500倍*散布 150 L/10 a	6	14,21	圃場B:<0.006/-(#)	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
にんじん（根部）	2	53.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	5	7, 14, 21	圃場A:0.122/0.008($2)（5回,14日）	◎
						圃場B:0.015/0.001($2)	
	3		750倍散布 200 L/10 a	5	7, 14, 21	圃場A:0.015/0.001($2)	
						圃場B:0.140/0.009($2)（5回,21日）	
					7, 14, 21, 28	圃場C:0.112/0.008($2)（5回,14日）	
	2	40.0% SC	1000倍散布 93.8～200 L/10 a	5	7, 14, 21	圃場A:<0.01/-	
			1000倍散布 200 L/10 a			圃場B:0.05/-	
セルリー（茎葉）	4	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	2	*14*, 21, 28	圃場A:0.71/<0.01($4)	
			1000倍散布 200 L/10 a			圃場B:4.44/<0.01($4)	
					7, *14*, 21	圃場C:0.245/<0.01($4)	
						圃場D:0.070/<0.01($4)	
みつば（茎葉）	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	1	*1*, 78, 84, 90	圃場A:0.002/-（1回,78日）	
					1, *36*, *42*, *48*	圃場B:0.002/-（1回,48日）(#)	
			1000倍散布 200 L/10 a	3	*1*, 78, 84, 90	圃場A:<0.002/<0.01($4)（3回,78日）	◎
					1, *36*, *42*, *48*	圃場B:0.005/<0.01($4)（3回,48日）(#)	
			1000倍散布 200 L/10 a	*4*	*21*, *27*, *33*	圃場A:0.028/-（4回,33日）(#)	
					22, *28*, *34*	圃場B:0.024/-（4回,34日）(#)	
			1000倍散布 200 L/10 a	*5*	*1*, 78, 84, 90	圃場A:<0.002/-（5回,78日）(#)	
					1, *36*, *42*, *48*	圃場B:0.003/-（5回,48日）(#)	
あしたば（茎葉）	2	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	3	32, 45, 60	圃場A:0.175/<0.01($4)（3回,32日）	◎
			1000倍散布 250 L/10 a		30, 45, 60	圃場B:0.020/<0.01($4)	
トマト（果実）	2	82.5% WP	*1500倍* 散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.138/-(#)	
			1500倍 散布 250 L/10 a			圃場B:1.050/-(#)	
	2		*1500倍* 散布 175～245 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:1.430/-(#)	
			1500倍 散布 250 L/10 a			圃場B:0.878/-（4回,3日）(#)	
	2	*75.0% WP*	600倍散布 250 L/10 a	3, 5	1, 3, 7	圃場A:0.774/-（5回,3日）(#)	
						圃場B:2.320/-（5回,3日）(#)	
	2		600倍散布 120 L/10 a	7	1, 3, 7	圃場A:4.011/-（7回,1日）(#)	
						圃場B:1.380/-（7回,3日）(#)	
	2		600倍散布 150 L/10 a	6, 10	1, 3, 7	圃場A:0.534/-（10回,3日）(#)	
						圃場B:1.483/-（6回,1日）(#)	
	1		蒸散器使用 0.15 g/m^3	2	1, 3, 7	圃場A:0.270/-（2回,7日）(#)	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
トマト（果実）	5	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	2	1,3,7	圃場A:0.303/-（2回,7日）	
						圃場B:0.093/-（2回,7日）	
						圃場C:0.358/-（2回,7日）	
						圃場D:0.744/-（2回,3日）	
						圃場E:0.274/-（2回,7日）	
	1		1000倍灌注 3 L/m^2 ＋散布 200 L/10 a	2+2	1,3,7	圃場A:0.495/-（4回,3日）	
	2		1000倍散布 300 L/10 a	4	1,3,7	圃場A:0.335/-	
			1000倍散布 250 L/10 a			圃場B:1.618/-	
	3		1000倍灌注 3 L/m^2 ＋1000倍散布 278 L/10 a	2+4	1,3,7	圃場A:0.69/-（6回,3日）	
			1000倍灌注 3 L/m^2 ＋1000倍散布 250 L/10 a			圃場B:0.700/-	
			1000倍灌注 3 L/m^2 ＋*750倍*散布 200 L/10 a		1,7,14	圃場A:0.425/-(#)	
	5		1000倍散布 120～240 L/10 a	10	1,3,7	圃場A:0.890/-（10回,7日）	
			1000倍散布 159～238 L/10 a			圃場B:0.305/-	
			1000倍散布 200～280 L/10 a			圃場C:1.885/-（10回,3日）	
			1000倍散布 250 L/10 a			圃場D:0.560/-	
	2		1000倍灌注 3 L/m^2 ＋散布 120～241 L/10 a	2+10	1,3,7	圃場A:0.165/-	
			1000倍灌注 3 L/m^2 ＋散布 161～281 L/10 a		1,3,7	圃場B:0.855/-（12回,7日）	
	2		1000倍灌注 3 L/m^2	2	63	圃場A:<0.01/-	
					62	圃場B:<0.01/-	
	2	40.0% SC +82.5% WP	1000倍灌注 3 L/m^2 +*1250倍*散布 200 L/10 a	2+4	1,7,14	圃場A:0.742/-(#)	
						圃場B:0.795/-(#)	
	2	*50.0% FU*	くん煙 0.2 g/m^3	*5,10*	*1,3,7*	圃場A:0.513/-（10回,3日）(#)	
						圃場B:0.868/-（10回,1日）(#)	
	2	46.0% FU（燻煙顆粒剤）	くん煙 0.2 g/m^3	2	1,3,7	圃場A:0.148/-（2回,3日）	
						圃場B:0.162/-（2回,7日）	
	2	*40.0% FU*	くん煙 0.225 g ai/m^3	*5,7*	*1,3,7*	圃場A:0.486/-（5回,3日）(#)	
			くん煙 0.115 g ai/m3			圃場B:0.652/-（7回,3日）(#)	
	2	*28.0% FU*	くん煙 0.4 g/m^3	*4*	*1,3,7*	圃場A:0.805/-（4回,1日）(#)	
						圃場B:0.790/-（4回,1日）(#)	
	2	40.0% SC *+28.0% FU*	1000倍灌注 3 L/m^2 ＋くん煙 0.4 g/m^3	2+*4*	1,3,7	圃場A:0.730/-(#)	
						圃場B:0.945/-(#)	
	2	*30.0% FD*	500 g/10 a	*4,7*	*1,7,14*	圃場A:1.239/-（7回,1日）(#)	
						圃場B:1.144/-（7回,1日）(#)	
	2	0.03% AE	原液噴霧 28.5～30.9 g/株	2	1,3,7	圃場A:0.024/-	
			原液噴霧 114.6～124.8 L/10 a			圃場B:0.303/-	
	2		原液散布　十分量	*4*	1,3,7	圃場A:0.068/-(#)	
						圃場B:0.040/-(#)	
	2	40.0% SC ＋ 0.03% AE	1000倍灌注 3 L/m^2 ＋原液噴霧 67缶/10 a	2+*4*	1,3,7	圃場A:0.020/-(#)	
			1000倍灌注 3 L/m^2 ＋原液噴霧 222缶/10 a			圃場B:0.030/-(#)	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ミニトマト（果実）	3	40.0% SC	1000倍散布 259 L/10 a	2	1,3,7	圃場A:1.68/-（2回,7日）	
			1000倍散布 273 L/10 a			圃場B:1.06/-	
			1000倍散布 265 L/10 a			圃場C:2.50/-	
	2		1000倍灌注 3 L/m^2 +1000倍散布 200 L/10 a	2+4	1,3,7	圃場A:2.62/-	
			1000倍灌注 3 L/m^2 +1000倍散布 196.4 L/10 a			圃場B:1.79/-	
	3		1000倍灌注 3 L/m^2 +1000倍散布 120～247 L/10 a	2+10	1,3,7	圃場A:2.18/0.018(\$7)	◎
			1000倍灌注 3 L/m^2 +1000倍散布 159～280 L/10 a			圃場B:3.55/0.029(\$7)	
			1000倍灌注 3 L/m^2 +1000倍散布 226 L/10 a			圃場C:3.10/0.026(\$7)	
	2		1000倍灌注 3 L/m^2	2	40	圃場A:<0.01/-	
					56	圃場C:<0.01/-	
ピーマン（果実）	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:2.69/-	
			1000倍散布 200 L/10 a	2,3,4		圃場B:3.22/0.054(\$8)	◎
	3		1000倍散布 222 L/10 a	4	1,3,7	圃場C:2.12/0.035(\$8)（2回,7日）	◎
			1000倍散布 160,180,200 L/10 a			圃場D:3.02/0.050(\$8)	◎
			1000倍散布 282 L/10 a			圃場E:4.60/0.077(\$8)	◎
なす（果実）	2	82.5% WP	*1250倍散布 200 L/10 a*	*4*	*1,3,7*	圃場A:0.328/-(#)	
			1250倍散布 300 L/10 a			圃場B:0.450/-(#)	
	4	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	4		圃場A:0.445/0.004(\$7)	◎
						圃場B:0.790/0.007(\$7)（4回,3日）	
			1000倍散布 200,220 L/10 a			圃場C:1.23/0.010(\$7)	
			1000倍散布 227,252 L/10 a			圃場D:1.42/0.012(\$7)	
	2		33倍常温煙霧 10 L/10 a	4	1,3,7	圃場C:0.305/-	
						圃場D:0.270/-（4回,3日）	
	3	46.0% FU くん煙顆粒剤	くん煙 0.2 g/m^3	4	1,3,7	圃場A:0.272/-	
						圃場B:0.287/-	
						圃場C:0.340/-	
	2	*28.0% FU*	くん煙 0.4 g/m^3	4	1,3,7	圃場A:0.945/-（4回,1日)(#)	
						圃場B:0.818/-（4回,1日)(#)	
	2	0.03% AE	原液噴霧 13.3～32.2 g/株	*4*	1,3,7	圃場A:0.023/-（4回,1日)(#)	
			原液噴霧 60 L/10 a			圃場B:0.068/-（4回,1日)(#)	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
きゅうり（果実）	2	82.5% WP	*1500倍*散布 200 L/10 a	4	1,3,7	圃場A:0.820/-(#)	
						圃場B:1.950/-(#)	
	2	*75.0% WP*	600倍散布 250 L/10 a	4,5	1,3,7	圃場A:1.384/-（4回,1日)(#)	
			600倍散布 100～277 L/10 a			圃場B:1.002/-（5回,1日)(#)	
	2		600倍散布 111～200 L/10 a	4	1,3,7	圃場A:0.385/-（4回,1日)(#)	
			600倍散布 200 L/10 a	4	1,3,6	圃場A:1.467/-（4回,3日)(#)	
	1		600倍散布 200 L/10 a	5,7	1,3,7	圃場A:2.350/-（7回,1日)(#)	
	1		600倍散布 100～200 L/10 a	7	1,3,7	圃場A:0.318/-（7回,1日)(#)	
	1		600倍散布 225～313 L/10 a	4,10	1,3,7	圃場A:0.410/-（10回,1日)(#)	
	1		蒸散処理 334 g/10 a	5	1,3,7	圃場A:0.152/-（5回,1日)(#)	
	2	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	3	1,7	圃場A:0.310/-	
			1000倍散布 250 L/10 a			圃場B:0.540/-	
	5		1000倍散布 200 L/10 a	4	1,3,7	圃場A:0.293/-	
						圃場B:0.245/-	
						圃場C:0.210/-	
						圃場D:0.054/-	
						圃場E:0.247/-	
	2		1000倍散布 120～280 L/10 a	8	1,3,7	圃場A:0.725/-	
			1000倍散布 125～260 L/10 a			圃場B:0.855/-	
	4		1000倍散布 109～241 L/10 a	12	1	圃場A:0.655/-	
			1000倍散布 103～278 L/10 a			圃場B:0.450/-	
			1000倍散布 120～280 L/10 a			圃場C:0.680/-	
			1000倍散布 104～278 L/10 a			圃場D:0.555/-	
	2		1000倍灌注 3 L/m^2 +散布 200 L/10 a	2+2	1,3,7	圃場A:0.222/-	
						圃場B:0.688/-	
	2		1000倍灌注 3 L/m^2 +散布 150～250 L/10 a	2+8	1,3,7	圃場A:0.488/-	
			1000倍灌注 3 L/m^2 +散布 200 L/10 a		1,5,10	圃場B:0.480/-	
	2		1000倍灌注 3 L/m^2 +散布 160,220,279 L/10 a	2+12	1,3,7	圃場A:0.350/-	
			1000倍灌注 3 L/m^2 +散布 224 L/10 a		1,3,7	圃場B:0.985/-	
	2		1000倍灌注 3 L/m^2	2	25	圃場A:<0.01/-	
					21	圃場B:<0.01/-	
	2		33倍常温煙霧 10 L/10 a	8	1,3,7	圃場A:0.215/-	
						圃場B:0.175/-	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
きゅうり（果実）	2	40.0% SC +82.5% WP	1000倍灌注 3 L/m^2 +*1250*倍散布 227 L/10 a	2+4	1,3,7	圃場A:0.445/-(#)	
			1000倍灌注 3 L/m^2 +*1250*倍散布 200 L/10 a			圃場B:0.782/-(#)	
	2		1000倍灌注 3 L/m^2 +*1250*倍散布 150～250 L/10 a	2+8	1,3,7	圃場A:0.655/-(#)	
			1000倍灌注 3 L/m^2 +*1250*倍散布 200 L/10 a			圃場B:0.598/-(#)	
	2	40.0% SC +4.0% DP	1000倍灌注 3 L/m^2 +散布 4 kg/10 a	2+8	1,3,7	圃場A:0.448/0.008($9)	◎
						圃場B:1.182/0.022($9)	
	3	46.0% FU くん煙顆粒剤	くん煙 0.2 g/m^3	4	1,3,7	圃場A:<0.010/-	
						圃場B:0.068/-	
						圃場C:0.328/-	
	1	*40.0% FU*	くん煙 0.35 g/m^3	10	1,3,7	圃場A:1.213/-（10回,1日)(#)	
	1		くん煙 0.375 g/m^3	13	1,3,7	圃場A:0.265/-（13回,3日)(#)	
	1	*28.0% FU*	くん煙 0.5 g/m3	5,10	1,3,7	圃場A:0.551/-（10回,1日)(#)	
	1	40.0% SC *+28.0% FU*	1000倍灌注 3 L/m^2 +くん煙 0.4 g/m^3	2+6	1,3,7	圃場A:0.760/-（8回,1日)(#)	
	2			2+8	1,3,7	圃場B:0.068/-（10回,1日)(#)	
						圃場C:0.428/-（10回,1日)(#)	
	2	*30.0% FD*	500 g/10 a	4	1,3,7	圃場A:0.479/-（4回,7日)(#)	
						圃場B:0.258/-（7回,1日)(#)	
	2	0.03% AE	原液噴霧 23.9～30.2 g/株	3	1,3,7	圃場A:0.016/-	
			原液噴霧 60 L/10 a			圃場B:0.020/-	
	2	0.03% AE	原液噴霧 40 L/10 a	3	1,7	圃場A:0.02/-	
			原液噴霧 20 L/10 a			圃場B:0.01/-	
かぼちゃ（果実）	2	82.5% WP	*1250倍*散布 250 L/10 a	3	7,14,21	圃場A:1.770/-(#)	
			*1250倍*散布 200 L/10 a			圃場B:0.100/-(#)	
	2	*75.0% WP*	600倍散布 200 L/10 a	3	7,14,21	圃場A:0.705/-(#)	
						圃場B:0.585/-(#)	
	5	40.0% SC	1000倍散布 250 L/10 a	3	7,14,21	圃場A:1.172/-（3回,14日）	
			1000倍散布 200 L/10 a			圃場B:0.292/-（3回,14日）	
						圃場C:0.340/-（3回,21日）	
						圃場D:0.020/-	
						圃場E:0.965/-	
	3		*700倍*散布 288 L/10 a	5	3,7,14	圃場A:2.660/0.062($10)（5回,3日)(#)	◎
			*700倍*散布 299 L/10 a			圃場B:1.030/0.024($10)（5回,3日)(#)	
			*700倍*散布 250 L/10 a		3,6,14	圃場C:0.445/0.010($10)（5回,6日)(#)	
ズッキーニ（果実）	2	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.255/-	
						圃場B:0.205/-	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
すいか（果肉(果皮を除く)）	2	*75.0% WP*	600倍散布 200 L/10 a	5	1,3,7	圃場A:0.014/-（5回,7日)(#)	
						圃場B:<0.012(§)/-(#)	
	2	40.0% SC	700倍散布 200 L/10 a	5	*1*,3,7	圃場A:<0.005/-	
						圃場B:<0.010/-	
	2		600倍散布 200 L/10 a	5	*1*,3,7	圃場A:<0.010/-	
						圃場B:<0.010/-	
	3		700倍散布 200～283 L/10 a	5	3,7,14	圃場C:0.01/-（5回,7日）	
			700倍散布 221～279 L/10 a			圃場D:0.03/-	
			700倍散布 252 L/10 a			圃場E:0.01/-	
	2	*30.0% FD*	500 g/10 a	5	1,3,7	圃場A:0.012/-（5回,3日)(#)	
						圃場B:0.034/-（5回,7日)(#)	
すいか（果実）	3	40.0% SC	700倍散布 200～283 L/10 a	5	3,7,14	圃場C:0.48/0.011($10)	◎
			700倍散布 221～279 L/10 a			圃場D:1.31/0.030($10)（5回,7日）	
			700倍散布 252 L/10 a			圃場E:0.59/0.014($10)（5回,7日）	
メロン（果肉）	2	82.5% WP	*1250倍*散布 200 L/10 a	5	1,3,7	圃場A:<0.01/-（5回,3日)(#)	
						圃場B:<0.01/-（5回,3日)(#)	
	2	*75.0% WP*	600倍散布 200 L/10 a	7,10	1,3,7	圃場A:0.049/-（10回,3日)(#)	
			600倍散布 200 L/10 a	7,11	1,3,7	圃場B:0.206/-（11回,3日)(#)	
	5	40.0% SC	700倍散布 250 L/10 a	5	*1*,3,7	圃場A:<0.01/-	
			700倍散布 208 L/10 a			圃場B:<0.01/-	
			700倍散布 200 L/10 a			圃場C:<0.005/-	
			700倍散布 300 L/10 a			圃場D:<0.005/-	
			700倍散布 200 L/10 a			圃場E:<0.005/-	
	3		700倍散布 202～283 L/10 a		3,7,14	圃場F:<0.01/<0.0002($10)	
			700倍散布 280 L/10 a			圃場G:<0.01/<<0.0002($10)	
			700倍散布 278 L/10 a			圃場H:<0.01/<0.0002($10)	
	2	*40.0% FU*	くん煙 0.1 g/m^3	6,10	1,3,7	圃場A:0.002/-（10回,7日)(#)	
				6,10		圃場B:0.002/-（10回,1日)(#)	
メロン（果実）	3	40.0% SC	700倍散布 202～283 L/10 a	5	3,7,14	圃場F:2.74/0.064($10)（5回,7日）	◎
			700倍散布 280 L/10 a			圃場G:3.62/0.084($10)	
			700倍散布 278 L/10 a			圃場H:1.64/0.038($10)	
まくわうり（果肉）（茎を除去したもの）	1	50.0% WG	1000倍散布 300 L/10 a	3	1,3,7,14	圃場A:0.01/0.0002($9)	
						圃場B:<0.01/0.0002($9)	
まくわうり（果実）（果皮を含む）	1	50.0% WG	1000倍散布 300 L/10 a	3	1,3,7,14	圃場A:0.895/0.0165($9)	◎
						圃場B:0.375/0.0069($9)	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
にがうり（果実）	2	40.0% SC	1000倍散布 150～300 L/10 a	4	1,3,7	圃場A:0.28/-（4回,3日）	
			1000倍散布 300 L/10 a			圃場B:1.20/-（4回,3日）	
ゆうがお（果実）	2	40.0% SC	1000倍散布 150 L/10 a	3,5	1,3,7	圃場A:0.0033/-（3回,1日）	
						圃場B:0.0032/-（5回,1日）	
オクラ（果実）	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	5	1,3,7	圃場5:2.38/-	
			1000倍散布 159～251 L/10 a			圃場5:2.97/-	
しょうが（根茎）	2	*75.0% WP*	500倍散布 200 L/10 a	2,3	30,45,60	圃場A:0.762/-（3回,60日）(#)	
					30,45	圃場B:0.130/-（2回,30日）(#)	
	4	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	5	14,21,28	圃場A:<0.005/<0.0003($2)	◎
						圃場B:<0.005/<0.0003($2)	
					7,14,21	圃場A:<0.005/<0.0003($2)	
						圃場B:<0.005/<0.0003($2)	
うど（軟化茎葉）	2	40.0% SC	1000倍散布 150 L/10 a	3	214	圃場A:<0.002/-	
						圃場B:<0.002/-	
	2	32.0% SC	800倍 伏せ込み時 根株瞬間浸漬	1	25,30,35	圃場A:0.010/-（1回,25日）	
						圃場B:0.055/-（1回,25日）	
やまのいも（むかご）	2	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	6	*14, 28, 42*	圃場A:0.120/0.0080($2)（6回,42日）(#)	◎
						圃場B:0.240/0.0161($2)（6回,42日）(#)	
りんご（果実）	2	*82.5% WP*	1000倍散布 667 L/10 a	*3*	*30, 45, 60*	圃場A:0.535/-（3回,45日）(#)	
			1000倍散布 625 L/10 a			圃場B:0.075/-（3回,45日）(#)	
	2	*75.0% WP*	500倍散布 300 L/10 a	2	128	圃場A:<0.007(§)/-(#)	
			500倍散布 400 L/10 a		158	圃場B:0.042/-(#)	
	2		500倍散布 500 L/10 a	5,7	9,15,29	圃場A:1.797/-（7回,29日）(#)	
			500倍散布 300 L/10 a		7,14,28	圃場B:0.643/-（7回,28日）(#)	
	2	72.0% WG	1000倍散布 500 L/10 a	3	*30*,45,60	圃場A:0.030/<0.01($11)	◎
						圃場B:0.732/<0.01($11)	
	2	40.0% SC	1000倍散布 700 L/10 a	3	*14*,*30*,45,60	圃場A:0.500/-	
			1000倍散布 500 L/10 a		*14*,*29*,45,60	圃場B:0.190/-	
日本なし（果実）	2	*53.0% SC*	1000倍散布 400 L/10 a	3	20,29,44	圃場A:0.065/-（3回,44日）	
					21,30,45	圃場B:0.018/-（3回,45日）	
	2	40.0% SC	1000倍散布 400 L/10 a	3	*21*,*30*,45,60	圃場A:0.007/<0.01($11)	◎
						圃場B:0.046/<0.01($11)	
西洋なし（果実）	2	72.0% WG	1000倍散布 330～660 L/10 a	3	*21*, 30,40	圃場A:0.708/<0.01($11)	◎
			1000倍散布 500 L/10 a			圃場B:0.805/<0.01($11)（3回,40日）	
	2	*53.0% SC*	1000倍散布 400 L/10 a	3	*23*, 31,40	圃場A:0.272/-（3回,31日）(#)	
					21,30,39	圃場B:0.240/-（3回,30日）(#)	
マルメロ（果実）	2	40.0% SC	1000倍散布 250 L/10 a	4	30,45,59	圃場A:0.015/<0.01($11)	◎
			1000倍散布 300 L/10 a			圃場B:0.188/<0.01($11)	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
もも（果肉）	3	*75.0% WP*	600倍散布 400 L/10 a	5,7	1,3,7	圃場A:0.352/-（7回,1日)(#)	
			600倍散布 800 L/10 a	7		圃場B:0.195/-（7回,3日)(#)	
			600倍散布 300 L/10 a			圃場C:0.442/-（7回,3日)(#)	
	3	72.0% WG	1000倍散布 417 L/10 a	6	1,3,7	圃場A:0.03/<0.01($11)（6回,3日）	△
			1000倍散布 438,500 L/10 a			圃場B:0.03/<0.01($11)	
			1000倍散布 476 L/10 a			圃場C:0.02/<0.01($11)（6回,3日）	
	4	40.0% SC	1000倍散布 500 L/10 a	6	1,7,14	圃場A:<0.01/-	
			1000倍散布 500 L/10 a			圃場B:0.03/-	
			1000倍散布 500 L/10 a		1,3,7	圃場C:0.005/-	
			1000倍散布 400 L/10 a			圃場D:0.005/-	
もも（果皮）	3	*75.0% WP*	600倍散布 400 L/10 a	5,7	1,3,7	圃場A:187/-（7回,1日)(#)	
			600倍散布 800 L/10 a	7		圃場B:77/-（7回,1日)(#)	
			600倍散布 300 L/10 a			圃場C:181/-（7回,3日)(#)	
	4	40.0% SC	1000倍散布 500 L/10 a	6	1,7,14	圃場A:8.86/-	
			1000倍散布 500 L/10 a			圃場B:36.0/-（6回,7日）	
			1000倍散布 500 L/10 a		1,3,7	圃場C:8.80/-	
			1000倍散布 400 L/10 a			圃場D:18.2/-（6回,3日）	
もも（果実）（種子及び果皮を含む）	3	72.0% WG	1000倍散布 417 L/10 a	6	1,3,7	圃場A:4.71/<0.01($11)注2)（6回,3日）	○
			1000倍散布 438,500 L/10 a			圃場B:6.10/<0.01($11)注2)	
			1000倍散布 476 L/10 a			圃場C:1.96/<0.01($11)注2)（6回,3日）	
ネクタリン（果実）	2	40.0% SC	1000倍散布 500 L/10 a	2	1,3,7,14	圃場A:1.80/-	
			1000倍散布 400 L/10 a			圃場B:2.47/-	
			1000倍散布 400 L/10 a	*3*	1,3,7,14	圃場B:4.81/-(#)	
すもも（果実）	3	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	1	45,59	圃場A:<0.01/-（1回,45日）	
			1000倍散布 700 L/10 a			圃場B:<0.01/-（1回,45日）	
			1000倍散布 300 L/10 a	2	14,21,28	圃場A:0.620/<0.01($11)	◎
			1000倍散布 700 L/10 a			圃場B:0.040/<0.01($11)	
			1000倍散布 600 L/10 a			圃場C:0.170/<0.01($11)（2回,21日）	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
おうとう（果実）	2	*53.0% SC*	250倍散布 204 L/10 a	3	97	圃場A:<0.01/-(#)	
			250倍散布 420 L/10 a		94	圃場B:<0.01/-(#)	
	2	*40.0% SC*	1000倍散布 425 L/10 a	2	28,35,42,49	圃場A:<0.01/- (2回,49日)(#)	
			1000倍散布 491 L/10 a			圃場B:<0.01/- (2回,49日)(#)	
ぶどう（果実）	1	72.0% WG	250倍散布 150 L/10 a	1	164	圃場A:<0.01/-	
	1	*53.0% SC*	250倍散布 100 L/10 a	1	147	圃場A:<0.01/-(#)	
	2	32.0% SC	1500倍散布 400 L/10 a	2	*30*	圃場A:2.508/-(#)	
						圃場B:0.772/-(#)	
		32.0% SC	1500倍散布 400 L/10 a	*3*	*45*,60	圃場A:0.128/-(#)	
						圃場B:0.167/-(#)	
かき（果実）	2	*53.0% SC*	1500倍散布 420 L/10 a	2	*44*	圃場A:0.092/-(#)	
			1500倍散布 400 L/10 a		*45*	圃場B:0.092/-(#)	
		53.0% SC	1500倍散布 420 L/10 a	3	30,44,62	圃場A:0.388/<0.01($11)(#)	◎
			1500倍散布 400 L/10 a		30,45,60	圃場B:0.235/<0.01($11)(#)	
キウイフルーツ（果肉）	2	40.0% SC	500倍散布 500 L/10 a	5	115	圃場A:0.008/-	
					108	圃場B:0.008/-	
	2			7	*56*	圃場A:0.014/-(#)	
					48	圃場B:0.023/-(#)	
	3		500倍散布 352 L/10 a	7	60,62,66	圃場C:0.050/0.0007($12) (7回,66日)	
			500倍散布 357～370 L/10 a			圃場D:0.070/0.0010($12)	
			500倍散布 350 L/10 a			圃場E:0.130/0.0019($12)	
キウイフルーツ（果皮）	2	40.0% SC	500倍散布 500 L/10 a	5	115	圃場A:22.2/-	
					108	圃場B:36.1/-	
				7	*56*	圃場A:33.9/-(#)	
					48	圃場B:73.2/-(#)	
キウイフルーツ（果実）	3	40.0% SC	500倍散布 352 L/10 a	7	60,62,66	圃場C:12.4/0.185($12)	◎
			500倍散布 357～373 L/10 a			圃場D:18.2/0.272($12)	
			500倍散布 350 L/10 a			圃場E:15.7/0.234($12)	
パパイヤ（果実）	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	5	1,3,7	圃場A:2.01/-(5回,7日)	
					1,7,14	圃場B:1.35/-	
パッションフルーツ（果実）	2	40.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	3	14,30,45	圃場A:0.440/0.007($12)	◎
					13,26,45	圃場A:0.540/0.008($12) (3回,13日)	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
いちじく（果実）	4	*32.0% SC*	1500倍散布 200 L/10 a	2	1,3,7	圃 場 A:0.240/<0.01($11) （2 回 ,7日)(#)	◎
						圃場B:0.520/<0.01($11)(#)	
						圃場C:0.600/<0.01($11)(#)	
						圃場D:0.232/<0.01($11)(#)	
				3	1,3,7	圃場A:0.198/- (3回,7日)(#)	
						圃場B:0.245/- (3回,7日)(#)	
						圃場C:0.462/- (3回,1日)(#)	
						圃場D:0.320/- (3回,1日)(#)	
茶（荒茶(製茶)）	2	82.5% WP	*1000倍*散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆11,10日間一番茶	1	*6*,10,14	圃場A:4.80/-(#)	
					7,10,14	圃場B:3.36/-(#)	
			*750倍*散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆10日間一番茶	1		圃場B:3.52/-(#)	
	2	*75.0% WP*	600倍散布 200 L/10 a 簡易被覆一番茶	1,2	7,14,21	圃場A:2.70/- (2回,14日)(#)	
						圃場B:4.23/- (2回,14日)(#)	
				3	7	圃場A:20.1/- (2回,7日)(#)	
	2		500倍散布 200 L/10 a 無被覆一番茶	1	7,14,21	圃場A:0.123/- (1回,14日)(#)	
			500倍散布 150 L/10 a 無被覆二番茶	3,4	7,14	圃場B:1.33/- (4回,7日)(#)	
	4	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆10日間一番茶	1	10,14,21,28	圃場A:0.74/0.132($13)	○
						圃場B:3.37/0.603($13)	
			700倍散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆10日間施設一番茶	1	10,14,21,28	圃場C:2.66/0.475($13) (1回,14日)	
			700倍散布 200 L/10 a 簡易トンネル不被覆一番茶			圃場D:3.21/0.575($13)	
	3		1000倍散布 200 L/10 a 簡易被覆	*2*	*7*,14	圃場A:2.41/- (2回,14日)(#)	
						圃場B:0.88/- (2回,14日)(#)	
			700倍散布 200 L/10 a 簡易被覆			圃場A:7.14/- (2回,14日)(#)	
						圃場B:3.51/- (2回,14日)(#)	
			1000倍散布 200 L/10 a 無被覆	*2*	*7*,14	圃場A:4.23/- (2回,14日)(#)	
						圃場C:4.04/- (2回,14日)(#)	
			700倍散布 200 L/10 a 無被覆			圃場A:3.83/- (2回,14日)(#)	
						圃場C:4.44/- (2回,14日)(#)	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
茶（浸出液）	2	82.5% WP	*1000倍* 散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆11,10日間一番茶	1	*6*,10,14	圃場A:0.10/-(#)	
					7,10,14	圃場B:0.04/-(#)	
			750倍 散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆10日間一番茶	1		圃場B:0.055/-(#)	
	2	*75.0% WP*	600倍散布 200 L/10 a 簡易被覆一番茶	1,2	7,14,21	圃場A:0.061/-（2回,14日)(#)	
						圃場B:0.042/-（2回,14日)(#)	
				3	7	圃場A:0.496/-（2回,7日)(#)	
	2		500倍散布 200 L/10 a 無被覆一番茶	1	7,14,21	圃場A:0.005/-(#)	
	2		500倍散布 150 L/10 a 無被覆二番茶	3,4	7	圃場B:0.019/-（4回,7日)(#)	
	2	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆10日間一番茶	1	10,14,21,28	圃場A:0.013/0.0024($13)注3)	△
						圃場B:0.061/0.0110($13)注3)	
	2		700倍散布 200 L/10 a 寒冷紗被覆10日間施設一番茶	1	10,14,21,28	圃場C:0048/0.0088($13)(1回,14日)注3)	
			700倍散布 200 L/10 a 簡易トンネル不被覆一番茶			圃場D:0058/0.0105($13)(1回,14日)注3)	
	3	40.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a 簡易被覆	*2*	*7*,14	圃場A:0.195/-（2回,14日)(#)	
						圃場B:0.060/-（2回,14日)(#)	
			700倍散布 200 L/10 a 簡易被覆			圃場A:0.405/-（2回,14日)(#)	
						圃場B:0.215/-（2回,14日)(#)	
			1000倍散布 200 L/10 a 無被覆	*2*	*7*,14	圃場A:0.372/-（2回,14日)(#)	
						圃場C:0.265/-（2回,14日)(#)	
			700倍散布 200 L/10 a 無被覆			圃場A:0.268/-（2回,14日)(#)	
						圃場C:0.240/-（2回,14日)(#)	
しそ（葉）	2	40.0% SC	1000倍株元散布 150 L/10 a	4	1,3,7	圃場A:0.035/-	
						圃場B:<0.030(§)/-	

（別紙2）

クロロタロニルの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1)【クロロタロニル/代謝物I】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
みょうが（花穂）	2	40.0% SC	1000倍散布 150,300 L/10 a	4	14	圃場A:0.004/-	
			1000倍散布 150～300 L/10 a			圃場B:0.004/-	

WP：水和剤
WG：顆粒水和剤
SC：フロアブル
DP：粉剤
AE：エアロゾル、エアゾル
FU：くん煙剤、くん煙顆粒剤
FD：フローダスト
－：分析せず

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

(§)同一圃場から採取された１つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。

基準値の設定の根拠に○、暴露評価に使用されているものに△、基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) 各圃場試験の分析における果実（果皮を含む）と種子の重量比から種子を含む残留濃度を算出した。

注3) 82.5% WPの荒茶及び浸出液の作物残留試験成績から算出された浸出率0.0182を用いて浸出液における残留濃度を算出した。

($1)米国とうもろこし(1.2 kg ai/ha、3回散布、PHI=35～61(JMPR 2010)) から換算係数1.00とした。

($2)JMPR 2015 Root & tuber veg. group except horseradish 親：STMR=0.3、代謝物I：STMR=0.02から換算係数 0.067とした。

($3)レタスの代謝試験（SC 1.75 kg ai/ha、4又は5日間隔で4 回茎葉散布処理したPHI=14の葉）から係数0.019とした。

($4)セロリの代謝試験（SC 2.5 kg ai/ha、 6～8日間隔 12回散布処理したPHI=7及び21の茎部)において代謝物I はすべて定量限界以下であることから代謝物I は<0.01とした。

($5)米国たまねぎ(2.5 kg ai/ha、3回散布、PHI=48～49(JMPR 2015))から換算係数0.026とした。

($6)米国青ねぎ（細ねぎ ）(green onions) (1.5 kg ai/ha、3回散布、PHI=14 (JMPR 2015))から換算係数0.040とした。

($7)EUミニトマト (1.0 kg ai/ha、2回散布、PHI=1(JMPR 2015))から換算係数0.0083とした。

($8)ブラジルピーマン (1.0 kg ai/ha、3回散布、PHI=1(JMPR 2015))から換算係数0.0167とした。

($9)トマトの代謝試験（SC 2.3 kg ai/ha、7日間隔、3回茎葉散布処理したPHI=1の果実）から係数0.0184とした。

($10)トマトの代謝試験（SC 2.3 kg ai/ha、7日間隔、3回茎葉散布処理したPHI=7の果実）から係数0.0233とした。

($11)JMPR 2015において代謝物I はもも、ネクタリン及びおうとうにおける散布処理において残留濃度のSTMRは定量限界以下であること、さらにりんごの代謝試験において塗布した^{14}C-クロロタロニルは、ほとんどが未変化（未代謝）のまま洗浄液に検出されたことから、代謝物Iの残留はLOQ(<0.01)とした。

($12)フランスぶどう(1.0 kg ai/ha、10回散布、PHI=10(JMPR 2010))から換算係数0.0149とした。

($13)トマトの代謝試験（SC 2.3 kg ai/ha、7日間隔、3回散布処理したPHI=14の葉）から係数0.179とした。

農薬名　クロロタロニル

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
米（玄米をいう。）	0.05	0.1	○			<0.005, <0.01 (¥)
小麦	0.01	0.1	○			<0.01,<0.01（小麦）, <0.004（大麦）
大麦	0.01	0.1	○			（小麦参照）
ライ麦	0.01	0.1	○			（小麦参照）
とうもろこし		0.01				
そば		0.01				
その他の穀類	0.01	0.1	○			（小麦参照）
大豆	1	0.2	○	1		
小豆類	1	0.2	○	1		
えんどう	1	0.2		1		
そら豆	1	0.2		1		
らっかせい	0.1	0.05	○	0.1		
その他の豆類	1	0.2		1		
ばれいしょ	0.3	0.2	○	0.3		
さといも類（やつがしらを含む。）	0.3	0.2		0.3		
かんしょ	0.3	0.2		0.3		
やまいも（長いもをいう。）	0.3	0.01	○	0.3		
こんにゃくいも	0.3	0.2		0.3		
その他のいも類	0.3	0.2		0.3		
てんさい	0.3	0.2	○	0.3		
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.3	0.1	○	0.3		
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	2	2	○			0.108, 0.810 (¥)
かぶ類の根	0.3	0.02	○	0.3		
かぶ類の葉	0.05	0.05	○			0.002, <0.01 (¥)
西洋わさび	1	4		1		
クレソン		4				
はくさい	2	2	○			0.295, 0.518 (#) (¥)
キャベツ	2	2	○			0.010, 0.562 (¥)
芽キャベツ	6	5		6		
ケール		4				
こまつな		4				
きょうな	0.03	4	○			0.002, 0.007 (¥)（みずな）
チンゲンサイ		2				
カリフラワー	5	1	○	5		
ブロッコリー	5	5	○	5		
その他のあぶらな科野菜	5	2	○	5		
ごぼう	0.3	4	○	0.3		
サルシフィー	0.3	4		0.3		
アーティチョーク		4				
チコリ		4				
エンダイブ		4				
しゅんぎく		6				
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	0.7	1	○			0.008,<0.01,0.242
その他のきく科野菜	1	2	○	0.3		0.285, 0.370（ふき）(¥)

農薬名　クロロタロニル

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
たまねぎ	2	0.5	○	1.5		
ねぎ（リーキを含む。）	10	5	○	40		※1
にんにく	0.04	10	○			<0.005～0.022(n=5)(#)※2
にら		2				
アスパラガス	5	2	○・申	0.01		1.195,1.890(¥)
わけぎ	3	5	○	1.5		0.71, 1.21 (¥)
その他のゆり科野菜	10	2	○	10		
にんじん	0.4	1	○	0.3		0.015～0.163(n=5)※3
パースニップ		1				
パセリ		3				
セロリ	20	10	○	20		
みつば	0.01	0.05	○			<0.002, 0.005 (#)(¥) ※4
その他のせり科野菜	0.5	0.5	○	0.3		0.020, 0.175 (¥)(あしたば)
トマト	9	5	○・申	5		2.18,3.10,3.55(ミニトマト)
ピーマン	10	7	○・申	7		2.12～4.60 (n=4)
なす	3	2	○			0.445～1.42 (n=4)
その他のなす科野菜	7	2		7		
きゅうり（ガーキンを含む。）	3	5	○	3		0.448, 1.182 (¥)
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	7	5	○・申	3		0.44,1.03,2.66(#)(かぼちゃ)、0.48,0.59,1.31(すいか（果実））、1.64, 2.74, 3.62(メロン（果実）)
しろうり	2	5	○	2		
すいか		5	○			
すいか（果皮を含む。）	7		○・申			（かぼちゃ（スカッシュを含む。）参照）
メロン類果実		2	○			
メロン類果実（果皮を含む。）	7		○・申	2		（かぼちゃ（スカッシュを含む。）参照）
まくわうり		5	○			
まくわうり（果皮を含む。）	2		○・申	2		0.375, 0.895 (¥)
その他のうり科野菜	7	5	○・申	2		（かぼちゃ（スカッシュを含む。）参照）
ほうれんそう		4				
たけのこ		2				
オクラ	7	6	○	7		
しょうが	0.01	0.05	○			<0.005 (n=4)
未成熟えんどう		2				
未成熟いんげん		5				
えだまめ		2				
マッシュルーム		1				
しいたけ		5				
その他のきのこ類		5				
その他の野菜	0.7	2	○	50		0.120, 0.240 (#)(¥)（やまのいも（むかご））※5

農薬名　クロロタロニル

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
みかん		0.01				
なつみかんの果実全体		0.01				
レモン		0.01				
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）		0.01				
グレープフルーツ		0.01				
ライム		0.01				
その他のかんきつ類果実		0.01				
りんご	2	2	○			0.030, 0.732 (¥)
日本なし	0.2	0.5	○			0.007, 0.046 (¥)
西洋なし	2	2	○			0.708, 0.805 (¥)
マルメロ	0.5	1	○			0.015, 0.188 (¥)
びわ		1				
もも		2	○			
もも（果皮及び種子を含む。）	15		○	1.5		1.96, 4.71, 6.10
ネクタリン	15	25	○・申	1.5		（もも参照）
あんず（アプリコットを含む。）	2	25		1.5		
すもも（プルーンを含む。）	1	25	○			0.040, 0.170, 0.620
うめ	2	5		1.5		
おうとう（チェリーを含む。）	3	0.5	○	3		
いちご	5	8		5		
ラズベリー		10				
ブラックベリー		10				
ブルーベリー		1				
クランベリー	15	5		15		
ハックルベリー		7				
その他のベリー類果実	20	10		20		
ぶどう	3	0.5	○	3		
かき	2	1	○			0.319, 0.526 (#)(¥) ※6
バナナ	15	0.2		15		
キウィー		0.2	○			
キウィー（果皮を含む。）	50		○			12.4, 15.7, 18.2
パパイヤ	20	15	○	20		
アボカド		0.01				
パイナップル		0.01				
グアバ		0.01				
マンゴー		0.5				
パッションフルーツ	2	3	○			0.44, 0.54(¥)
なつめやし		0.1				
その他の果実	1	5	○			0.232～0.600 (#)(n=4) (いちじ
ひまわりの種子		0.01				
ごまの種子		0.01				
べにばなの種子		0.01				
綿実		0.01				
なたね		0.01				
その他のオイルシード		0.01				

農薬名　クロロタロニル

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
ぎんなん		0.01				
くり		0.01				
ペカン		0.01				
アーモンド		0.05				
くるみ		0.01				
その他のナッツ類	0.3	0.1		0.3		
茶	10	10	○			1.05～4.81(n=4)(荒茶)※7
コーヒー豆		0.2				
カカオ豆		0.05				
ホップ		0.1				
その他のスパイス	0.3	5		0.3		
その他のハーブ	7	2	○	7		
牛の筋肉	0.02	0.02		0.02		
豚の筋肉	0.02	0.02		0.02		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.02	0.02		0.02		
牛の脂肪	0.07	0.1		0.07		
豚の脂肪	0.07	0.06		0.07		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.07	0.1		0.07		
牛の肝臓	0.2	0.03		0.2		
豚の肝臓	0.2	0.03		0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.2	0.03		0.2		
牛の腎臓	0.2	0.3		0.2		
豚の腎臓	0.2	0.3		0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2	0.3		0.2		
牛の食用部分	0.2	0.03		0.2		
豚の食用部分	0.2	0.03		0.2		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2	0.03		0.2		
乳	0.07	0.06		0.07		
鶏の筋肉	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの筋肉	0.01	0.01		0.01		
鶏の脂肪	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの脂肪	0.01	0.01		0.01		
鶏の肝臓	0.07	0.01		0.07		
その他の家きんの肝臓	0.07	0.01		0.07		
鶏の腎臓	0.07	0.01		0.07		
その他の家きんの腎臓	0.07	0.01		0.07		
鶏の食用部分	0.07	0.01		0.07		
その他の家きんの食用部分	0.07	0.01		0.07		
鶏の卵		0.01				
その他の家きんの卵		0.01				
はちみつ	0.05					※8

農薬名　　クロロタロニル

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際基準 ppm	国/地域基準値 ppm	
とうがらし（乾燥させたもの）				70		※9

網掛け：ポジティブリスト制度導入時に海外の基準値等を参照し暫定的に設定した基準値（暫定基準）
太枠：本基準（暫定基準以外の基準）を見直した基準値
斜線：食品区分を別途新設すること等に伴い、削除した食品区分、もしくは加工食品につき基準値を設定しないもの
〇：既に、国内において登録等がされているもの
申：農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの
(#)：適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績
(¥)：基準値設定の根拠とした作物残留試験成績（最大値）
農産物についてはクロロタロニルの濃度で、畜産物については代謝物Ｉの濃度でそれぞれ示している。
※1）リーキについて国際基準が設定されているが、国際基準の設定根拠となった作物残留試験の中央値（STMR）を用いて推計した暴露量が、食品安全委員会が設定したADIを超えることから、ねぎの国際基準から基準値を設定する。
※2）にんにくについては、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、にんにくは82.5%WP2000倍散布を基に換算した。
※3）にんじんについては、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、にんじんは53.0%SC750倍散布を基に換算した。
※4）「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」（令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会）の別添4「残留性が極めて低い農薬の基準値設定の考え方について」に基づき設定。
※5）チャードについて国際基準が設定されているが、国際基準の設定根拠となった作物残留試験の中央値（STMR）を用いて推計した暴露量が、食品安全委員会が設定したADIを超えることから、やまのいも（むかご）から基準値を設定する。

※6）かきについては、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、かきは72.0%WP1500倍散布を基に換算した。
※7）茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、茶は40.0%SC剤700倍散布を基に換算した。
※8）「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」（令和6年6月25日農薬・動物用医薬品部会）の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。
※9）加工食品である「とうがらし（乾燥させたもの）」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。なお、本物質について、JMPRはとうがらしの加工係数を10と算出している。

（別紙4-1）

クロロタロニルの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）EDI
米（玄米をいう。）	0.05	0.0075	1.2	0.6	0.8	1.4
小麦	0.01	0.01	0.6	0.4	0.7	0.5
大麦	0.01	0.01	0.1	0.0	0.1	0.0
ライ麦	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の穀類	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	1	0.19	7.4	3.9	5.9	8.8
小豆類	1	0.19	0.5	0.2	0.2	0.7
えんどう	1	0.19	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	1	0.19	0.1	0.0	0.2	0.2
らっかせい	0.1	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	1	0.19	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.3	0.3	11.5	10.2	12.6	10.5
さといも類（やつがしらを含む。）	0.3	0.3	1.6	0.5	0.4	2.3
かんしょ	0.3	0.3	2.0	1.9	3.7	2.9
やまいも（長いもをいう。）	0.3	0.3	0.9	0.3	0.5	1.3
こんにゃくいも	0.3	0.3	0.4	0.1	0.2	0.4
その他のいも類	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.3	0.3	9.8	8.3	12.3	10.0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.3	0.3	9.9	3.4	6.2	13.7
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	2	0.459	0.8	0.3	1.4	1.3
かぶ類の根	0.3	0.3	0.8	0.2	0.0	1.5
かぶ類の葉	0.05	0.006	0.0	0.0	0.0	0.0
西洋わさび	1	0.25	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	2	0.406	7.2	2.1	6.7	8.8
キャベツ	2	0.286	6.9	3.3	5.4	6.8
芽キャベツ	6	1.5	0.2	0.2	0.2	0.2
きょうな	0.03	0.0045	0.0	0.0	0.0	0.0
カリフラワー	5	5	2.5	1.0	0.5	2.5
ブロッコリー	5	5	26.0	16.5	27.5	28.5
その他のあぶらな科野菜	5	5	17.0	3.0	4.0	24.0
ごぼう	0.3	0.3	1.2	0.5	1.2	1.4
サルシフィー	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	0.7	0.01	0.1	0.0	0.1	0.1
その他のきく科野菜	1	0.328	0.5	0.0	0.2	0.9
たまねぎ	2	0.4	12.5	9.0	14.1	11.1
ねぎ（リーキを含む。）	10	0.835	7.8	3.1	5.7	8.9
にんにく	0.04	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
アスパラガス	5	1.543	2.6	1.1	1.5	3.9
わけぎ	3	0.956	0.2	0.1	0.1	0.2
その他のゆり科野菜	10	0.835	0.5	0.1	0.2	1.0
にんじん	0.4	0.113	2.1	1.6	2.5	2.1
セロリ	20	2.65	3.2	1.6	0.8	3.2
みつば	0.01	0.003	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のせり科野菜	0.5	0.098	0.0	0.0	0.0	0.0
トマト	9	3.10	99.5	58.9	99.2	113.5
ピーマン	10	3.12	15.0	6.9	23.7	15.3
なす	3	1.01	12.1	2.1	10.1	17.3
その他のなす科野菜	7	1.5	1.7	0.2	1.8	1.8
きゅうり（ガーキンを含む。）	3	0.815	16.9	7.8	11.6	20.9
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	7	1.305	12.1	4.8	10.3	17.0
しろうり	2	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0
すいか（果皮を含む。）	7	1.305	9.9	7.2	18.8	14.7
メロン類果実（果皮を含む。）	7	1.305	4.6	3.5	5.7	5.5
まくわうり（果皮を含む。）	2	0.635	0.1	0.1	0.1	0.3
その他のうり科野菜	7	1.305	3.5	1.6	0.8	4.4
オクラ	7	1.5	2.1	1.7	2.1	2.6
しょうが	0.01	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜	0.7	0.18	2.4	1.1	1.8	2.5

クロロタロニルの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）EDI
りんご	2	0.381	9.2	11.8	7.2	12.3
日本なし	0.2	0.027	0.2	0.1	0.2	0.2
西洋なし	2	0.756	0.5	0.2	0.1	0.4
マルメロ	0.5	0.101	0.0	0.0	0.0	0.0
もも（果皮及び種子を含む。）	15	0.03	0.1	0.1	0.2	0.1
ネクタリン	15	4.71	0.5	0.5	0.5	0.5
あんず（アプリコットを含む。）	2	0.12	0.0	0.0	0.0	0.0
すもも（プルーンを含む。）	1	0.17	0.2	0.1	0.1	0.2
うめ	2	0.12	0.2	0.0	0.1	0.2
おうとう（チェリーを含む。）	3	0.39	0.2	0.3	0.0	0.1
いちご	5	2.05	11.1	16.0	10.7	12.1
クランベリー	15	3	0.3	0.3	0.3	0.3
その他のベリー類果実	20	20	2.0	2.0	4.0	2.0
ぶどう	3	0.955	8.3	7.8	19.3	8.6
かき	2	0.423	4.2	0.7	1.6	7.7
バナナ	15	0.033	0.4	0.5	0.5	0.6
キウィー（果皮を含む。）	50	15.7	34.5	22.0	36.1	45.5
パパイヤ	20	2.3	0.5	0.7	0.2	0.2
パッションフルーツ	2	0.49	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	1	0.38	0.5	0.2	0.3	0.6
その他のナッツ類	0.3	0.082	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	10	0.0534	0.4	0.1	0.2	0.5
その他のスパイス	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1
その他のハーブ	7	0.55	0.5	0.2	0.1	0.8
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			392.0	233.2	384.2	468.4
ADI比（%）			39.5	78.5	36.5	46.4

EDI：推定一日摂取量（Estimated Daily Intake）
EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR)等×各食品の平均摂取量
国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。
もも（果皮及び種子を含む。）については、果肉における作物残留試験成績の数値を用いてEDI試算をした。
にんにく、にんじん、かき及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。
茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いてEDI試算をした。
●：個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値（案）の数値を用いた。

代謝物Iの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）EDI
米（玄米をいう。）	0.05	0.0075	1.2	0.6	0.8	1.4
小麦	0.01	0.01	0.6	0.4	0.7	0.5
大麦	0.01	0.01	0.1	0.0	0.1	0.0
ライ麦	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の穀類	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	1	0.02	0.8	0.4	0.6	0.9
小豆類	1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.1
えんどう	1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
らっかせい	0.1	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.3	0.02	0.8	0.7	0.8	0.7
さといも類（やつがしらを含む。）	0.3	0.02	0.1	0.0	0.0	0.2
かんしょ	0.3	0.02	0.1	0.1	0.2	0.2
やまいも（長いもをいう。）	0.3	0.02	0.1	0.0	0.0	0.1
こんにゃくいも	0.3	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のいも類	0.3	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.3	0.02	0.7	0.6	0.8	0.7
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.3	0.02	0.7	0.2	0.4	0.9
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	2	0.031	0.1	0.0	0.1	0.1
かぶ類の根	0.3	0.02	0.1	0.0	0.0	0.1
かぶ類の葉	0.05	0.0004	0.0	0.0	0.0	0.0
西洋わさび	1	0.16	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	2	0.0077	0.1	0.0	0.1	0.2
キャベツ	2	0.0054	0.1	0.1	0.1	0.1
芽キャベツ	6	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
きょうな	0.03	0.0001	0.0	0.0	0.0	0.0
カリフラワー	5	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	5	0.01	0.1	0.0	0.1	0.1
その他のあぶらな科野菜	5	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ごぼう	0.3	0.02	0.1	0.0	0.1	0.1
サルシフィー	0.3	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	0.7	0.0002	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のきく科野菜	1	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
たまねぎ	2	0.02	0.6	0.5	0.7	0.6
ねぎ（リーキを含む。）	10	0.01	0.1	0.0	0.1	0.1
にんにく	0.04	0.0003	0.0	0.0	0.0	0.0
アスパラガス	5	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
わけぎ	3	0.038	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のゆり科野菜	10	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
にんじん	0.4	0.008	0.2	0.1	0.2	0.1
セロリ	20	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
みつば	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のせり科野菜	0.5	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
トマト	9	0.026	0.8	0.5	0.8	1.0
ピーマン	10	0.0521	0.3	0.1	0.4	0.3
なす	3	0.0084	0.1	0.0	0.1	0.1
その他のなす科野菜	7	0.045	0.0	0.0	0.1	0.1
きゅうり（ガーキンを含む。）	3	0.015	0.3	0.1	0.2	0.4
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	7	0.0304	0.3	0.1	0.2	0.4
しろうり	2	0.015	0.0	0.0	0.0	0.0
すいか（果皮を含む。）	7	0.0304	0.2	0.2	0.4	0.3
メロン類果実（果皮を含む。）	7	0.0304	0.1	0.1	0.1	0.1
まくわうり（果皮を含む。）	2	0.0117	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	7	0.0304	0.1	0.0	0.0	0.1
オクラ	7	0.045	0.1	0.0	0.1	0.1
しょうが	0.01	0.0003	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の野菜	0.7	0.0121	0.2	0.1	0.1	0.2

代謝物Iの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）EDI
りんご	2	0.01	0.2	0.3	0.2	0.3
日本なし	0.2	0.01	0.1	0.0	0.1	0.1
西洋なし	2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
マルメロ	0.5	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
もも（果皮及び種子を含む。）	15	0.01	0.0	0.0	0.1	0.0
ネクタリン	15	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
あんず（アプリコットを含む。）	2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
すもも（プルーンを含む。）	1	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
うめ	2	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
おうとう（チェリーを含む。）	3	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
いちご	5	0.01	0.1	0.1	0.1	0.1
クランベリー	15	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のベリー類果実	20	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ぶどう	3	0.01	0.1	0.1	0.2	0.1
かき	2	0.014	0.1	0.0	0.1	0.3
バナナ	15	0.01	0.1	0.2	0.2	0.2
キウィー（果皮を含む。）	50	0.234	0.5	0.3	0.5	0.7
パパイヤ	20	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
パッションフルーツ	2	0.0073	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の果実	1	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	0.3	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	10	0.0096	0.1	0.0	0.0	0.1
その他のスパイス	0.3	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のハーブ	7	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
陸棲哺乳類の肉類	0.07	筋肉　0.01 脂肪　0.025	0.8	0.6	0.8	0.5
陸棲哺乳類の食用部分（肉類除く）	0.2	0.16	0.2	0.1	0.8	0.1
陸棲哺乳類の乳類	0.07	0.05	13.2	16.6	18.2	10.8
家きんの肉類	0.07	0.039	0.8	0.6	0.9	0.6
はちみつ	0.05	●　0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			25.8	24.5	31.1	24.6
ADI比（%）			5.6	17.9	6.4	5.3

EDI：推定一日摂取量（Estimated Daily Intake）

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR)等×各食品の平均摂取量

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

もも（果皮及び種子を含む。）については、果肉における作物残留試験成績の数値を用いてEDI試算をした。

にんにく、にんじん、かき及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いてEDI試算をした。

「陸棲哺乳類の肉類」については、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

●：個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値（案）の数値を用いた。

クロロタロニルの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
米（玄米をいう。）	米	0.05	○ 0.0075	0.0	0
小麦	小麦	0.01	○ 0.01	0.0	0
大麦	大麦	0.01	○ 0.01	0.0	0
	麦茶	0.01	○ 0.01	0.0	0
大豆	大豆	1	○ 0.19	0.2	0
小豆類	いんげん	1	○ 0.19	0.3	0
らっかせい	らっかせい	0.1	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.3	○ 0.3	2.8	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.3	○ 0.3	1.6	0
かんしょ	かんしょ	0.3	○ 0.3	3.8	1
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.3	○ 0.3	2.4	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.3	○ 0.3	3.5	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	2	2	16.5	3
かぶ類の根	かぶの根	0.3	○ 0.3	2.2	0
かぶ類の葉	かぶの葉	0.05	0.05	0.1	0
はくさい	はくさい	2	2	25.9	4
キャベツ	キャベツ	2	2	19.1	3
きょうな	きょうな	0.03	0.03	0.1	0
カリフラワー	カリフラワー	5	○ 5	37.1	6
ブロッコリー	ブロッコリー	5	○ 5	30.0	5
その他のあぶらな科野菜	たかな	5	○ 5	39.2	7
	菜花	5	○ 5	13.8	2
ごぼう	ごぼう	0.3	○ 0.3	1.5	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	0.7	0.7	3.9	1
たまねぎ	たまねぎ	2	○ 0.69	5.7	1
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	10	○ 7.5	28.6	5
にんにく	にんにく	0.04	○ 0.022	0.0	0
アスパラガス	アスパラガス	5	5	10.4	2
わけぎ	わけぎ	3	3	5.9	1
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	10	○ 7.5	13.3	2
	らっきょう	10	○ 7.5	8.0	1
にんじん	にんじん	0.4	○ 0.163	0.7	0
	にんじんジュース	0.4	○ 0.113	0.8	0
セロリ	セロリ	20	○ 7.5	41.3	7
みつば	みつば	0.01	0.01	0.0	0
その他のせり科野菜	せり	0.5	0.5	0.8	0
トマト	トマト	9	9	98.5	20
ピーマン	ピーマン	10	○ 4.6	11.7	2
なす	なす	3	○ 1.42	9.2	2
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	7	○ 4.4	7.1	1
	ししとう	7	○ 4.4	4.5	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	3	3	19.0	3
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	7	○ 3.625	35.6	6
	ズッキーニ	7	○ 3.625	26.2	4
しろうり	しろうり	2	○ 0.21	1.7	0
すいか（果皮を含む。）	すいか	7	○ 3.625	119.4	20
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	7	○ 3.625	61.6	10
その他のうり科野菜	とうがん	7	○ 3.625	61.7	10
	にがうり	7	○ 3.625	29.3	5
オクラ	オクラ	7	○ 4.4	6.5	1
しょうが	しょうが	0.01	○ 0.005	0.0	0
その他の野菜	ずいき	0.7	0.7	7.1	1
	もやし	0.7	0.7	1.6	0
	れんこん	0.7	0.7	4.4	1
	そら豆（生）	0.7	0.7	2.1	0

クロロタロニルの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
りんご	りんご	2	2	28.6	5
	りんご果汁	2	○ 0.381	4.0	1
日本なし	日本なし	0.2	0.2	3.0	1
西洋なし	西洋なし	2	2	28.1	5
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	15	0.08	1.1	0
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	1	1	5.9	1
うめ	うめ	2	○ 1.1	1.5	0
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	3	○ 1.8	4.5	1
いちご	いちご	5	○ 3	11.4	2
ぶどう	ぶどう	3	○ 1.6	21.6	4
かき	かき	2	2	28.6	5
バナナ	バナナ	15	○ 0.71	7.9	1
キウィー（果皮を含む。）	キウィー	50	50	283.2	50
その他の果実	いちじく	1	○ 0.6	4.6	1
茶	緑茶類	10	○ 0.0534	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

もも（果皮及び種子を含む。）については、果肉における作物残留試験成績の数値を用いてESTI試算をした。

にんにく、にんじん、かき及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いて試算をした。

クロロタロニルの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)		ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
米（玄米をいう。）	米	0.05	○	0.0075	0.1	0
小麦	小麦	0.01	○	0.01	0.0	0
大麦	大麦	0.01	○	0.01	0.0	0
	麦茶	0.01	○	0.01	0.0	0
大豆	大豆	1	○	0.19	0.2	0
らっかせい	らっかせい	0.1	○	0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.3	○	0.3	6.8	1
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.3	○	0.3	3.8	1
かんしょ	かんしょ	0.3	○	0.3	7.6	1
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.3	○	0.3	4.1	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.3	○	0.3	6.6	1
はくさい	はくさい	2		2	31.4	5
キャベツ	キャベツ	2		2	31.3	5
ブロッコリー	ブロッコリー	5	○	5	72.0	10
ごぼう	ごぼう	0.3	○	0.3	1.9	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	0.7		0.7	6.9	1
たまねぎ	たまねぎ	2	○	0.69	12.1	2
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	10	○	7.5	48.6	8
にんにく	にんにく	0.04	○	0.022	0.0	0
にんじん	にんじん	0.4	○	0.163	1.7	0
トマト	トマト	9		9	244.5	40
ピーマン	ピーマン	10	○	4.6	30.1	5
なす	なす	3	○	1.42	22.2	4
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	3		3	43.8	7
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	7	○	3.625	58.1	10
すいか（果皮を含む。）	すいか	7	○	3.625	313.8	50
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	7	○	3.625	106.2	20
オクラ	オクラ	7	○	4.4	19.0	3
しょうが	しょうが	0.01	○	0.005	0.0	0
その他の野菜	もやし	0.7		0.7	2.9	0
	れんこん	0.7		0.7	7.2	1
りんご	りんご	2		2	64.2	10
	りんご果汁	2	○	0.381	12.9	2
日本なし	日本なし	0.2		0.2	5.8	1
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	15		0.08	3.4	1
うめ	うめ	2	○	1.1	3.8	1
いちご	いちご	5	○	3	32.4	5
ぶどう	ぶどう	3	○	1.6	49.0	8
かき	かき	2		2	41.8	7
バナナ	バナナ	15	○	0.71	27.3	5
茶	緑茶類	10	○	0.0534	0.1	0
はちみつ	はちみつ	0.05		0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

もも（果皮及び種子を含む。）については、果肉における作物残留試験成績の数値を用いてESTI試算をした。

にんにく、にんじん、かき及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いて試算をした。

代謝物Iの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
米（玄米をいう。）	米	0.05	○ 0.0075	0.0	0
小麦	小麦	0.01	○ 0.01	0.0	0
大麦	大麦	0.01	○ 0.01	0.0	0
	麦茶	0.01	○ 0.01	0.0	0
大豆	大豆	1	○ 0.02	0.0	0
小豆類	いんげん	1	○ 0.02	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.1	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.3	○ 0.03	0.3	1
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.3	○ 0.03	0.2	1
かんしょ	かんしょ	0.3	○ 0.03	0.4	2
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.3	○ 0.03	0.2	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.3	○ 0.03	0.3	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	2	0.3	2.5	10
かぶ類の根	かぶの根	0.3	○ 0.03	0.2	1
かぶ類の葉	かぶの葉	0.05	0.01	0.0	0
はくさい	はくさい	2	0.05	0.6	2
キャベツ	キャベツ	2	0.05	0.5	2
きょうな	きょうな	0.03	0.01	0.0	0
カリフラワー	カリフラワー	5	○ 0.02	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	5	○ 0.02	0.1	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	5	○ 0.02	0.2	1
	菜花	5	○ 0.02	0.1	0
ごぼう	ごぼう	0.3	○ 0.03	0.1	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	0.7	0.01	0.1	0
たまねぎ	たまねぎ	2	○ 0.068	0.6	2
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	10	○ 0.05	0.2	1
にんにく	にんにく	0.04	○ 0.0006	0.0	0
アスパラガス	アスパラガス	5	0.05	0.1	0
わけぎ	わけぎ	3	0.2	0.4	2
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	10	○ 0.05	0.1	0
	らっきょう	10	○ 0.05	0.1	0
にんじん	にんじん	0.4	○ 0.011	0.0	0
	にんじんジュース	0.4	○ 0.008	0.1	0
セロリ	セロリ	20	○ 0.02	0.1	0
みつば	みつば	0.01	0.01	0.0	0
その他のせり科野菜	せり	0.5	0.05	0.1	0
トマト	トマト	9	0.08	0.9	4
ピーマン	ピーマン	10	○ 0.077	0.2	1
なす	なす	3	○ 0.0117	0.1	0
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	7	○ 0.09	0.1	0
	ししとう	7	○ 0.09	0.1	0
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	3	0.1	0.6	2
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	7	○ 0.084	0.8	3
	ズッキーニ	7	○ 0.084	0.6	2
しろうり	しろうり	2	○ 0.06	0.5	2
すいか（果皮を含む。）	すいか	7	○ 0.084	2.8	10
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	7	○ 0.084	1.4	6
その他のうり科野菜	とうがん	7	○ 0.084	1.4	6
	にがうり	7	○ 0.084	0.7	3
オクラ	オクラ	7	○ 0.09	0.1	0
しょうが	しょうが	0.01	○ 0.0003	0.0	0
その他の野菜	ずいき	0.7	0.1	1.0	4
	もやし	0.7	0.1	0.2	1
	れんこん	0.7	0.1	0.6	2
	そら豆（生）	0.7	0.1	0.3	1

代謝物Iの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
りんご	りんご	2	0.05	0.7	3
	りんご果汁	2	○ 0.01	0.1	0
日本なし	日本なし	0.2	0.05	0.8	3
西洋なし	西洋なし	2	0.05	0.7	3
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	15	0.01	0.1	0
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	1	0.01	0.1	0
うめ	うめ	2	○ 0.011	0.0	0
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	3	○ 0.035	0.1	0
いちご	いちご	5	○ 0.06	0.2	1
ぶどう	ぶどう	3	○ 0.15	2.0	8
かき	かき	2	0.01	0.1	0
バナナ	バナナ	15	○ 0.01	0.1	0
キウィー（果皮を含む。）	キウィー	50	0.7	4.0	20
その他の果実	いちじく	1	○ 0.01	0.1	0
茶	緑茶類	10	○ 0.0096	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

もも（果皮及び種子を含む。）については、果肉における作物残留試験成績の数値を用いてESTI試算をした。

にんにく、にんじん、かき及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いて試算をした。

代謝物Iの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
米（玄米をいう。）	米	0.05	○ 0.0075	0.1	0
小麦	小麦	0.01	○ 0.01	0.0	0
大麦	大麦	0.01	○ 0.01	0.0	0
	麦茶	0.01	○ 0.01	0.0	0
大豆	大豆	1	○ 0.02	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.1	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.3	○ 0.03	0.7	3
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	0.3	○ 0.03	0.4	2
かんしょ	かんしょ	0.3	○ 0.03	0.8	3
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.3	○ 0.03	0.4	2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.3	○ 0.03	0.7	3
はくさい	はくさい	2	0.05	0.8	3
キャベツ	キャベツ	2	0.05	0.8	3
ブロッコリー	ブロッコリー	5	○ 0.02	0.3	1
ごぼう	ごぼう	0.3	○ 0.03	0.2	1
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	0.7	0.01	0.1	0
たまねぎ	たまねぎ	2	○ 0.068	1.2	5
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	10	○ 0.05	0.3	1
にんにく	にんにく	0.04	○ 0.0006	0.0	0
にんじん	にんじん	0.4	○ 0.011	0.1	0
トマト	トマト	9	0.08	2.2	9
ピーマン	ピーマン	10	○ 0.077	0.5	2
なす	なす	3	○ 0.0117	0.2	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	3	0.1	1.5	6
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	7	○ 0.084	1.3	5
すいか（果皮を含む。）	すいか	7	○ 0.084	7.3	30
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	7	○ 0.084	2.5	10
オクラ	オクラ	7	○ 0.09	0.4	2
しょうが	しょうが	0.01	○ 0.0003	0.0	0
その他の野菜	もやし	0.7	0.1	0.4	2
	れんこん	0.7	0.1	1.0	4
りんご	りんご	2	0.05	1.6	6
	りんご果汁	2	○ 0.01	0.3	1
日本なし	日本なし	0.2	0.05	1.4	6
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	15	0.01	0.4	2
うめ	うめ	2	○ 0.011	0.0	0
いちご	いちご	5	○ 0.06	0.6	2
ぶどう	ぶどう	3	○ 0.15	4.6	20
かき	かき	2	0.01	0.2	1
バナナ	バナナ	15	○ 0.01	0.4	2
茶	緑茶類	10	○ 0.0096	0.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

もも（果皮及び種子を含む。）については、果肉における作物残留試験成績の数値を用いてESTI試算をした。

にんにく、にんじん、かき及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いて試算をした。

（参考）

これまでの経緯

昭和４０年　５月２３日	初回農薬登録
平成１７年１１月２９日	残留基準告示
平成２３年　９月２１日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２９年　７月２１日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成３０年　３月２７日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成３０年　７月１２日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和　２年１０月２９日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：まくわうり）
令和　４年　５月１７日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：アスパラガス）
令和　６年　９月　３日	農林水産省から消費者庁へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大：ネクタリン)
令和　８年　４月　１日	農林水産省から消費者庁へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大：トマト、ミニトマト、ピーマン、うり類（成熟、ただし、すいか、まくわうりを除く)、すいか)
令和　８年　５月１９日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

［委員］

大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	国立医薬品食品衛生研究所薬品部長
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部本部長
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
◎堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所（薬学系兼任）教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

（◎：部会長、○：部会長代理）

答申（案）

クロロタロニルについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

クロロタロニル

今回残留基準を設定する「クロロタロニル」の規制対象は、農産物及びはちみつにあってはクロロタロニル、畜産物にあっては代謝物Ｉ【2,5,6-トリクロロ-4-ヒドロキシイソフタロニトリル】とする。

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	0.05
小麦	0.01
大麦	0.01
ライ麦	0.01
その他の穀類[注1)]	0.01
大豆	1
小豆類[注2)]	1
えんどう	1
そら豆	1
らっかせい	0.1
その他の豆類[注3)]	1
ばれいしょ	0.3
さといも類（やつがしらを含む。）	0.3
かんしょ	0.3
やまいも（長いもをいう。）	0.3
こんにゃくいも	0.3
その他のいも類[注4)]	0.3
てんさい	0.3
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.3
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	2
かぶ類の根	0.3
かぶ類の葉	0.05
西洋わさび	1
はくさい	2
キャベツ	2
芽キャベツ	6
きょうな	0.03
カリフラワー	5

食品名	残留基準値 ppm
ブロッコリー	5
その他のあぶらな科野菜[注5)]	5
ごぼう	0.3
サルシフィー	0.3
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	0.7
その他のきく科野菜[注6)]	1
たまねぎ	2
ねぎ（リーキを含む。）	10
にんにく	0.04
アスパラガス	5
わけぎ	3
その他のゆり科野菜[注7)]	10
にんじん	0.4
セロリ	20
みつば	0.01
その他のせり科野菜[注8)]	0.5
トマト	9
ピーマン	10
なす	3
その他のなす科野菜[注9)]	7
きゅうり（ガーキンを含む。）	3
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	7
しろうり	2
すいか（果皮を含む。）	7
メロン類果実（果皮を含む。）	7
まくわうり（果皮を含む。）	2
その他のうり科野菜[注10)]	7
オクラ	7
しょうが	0.01
その他の野菜[注11)]	0.7
りんご	2
日本なし	0.2
西洋なし	2
マルメロ	0.5

食品名	残留基準値 ppm
もも（果皮及び種子を含む。） ネクタリン あんず（アプリコットを含む。） すもも（プルーンを含む。） うめ おうとう（チェリーを含む。）	15 15 2 1 2 3
いちご クランベリー その他のベリー類果実[注12)]	5 15 20
ぶどう かき	3 2
バナナ キウィー（果皮を含む。） パパイヤ パッションフルーツ	15 50 20 2
その他の果実[注13)]	1
その他のナッツ類[注14)]	0.3
茶	10
その他のスパイス[注15)]	0.3
その他のハーブ[注16)]	7
牛の筋肉 豚の筋肉 その他の陸棲哺乳類に属する動物[注17)]の筋肉	0.02 0.02 0.02
牛の脂肪 豚の脂肪 その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.07 0.07 0.07
牛の肝臓 豚の肝臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.2 0.2 0.2
牛の腎臓 豚の腎臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2 0.2 0.2
牛の食用部分[注18)] 豚の食用部分 その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2 0.2 0.2
乳	0.07

食品名	残留基準値 ppm
鶏の筋肉 その他の家きん[注19)] の筋肉	0.01 0.01
鶏の脂肪 その他の家きんの脂肪	0.01 0.01
鶏の肝臓 その他の家きんの肝臓	0.07 0.07
鶏の腎臓 その他の家きんの腎臓	0.07 0.07
鶏の食用部分 その他の家きんの食用部分	0.07 0.07
はちみつ	0.05

注1）「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2）「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3）「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4）「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注5）「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注6）「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注7）「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注8）「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9）「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注10）「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注11）「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注12）「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注13）「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウィー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注14）「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注15）「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注16）「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注17）「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注18）「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注19）「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

令和８年５月 19 日開催部会

トルフェンピラド

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことから、農薬・動物用医薬品部会（以下「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、本報告では、今般提出された作物残留試験成績に基づき、前回審議からの変更点をとりまとめる。また、今般の基準値設定依頼に当たって、毒性や代謝に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に内閣総理大臣から食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

１．概要

（１）品目名：トルフェンピラド[Tolfenpyrad（ISO）]

（２）分　類（用途）：農薬（殺虫・殺ダニ剤）

（３）化学名、CAS番号、構造式及び物性：変更なし（添付資料1参照）

２．適用の範囲及び使用方法

本剤の国内及び海外における適用の範囲及び使用方法は、別紙1のとおり。なお、今般の基準値設定依頼に係る新たな適用の範囲及び使用方法は網掛けとしている。

３．代謝試験

（１）植物代謝試験

変更なし（添付資料1参照）

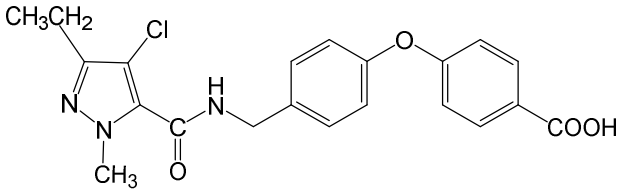
（２）家畜代謝試験

家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、肝臓及び腎臓を除く可食部で、親化合物の残留が認められ、10%TRR[注)] 以上認められた代謝物は、代謝物OH-PT-CA(泌乳山羊の肝臓、腎臓及び乳)、代謝物PT-CA（抱合体を含む。）(泌乳山羊の筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳並びに産卵鶏の筋肉、脂肪、肝臓及び卵)、代謝物PCAの抱合体（泌乳山羊の脂肪及び乳並びに産卵鶏の脂肪及び卵)、代謝物OH-PAM（産卵鶏の筋肉及び卵)、代謝物CA-T-NH_2の抱合体（泌乳山羊の乳）であった。

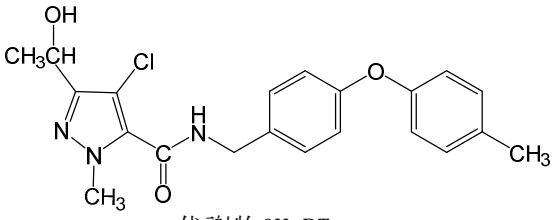
注）%TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

【代謝物略称一覧】

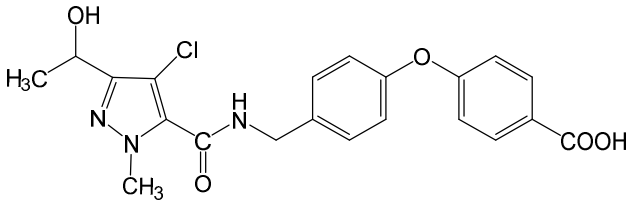
略称	JMPR評価書の略称	化学名
PT-CA	PT-CA	4-[4-[(4-クロロ-3-エチル-1-メチルピラゾール-5-イル)カルボニルアミノメチル]フェノキシ]安息香酸
OH-PT	OH-PT	4-クロロ-3-(1-ヒドロキシエチル)-1-メチル-*N*-[4-(*p*-トリルオキシ)ベンジル]ピラゾール-5-カルボキサミド
CA-T-NH_2	CA-T-NH_2	4-[4-(アミノメチル)フェノキシ]安息香酸
OH-PAM	OH-PAM	4-クロロ-3-(1-ヒドロキシエチル)-1-メチルピラゾール-5-カルボキサミド
OH-PT-CA	OH-PT-CA	4-[4-[[4-クロロ-3-(1-ヒドロキシエチル)-1-メチルピラゾール-5-イル]カルボニルアミノメチル]フェノキシ]安息香酸
PAM	PAM	4-クロロ-3-エチル-1-メチルピラゾール-5-カルボキサミド
PCA	PCA	4-クロロ-3-エチル-1-メチルピラゾール-5-カルボン酸
T-CA	T-CA	4-(*p*-トリルオキシ)安息香酸



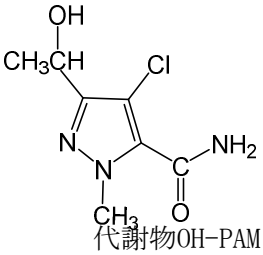
代謝物PT-CA



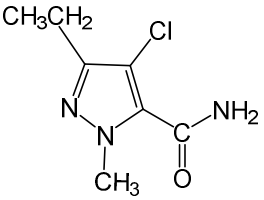
代謝物OH-PT



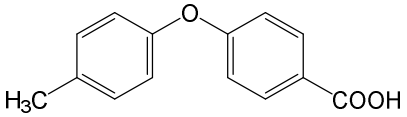
代謝物OH-PT-CA



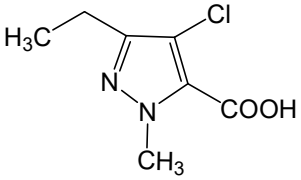
代謝物OH-PAM



代謝物PAM



代謝物T-CA



代謝物PCA

注）残留の分析対象、残留の規制対象及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

４．作物残留試験

今回追加のあった分析法については以下のとおり。

（１）分析の概要

①　分析対象物質

・トルフェンピラド

②　分析法の概要

ｉ）トルフェンピラド

試料からアセトンで抽出し、*n*−ヘキサンに転溶する。アミノプロピルシリル化シリカゲル(NH_2)カラム、及び/又はシリカゲルカラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計（LC-MS）又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）で定量する。

定量限界：0.01 mg/kg

（２）作物残留試験結果

国内作物残留試験については、食用ぎく及び茶の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2に示す。

５．畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留農薬濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

（１）分析の概要

①　分析対象物質

・トルフェンピラド
・代謝物PT-CA（抱合体を含む。）
・代謝物OH-PT-CA及びアルカリ加水分解により代謝物OH-PT-CAに変換される代謝物
・代謝物PCA（抱合体を含む。）

②　分析法の概要

ｉ）トルフェンピラド、代謝物PT-CA（抱合体を含む。）、代謝物OH-PT-CA（アルカリ加水分解により代謝物OH-PT-CAに変換される代謝物を含む。）及び代謝物PCA（抱合体を含む。）

筋肉及び腎臓は、メタノール・水（5：1）混液で抽出する。酢酸エチルに転溶し、溶媒を留去した後メタノールに再溶解し、LC-MS/MS で定量する。

脂肪は、メタノール・水（5：1）混液で抽出し、酢酸エチルに転溶する。溶媒を留去した後 *n*-ヘキサンに再溶解し、シリカゲルカラムで精製して得た溶液を二等分する。一方は溶媒を留去後メタノールに再溶解し LC-MS/MS で定量する。もう一方は溶媒を留去後水酸化カリウム溶液に溶解し、室温で15時間以上加水分解した後、pH を3未満として酢酸エチルに転溶後、LC-MS/MS で定量する。

肝臓はメタノール・水（5：1）混液で抽出し、乳はメタノールで抽出する。酢酸エチルに転溶し、酢酸エチル層を二等分する。一方は溶媒を留去し、メタノールに再溶解した後、LC-MS/MS で定量する。もう一方は溶媒を留去後、水酸化カリウム溶液に溶解し、室温で15時間以上加水分解した後、pH を3未満として酢酸エチルに転溶後、LC-MS/MS で定量する。

なお、代謝物 PT-CA（抱合体を含む。）及び代謝物 OH-PT-CA（アルカリ加水分解により代謝物 OH-PT-CA に変換される代謝物を含む。）の分析値は、それぞれ換算係数0.93及び0.89を用いてトルフェンピラド濃度に換算した値として示した。

定量限界：	トルフェンピラド	0.01 mg/kg
	代謝物PT-CA（抱合体を含む。）	0.009 mg/kg （トルフェンピラド換算濃度）
	代謝物OH-PT-CA及びアルカリ加水分解により代謝物OH-PT-CAに変換される代謝物	0.009 mg/kg （トルフェンピラド換算濃度）
	代謝物PCA（抱合体を含む。）	0.01 mg/kg

（２）家畜残留試験（動物飼養試験）

① 乳牛を用いた残留試験

乳牛（品種及び体重は未記載、3頭/群及び 25 ppm 投与群は6頭/群）に対して、飼料中濃度として2.5、7.5及び25 ppm に相当する量のトルフェンピラドを含むカプセルを28日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳に含まれるトルフェンピラド、代謝物 PT-CA（抱合体を含む。）、代謝物 OH-PT-CA（アルカリ加水分解により代謝物 OH-PT-CA に変換される代謝物を含む。）及び代謝物 PCA（抱合体を含む。）の濃度を LC-MS/MS で測定した。結果は表1を参照 。なお、脂肪、肝臓及び乳については、アルカリ加水分解ありの値のみを示している。代謝物 PCA は 25 ppm 投与群の脂肪（加水分解後）のみで0.01 mg/kg であり、他の投与群の組織及び乳ではすべて定量限界未満（<0.01 mg/kg）であることにより、表１に含めていない。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度（mg/kg）

		2.5 ppm投与群[注1)]	7.5 ppm投与群	25 ppm投与群
筋肉	トルフェンピラド	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物PT-CA	0.019 (最大) 0.01209 (平均)	0.028 (最大) 0.01553 (平均)	0.1674 (最大) 0.084 (平均)
	代謝物OH-PT-CA	<0.009 (最大) <0.009 (平均)	<0.009 (最大) <0.009 (平均)	<0.009 (最大) <0.009 (平均)
	合計（代謝物PT-CA）[注2)]	0.019 (最大) 0.012 (平均)	0.0279 (最大) 0.0155 (平均)	0.167 (最大) 0.084 (平均)
脂肪	トルフェンピラド	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.02 (最大) 0.01 (平均)	0.11 (最大) 0.07 (平均)
	代謝物PT-CA	<0.009 (最大) <0.009 (平均)	0.0186 (最大) 0.0093 (平均)	0.0465 (最大) 0.0279 (平均)
	代謝物OH-PT-CA	<0.009 (最大) <0.009 (平均)	<0.009 (最大) <0.009 (平均)	0.0089 (最大) 0.0089 (平均)
	合計（トルフェンピラド+PT-CA+OH-PT-CA）[注2)]	0.028 (最大) 0.028 (平均)	0.038 (最大) 0.038 (平均)	0.115 (最大) 0.107 (平均)
肝臓	トルフェンピラド	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)
	代謝物PT-CA	0.763 (最大) 0.567 (平均)	2.046 (最大) 1.860 (平均)	5.859 (最大) 4.464 (平均)
	代謝物OH-PT-CA	0.036 (最大) 0.027 (平均)	0.062 (最大) 0.062 (平均)	0.240 (最大) 0.178 (平均)
	合計（トルフェンピラド+PT-CA+OH-PT-CA）[注2)]	0.798 (最大) 0.594 (平均)	2.108 (最大) 1.922 (平均)	6.010 (最大) 4.642 (平均)
腎臓	トルフェンピラド	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.02 (最大) 0.01 (平均)
	代謝物PT-CA	0.158 (最大) 0.1209 (平均)	0.632 (最大) 0.4557 (平均)	1.209 (最大) 1.209 (平均)
	代謝物OH-PT-CA	<0.009 (最大) <0.009 (平均)	0.018 (最大) 0.0178 (平均)	0.098 (最大) 0.0801 (平均)
	合計（トルフェンピラド+PT-CA+OH-PT-CA）[注2)]	0.177 (最大) 0.1398 (平均)	0.651 (最大) 0.4835 (平均)	1.327 (最大) 1.2991 (平均)
乳[注3)]	トルフェンピラド	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)
	代謝物PT-CA	0.0167 (平均)	0.0409 (平均)	0.2195 (平均)
	代謝物OH-PT-CA	<0.009 (平均)	<0.009 (平均)	<0.009 (平均)
	合計（PT-CA）[注2)]	0.0167 (平均)	0.0409 (平均)	0.2195 (平均)

定量限界：筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳　0.01 mg/kg

注1）2.5 ppm投与群の残留濃度の<0.01 mg/kgの評価については、JMPRに従い7.5及び25 ppm投与群のいずれも<0.01 mg/kgである場合は0 mg/kgとし、いずれかの群で定量限界以上の測定値が得

られた場合は0.01 mg/kgと評価した。

注2）換算値の合計濃度。筋肉及び乳については、最大用量でもトルフェンピラド及び代謝物OH-PT-CAは定量限界未満であることから、代謝物PT-CAのみを検討している。

注3）投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に算出し、16日以降に平衡に達したと見なし、その平均値を求めた。

上記の結果に関連して、JMPRは、肉牛及び乳牛の最大飼料由来負荷[注1)]及び平均的飼料由来負荷[注2)]を共に0.56 ppmと評価している。

注1）最大飼料由来負荷（Maximum dietary burden）：飼料の原料に農薬が最大まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2）平均的飼料由来負荷（Mean dietary burden）：飼料の原料に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に（作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる）、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる平均濃度。飼料中濃度として表示される。

（４）推定残留濃度

牛について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。最大残留濃度及び平均的な残留濃度は、トルフェンピラド、代謝物PT-CA（抱合体を含む。）及び代謝物OH-PT-CA（アルカリ加水分解により代謝物OH-PT-CAに変換される代謝物を含む。）をトルフェンピラドに換算した濃度の合計濃度で示した。結果は表2を参照。

表2. 畜産物中の推定残留濃度：牛（mg/kg）

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
牛	0.0042 (0.0021)	0.006 (0.006)	0.181 (0.133)	0.040 (0.031)	0.00375 (0.00375)

上段：最大残留濃度*　　下段括弧内：平均的な残留濃度*

*最大及び平均的な残留濃度は、トルフェンピラド、代謝物PT-CA（抱合体を含む。）及び代謝物OH-PT-CA（アルカリ加水分解により代謝物OH-PT-CAに変換される代謝物を含む。）を含む。

鶏について、最大及び平均的飼料由来負荷は 0 ppmと評価されていることから、JMPRは筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び卵についての最大残留濃度及び平均的な残留濃度を、共に 0 mg/kgと推定している。

６．許容一日摂取量（ADI）及び急性参照用量（ARfD）の評価

先の審議の際に、食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたトルフェンピラドに係る食品健康影響評価におい

て、トルフェンピラドのADIを0.0056 mg/kg体重/日、ARfDを0.01 mg/kg体重と設定すると評価している。

７．諸外国における状況

変更なし（添付資料１参照）

なお、国際基準は、2021年にたまねぎ、ばれいしょ及び畜産物等の基準値が設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてかんきつ類、たまねぎ等に、カナダにおいてかんきつ類、たまねぎ等に、豪州においてたまねぎ、オレンジ等に基準値が設定されている。

８．残留規制

（１）残留の規制対象

農産物及びはちみつにあっては、トルフェンピラドとし、畜産物にあっては、トルフェンピラド、代謝物PT-CA（抱合体を含む。）及び代謝物OH-PT-CA（アルカリ加水分解により代謝物OH-PT-CAに変換される代謝物を含む。）とする。

植物代謝試験の結果、可食部でトルフェンピラドの残留が認められた。また、一部の作物残留試験では、代謝物OH-PT、代謝物T-CA、代謝物OH-PAM及び代謝物PAMが測定されているが、主な残留物は親化合物であり、分析の指標としてトルフェンピラドのみで十分であると考えられることから、農産物の残留の規制対象はトルフェンピラドとする。

家畜代謝試験において、代謝物PT-CA及び代謝物OH-PT-CAが可食部で10%TRR以上認められ、家畜残留試験においても代謝物PT-CA及び代謝物OH-PT-CAは、肝臓において親化合物より多く残留が認められることから、畜産物の残留の規制対象はトルフェンピラド、代謝物PT-CA（抱合体を含む。）及び代謝物OH-PT-CA（アルカリ加水分解により代謝物OH-PT-CAに変換される代謝物を含む。）とする。

なお、JMPRの評価でも残留の規制対象を農産物においてはトルフェンピラドとし、畜産物においてはトルフェンピラド、代謝物PT-CA（抱合体を含む。）及びアルカリ加水分解により代謝物OH-PT-CAに変換される代謝物を規制対象としている。

（２）基準値案

別紙3のとおりである。

９．暴露評価

（１）暴露評価対象

農産物にあっては、トルフェンピラドとし、畜産物にあっては、トルフェンピラド、代謝物PT-CA（抱合体を含む。）及び代謝物OH-PT-CA（アルカリ加水分解により代謝物OH-PT-CAに変換される代謝物を含む。）とする。

植物代謝試験の結果、一部作物の可食部（ラディッシュの根部）で10%TRRを超える代謝物として代謝物PT-CAが認められたが、作物残留試験において親化合物のトルフェンピラドと比較して十分に低い残留濃度であった。また、一部の作物残留試験において、代謝物OH-PT、代謝物T-CA、代謝物OH-PAM及び代謝物PAMが測定されているが、概ね定量限界未満であり、親化合物より残留濃度が低いこと、JMPRの評価においても暴露評価対象物質は親化合物のみとしていることから、農産物の暴露評価対象物質は親化合物のみとする。

家畜代謝試験において、代謝物PT-CA及び代謝物OH-PT-CAが可食部で10%TRR以上認められ、家畜残留試験の最小投与群においても代謝物PT-CA及び代謝物OH-PT-CAは、肝臓において親化合物より多く残留が認められること、JMPRの評価においても暴露評価対象物質はトルフェンピラド、代謝物PT-CA（抱合体を含む。）及び代謝物OH-PT-CA（アルカリ加水分解により代謝物OH-PT-CAに変換される代謝物を含む。）としていることから、畜産物の暴露評価対象は、トルフェンピラド、代謝物PT-CA（抱合体を含む。）及び代謝物OH-PT-CA（アルカリ加水分解により代謝物OH-PT-CAに変換される代謝物を含む。）とする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をトルフェンピラド（親化合物のみ）としている。

（２）暴露評価結果

①　長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙4参照。

	EDI／ADI(%)注)
国民全体（1歳以上）	28.8
幼小児（1～6歳）	58.6
妊婦	22.8
高齢者（65歳以上）	36.9

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。
EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

②　短期（1日経口）暴露評価

各食品の短期推定摂取量(ESTI)を算出したところ、国民全体（1歳以上）及び幼小児（1～6歳）のそれぞれにおける摂取量はARfDを超えていない注)。詳細な暴露評価は別紙5-1及び5-2参照。

注）基準値案、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

（別紙1）

トルフェンピラドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年3月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	トルフェンピラドを含む農薬の総使用回数
実えんどう	15.0% SC	散布	1000～2000倍 1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ばれいしょ	15.0% EC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
やまのいも	15.0% EC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
だいこん	15.0% EC	散布	2000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
かぶ	15.0% EC	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
はくさい	15.0% EC	散布	1000～2000倍 1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	15.0% SC	散布	1000～2000倍 1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	12.0% SC 配合剤1	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
キャベツ	15.0% EC	散布	1000～2000倍 1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	15.0% SC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	12.0% SC 配合剤1	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
カリフラワー	15.0% SC	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ブロッコリー	15.0% EC	散布	1000～2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
レタス	15.0% EC	散布	1000～2000倍 1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	15.0% SC	散布	1000～2000倍 1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
	12.0% SC 配合剤1	散布	1500倍 1000～1500倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
非結球レタス	15.0% SC	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
食用ぎく	15.0% EC	散布	1000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
たまねぎ	15.0% EC	散布	1000～2000倍 1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ねぎ	15.0% EC	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	12.0% SC 配合剤1	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
にんにく	15.0% EC	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
にら	15.0% EC	散布	1000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	1回	1回

（別紙1）

トルフェンピラドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年3月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	トルフェンピラドを含む農薬の総使用回数
アスパラガス	15.0% SC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～800 L/10 a	2回以内	2回以内
らっきょう	15.0% EC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
セルリー	15.0% SC	散布	2000倍	収穫30日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
ピーマン	15.0% EC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	1回	1回
			1000倍				
しょくよう ほおずき	15.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
きゅうり	15.0% EC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
			1000倍				
すいか	15.0% EC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
			1000倍				
	15.0% SC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
			1000倍				
にがうり	15.0% EC	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
さやえんどう	15.0% SC	散布	1000～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
			1000倍				
かんきつ	15.0% SC	散布	2000～3000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
			2000倍				
			1000～2000倍				
			1000倍				
	12.0% SC 配合剤1	散布	2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	
なし	15.0% SC	散布	2000倍	収穫30日前まで	200～700 L/10 a	1回	1回
もも	15.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
			1000～2000倍				
				成虫発生期 ただし、収穫前日まで			
			1000倍	収穫前日まで			

（別紙1）

トルフェンピラドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年3月18日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	トルフェンピラドを含む農薬の総使用回数
ネクタリン	15.0% SC	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
			1000～2000倍				
				成虫発生期 ただし、収穫前日まで			
			1000倍	収穫前日まで			
すもも	15.0% SC	散布	2000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
いちご	15.0% SC	散布	1000倍	1番花の開花まで	100～300 L/10 a	1回	1回
茶	15.0% EC	散布	1000～1500倍	摘採14日前まで	200～400 L/10 a	1回	1回
			1000倍				
	15.0% SC	散布	1000～1500倍	摘採14日前まで	200～400 L/10 a	1回	
			1000倍				
	8.0% SC 配合剤2	散布	1000倍	摘採14日前まで	200～400 L/10 a	1回	

SC：フロアブル
EC：乳剤
配合剤1：19.0% メタフルミゾン
配合剤2：15.0% シフルメトフェン
今回、基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。

（別紙2）

トルフェンピラドの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1) 【トルフェンピラド/代謝物PT-CA/代謝物OH-PT/代謝物T-CA/代謝物OH-PAM/代謝物PAM/代謝物OH-T-CA/代謝物CA-T-CA】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ばれいしょ（塊茎）	2	15.0% EC	*1000*倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (#)	◎
						圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (#)	
やまのいも（塊茎）	3	15.0% EC	1000倍散布 179～200 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A：<0.0075/-/-/-/-/-/-/- ($)	◎
						圃場B：<0.0075/-/-/-/-/-/-/- ($)	
				2	1	圃場C：<0.01/-/-/-/-/-/-/-	
だいこん（根部）	2	15.0% EC	*1000*倍散布 200 L/10 a	*2*	*7, 14, 21*	圃場A：0.0145/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日) (#)	
						圃場B：0.007/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日) (#)	
	2	*12.0% SC*	1500倍散布 250～260 L/10 a	2	*7, 14, 21*	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日) (#)	
						圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日) (#)	
	2	15.0% EC	*1000*倍散布 188～200 L/10 a	*2*	*14, 21, 28*	圃場A：<0.01/<0.01/-/-/<0.02/<0.02/-/- (2回, 28日) (#)	
						圃場B：<0.01/<0.01/-/-/<0.02/<0.02/-/- (2回, 28日) (#)	
	6	15.0% EC	*1000*倍散布 162, 200, 222 L/10 a	1	*14, 21, 28*, 35	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) (#)	◎
						圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) (#)	
						圃場C：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) (#)	
						圃場D：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) (#)	
			*1000*倍散布 238, 286 L/10 a	1	*14, 21, 28*	圃場E：0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) (#)	
						圃場F：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) (#)	
	4		2000倍散布 238, 267, 286, 300 L/10 a	1	*14, 21, 28*	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)	
						圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)	
						圃場C：0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)	
						圃場D：0.02/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)	
だいこん（葉部）	2	15.0% EC	*1000*倍散布 200 L/10 a	*2*	*7, 14, 21*	圃場A：2.04/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日) (#)	
						圃場B：0.905/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日) (#)	
	1	15.0% EC	*1000*倍散布 80～200 L/10 a	*2, 4*	*7, 14, 21*	圃場A：1.22/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日) (#)	
	2	*12.0% SC*	1500倍散布 250～260 L/10 a	2	*7, 14, 21*	圃場A：0.735/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日) (#)	
						圃場B：0.06/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日) (#)	
	2	15.0% EC	*1000*倍散布 188～200 L/10 a	*2*	*14, 21, 28*	圃場A：0.25/0.01/-/-/<0.02/<0.02/-/- (2回, 28日) (#)	
						圃場B：0.52/0.015/-/-/0.02/<0.02/-/- (2回, 28日) (#)	
	6	15.0% EC	*1000*倍散布 162, 200, 222 L/10 a	1	*14, 21, 28*, 35	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) (#)	◎
						圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) (#)	
						圃場C：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) (#)	
						圃場D：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) (#)	
			*1000*倍散布 238, 286 L/10 a	1	*14, 21, 28*	圃場E：1.88/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) (#)	
						圃場F：1.00/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) (#)	
	4		2000倍散布 238, 267, 286, 300 L/10 a	1	*14, 21, 28*	圃場A：0.75/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)	
						圃場B：0.58/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)	
						圃場C：0.50/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)	
						圃場D：0.83/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)	
かぶ（根部）	4	15.0% EC	*1000*倍散布 200, 250 L/10 a	*2*	7, 14, 21, 28	圃場A：0.205/-/-/-/-/-/-/- (#)	
						圃場B：0.15/-/-/-/-/-/-/- (#)	
			*1000*倍散布 159～178, 200 L/10 a	*2*	7, 14, 21	圃場C：0.09/<0.01/-/-/<0.02/<0.02/-/- (#)	
						圃場D：0.17/0.01/-/-/<0.02/<0.02/-/- (#)	
	4	15.0% EC	2000倍散布 239, 250, 286, 292 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A：0.03/-/-/-/-/-/-/-	◎
						圃場B：0.04/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場C：0.06/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場D：0.04/-/-/-/-/-/-/-	
かぶ（葉部）	4	15.0% EC	*1000*倍散布 200, 250 L/10 a	*2*	7, 14, 21, 28	圃場A：10.545/-/-/-/-/-/-/- (#)	
						圃場B：15.55/-/-/-/-/-/-/- (#)	
		15.0% EC	*1000*倍散布 159～178, 200 L/10 a	*2*	7, 14, 21	圃場C：*9.155/*0.085/-/-/**0.10/*0.09/-/- (*2回, 14日) (**2回, 21日) (#)	
						圃場D：8.04/*0.025/-/-/<0.02/0.03/-/- (*2回, 14日) (#)	
	4	15.0% EC	2000倍散布 239, 250, 286, 292 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A：2.82/-/-/-/-/-/-/-	◎
						圃場B：2.20/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場C：2.26/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場D：0.90/-/-/-/-/-/-/-	
はくさい（茎葉）	2	15.0% EC	1000倍散布 200, 250 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：0.10/<0.02/<0.02/<0.02/-/-/-/-	◎
						圃場B：0.11/<0.02/<0.02/<0.02/-/-/-/-	
	2	15.0% SC	1000倍散布 200, 200～300 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：0.191/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：0.4395/-/-/-/-/-/-/-	
キャベツ（葉球）	4	15.0% EC	1000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：0.025/<0.02/<0.02/<0.02/-/-/-/-	◎
						圃場B：0.055/<0.02/<0.02/<0.02/-/-/-/-	
			1000倍散布 285, 297 L/10 a	2	14	圃場C：0.12/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場D：0.01/-/-/-/-/-/-/-	
	2	15.0% SC	1000倍散布 200, 250～300 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：0.02/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：0.032/-/-/-/-/-/-/-	
カリフラワー（花蕾）	2	15.0% SC	1000倍散布 269, 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A：0.145/-/-/-/-/-/-/-	◎
						圃場B：0.015/-/-/-/-/-/-/-	
ブロッコリー（花蕾）	2	15.0% EC	1000倍散布 200 L/10 a	2	*3*, 7, 14, 21	圃場A：0.15/-/-/-/-/-/-/-	◎
						圃場B：0.27/-/-/-/-/-/-/-	

（別紙2）

トルフェンピラドの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1) 【トルフェンピラド/代謝物PT-CA/代謝物OH-PT/代謝物T-CA/代謝物OH-PAM/代謝物PAM/代謝物OH-T-CA/代謝物CA-T-CA】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
レタス（茎葉）	2	15.0% EC	1000倍散布 200,150～200 L/10 a	2	*3*, *7*, 14, 21	圃場A：0.655/-/-/-/-/-/-/- (2回,21日)	◎
					3, *7*, 14, 21, 28	圃場B：0.785/-/-/-/-/-/-/-	
	2	15.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	2	*3*, *7*, 14, 21	圃場C：0.713/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場D：0.0225/-/-/-/-/-/-/-	
リーフレタス（茎葉）	3	*15.0% EC*	1000倍散布 80～150 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A：5.14/-/-/-/-/-/-/- (2回,14日)(#)	
		15.0% EC	1000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 28	圃場A：0.62/-/-/-/-/-/-/- (2回,14日)(#)	
						圃場B：1.06/-/-/-/-/-/-/- (2回,14日)(#)	
	2	15.0% SC	*1000倍*散布 200 L/10 a	*2*	*3*, *7*, 14, 21	圃場A：0.40/-/-/-/-/-/-/-(2回,14日)(#)	
						圃場B：0.06/-/-/-/-/-/-/-(2回,14日)(#)	
	2	15.0% SC	2000倍散布 164,172 L/10 a	1	14, 21, 28	圃場A：0.32/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：0.28/-/-/-/-/-/-/-	
サラダ菜（茎葉）	2	*15.0% EC*	1000倍散布 150～200,195 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A：2.295/-/-/-/-/-/-/- (2回,14日)(#)	
						圃場B：1.45/-/-/-/-/-/-/- (2回,14日)(#)	
	2	15.0% SC	*1000倍*散布 150,200 L/10 a	*2*	*3*, *7*, 14, 21	圃場A：5.09/-/-/-/-/-/-/-(2回,14日)(#)	
						圃場B：2.34/-/-/-/-/-/-/-(2回,14日)(#)	
	2	15.0% SC	2000倍散布 173,175 L/10 a	1	14, 21, 28	圃場A：0.40/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：0.18/-/-/-/-/-/-/-	
食用ぎく（花器全体）	2	15.0% SC	1000倍散布 178.5～360.8 L/10 a	1	3, 7, 14	圃場A：5.87/-/-/-/-/-/-/-	◎
						圃場B：16.0/-/-/-/-/-/-/-	
根深ねぎ（茎葉）	2	15.0% EC	1000倍散布 200 L/10 a	2	*3*, 7, 14, 21	圃場A：0.75/-/-/-/-/-/-/-	◎
				2	7, 14, 21	圃場B：0.94/-/-/-/-/-/-/-	
	1	12.0% SC 配合剤1	1000倍散布 200 L/10 a	2	*1*, *3*, 7	圃場A：0.94/-/-/-/-/-/-/-	
葉ねぎ（茎葉）	2	15.0% EC	1000倍散布 150,167,200 L/10 a	2	*3*, 7, 14, 21	圃場A：0.36/-/-/-/-/-/-/-	
				2	7, 14, 21	圃場B：0.20/-/-/-/-/-/-/-	
	1	12.0% SC 配合剤1	1000倍散布 200 L/10 a	2	*1*, *3*, 7	圃場A：0.165/-/-/-/-/-/-/-	
たまねぎ（鱗茎）	6	15.0% EC	1000倍散布 178,195 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/-	
		15.0% EC	1000倍散布 156,167,178,200 L/10 a	2	1	圃場C：0.01/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場D：<0.01/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場E：<0.01/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場F：<0.01/-/-/-/-/-/-/-	
らっきょう（鱗茎）	2	15.0% EC	1000倍散布 300 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A：0.01/-/-/-/-/-/-/-	◎
						圃場B：0.02/-/-/-/-/-/-/-	
にんにく（鱗茎）	2	15.0% EC	1000倍散布 150 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/-	
にら（茎葉）	4	15.0% EC	1000倍散布 200 L/10 a	1	*7*, 14, 21	圃場A：3.22/-/-/-/-/-/-/-	◎
						圃場B：1.04/-/-/-/-/-/-/-	
		15.0% EC	1000倍散布 214,284 L/10 a	1	14, 21, 28	圃場C：1.64/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場D：0.80/-/-/-/-/-/-/-	
アスパラガス（若茎）	2	15.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.29/-/-/-/-/-/-/-	◎
						圃場B：0.10/-/-/-/-/-/-/-	
セルリー（茎葉）	4	15.0% SC	2000倍散布 300 L/10 a	2	*3*, *7*, *14*, *28*	圃場A：0.243/-/-/-/-/-/-/- (2回,28日)	◎
						圃場B：1.1455/-/-/-/-/-/-/- (2回,28日)	
		15.0% SC	2000倍散布 216,249 L/10 a	2	*14*, *21*, *28*	圃場C：1.50/-/-/-/-/-/-/- (2回,28日)	
						圃場D：1.45/-/-/-/-/-/-/- (2回,28日)	
トマト（果実）	4	*15.0% EC*	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：*0.43/**<0.02/**<0.02/**<0.03/-/-/-/- (*2回,7日、**2回,1日)(#)	
						圃場B：*0.31/**<0.02/**<0.02/**<0.025($)/-/-/-/- (*2回,3日、**2回,1日)(#)	
			1000倍散布 200,319.2～320.5 L/10 a		1, 7, 14, 21, 28	圃場C：0.39/-/-/-/-/-/-/- (2回,7日)(#)	
						圃場D：0.685/-/-/-/-/-/-/- (2回,7日)(#)	
ミニトマト（果実）	4	*15.0% EC*	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 8, 15	圃場A：0.43/-/-/-/-/-/-/-(2回,1日)(#)	
					1, 7, 14	圃場B：1.033/-/-/-/-/-/-/-(2回,1日)(#)	
		15.0% EC	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場C：0.418/-/-/-/-/-/-/-(2回,1日)(#)	
						圃場D：0.514/-/-/-/-/-/-/- (2回,7日)(#)	
	2	*15.0% SC*	1000倍散布 180～250 L/10 a	2	1, 3, 7, 21	圃場A：0.945/-/-/-/-/-/-/- (2回,7日)(#)	
						圃場B：0.565/-/-/-/-/-/-/- (2回,7日)(#)	
ピーマン（果実）	2	15.0% EC	1000倍散布 200,250 L/10 a	*2*	1, 3, 7	圃場A：1.305/-/-/-/-/-/-/- (#)	
						圃場B：0.49/-/-/-/-/-/-/- (#)	
	4	15.0% EC	1000倍散布 208,210,244,280 L/10 a	1	1	圃場A：0.76/-/-/-/-/-/-/-	◎
						圃場B：0.72/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場C：0.48/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場D：0.36/-/-/-/-/-/-/-	
なす（果実）	2	*15.0% EC*	1000倍散布 200,300 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.51/<0.02/<0.02/<0.02/<0.02/-/<0.02/<0.02(2回,1日)(#)	
						圃場B：0.665/<0.02/<0.02/<0.02/<0.02/-/<0.02/<0.02(2回,1日)(#)	
	1	*15.0% EC*	1000倍株元散布 100 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A：<0.05/-/-/-/-/-/-/-(2回,1日)(#)	
	1		1000倍株元散布 100 L/10 a	*4*		圃場B：<0.05/-/-/-/-/-/-/-(4回,1日)(#)	
	2	*15.0% SC*	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 21	圃場A：0.125/-/-/-/-/-/-/-(2回,1日)(#)	
						圃場B：0.385/-/-/-/-/-/-/-(2回,1日)(#)	

（別紙2）

トルフェンピラドの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【トルフェンピラド/代謝物PT-CA/代謝物OH-PT/代謝物T-CA/代謝物OH-PAM/代謝物PAM/代謝物OH-T-CA/代謝物CA-T-CA】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
しょくようほおずき（果実）	2	15.0% SC	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.05/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：<0.05/-/-/-/-/-/-/-	
きゅうり（果実）	3	15.0% EC	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.26/0.02/<0.02/<0.02/-/-/-/-	◎
						圃場B：0.235/0.02/<0.02/<0.02/-/-/-/-	
		15.0% EC	1000倍散布 200 L/10 a	2, *4*	1, 3, 7	圃場C：0.12/-/-/-/-/-/-/-	
	2	*15.0% SC*	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 21	圃場A：0.115/-/-/-/-/-/-/-（2回, 1日）(#)	
						圃場B：0.27/-/-/-/-/-/-/-（2回, 1日）(#)	
すいか（果肉）	2	15.0% EC	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/-	
	2	15.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/-	
すいか小玉（果肉）	3	15.0% EC	1000倍 262, 279 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.001/-/-/-/-/-/-/-	△
						圃場B：0.011/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：0.001/-/-/-/-/-/-/-	
すいか小玉（果皮）	3	15.0% EC	1000倍 262, 279 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.729/-/-/-/-/-/-/-(2回, 3日)	
						圃場B：0.660/-/-/-/-/-/-/-(2回, 7日)	
						圃場B：0.783/-/-/-/-/-/-/-	
すいか小玉（果実）	3	15.0% EC	1000倍 262, 279 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.101/-/-/-/-/-/-/-(2回, 7日)	◎
						圃場B：0.147/-/-/-/-/-/-/-(2回, 3日)	
						圃場B：0.268/-/-/-/-/-/-/-	◎
にがうり（果実）	2	15.0% EC	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.03/-/-/-/-/-/-/-	◎
						圃場B：0.04/-/-/-/-/-/-/-	
さやえんどう（さや）	2	15.0% SC	1000倍散布 300 L/10 a	2	1, 3, 14	圃場A：0.76/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日）	◎
						圃場B：0.13/-/-/-/-/-/-/-	
みかん（果肉）	4	15.0% SC	1000倍散布 400, 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/-	△
						圃場B：0.02/-/-/-/-/-/-/-（2回, 7日）	
			1000倍散布 300, 450 L/10 a			圃場C：<0.01/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場D：<0.01/-/-/-/-/-/-/-	
みかん（果皮）	4	15.0% SC	1000倍散布 400, 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：3.32/-/-/-/-/-/-/-	◎
						圃場B：5.545/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日）	
			1000倍散布 300, 450 L/10 a			圃場C：4.07/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日）	
						圃場D：2.90/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日）	
みかん（果実）	4	15.0% SC	1000倍散布 400, 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.615/-/-/-/-/-/-/-[注2)]	◎
						圃場B：1.275/-/-/-/-/-/-/-[注2)]（2回, 3日）	
			1000倍散布 300, 450 L/10 a			圃場C：0.99/-/-/-/-/-/-/-[注2)]（2回, 3日）	
						圃場D：0.62/-/-/-/-/-/-/-[注2)]（2回, 3日）	
夏みかん（果肉）	2	15.0% SC	1000倍散布 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.07/-/-/-/-/-/-/-（2回, 7日）	△
						圃場B：0.01/-/-/-/-/-/-/-	
夏みかん（果皮）	2	15.0% SC	1000倍散布 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：3.20/-/-/-/-/-/-/-（2回, 7日）	
						圃場B：1.62/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日）	
夏みかん（果実）	2	15.0% SC	1000倍散布 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.93/-/-/-/-/-/-/-[注2)]（2回, 7日）	◎
						圃場B：0.495/-/-/-/-/-/-/-[注2)]（2回, 3日）	
ゆず（果実）	1	15.0% SC	1000倍散布 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.51/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日）	◎
かぼす（果実）	1	15.0% SC	1000倍散布 640 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.55/-/-/-/-/-/-/-	
日本なし（果実）	2	15.0% SC	*1000*倍散布 350, 400 L/10 a	*2*	*7, 14, 21*	圃場A：0.605/-/-/-/-/-/-/-（2回, 21日）(#)	
						圃場B：0.64/-/-/-/-/-/-/-（2回, 21日）(#)	
	4	15.0% SC	2000倍散布 431, 450, 476, 480 L/10 a	1	30, 45	圃場A：0.10/-/-/-/-/-/-/-	◎
						圃場B：0.04/-/-/-/-/-/-/-（1回, 45日）	
						圃場C：0.08/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場D：0.12/-/-/-/-/-/-/-	
もも（果肉）	2	15.0% SC	1000倍散布 350, 400 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.025/-/-/-/-/-/-/-	△
						圃場B：0.02/-/-/-/-/-/-/-	
もも（果皮）	2	15.0% SC	1000倍散布 350, 400 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：15.73/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：3.525/-/-/-/-/-/-/-（2回, 7日）	
もも（果実）	2	15.0% SC	1000倍散布 350, 400 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：2.38/-/-/-/-/-/-/-[注3)]	◎
						圃場B：0.54/-/-/-/-/-/-/-[注3)]（2回, 7日）	
ネクタリン（果実）	2	15.0% SC	1000倍散布 300, 400 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A：0.745/-/-/-/-/-/-/-（2回, 7日）	◎
						圃場B：1.33/-/-/-/-/-/-/-	

（別紙2）

トルフェンピラドの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1) 【トルフェンピラド/代謝物PT-CA/代謝物OH-PT/代謝物T-CA/代謝物OH-PAM/代謝物PAM/代謝物OH-T-CA/代謝物CA-T-CA】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
すもも（果実）	2	15.0% SC	2000倍散布 400 L/10 a	2	*7*,14,29	圃場A：0.38/-/-/-/-/-/-/- （2回,29日）	◎
						圃場B：0.06/-/-/-/-/-/-/-	
いちご（果実）	2	15.0% SC	1000倍散布 200 L/10 a	*2*	*1,7,14*	圃場A：1.02/-/-/-/-/-/-/- （2回,1日）(#)	
						圃場B：0.72/-/-/-/-/-/-/- （2回,1日）(#)	
	2	15.0% SC	1000倍散布 182 L/10 a	1	41,61	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/- （1回,61日）	◎
						圃場B：0.02/-/-/-/-/-/-/- （1回,41日）	
茶（荒茶）	2	15.0% EC	1000倍散布 200,300 L/10 a	1	*7*,14,21,30	圃場A：7.05/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：4.29/-/-/-/-/-/-/-	
	2	15.0% SC	1000倍散布 400 L/10 a	1	*7*,14,28	圃場A：12.1/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：3.77/-/-/-/-/-/-/-	
	4	15.0% SC	1000倍 302,310,333,378 L/10 a	1	14,21,28	圃場A：4.04/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：8.19/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場C：8.88/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場D：1.69/-/-/-/-/-/-/-	
	4	15.0% SC	1000倍 302,325,333,383 L/10 a	1	14,21,28	圃場E：2.36/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場F：6.24/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場G：1.14/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場H：10.0/-/-/-/-/-/-/-	
茶（浸出液）	2	15.0% EC	1000倍散布 200,300 L/10 a	1	*7*,14,21,30	圃場A：0.08/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：0.06/-/-/-/-/-/-/-	
	2	15.0% SC	1000倍散布 400 L/10 a	1	*7*,14,28	圃場A：0.49/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：0.14/-/-/-/-/-/-/-	
	4	15.0% SC	1000倍 302,310,333,378 L/10 a	1	14,21,28	圃場A：0.05/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場B：0.11/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場C：0.10/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場D：0.02/-/-/-/-/-/-/-	
	4	15.0% SC	1000倍 302,325,333,383 L/10 a	1	14,21,28	圃場E：0.03/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場F：0.05/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場G：0.01/-/-/-/-/-/-/-	
						圃場H：0.12/-/-/-/-/-/-/-	

SC：フロアブル
EC：乳剤
配合剤1：19.0% メタフルミゾン
-：分析せず
(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
($)：同一圃場から採取された１つのサンプルを2つの分析機関に分けて測定されており、結果を平均値として示したため、実際の定量限界とは異なる。
今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

暴露評価に使用されているものに△、基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1)当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物PT-CA、代謝物OH-PT、代謝物T-CA、代謝物OH-PAM、代謝物PAM、代謝物OH-T-CA及び代謝物CA-T-CAの残留濃度は、トルフェンピラド濃度に換算した値で示した。なすの代謝物OH-T-CA以外は、抱合体を含む残留濃度を示す。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

注2)果肉及び果皮の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。

注3)果肉、果皮及び種子の重量割合が不明のため、過去の作物残留試験等のデータから、それぞれの割合を果肉77%、果皮15%及び種子8%として果実全体の残留濃度を算出した。

農薬名　トルフェンピラド

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
ばれいしょ	0.05	0.05	○	0.01		<0.01,<0.01(#)(¥)
やまいも（長いもをいう。）	0.01	0.01	○			<0.0075,<0.0075,<0.01
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.03	0.03	○			0.005～0.02(#)(n=10)※1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	2	2	○			<0.01～0.94(#)(n=10)※1
かぶ類の根	0.1	0.2	○			0.03～0.06(n=4)
かぶ類の葉	7	7	○			0.90～2.82(n=4)
はくさい	0.9	1	○			0.10～0.44(n=4)
キャベツ	0.2	0.3	○			0.01～0.12(n=6)
カリフラワー	0.5	0.5	○			0.015,0.145(¥)
ブロッコリー	0.7	0.7	○			0.15,0.27(¥)
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	2	2	○			0.0225～0.785(n=4)
その他のきく科野菜	25		申			5.87,16.0(¥)(食用ぎく)
たまねぎ	0.09	0.02	○	0.09		
ねぎ（リーキを含む。）	2	2	○			0.165～0.940(n=6)
にんにく	0.09	0.05	○	0.09		
にら	6	9	○			0.80～3.22(n=4)
アスパラガス	0.7	0.7	○			0.10,0.29(¥)
その他のゆり科野菜	0.1	0.1	○	0.09		0.01,0.02(¥)(らっきょう)
セロリ	4	4	○			0.243～1.50(n=4)
ピーマン	2	2	○	0.5		0.36～0.76(n=4)
その他のなす科野菜	0.5	0.2	○	0.5		
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.6	0.7	○			0.115～0.270(#)(n=5)
すいか（果皮を含む。）	0.7	0.6	○			0.101,0.268(¥)
その他のうり科野菜	0.2	0.2	○			0.03,0.04(¥)(にがうり)
オクラ	0.5			0.5		
未成熟えんどう	2	2	○			0.13,0.76(¥)
みかん（外果皮を含む。）	3	3	○	0.9		0.615～1.275(n=4)(みかん)
なつみかんの果実全体	2	3	○	0.6		0.495,0.930(¥)
レモン	2	3	○	0.9		0.51(ゆず)、0.55(¥)(かぼす)
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	3	3	○	0.6		（みかん（外果皮を含む。）参照）
グレープフルーツ	2	3	○	0.6		（なつみかんの果実全体参照）
ライム	2	3	○	0.9		（レモン参照）
その他のかんきつ類果実	3	3	○	0.9		（みかん（外果皮を含む。）参照）
日本なし	0.3	0.3	○			0.04～0.12(n=4)
西洋なし	0.3	0.3	○			（日本なし参照）
もも（果皮及び種子を含む。）	5	10	○			0.54,2.38(¥)
ネクタリン	3	5	○			0.745,1.33(¥)
すもも（プルーンを含む。）	1	1	○			0.06,0.38(¥)
いちご	0.1	0.1	○			<0.01,0.02(¥)
ペカン	0.01	0.01		0.01		
茶	30	30	○	30		
その他のスパイス	15	15	○			2.90～5.545(n=4)(みかんの果皮)
牛の筋肉	0.01			0.01		
豚の筋肉	0.01			0.01		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.01			0.01		

農薬名　トルフェンピラド

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
牛の脂肪	0.01			0.01		
豚の脂肪	0.01			0.01		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.01			0.01		
牛の肝臓	0.4			0.4		
豚の肝臓	0.4			0.4		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.4			0.4		
牛の腎臓	0.4			0.4		
豚の腎臓	0.4			0.4		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.4			0.4		
牛の食用部分	0.4			0.4		
豚の食用部分	0.4			0.4		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.4			0.4		
乳	0.01			0.01		
鶏の筋肉	0.01			0.01		
その他の家きんの筋肉	0.01			0.01		
鶏の脂肪	0.01			0.01		
その他の家きんの脂肪	0.01			0.01		
鶏の肝臓	0.01			0.01		
その他の家きんの肝臓	0.01			0.01		
鶏の腎臓	0.01			0.01		
その他の家きんの腎臓	0.01			0.01		
鶏の食用部分	0.01			0.01		
その他の家きんの食用部分	0.01			0.01		
鶏の卵	0.01			0.01		
その他の家きんの卵	0.01			0.01		
はちみつ	0.05					※2
とうがらし（乾燥させたもの）				5		※3
食用かんきつ油				80		※3

太枠：本基準（暫定基準以外の基準）を見直した基準値

斜線：食品区分を別途新設すること等に伴い、削除した食品区分、もしくは加工食品につき基準値を設定しないもの

○：既に、国内において登録等がされているもの

申：農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

(#)：適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥)：基準値設定の根拠とした作物残留試験成績（最大値）

※1）だいこん類（ラディッシュを含む。）の根及びだいこん類（ラディッシュを含む。）の葉については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根及びだいこん類（ラディッシュを含む。）の葉は15.0% EC 2000倍散布を基に換算した。

※2）「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」（令和6年6月25日食品衛生審議会農薬・動物用医薬品部会）の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

※3）加工食品である「とうがらし（乾燥させたもの）」及び「食用かんきつ油」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。
なお、本物質について、JMPRはとうがらし（乾燥させたもの）及び食用かんきつ油の加工係数を、それぞれ10及び83と算出している。

（別紙4）

トルフェンピラドの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）EDI
ばれいしょ	0.05	0.01	0.4	0.3	0.4	0.4
やまいも（長いもをいう。）	0.01	0.008	0.0	0.0	0.0	0.0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.03	0.01	0.3	0.1	0.2	0.5
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	2	0.5	0.9	0.3	1.6	1.4
かぶ類の根	0.1	0.04	0.1	0.0	0.0	0.2
かぶ類の葉	7	2.23	0.7	0.2	0.2	1.3
はくさい	0.9	0.151	2.7	0.8	2.5	3.3
キャベツ	0.2	0.029	0.7	0.3	0.6	0.7
カリフラワー	0.5	0.08	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	0.7	0.21	1.1	0.7	1.2	1.2
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	2	0.684	6.6	3.0	7.8	6.3
その他のきく科野菜	25	10.935	16.4	1.1	6.6	28.4
たまねぎ	0.09	0.013	0.4	0.3	0.4	0.3
ねぎ（リーキを含む。）	2	0.555	5.2	2.1	3.8	5.9
にんにく	0.09	0.013	0.0	0.0	0.0	0.0
にら	6	1.34	2.7	1.2	2.4	2.8
アスパラガス	0.7	0.195	0.3	0.1	0.2	0.5
その他のゆり科野菜	0.1	0.015	0.0	0.0	0.0	0.0
セロリ	4	1.298	1.6	0.8	0.4	1.6
ピーマン	2	0.6	2.9	1.3	4.6	2.9
その他のなす科野菜	0.5	0.11	0.1	0.0	0.1	0.1
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.6	0.235	4.9	2.3	3.3	6.0
すいか（果皮を含む。）	0.7	0.185	1.4	1.0	2.7	2.1
その他のうり科野菜	0.2	0.035	0.1	0.0	0.0	0.1
オクラ	0.5	0.11	0.2	0.1	0.2	0.2
未成熟えんどう	2	0.445	0.7	0.2	0.1	1.1
みかん（外果皮を含む。）	3	0.805	14.3	13.2	0.5	21.1
なつみかんの果実全体	2	0.712	0.9	0.5	3.4	1.5
レモン	2	0.53	0.3	0.1	0.1	0.3
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	3	0.805	5.6	11.8	10.1	3.4
グレープフルーツ	2	0.712	3.0	1.6	6.3	2.5
ライム	2	0.53	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のかんきつ類果実	3	0.805	4.7	2.2	2.0	7.6
日本なし	0.3	0.09	0.6	0.3	0.8	0.7
西洋なし	0.3	0.09	0.1	0.0	0.0	0.0
もも（果皮及び種子を含む。）	5	1.46	5.0	5.4	7.7	6.4
ネクタリン	3	1.038	0.1	0.1	0.1	0.1
すもも（プルーンを含む。）	1	0.22	0.2	0.2	0.1	0.2
いちご	0.1	0.015	0.1	0.1	0.1	0.1
ペカン	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	30	0.24	1.6	0.2	0.9	2.3
その他のスパイス	15	3.695	0.4	0.4	0.4	0.7
陸棲哺乳類の肉類	0.01	筋肉0.0043 脂肪0.0022	0.2	0.2	0.2	0.2
陸棲哺乳類の食用部分（肉類除く）	0.4	0.29	0.4	0.2	1.4	0.3
陸棲哺乳類の乳類	0.01	0.00375	1.0	1.2	1.4	0.8
家きんの肉類	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家きんの卵類	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（別紙4）

トルフェンピラドの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）EDI
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			88.8	54.1	74.8	115.8
ADI比（%）			28.8	58.6	22.8	36.9

EDI：推定一日摂取量（Estimated Daily Intake）
EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根及びだいこん類（ラディッシュを含む。）の葉については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）におけるJMPR（2013年）の作物残留試験結果を用いてEDI試算をした。
「陸棲哺乳類の肉類」については、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。
●：個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値（案）の数値を用いた。

トルフェンピラドの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI (μg/kg体重)	ESTI/ARfD (%)
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	0.05	0.5	5
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.01	0.01	0.1	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.03	○ 0.02	0.2	2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	2	○ 0.94	7.8	80
かぶ類の根	かぶの根	0.1	○ 0.06	0.4	4
かぶ類の葉	かぶの葉	7	○ 2.82	7.5	80
はくさい	はくさい	0.9	○ 0.44	5.7	60
キャベツ	キャベツ	0.2	○ 0.12	1.1	10
カリフラワー	カリフラワー	0.5	0.5	3.7	40
ブロッコリー	ブロッコリー	0.7	0.7	4.2	40
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	2	○ 0.785	4.4	40
たまねぎ	たまねぎ	0.09	○ 0.057	0.5	5
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	2	○ 0.94	3.6	40
にんにく	にんにく	0.09	○ 0.057	0.0	0
にら	にら	6	○ 3.22	4.3	40
アスパラガス	アスパラガス	0.7	0.7	1.5	20
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	0.1	0.1	0.2	2
	らっきょう	0.1	0.1	0.1	1
セロリ	セロリ	4	○ 1.5	8.3	80
ピーマン	ピーマン	2	○ 0.76	1.9	20
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	0.5	○ 0.32	0.5	5
	ししとう	0.5	○ 0.32	0.3	3
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.6	○ 0.27	1.7	20
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.7	0.05	1.6	20
その他のうり科野菜	とうがん	0.2	0.2	3.4	30
	にがうり	0.2	0.2	1.6	20
オクラ	オクラ	0.5	○ 0.32	0.5	5
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	2	2	3.3	30
	未成熟えんどう（豆）	2	2	3.4	30
みかん（外果皮を含む。）	みかん	3	○ 0.02	0.2	2
なつみかんの果実全体	なつみかん	2	0.3	3.7	40
レモン	レモン	2	2	4.2	40
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	3	○ 0.02	0.2	2
	オレンジ果汁	3	○ 0.01	0.1	1
グレープフルーツ	グレープフルーツ	2	0.3	5.2	50
その他のかんきつ類果実	きんかん	3	○ 0.02	0.0	0
	ぽんかん	3	○ 0.02	0.2	2
	ゆず	3	○ 0.02	0.0	0
	すだち	3	○ 0.02	0.0	0
日本なし	日本なし	0.3	○ 0.12	1.8	20
西洋なし	西洋なし	0.3	○ 0.12	1.7	20
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	5	0.1	1.4	10
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	1	1	5.9	60
いちご	いちご	0.1	0.1	0.4	4
茶	緑茶類	30	○ 0.24	0.1	1

トルフェンピラドの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 （ppm）	評価に用いた数値 （ppm）	ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD （%）
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

だいこん類（ラディッシュを含む。）の根及びだいこん類（ラディッシュを含む。）の葉については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）におけるJMPR（2013年）の作物残留試験結果を用いて試算をした。

すいか（果皮を含む。）、みかん（外果皮を含む。）、なつみかんの果実全体、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、その他のかんきつ類果実及びもも（果皮及び種子を含む。）については、作物残留試験結果における果肉の残留濃度を用いて短期摂取量を推計した。

トルフェンピラドの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	0.05	1.1	10
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.01	0.01	0.1	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.03	○ 0.02	0.4	4
はくさい	はくさい	0.9	○ 0.44	6.9	70
キャベツ	キャベツ	0.2	○ 0.12	1.9	20
ブロッコリー	ブロッコリー	0.7	0.7	10.1	100
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	2	○ 0.785	7.7	80
たまねぎ	たまねぎ	0.09	○ 0.057	1.0	10
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	2	○ 0.94	6.1	60
にんにく	にんにく	0.09	○ 0.057	0.0	0
にら	にら	6	○ 3.22	6.8	70
ピーマン	ピーマン	2	○ 0.76	5.0	50
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.6	○ 0.27	3.9	40
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.7	0.05	4.3	40
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	2	2	2.5	30
	未成熟えんどう（豆）	2	2	3.6	40
みかん（外果皮を含む。）	みかん	3	○ 0.02	0.5	5
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	3	○ 0.02	0.5	5
	オレンジ果汁	3	○ 0.01	0.2	2
日本なし	日本なし	0.3	○ 0.12	3.5	40
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	5	0.1	4.2	40
いちご	いちご	0.1	0.1	1.1	10
茶	緑茶類	30	○ 0.24	0.2	2

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

だいこん類（ラディッシュを含む。）の根については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）におけるJMPR（2013年）の作物残留試験結果を用いて試算をした。

すいか（果皮を含む。）、みかん（外果皮を含む。）、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）及びもも（果皮及び種子を含む。）については、作物残留試験結果における果肉の残留濃度を用いて短期摂取量を推計した。

（参考）

これまでの経緯

平成１４年　４月２４日	初回農薬登録
平成１６年　６月２５日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼　（適用拡大：レタス、もも、ねぎ、かぶ及びブロッコリー）
平成１６年　７月１２日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成１６年１０月　７日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成１６年　９月２８日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成１７年　４月２７日	残留基準告示
平成１７年１１月２９日	残留基準告示
平成１８年１０月１２日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼　（適用拡大：非結球レタス、ネクタリン、さやえんどう等）
平成１８年１０月２３日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成１９年　５月３１日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成１９年　５月２５日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成１９年１２月１２日	残留基準告示
平成２２年　２月１２日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：はくさい、いちご等）
平成２２年　２月２２日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２３年　２月１０日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２３年　６月２９日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２４年　４月２６日	残留基準告示
令和　元年　９月　３日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：やまのいも、たまねぎ等）
令和　２年　７月２８日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定

に係る食品健康影響評価について要請

令和　２年１１月２４日　食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知

令和　３年　３月１１日　薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

令和　３年１０月１９日　残留基準告示

令和　７年　６月２５日　農林水産省から消費者庁へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：食用ぎく）

令和　８年　５月１３日　食品衛生基準審議会へ諮問

令和　８年　５月１９日　食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

［委員］

大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	国立医薬品食品衛生研究所薬品部長
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部本部長
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
◎堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所（薬学系兼任）教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

（◎：部会長、○：部会長代理）

答申（案）

トルフェンピラドについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

トルフェンピラド

今回残留基準を設定する「トルフェンピラド」の規制対象は、農産物及びはちみつにあっては、トルフェンピラドとし、畜産物にあっては、トルフェンピラド、代謝物PT-CA【4-[4-[(4-クロロ-3-エチル-1-メチルピラゾール-5-イル)カルボニルアミノメチル]フェノキシ]安息香酸】（抱合体を含む。）及び代謝物OH-PT-CA【4-[4-[[4-クロロ-3-(1-ヒドロキシエチル)-1-メチルピラゾール-5-イル]カルボニルアミノメチル]フェノキシ]安息香酸】（アルカリ加水分解により代謝物OH-PT-CAに変換される代謝物を含む。）とする。ただし、代謝物PT-CA（抱合体を含む。）及び代謝物OH-PT-CA（アルカリ加水分解により代謝物OH-PT-CAに変換される代謝物を含む。）は、トルフェンピラドの濃度に換算するものとする。

食品名	残留基準値 ppm
ばれいしょ	0.05
やまいも（長いもをいう。）	0.01
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.03
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	2
かぶ類の根	0.1
かぶ類の葉	7
はくさい	0.9
キャベツ	0.2
カリフラワー	0.5
ブロッコリー	0.7
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	2
その他のきく科野菜注1)	25
たまねぎ	0.09
ねぎ（リーキを含む。）	2
にんにく	0.09
にら	6
アスパラガス	0.7
その他のゆり科野菜注2)	0.1
セロリ	4
ピーマン	2
その他のなす科野菜注3)	0.5

食品名	残留基準値 ppm
きゅうり（ガーキンを含む。） すいか（果皮を含む。） その他のうり科野菜[注4)]	0.6 0.7 0.2
オクラ 未成熟えんどう	0.5 2
みかん（外果皮を含む。） なつみかんの果実全体 レモン オレンジ（ネーブルオレンジを含む。） グレープフルーツ ライム その他のかんきつ類果実[注5)]	3 2 2 3 2 2 3
日本なし 西洋なし	0.3 0.3
もも（果皮及び種子を含む。） ネクタリン すもも（プルーンを含む。）	5 3 1
いちご	0.1
ペカン	0.01
茶	30
その他のスパイス[注6)]	15
牛の筋肉 豚の筋肉 その他の陸棲哺乳類に属する動物[注7)]の筋肉	0.01 0.01 0.01
牛の脂肪 豚の脂肪 その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.01 0.01 0.01
牛の肝臓 豚の肝臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.4 0.4 0.4
牛の腎臓 豚の腎臓 その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.4 0.4 0.4

食品名	残留基準値 ppm
牛の食用部分[注8)] 豚の食用部分 その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.4 0.4 0.4
乳	0.01
鶏の筋肉 その他の家きん[注9)] の筋肉	0.01 0.01
鶏の脂肪 その他の家きんの脂肪	0.01 0.01
鶏の肝臓 その他の家きんの肝臓	0.01 0.01
鶏の腎臓 その他の家きんの腎臓	0.01 0.01
鶏の食用部分 その他の家きんの食用部分	0.01 0.01
鶏の卵 その他の家きんの卵	0.01 0.01
はちみつ	0.05

注1）「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注2）「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注3）「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注4）「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注5）「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注6）「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注7）「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注8）「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注9）「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。

令和３年３月 11 日開催部会

添付資料１

トルフェンピラド

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

１．概要

（１）品目名：トルフェンピラド[Tolfenpyrad (ISO)]

（２）用　途：殺虫・殺ダニ剤

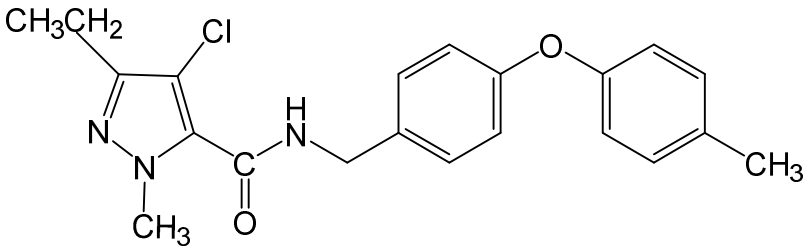
ピラゾール環を有する殺虫・殺ダニ剤である。ミトコンドリアにおける電子伝達系複合体Ｉの阻害により、殺虫・殺ダニ作用を示すと考えられている。その他に、うどんこ病、さび病などの病害に対しても効果を示すと考えられている。

（３）化学名及びCAS番号

4-Chloro-3-ethyl-1-methyl-*N*-(4-(*p*-tolyloxy)benzyl)-1*H*-pyrazole-5-carboxamide (IUPAC)

1*H*-Pyrazole-5-carboxamide,4-chloro-3-ethyl-1-methly-*N*-[[4-(4-methylphenoxy)phenyl]methyl]- (CAS：No. 129558-76-5)

（４）構造式及び物性



分 子 式　$C_{21}H_{22}ClN_3O_2$
分 子 量　383.87
水溶解度　8.7×10^{-5} g/L (25℃)
分配係数　$\log_{10}Pow = 5.61$ (25℃)

２．適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

（１）国内での使用方法

①　15.0%トルフェンピラド乳剤

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用</th><th>希釈
倍数</th><th>使用
液量</th><th>使用
時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用
方法</th><th>ﾄﾙﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ
を含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">キャベツ</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>1000倍</td><td rowspan="15">100～
300 L/10 a</td><td rowspan="4">収穫14日
前まで</td><td rowspan="4">2回
以内</td><td rowspan="15">散布</td><td rowspan="4">2回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ
ｺﾅｶﾞ
ｱｵﾑｼ
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="2">1000～
2000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">はくさい</td></tr>
<tr><td>ﾅﾒｸｼﾞ類</td><td>1000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">レタス</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ</td><td>1000～
2000倍</td><td rowspan="7">収穫30日
前まで</td><td rowspan="7">1回</td><td rowspan="7">1回</td></tr>
<tr><td>ﾅﾒｸｼﾞ類
べと病</td><td>1000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">だいこん</td><td rowspan="2">ｱｵﾑｼ
ｺﾅｶﾞ
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ
ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ
ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ
ｶﾌﾞﾗﾊﾊﾞﾁ
ﾀﾞｲｺﾝｻﾙﾊﾑｼ
白さび病</td><td rowspan="4">2000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">かぶ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ
ｺﾅｶﾞ
ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ
ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="2">収穫7日
前まで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">きゅうり</td><td>ｳﾘﾉﾒｲｶﾞ
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ｺﾅｼﾞﾗﾐ類</td><td>1000～
2000倍</td><td rowspan="8">収穫前日
まで</td><td rowspan="8">2回
以内</td><td rowspan="8">2回以内</td></tr>
<tr><td>うどんこ病
べと病
褐斑病</td><td rowspan="2">1000倍</td></tr>
<tr><td>にがうり</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td></tr>
<tr><td rowspan="2">すいか</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>1000～
2000倍</td></tr>
<tr><td>ｺﾅｼﾞﾗﾐ類
うどんこ病</td><td>1000倍</td></tr>
<tr><td>ばれいしょ</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾅｽﾄﾋﾞﾊﾑｼ</td><td>2000倍</td></tr>
</table>

①　15.0%トルフェンピラド乳剤（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用</th><th>希釈
倍数</th><th>使用
液量</th><th>使用
時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用
方法</th><th>ﾄﾙﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ
を含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>ねぎ</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾈｷﾞｺｶﾞ
ﾈｷﾞﾊﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ
ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ
さび病
べと病</td><td>1000倍</td><td rowspan="8">100～
300 L/10 a</td><td rowspan="2">収穫7日
前まで</td><td rowspan="2">2回
以内</td><td rowspan="8">散布</td><td rowspan="2">2回以内</td></tr>
<tr><td>ブロッコリー</td><td>ｱｵﾑｼ
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｺﾅｶﾞ</td><td rowspan="2">1000～
2000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ピーマン</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td rowspan="5">1000倍</td><td rowspan="2">収穫前日
まで</td><td rowspan="2">1回</td><td rowspan="2">1回</td></tr>
<tr><td>ﾁｬﾉﾎｺﾘﾀﾞﾆ
ｺﾅｼﾞﾗﾐ類
うどんこ病</td></tr>
<tr><td>にんにく</td><td>ﾈｷﾞｺｶﾞ
ﾁｭｰﾘｯﾌﾟｻﾋﾞﾀﾞﾆ
ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
さび病</td><td>収穫7日
前まで</td><td>2回
以内</td><td>2回以内</td></tr>
<tr><td>にら</td><td>ﾈｷﾞｱｻﾞﾐｳﾏ</td><td>収穫14日
前まで</td><td>1回</td><td>1回</td></tr>
<tr><td>やまのいも</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾅｶﾞｲﾓｺｶﾞ
葉渋病</td><td rowspan="2">収穫前日
まで</td><td rowspan="2">2回
以内</td><td rowspan="2">2回以内</td></tr>
<tr><td>たまねぎ
らっきょう</td><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td></tr>
<tr><td rowspan="2">茶</td><td>ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ
ﾁｬﾉﾐﾄﾞﾘﾋﾒﾖｺﾊﾞｲ
ﾁｬﾉﾎｿｶﾞ
ﾁｬﾉﾎｺﾘﾀﾞﾆ
ﾁｬﾉﾅｶﾞｻﾋﾞﾀﾞﾆ</td><td>1000～
1500倍</td><td rowspan="2">200～
400 L/10 a</td><td rowspan="2">摘採14日
前まで</td><td rowspan="2">1回</td><td rowspan="2">1回</td></tr>
<tr><td>ﾁｬﾄｹﾞｺﾅｼﾞﾗﾐ
ﾏﾀﾞﾗｶｻﾊﾗﾊﾑｼ
ﾂﾏｸﾞﾛｱｵｶｽﾐｶﾒ</td><td>1000倍</td></tr>
</table>

② 15.0%トルフェンピラドフロアブル

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用</th><th>希釈
倍数</th><th>使用
液量</th><th>使用
時期</th><th>本剤の
使用
回数</th><th>使用
方法</th><th>ﾄﾙﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ
を含む農薬の
総使用回数</th></tr>
<tr><td>なし</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾆｾﾅｼｻﾋﾞﾀﾞﾆ
ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ｸﾜｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ</td><td>2000倍</td><td rowspan="9">200～
700 L/10 a</td><td>収穫30日
前まで</td><td>1回</td><td rowspan="10">散布</td><td>1回</td></tr>
<tr><td rowspan="4">かんきつ</td><td>ﾐｶﾝｻﾋﾞﾀﾞﾆ</td><td>2000～
3000倍</td><td rowspan="4">収穫前日
まで</td><td rowspan="9">2回
以内</td><td rowspan="9">2回以内</td></tr>
<tr><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾁｬﾉﾎｺﾘﾀﾞﾆ
ｶﾈﾀﾀｷ</td><td>2000倍</td></tr>
<tr><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>1000～
2000倍</td></tr>
<tr><td>ｺﾞﾏﾀﾞﾗｶﾐｷﾘ
ｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼ類
ｺﾅｼﾞﾗﾐ類
ﾐｶﾝｷｼﾞﾗﾐ
ﾖﾓｷﾞｴﾀﾞｼｬｸ
ﾖｺﾊﾞｲ類
ﾐｶﾝﾊﾞｴ成虫</td><td>1000倍</td></tr>
<tr><td>すもも</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>2000倍</td><td>収穫14日
前まで</td></tr>
<tr><td rowspan="4">もも
ネクタリン</td><td>ｼﾝｸｲﾑｼ類</td><td>1000～
2000倍</td><td rowspan="3">収穫前日
まで</td></tr>
<tr><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾓﾓﾊﾓｸﾞﾘｶﾞ
ﾓﾓｻﾋﾞﾀﾞﾆ</td><td>2000倍</td></tr>
<tr><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td rowspan="2">1000倍</td></tr>
<tr><td>ｸﾋﾞｱｶﾂﾔｶﾐｷﾘ</td><td>成虫発生期
ただし、
収穫前日
まで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">さやえんどう
実えんどう</td><td>ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ</td><td>1000～
2000倍</td><td rowspan="3">100～
300 L/10 a</td><td rowspan="2">収穫前日
まで</td></tr>
<tr><td>うどんこ病</td><td rowspan="2">1000倍</td></tr>
<tr><td>キャベツ</td><td>ｺﾅｶﾞ
ｱｵﾑｼ
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ
ｱｻﾞﾐｳﾏ類</td><td>収穫14日
前まで</td></tr>
</table>

② 15.0%トルフェンピラドフロアブル（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用</th><th>希釈
倍数</th><th>使用
液量</th><th>使用
時期</th><th>本剤の
使用
回数</th><th>使用
方法</th><th>ﾄﾙﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞ
を含む農の
総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">はくさい</td><td>ｺﾅｶﾞ
ｱｵﾑｼ
ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ
ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ
ﾀﾞｲｺﾝｻﾙﾊﾑｼ
ﾅﾒｸｼﾞ類</td><td>1000倍</td><td rowspan="8">100～
300 L/10 a</td><td rowspan="5">収穫14日
前まで</td><td rowspan="5">2回
以内</td><td rowspan="12">散布</td><td rowspan="5">2回以内</td></tr>
<tr><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td rowspan="2">1000～
2000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">レタス</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ</td></tr>
<tr><td>ﾋﾒﾌﾀﾃﾝﾖｺﾊﾞｲ
ﾅﾒｸｼﾞ類</td><td>1000倍</td></tr>
<tr><td>非結球レタス</td><td rowspan="2">ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ</td><td rowspan="2">2000倍</td><td></td><td>1回</td><td>1回</td></tr>
<tr><td>セルリー</td><td>収穫30日
前まで</td><td>2回
以内</td><td>2回以内</td></tr>
<tr><td>いちご</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｱｻﾞﾐｳﾏ類
ｶｷﾉﾋﾒﾖｺﾊﾞｲ
ﾁｬﾉﾎｺﾘﾀﾞﾆ
ｸﾛﾊﾞﾈｷﾉｺﾊﾞｴ類
うどんこ病</td><td>1000倍</td><td>1番花の
開花まで</td><td>1回</td><td>1回</td></tr>
<tr><td rowspan="2">すいか</td><td>ｱﾌﾞﾗﾑｼ類</td><td>1000～
2000倍</td><td rowspan="4">収穫前日
まで</td><td rowspan="6">2回
以内</td><td rowspan="6">2回以内</td></tr>
<tr><td>ｱｻﾞﾐｳﾏ類
うどんこ病</td><td rowspan="4">1000倍</td></tr>
<tr><td>アスパラガス</td><td>ﾈｷﾞｱｻﾞﾐｳﾏ
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ｺﾅｼﾞﾗﾐ類
ｼﾞｭｳｼﾎｼｸﾋﾞﾅｶﾞ
ﾊﾑｼ
ﾂﾏｸﾞﾛｱｵｶｽﾐｶﾒ</td><td>100～
800 L/10 a</td></tr>
<tr><td>カリフラワー</td><td>ｺﾅｶﾞ</td><td rowspan="2">100～
300 L/10 a</td><td>収穫3日
前まで</td></tr>
<tr><td>しょくよう
ほおずき</td><td>ｺﾅｼﾞﾗﾐ類</td><td>2000倍</td><td>収穫前日
まで</td></tr>
<tr><td rowspan="2">茶</td><td>ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ
ﾁｬﾉﾐﾄﾞﾘﾋﾒﾖｺﾊﾞｲ
ﾁｬﾉﾎｺﾘﾀﾞﾆ
ﾁｬﾉﾅｶﾞｻﾋﾞﾀﾞﾆ</td><td>1000～
1500倍</td><td rowspan="2">200～
400 L/10 a</td><td rowspan="2">摘採14日
前まで</td><td rowspan="2">1回</td><td rowspan="2">1回</td></tr>
<tr><td>ﾏﾀﾞﾗｶｻﾊﾗﾊﾑｼ
ﾁｬﾄｹﾞｺﾅｼﾞﾗﾐ</td><td>1000倍</td></tr>
</table>

③　12.0%トルフェンピラド・19.0%メタフルミゾンフロアブル

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>ﾄﾙﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞを含む農の総使用回数</th></tr>
<tr><td>かんきつ</td><td>ｺﾞﾏﾀﾞﾗｶﾐｷﾘ
ﾁｬﾉｷｲﾛｱｻﾞﾐｳﾏ</td><td>2000倍</td><td>200～
700 L/10 a</td><td>収穫7日
前まで</td><td rowspan="7">2回
以内</td><td rowspan="7">散布</td><td rowspan="7">2回以内</td></tr>
<tr><td>キャベツ</td><td>ｺﾅｶﾞ
ｱｵﾑｼ
ﾖﾄｳﾑｼ
ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ
ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ
ｳﾜﾊﾞ類
ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾈｷﾞｱｻﾞﾐｳﾏ</td><td rowspan="2">1000倍</td><td rowspan="6">100～
300 L/10 a</td><td rowspan="5">収穫14日
前まで</td></tr>
<tr><td>はくさい</td><td>ｺﾅｶﾞ
ｱｵﾑｼ
ﾖﾄｳﾑｼ
ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ
ﾈｷﾞｱｻﾞﾐｳﾏ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">レタス</td><td>ｵｵﾀﾊﾞｺｶﾞ
ｱﾌﾞﾗﾑｼ類
ﾅﾓｸﾞﾘﾊﾞｴ
ﾊｽﾓﾝﾖﾄｳ</td><td>1000～
1500倍</td></tr>
<tr><td>ﾖﾄｳﾑｼ
ｳﾜﾊﾞ類</td><td>1500倍</td></tr>
<tr><td>ねぎ</td><td>ｼﾛｲﾁﾓｼﾞﾖﾄｳ
ﾈｷﾞｺｶﾞ
ﾈｷﾞｱｻﾞﾐｳﾏ</td><td>1000倍</td><td>収穫7日
前まで</td></tr>
</table>

④　8.0%トルフェンピラド・15.0%シフルメトフェンフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ﾄﾙﾌｪﾝﾋﾟﾗﾄﾞを含む農薬の総使用回数
茶	ｶﾝｻﾞﾜﾊﾀﾞﾆ ﾁｬﾉﾎｺﾘﾀﾞﾆ ﾁｬﾉﾅｶﾞｻﾋﾞﾀﾞﾆ	1000倍	200～ 400 L/10 a	摘採14日 前まで	1回	散布	1回

３．代謝試験

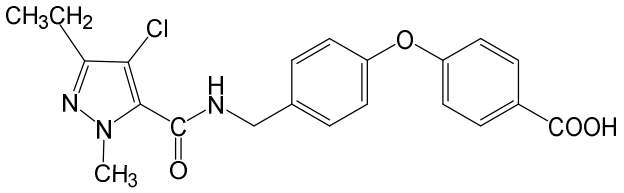
（１）植物代謝試験

植物代謝試験が、なす、キャベツ、もも、ラディッシュ及びリーフレタスで実施されており、可食部で10%TRR[注)] 以上認められた代謝物は、代謝物PT-CA（ラディッシュの根部）であった。

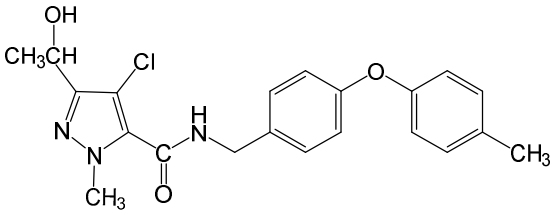
注）%TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

【代謝物略称一覧】

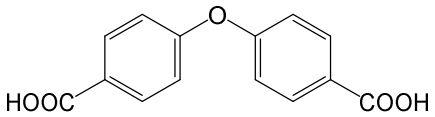
略称	化学名
PT-CA	4-[4-[(4-クロロ-3-エチル-1-メチルピラゾール-5-イル)カルボニルアミノメチル]フェノキシ]安息香酸
OH-PT	4-クロロ-3-(1-ヒドロキシエチル)-1-メチル-*N*-[4-(*p*-トリルオキシ)ベンジル]ピラゾール-5-カルボキサミド
CA-T-CA	4,4’-オキシジ安息香酸
OH-PAM	4-クロロ-3-(1-ヒドロキシエチル)-1-メチルピラゾール-5-カルボキサミド
OH-T-CA	4-[4-(ヒドロキシメチル)フェノキシ]安息香酸
PAM	4-クロロ-3-エチル-1-メチルピラゾール-5-カルボキサミド
T-CA	4-(*p*-トリルオキシ)安息香酸



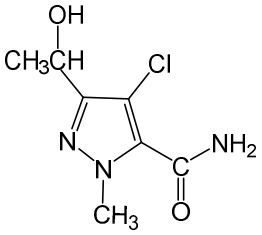
代謝物PT-CA



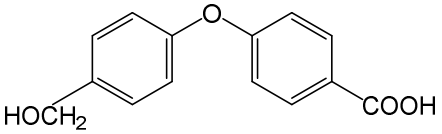
代謝物OH-PT



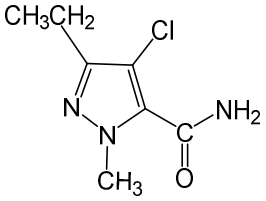
代謝物CA-T-CA



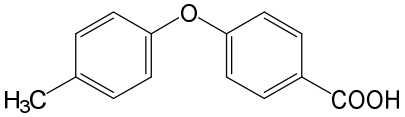
代謝物OH-PAM



代謝物OH-T-CA



代謝物PAM



代謝物T-CA

注）残留試験の分析対象となっている代謝物について構造式を明記した。

４．作物残留試験

（１）分析の概要

①　分析対象物質

・トルフェンピラド
・代謝物PT-CA（抱合体を含む。）
・代謝物OH-PT（抱合体を含む。）
・代謝物T-CA（抱合体を含む。）
・代謝物OH-PAM（抱合体を含む。）
・代謝物PAM（抱合体を含む。）
・代謝物OH-T-CA
・代謝物CA-T-CA（抱合体を含む。）

②　分析法の概要

ｉ）トルフェンピラド

試料からアセトン又はアセトニトリルで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、C_{18}カラム、シリカゲルカラム、グラファイトカーボンカラム、グラファイトカーボン/PSA積層カラム、C_{18}カラム及びフロリジルカラム、多孔性ケイソウ土カラム及びフロリジルカラム、多孔性ケイソウ土カラム及びシリカゲルカラム等を用いて精製した後、高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ（GC-NPD）、アルカリ熱イオン化検出器付きガスクロマトグラフ（GC-FTD）又は液体クロマトグラフ・質量分析計（LC-MS）で定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶する。フロリジルカラム、グラファイトカーボン/PSA積層カラム、シリカゲルカラム等を用いて精製した後、GC-NPD、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）又はガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）で定量する。

定量限界：0.01～0.05 mg/kg

ⅱ）代謝物PT-CA（抱合体を含む。）、代謝物OH-PT（抱合体を含む。）及び代謝物T-CA（抱合体を含む。）

試料からメタノールで抽出し、塩酸で加水分解後、ジエチルエーテルに転溶し、必要に応じてトリメチルシリルジアゾメタンでメチルエステル化する（代謝物OH-PTは、エステル化されない）。シリカゲルカラム又はグラファイトカーボンカラム、PSAカラム及びシリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-MSで定量する。

なお、代謝物PT-CA、代謝物OH-PT及び代謝物T-CAの分析値は、それぞれ換算係数0.93、0.96及び1.67を用いてトルフェンピラド濃度に換算した値として示した。

定量限界：代謝物PT-CA（抱合体を含む。）0.01～0.02 mg/kg（トルフェンピラド換算濃度）
代謝物OH-PT（抱合体を含む。）0.02 mg/kg（トルフェンピラド換算濃度）
代謝物T-CA（抱合体を含む。） 0.02 mg/kg（トルフェンピラド換算濃度）

ⅲ）代謝物PT-CA（抱合体を含む。）

試料からメタノールで抽出し、塩酸で加水分解後、多孔性ケイソウ土カラム及びC_{18}カラムを用いて精製した後、LC-MS又はLC-MS/MSで定量する。

なお、代謝物PT-CAの分析値は、換算係数0.93を用いてトルフェンピラド濃度に換算した値として示した。

定量限界：0.01～0.02 mg/kg（トルフェンピラド換算濃度）

ⅳ）代謝物OH-PAM（抱合体を含む。）及び代謝物PAM（抱合体を含む。）

試料からメタノールで抽出し、塩酸で加水分解後、多孔性ケイソウ土カラム及びC_{18}カラム、又は多孔性ケイソウ土カラム及びグラファイトカーボン/PSA積層カラムを用いて精製した後、LC-MS又はLC-MS/MSで定量する。

なお、代謝物OH-PAM及び代謝物PAMの分析値は、それぞれ換算係数1.89及び2.05を用いてトルフェンピラド濃度に換算した値として示した。

定量限界：代謝物OH-PAM（抱合体を含む。）0.02 mg/kg（トルフェンピラド換算濃度）
代謝物PAM（抱合体を含む。） 0.02 mg/kg（トルフェンピラド換算濃度）

ⅴ）代謝物OH-PAM

試料からメタノールで抽出し、*n*-ヘキサンで洗浄した後、酢酸エチルに転溶し、無水酢酸でアセチル化する。ジエチルエーテルに転溶し、シリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-MSで定量する。

なお、代謝物OH-PAMの分析値は、換算係数1.89を用いてトルフェンピラド濃度に換算した値として示した。

定量限界：0.04 mg/kg（トルフェンピラド換算濃度）

ⅵ）代謝物OH-T-CA

試料からメタノールで抽出し、ジエチルエーテルに転溶する。トリメチルシリル

ジアゾメタンでメチルエステル化し、シリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-MSで定量する。

なお、代謝物OH-T-CAの分析値は、換算係数1.57を用いてトルフェンピラド濃度に換算した値として示した。

定量限界：0.02 mg/kg（トルフェンピラド換算濃度）

vii）代謝物CA-T-CA（抱合体を含む。）

試料からメタノールで抽出し、塩酸で加水分解した後、ジエチルエーテルに転溶する。トリメチルシリルジアゾメタンでメチルエステル化し、シリカゲルカラムを用いて精製した後、GC-MSで定量する。

なお、代謝物CA-T-CAの分析値は、換算係数1.49を用いてトルフェンピラド濃度に換算した値として示した。

定量限界：0.02 mg/kg（トルフェンピラド換算濃度）

（２）作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1を参照。

５．ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたトルフェンピラドに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（１）ADI

無毒性量：0.56 mg/kg 体重/day（発がん性は認められなかった。）

（動物種）　雄ラット

（投与方法）　混餌

（試験の種類）慢性毒性/発がん性併合試験

（期間）　2 年間

安全係数：100

ADI：0.0056 mg/kg 体重/day

（参考）

CHL細胞*を用いた染色体異常試験において、代謝活性化系非存在下で数的異常である倍数体の誘発が認められたが、染色体の構造異常誘発性は認められず、十分高用量まで検討された*in vivo*小核試験で陰性であったことから、トルフェンピラドは生体にとって特段の問題となるような遺伝毒性はないものと考えられた。

*:チャイニーズハムスター肺由来細胞

（２）ARfD

無毒性量：1 mg/kg 体重/day

（動物種）　ラット

（投与方法）　強制経口

（試験の種類）発生毒性試験

（投与期間）　妊娠6～15日

安全係数：100

ARfD ：0.01 mg/kg 体重

６．諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2013年にADI及びARfDが設定されている。国際基準はばれいしょ、茶等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてたまねぎ、茶等に、カナダにおいてセロリ、オレンジ等に基準値が設定されている。

７．基準値案

（１）残留の規制対象

トルフェンピラドとする。

植物代謝試験の結果、一部作物の可食部（ラディッシュの根部）で10%TRRを超える代謝物として代謝物PT-CAが認められたが、作物残留試験において親化合物のトルフェンピラドと比較して十分に低い残留濃度であった。

また、一部の作物残留試験において、代謝物OH-PT、代謝物T-CA、代謝物OH-PAM及び代謝物PAMが測定されているが、概ね定量限界未満であり、親化合物より残留濃度が低いこと、JMPRの評価においても規制対象物質は親化合物のみとしていることから、残留の規制対象は親化合物のみとする。

（２）基準値案

別紙２のとおりである。

（３）暴露評価対象

トルフェンピラドとする。

植物代謝試験の結果、一部作物の可食部（ラディッシュの根部）で10%TRRを超える代謝物として代謝物PT-CAが認められたが、作物残留試験において親化合物のトルフェンピラドと比較して十分に低い残留濃度であった。

また、一部の作物残留試験において、代謝物OH-PT、代謝物T-CA、代謝物OH-PAM及び代謝物PAMが測定されているが、概ね定量限界未満であったこと、植物代謝試験の結果においても、全て10%TRR未満であり、JMPRの評価においても暴露評価対象物質は親化合物のみとしていることから、暴露評価対象物質は親化合物のみとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をトルフェンピラド（親化合物のみ）としている。

（４）暴露評価

①　長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI／ADI(%)注)
国民全体（1歳以上）	25.3
幼小児（1～6歳）	61.7
妊婦	21.4
高齢者（65歳以上）	30.5

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

②　短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を算出したところ、国民全体（1歳以上）及び幼小児（1～6歳）のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量（ARfD）を超えていない注)。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注）基準値案、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

（別紙1）

トルフェンピラドの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1) 【トルフェンピラド/代謝物PT-CA/代謝物OH-PT/代謝物T-CA/代謝物OH-PAM/代謝物PAM/代謝物OH-T-CA/代謝物CA-T-CA】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ばれいしょ（塊茎）	2	15.0%乳剤	*1000*倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (#) 圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (#)
やまのいも（塊茎）	3	15.0%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/-
		15.0%乳剤	1000倍散布 179 L/10 a	2	1	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/-
だいこん（根部）	2	15.0%乳剤	*1000*倍散布 200 L/10 a	*2*	*7, 14, 21*	圃場A：0.02/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日)(#) 圃場B：0.01/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日)(#)
	2	*12.0%フロアブル*	1500倍散布 250～260 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日)(#) 圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日)(#)
	2	15.0%乳剤	*1000*倍散布 188～200 L/10 a	*2*	*14, 21,* 28	圃場A：<0.01/<0.01/-/-/<0.02/<0.02/-/- (2回, 28日)(#) 圃場B：<0.01/<0.01/-/-/<0.02/<0.02/-/- (2回, 28日)(#)
	4	15.0%乳剤	*1000*倍散布 162, 200, 222 L/10 a	1	*14, 21*, 28, 35	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)(#) 圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)(#) 圃場C：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)(#) 圃場D：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)(#)
	2	15.0%乳剤	*1000*倍散布 238, 286 L/10 a	1	*14, 21*, 28	圃場A：0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)(#) 圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)(#)
	4	15.0%乳剤	2000倍散布 238, 267, 286, 300 L/10 a	1	*14, 21*, 28	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) 圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) 圃場C：0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) 圃場D：0.02/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)
だいこん（葉部）	2	15.0%乳剤	*1000*倍散布 200 L/10 a	*2*	*7, 14, 21*	圃場A：2.08/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日)(#) 圃場B：1.03/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日)(#)
	1	15.0%乳剤	*1000*倍散布 80～200 L/10 a	*2, 4*	*7, 14, 21*	圃場A：1.22/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日)(#)
	2	*12.0%フロアブル*	1500倍散布 250～260 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：0.88/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日)(#) 圃場B：0.08/-/-/-/-/-/-/- (2回, 21日)(#)
	2	15.0%乳剤	*1000*倍散布 188～200 L/10 a	*2*	*14, 21,* 28	圃場A：0.31/0.01/-/-/<0.02/<0.02/-/- (2回, 28日)(#) 圃場B：0.62/0.02/-/-/0.02/<0.02/-/- (2回, 28日)(#)
	4	15.0%乳剤	*1000*倍散布 162, 200, 222 L/10 a	1	*14, 21*, 28, 35	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)(#) 圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)(#) 圃場C：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)(#) 圃場D：<0.01/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)(#)
	2	15.0%乳剤	*1000*倍散布 238, 286 L/10 a	1	*14, 21*, 28	圃場A：1.88/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)(#) 圃場B：1.00/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)(#)
	4	15.0%乳剤	2000倍散布 238, 267, 286, 300 L/10 a	1	*14, 21*, 28	圃場A：0.75/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) 圃場B：0.58/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) 圃場C：0.50/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日) 圃場D：0.83/-/-/-/-/-/-/- (1回, 28日)
かぶ（根部）	2	15.0%乳剤	*1000*倍散布 200, 250 L/10 a	*2*	7, 14, 21, 28	圃場A：0.25/-/-/-/-/-/-/- (#) 圃場B：0.22/-/-/-/-/-/-/- (#)
	2	15.0%乳剤	*1000*倍散布 159～178, 200 L/10 a	*2*	7, 14, 21	圃場A：0.12/<0.01/-/-/<0.02/<0.02/-/- (#) 圃場B：0.20/0.01/-/-/<0.02/<0.02/-/- (#)
	4	15.0%乳剤	2000倍散布 239, 250, 286, 292 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A：0.03/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：0.04/-/-/-/-/-/-/- 圃場C：0.06/-/-/-/-/-/-/- 圃場D：0.04/-/-/-/-/-/-/-
かぶ（葉部）	2	15.0%乳剤	*1000*倍散布 200, 250 L/10 a	*2*	7, 14, 21, 28	圃場A：12.5/-/-/-/-/-/-/- (#) 圃場B：19.6/-/-/-/-/-/-/- (#)
	2	15.0%乳剤	*1000*倍散布 159～178, 200 L/10 a	*2*	7, 14, 21	圃場A：*10.6/*0.11/-/-/*0.11/*0.10/-/- (*2回, 14日)(#) 圃場B：9.06/*0.04/-/-/<0.02/0.04/-/- (*2回, 14日)(#)
	4	15.0%乳剤	2000倍散布 239, 250, 286, 292 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A：2.82/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：2.20/-/-/-/-/-/-/- 圃場C：2.26/-/-/-/-/-/-/- 圃場D：0.90/-/-/-/-/-/-/-
はくさい（茎葉）	2	15.0%乳剤	1000倍散布 200, 250 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：0.13/<0.02/<0.02/<0.02/-/-/-/- 圃場B：0.14/<0.02/<0.02/<0.02/-/-/-/-
	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 200, 200～300 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：0.222/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：0.519/-/-/-/-/-/-/-
キャベツ（葉球）	2	15.0%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：0.03/<0.02/<0.02/<0.02/-/-/-/- 圃場B：0.08/<0.02/<0.02/<0.02/-/-/-/-
	2	15.0%乳剤	1000倍散布 285, 297 L/10 a	2	14	圃場A：0.12/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：0.01/-/-/-/-/-/-/-
	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 200, 250～300 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：0.02/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：0.04/-/-/-/-/-/-/-
カリフラワー（花蕾）	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 269, 300 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A：0.16/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：0.020/-/-/-/-/-/-/-
ブロッコリー（花蕾）	2	15.0%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	2	*3*, 7, 14, 21	圃場A：0.16/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：0.28/-/-/-/-/-/-/-

（別紙1）

トルフェンピラドの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1) 【トルフェンピラド/代謝物PT-CA/代謝物OH-PT/代謝物T-CA/代謝物OH-PAM/代謝物PAM/代謝物OH-T-CA/代謝物CA-T-CA】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
レタス（茎葉）	2	15.0%乳剤	1000倍散布 200,150～200 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A：0.70/-/-/-/-/-/-/-（2回,21日）
					3, 7, 14, 21, 28	圃場B：0.79/-/-/-/-/-/-/-
	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A：0.726/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：0.04/-/-/-/-/-/-/-
リーフレタス（茎葉）	1	15.0%乳剤	1000倍散布 80～150 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A：5.38/-/-/-/-/-/-/-（2回,14日）(#)
	2	15.0%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 28	圃場A：0.62/-/-/-/-/-/-/-（2回,14日）(#)
						圃場B：1.06/-/-/-/-/-/-/-（2回,14日）(#)
	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A：0.40/-/-/-/-/-/-/-(2回,14日)(#)
						圃場B：0.06/-/-/-/-/-/-/-(2回,14日)(#)
	2	15.0%フロアブル	2000倍散布 164,172 L/10 a	1	14, 21, 28	圃場A：0.32/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：0.28/-/-/-/-/-/-/-
サラダ菜（茎葉）	2	15.0%乳剤	1000倍散布 150～200,195 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A：2.30/-/-/-/-/-/-/-（2回,14日）(#)
						圃場B：1.52/-/-/-/-/-/-/-（2回,14日）(#)
	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 150,200 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A：5.09/-/-/-/-/-/-/-(2回,14日)(#)
						圃場B：2.34/-/-/-/-/-/-/-(2回,14日)(#)
	2	15.0%フロアブル	2000倍散布 173,175 L/10 a	1	14, 21, 28	圃場A：0.40/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：0.18/-/-/-/-/-/-/-
ねぎ（茎葉）	2	15.0%乳剤	1000倍散布 150,200 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A：0.83/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：0.36/-/-/-/-/-/-/-
	2	15.0%乳剤	1000倍散布 167,200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：0.94/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：0.20/-/-/-/-/-/-/-
	2	12.0%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.99/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：0.18/-/-/-/-/-/-/-
たまねぎ（鱗茎）	6	15.0%乳剤	1000倍散布 178,195 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/-
		15.0%乳剤	1000倍散布 156,167,178,200 L/10 a	2	1	圃場A：0.01/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/-
						圃場C：<0.01/-/-/-/-/-/-/-
						圃場D：<0.01/-/-/-/-/-/-/-
らっきょう（鱗茎）	2	15.0%乳剤	1000倍散布 300 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A：0.01/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：0.02/-/-/-/-/-/-/-
にんにく（鱗茎）	2	15.0%乳剤	1000倍散布 150 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/-
にら（茎葉）	4	15.0%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A：4.24/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：1.13/-/-/-/-/-/-/-
		15.0%乳剤	1000倍散布 214,284 L/10 a	1	14, 21, 28	圃場C：1.64/-/-/-/-/-/-/-
						圃場D：0.80/-/-/-/-/-/-/-
アスパラガス（若茎）	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 300 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.29/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：0.10/-/-/-/-/-/-/-
セルリー（茎葉）	4	15.0%フロアブル	2000倍散布 300 L/10 a	2	3, 7, 14, 28	圃場A：0.34/-/-/-/-/-/-/-（2回,28日）
						圃場B：1.43/-/-/-/-/-/-/-（2回,28日）
		15.0%フロアブル	2000倍散布 216,249 L/10 a	2	14, 21, 28	圃場A：1.50/-/-/-/-/-/-/-（2回,28日）
						圃場B：1.45/-/-/-/-/-/-/-（2回,28日）
トマト（果実）	4	15.0%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：*0.48/**<0.02/**<0.02/**<0.03/-/-/-/-（*2回,3日、**2回,1日）(#)
						圃場B：*0.34/*<0.02/*<0.02/*<0.03/-/-/-/-（*2回,1日）(#)
			1000倍散布 200,319.2～320.5 L/10 a		1, 7, 14, 21, 28	圃場A：0.42/-/-/-/-/-/-/-（2回,7日）(#)
						圃場B：0.73/-/-/-/-/-/-/-（2回,7日）(#)
ミニトマト（果実）	2	15.0%乳剤	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 8, 15	圃場A：0.5/-/-/-/-/-/-/-(2回,1日)(#)
					1, 7, 14	圃場B：1.1/-/-/-/-/-/-/-(2回,1日)(#)
	2	15.0%乳剤	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A：0.418/-/-/-/-/-/-/-(2回,1日)(#)
						圃場B：0.514/-/-/-/-/-/-/-（2回,7日）(#)
	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 180～250 L/10 a	2	1, 3, 7, 21	圃場A：0.97/-/-/-/-/-/-/-（2回,7日）(#)
						圃場B：0.63/-/-/-/-/-/-/-（2回,7日）(#)
ピーマン（果実）	2	15.0%乳剤	1000倍散布 200,250 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：1.38/-/-/-/-/-/-/-（#）
						圃場B：0.52/-/-/-/-/-/-/-（#）
	4	15.0%乳剤	1000倍散布 208,210,244,280 L/10 a	1	1	圃場A：0.76/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：0.72/-/-/-/-/-/-/-
						圃場C：0.48/-/-/-/-/-/-/-
						圃場D：0.36/-/-/-/-/-/-/-
なす（果実）	2	15.0%乳剤	1000倍散布 200,300 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.54/<0.02/<0.02/<0.02/<0.04/-/<0.02/<0.02(2回,1日)(#)
						圃場B：0.67/<0.02/<0.02/<0.02/<0.04/-/<0.02/<0.02(2回,1日)(#)
	2	15.0%乳剤	1000倍株元散布 100 L/10 a	2, 4	1, 7, 14	圃場A：<0.05/-/-/-/-/-/-/-（4回,1日）(#)
						圃場B：<0.05/-/-/-/-/-/-/-(2回,1日)(#)
	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 21	圃場A：0.13/-/-/-/-/-/-/-(2回,1日)(#)
						圃場B：0.52/-/-/-/-/-/-/-（2回,3日）(#)
しょくようほおずき（果実）	2	15.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.05/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：<0.05/-/-/-/-/-/-/-

（別紙1）

トルフェンピラドの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）[注1)] 【トルフェンピラド/代謝物PT-CA/代謝物OH-PT/代謝物T-CA/代謝物OH-PAM/代謝物PAM/代謝物OH-T-CA/代謝物CA-T-CA】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
きゅうり（果実）	3	15.0%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.28/0.02/<0.02/<0.02/-/-/-/- 圃場B：0.24/0.02/<0.02/<0.02/-/-/-/-
		15.0%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	*2, 4*	1, 3, 7	圃場A：0.12/-/-/-/-/-/-/-
	2	*15.0%フロアブル*	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7, 21	圃場A：0.13/-/-/-/-/-/-/-（2回, 1日）(#) 圃場B：0.30/-/-/-/-/-/-/-（2回, 1日）(#)
すいか（果肉）	2	15.0%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/-
	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：<0.01/-/-/-/-/-/-/-
すいか小玉（果肉）	3	15.0%乳剤	1000倍 262, 279 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.001/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：0.011/-/-/-/-/-/-/- 圃場C：0.001/-/-/-/-/-/-/-
すいか小玉（果皮）	3	15.0%乳剤	1000倍 262, 279 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.729/-/-/-/-/-/-/-(2回, 3日) 圃場B：0.660/-/-/-/-/-/-/-(2回, 7日) 圃場C：0.783/-/-/-/-/-/-/-
すいか小玉（果実）	3	15.0%乳剤	1000倍 262, 279 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.101/-/-/-/-/-/-/-(2回, 7日) 圃場B：0.147/-/-/-/-/-/-/-(2回, 3日) 圃場C：0.268/-/-/-/-/-/-/-
にがうり（果実）	2	15.0%乳剤	1000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.03/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：0.04/-/-/-/-/-/-/-
さやえんどう（さや）	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 300 L/10 a	2	1, 3, 14	圃場A：0.76/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日） 圃場B：0.13/-/-/-/-/-/-/-
みかん（果肉）	4	15.0%フロアブル	1000倍散布 400, 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：0.03/-/-/-/-/-/-/-（2回, 7日）
			1000倍散布 300, 450 L/10 a			圃場C：<0.01/-/-/-/-/-/-/- 圃場D：<0.01/-/-/-/-/-/-/-
みかん（果皮）	4	15.0%フロアブル	1000倍散布 400, 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：3.98/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：7.09/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日）
			1000倍散布 300, 450 L/10 a			圃場C：4.07/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日） 圃場D：2.90/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日）
みかん（果実）	4	15.0%フロアブル	1000倍散布 400, 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.74/-/-/-/-/-/-/-[注2)] 圃場B：1.62/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日）[注2)]
			1000倍散布 300, 450 L/10 a			圃場C：0.99/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日）[注2)] 圃場D：0.62/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日）[注2)]
夏みかん（果肉）	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.07/-/-/-/-/-/-/-（2回, 7日） 圃場B：0.01/-/-/-/-/-/-/-
夏みかん（果皮）	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：3.20/-/-/-/-/-/-/-（2回, 7日） 圃場B：1.62/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日）
夏みかん（果実）	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：1.02/-/-/-/-/-/-/-（2回, 7日）[注2)] 圃場B：0.57/-/-/-/-/-/-/-（2回, 7日）[注2)]
ゆず（果実）	1	15.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.51/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日）
かぼす（果実）	1	15.0%フロアブル	1000倍散布 640 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.55/-/-/-/-/-/-/-
日本なし（果実）	2	15.0%フロアブル	*1000*倍散布 350, 400 L/10 a	*2*	*7, 14, 21*	圃場A：0.61/-/-/-/-/-/-/-（2回, 21日）(#) 圃場B：0.67/-/-/-/-/-/-/-（2回, 21日）(#)
	4	15.0%フロアブル	2000倍散布 431, 450, 476, 480 L/10 a	1	30, 45	圃場A：0.10/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：0.04/-/-/-/-/-/-/-（1回, 45日） 圃場C：0.08/-/-/-/-/-/-/- 圃場D：0.12/-/-/-/-/-/-/-
もも（果肉）	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 350, 400 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：0.04/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：0.03/-/-/-/-/-/-/-
もも（果皮）	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 350, 400 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：22.40/-/-/-/-/-/-/- 圃場B：4.06/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日）
もも（果実）	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 350, 400 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A：3.39/-/-/-/-/-/-/-[注3)] 圃場B：0.62/-/-/-/-/-/-/-[注3)]
ネクタリン（果実）	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 300, 400 L/10 a	2	1, 3, 7, 14	圃場A：0.89/-/-/-/-/-/-/-（2回, 3日） 圃場B：1.52/-/-/-/-/-/-/-

（別紙1）

トルフェンピラドの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度（mg/kg）注1) 【トルフェンピラド/代謝物PT-CA/代謝物OH-PT/代謝物T-CA/代謝物OH-PAM/代謝物PAM/代謝物OH-T-CA/代謝物CA-T-CA】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
すもも（果実）	2	15.0%フロアブル	2000倍散布 400 L/10 a	2	7,14,29	圃場A：0.38/-/-/-/-/-/-/-（2回,29日）
						圃場B：0.06/-/-/-/-/-/-/-
いちご（果実）	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	*2*	*1,7,14*	圃場A：1.18/-/-/-/-/-/-/-（2回,1日)(#)
						圃場B：0.86/-/-/-/-/-/-/-（2回,1日)(#)
	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 182 L/10 a	1	41,61	圃場A：<0.01/-/-/-/-/-/-/-（1回,61日）
						圃場B：0.02/-/-/-/-/-/-/-（1回,41日）
茶（荒茶）	2	15.0%乳剤	1000倍散布 200,300 L/10 a	1	7,14,21,30	圃場A：7.06/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：4.34/-/-/-/-/-/-/-
	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 400 L/10 a	1	7,14,28	圃場A：13.8/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：4.44/-/-/-/-/-/-/-
茶（浸出液）	2	15.0%乳剤	1000倍散布 200,300 L/10 a	1	7,14,21,30	圃場A：0.08/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：0.06/-/-/-/-/-/-/-
	2	15.0%フロアブル	1000倍散布 400 L/10 a	1	7,14,28	圃場A：0.49/-/-/-/-/-/-/-
						圃場B：0.14/-/-/-/-/-/-/-

－：分析せず
(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。
注1)当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。
代謝物PT-CA、代謝物OH-PT、代謝物T-CA、代謝物OH-PAM、代謝物PAM、代謝物OH-T-CA及び代謝物CA-T-CAの残留濃度は、トルフェンピラド濃度に換算した値で示した。
表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。
注2)果肉及び果皮の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。
注3)果肉、果皮及び種子の重量割合が不明のため、過去の作物残留試験等のデータから、それぞれの割合を果肉77%、果皮15%及び種子8%として果実全体の残留濃度を算出した。

農薬名　トルフェンピラド

（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 外国基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
ばれいしょ	0.05	0.05	○	0.01		<0.01,<0.01(#)(¥)
やまいも（長いもをいう。）	0.01		申			<0.01,<0.01,<0.01
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.03	0.2	○			<0.01～0.02(#)(n=10)※
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	2	10	○			<0.01～0.94(#)(n=10)※
かぶ類の根	0.2	1	○			0.03～0.06(n=4)
かぶ類の葉	7	25	○			0.90～2.82(n=4)
はくさい	1	2	○			0.13～0.519(n=4)
キャベツ	0.3	0.3	○			0.01～0.12(n=6)
カリフラワー	0.5		申			0.02,0.16(¥)
ブロッコリー	0.7	1	○			0.16,0.28(¥)
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	2	10	○			0.04～0.79(n=4)
たまねぎ	0.02		申			<0.01～0.01(n=6)
ねぎ（リーキを含む。）	2	5	○			0.18～0.99(n=6)
にんにく	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
にら	9	10	○			0.80～4.24(n=4)
アスパラガス	0.7	0.7	○			0.10,0.29(¥)
その他のゆり科野菜	0.1		申			0.01,0.02(¥)(らっきょう)
セロリ	4	3	○			0.34～1.50(n=4)
トマト		2				
ピーマン	2	3	○			0.36～0.76(n=4)
なす		2				
その他のなす科野菜	0.2		申			<0.05,<0.05(¥)(しょくようほおずき)
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.7	1	○			0.12～0.30(#)(n=5)
すいか		0.05	○			
すいか（果皮を含む。）	0.6		○			0.101,0.147,0.268
その他のうり科野菜	0.2	0.2	○			0.03,0.04(¥)(にがうり)
未成熟えんどう	2	2	○			0.13,0.76(¥)
みかん		0.1	○			
みかん（外果皮を含む。）	3		○			0.62～1.62(n=4)
なつみかんの果実全体	3	3	○			0.57,1.02(¥)
レモン	3	3	○			(なつみかんの果実全体参照)
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	3	3	○			(なつみかんの果実全体参照)
グレープフルーツ	3	3	○			(なつみかんの果実全体参照)
ライム	3	3	○			(なつみかんの果実全体参照)
その他のかんきつ類果実	3	3	○			(なつみかんの果実全体参照)
日本なし	0.3	2	○			0.04～0.12(n=4)
西洋なし	0.3	2	○			(日本なし参照)
もも		0.2	○			
もも（果皮及び種子を含む。）	10		○			0.62,3.39(¥)
ネクタリン	5	5	○			0.89,1.52(¥)
すもも（プルーンを含む。）	1	2	○			0.06,0.38(¥)
いちご	0.1	3	○			<0.01,0.02(¥)
ペカン	0.01			0.01		
茶	30	20	○	30		

農薬名　トルフェンピラド

（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際基準 ppm	外国基準値 ppm	
その他のスパイス	15	15	○			2.90～7.09(n=4)(みかんの果皮)

申請（国内における登録、承認等の申請、ｲﾝﾎﾟｰﾄﾄﾚﾗﾝｽ申請）以外の理由により本基準（暫定基準以外の基準）を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。
食品区分を別途新設すること等に伴い、食品区分を削除したものについては、斜線で示した。
「登録有無」の欄に「○」の記載があるものは、国内で農薬等としての使用が認められていることを示している。
「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。
(#)これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。
(¥)作物残留試験結果の最大値を基準値設定の根拠とした。
※だいこん類（ラディッシュを含む。）の根及びだいこん類（ラディッシュを含む。）の葉については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した使用量として、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根及びだいこん類（ラディッシュを含む。）の葉は15.0%乳剤2000倍散布を基に換算した。

（別紙３）

トルフェンピラドの推定摂取量　（単位：μg／人／day）

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
ばれいしょ	0.05	0.01	1.9	0.4	1.7	0.3	2.1	0.4	1.8	0.4
やまいも（長いもをいう。）	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.03	0.011	1.0	0.4	0.3	0.1	0.6	0.2	1.4	0.5
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	2	0.414	3.4	0.7	1.2	0.2	6.2	1.3	5.6	1.2
かぶ類の根	0.2	0.043	0.6	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	1.0	0.2
かぶ類の葉	7	2.045	2.1	0.6	0.7	0.2	0.7	0.2	4.2	1.2
はくさい	1	0.253	17.7	4.5	5.1	1.3	16.6	4.2	21.6	5.5
キャベツ	0.3	0.05	7.2	1.2	3.5	0.6	5.7	1.0	7.1	1.2
カリフラワー	0.5	0.09	0.3	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0
ブロッコリー	0.7	0.22	3.6	1.1	2.3	0.7	3.9	1.2	4.0	1.3
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	2	0.564	19.2	5.4	8.8	2.5	22.8	6.4	18.4	5.2
たまねぎ	0.02	0.01	0.6	0.3	0.5	0.2	0.7	0.4	0.6	0.3
ねぎ（リーキを含む。）	2	0.583	18.8	5.5	7.4	2.2	13.6	4.0	21.4	6.2
にんにく	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
にら	9	1.953	18.0	3.9	8.1	1.8	16.2	3.5	18.9	4.1
アスパラガス	0.7	0.195	1.2	0.3	0.5	0.1	0.7	0.2	1.8	0.5
その他のゆり科野菜	0.1	0.015	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
セロリ	4	1.18	4.8	1.4	2.4	0.7	1.2	0.4	4.8	1.4
ピーマン	2	0.58	9.6	2.8	4.4	1.3	15.2	4.4	9.8	2.8
その他のなす科野菜	0.2	0.05	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	0.2	0.1
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.7	0.214	14.5	4.4	6.7	2.1	9.9	3.0	17.9	5.5
すいか（果皮を含む。）	0.6	0.172	4.6	1.3	3.3	0.9	8.6	2.5	6.8	1.9
その他のうり科野菜	0.2	0.035	0.5	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.7	0.1
未成熟えんどう	2	0.445	3.2	0.7	1.0	0.2	0.4	0.1	4.8	1.1
みかん（外果皮を含む。）	3	0.993	53.4	17.7	49.2	16.3	1.8	0.6	78.6	26.0
なつみかんの果実全体	3	0.795	3.9	1.0	2.1	0.6	14.4	3.8	6.3	1.7
レモン	3	0.795	1.5	0.4	0.3	0.1	0.6	0.2	1.8	0.5
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	3	0.795	21.0	5.6	43.8	11.6	37.5	9.9	12.6	3.3
グレープフルーツ	3	0.795	12.6	3.3	6.9	1.8	26.7	7.1	10.5	2.8
ライム	3	0.795	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
その他のかんきつ類果実	3	0.795	17.7	4.7	8.1	2.1	7.5	2.0	28.5	7.6
日本なし	0.3	0.085	1.9	0.5	1.0	0.3	2.7	0.8	2.3	0.7
西洋なし	0.3	0.085	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
もも（果皮及び種子を含む。）	10	2.005	34.0	6.8	37.0	7.4	53.0	10.6	44.0	8.8
ネクタリン	5	1.205	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1
すもも（プルーンを含む。）	1	0.22	1.1	0.2	0.7	0.2	0.6	0.1	1.1	0.2
いちご	0.1	0.015	0.5	0.1	0.8	0.1	0.5	0.1	0.6	0.1
ペカン	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	30	0.24	198.0	1.6	30.0	0.2	111.0	0.9	282.0	2.3
その他のスパイス	15	4.51	1.5	0.5	1.5	0.5	1.5	0.5	3.0	0.9
計			481.3	78.0	240.7	57.0	384.3	70.2	625.4	95.8
ADI比（%）			156.0	25.3	260.5	61.7	117.3	21.4	199.1	30.5

TMDI：理論最大1日摂取量（Theoretical Maximum Daily Intake）
TMDI試算法：基準値案×各食品の平均摂取量
EDI:推定1日摂取量（Estimated Daily Intake）
EDI試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根及びだいこん類（ラディッシュを含む。）の葉については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を、暴露評価に用いた数値に使用した。
国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。
茶については、浸出液における作物残留試験結果を用いてEDI試算をした。

トルフェンピラドの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI (μg/kg 体重/day)	ESTI/ARfD (%)
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	0.05	0.5	5
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.01	0.01	0.1	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.03	○ 0.02	0.2	2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	2	○ 0.94	7.8	80
かぶ類の根	かぶの根	0.2	○ 0.06	0.4	4
かぶ類の葉	かぶの葉	7	○ 2.82	7.5	80
はくさい	はくさい	1	○ 0.519	6.7	70
キャベツ	キャベツ	0.3	○ 0.12	1.1	10
カリフラワー	カリフラワー	0.5	0.5	3.7	40
ブロッコリー	ブロッコリー	0.7	0.7	4.2	40
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	2	○ 0.79	4.5	50
たまねぎ	たまねぎ	0.02	○ 0.01	0.1	1
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	2	○ 0.99	3.8	40
にんにく	にんにく	0.05	0.05	0.0	0
にら	にら	9	○ 4.24	5.7	60
アスパラガス	アスパラガス	0.7	0.7	1.5	20
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	0.1	0.1	0.2	2
	らっきょう	0.1	0.1	0.1	1
セロリ	セロリ	4	○ 1.5	8.3	80
ピーマン	ピーマン	2	○ 0.76	1.9	20
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	0.2	0.2	0.3	3
	ししとう	0.2	0.2	0.2	2
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.7	○ 0.30	1.9	20
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.6	0.04	1.3	10
その他のうり科野菜	とうがん	0.2	0.2	3.4	30
	にがうり	0.2	0.2	1.6	20
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	2	2	3.3	30
	未成熟えんどう（豆）	2	2	3.4	30
みかん（外果皮を含む。）	みかん	3	○ 0.03	0.3	3
なつみかんの果実全体	なつみかん	3	○ 0.3	3.7	40
レモン	レモン	3	○ 0.3	0.6	6
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	3	○ 0.3	2.8	30
	オレンジ果汁	3	○ 0.04	0.4	4
グレープフルーツ	グレープフルーツ	3	○ 0.3	5.2	50
その他のかんきつ類果実	きんかん	3	○ 0.3	0.7	7
	ぽんかん	3	○ 0.3	3.2	30
	ゆず	3	○ 0.3	0.5	5
	すだち	3	○ 0.3	0.5	5
日本なし	日本なし	0.3	○ 0.12	1.8	20
西洋なし	西洋なし	0.3	○ 0.12	1.7	20
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	10	0.2	2.7	30
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	1	1	5.9	60
いちご	いちご	0.1	0.1	0.4	4
茶	緑茶類	30	○ 0.24	0.1	1

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

だいこん類（ラディッシュを含む。）の根及びだいこん類（ラディッシュを含む。）の葉については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を、暴露評価に用いた数値に使用した。

茶については、浸出液における作物残留試験結果を用いて試算をした。

すいか（果皮を含む。）、みかん（外果皮を含む。）、なつみかんの果実全体及びもも（果皮及び種子を含む。）については、作物残留試験結果における果肉の残留濃度を用いて短期摂取量を推計した。

トルフェンピラドの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 （ppm）	評価に用いた数値 （ppm）		ESTI （μg/kg 体重/day）	ESTI/ARfD （%）
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05		0.05	1.1	10
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.01		0.01	0.1	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	0.03	○	0.02	0.4	4
はくさい	はくさい	1	○	0.519	8.1	80
キャベツ	キャベツ	0.3	○	0.12	1.9	20
ブロッコリー	ブロッコリー	0.7		0.7	10.1	100
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	2	○	0.79	7.8	80
	非結球レタス類	2	○	0.4	5.6	60
	レタス	2	○	0.79	7.0	70
たまねぎ	たまねぎ	0.02	○	0.01	0.2	2
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	2	○	0.99	6.4	60
にんにく	にんにく	0.05		0.05	0.0	0
にら	にら	9	○	4.24	8.9	90
ピーマン	ピーマン	2	○	0.76	5.0	50
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.7	○	0.3	4.4	40
すいか（果皮を含む。）	すいか	0.6		0.04	3.5	40
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	2		2	2.5	30
	未成熟えんどう（豆）	2		2	3.6	40
みかん（外果皮を含む。）	みかん	3	○	0.03	0.8	8
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	3	○	0.3	8.1	80
	オレンジ果汁	3	○	0.04	0.7	7
日本なし	日本なし	0.3	○	0.12	3.5	40
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	10		0.2	8.5	90
いちご	いちご	0.1		0.1	1.1	10
茶	緑茶類	30	○	0.24	0.2	2

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

だいこん類（ラディッシュを含む。）の根については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を、暴露評価に用いた数値に使用した。

茶については、浸出液における作物残留試験結果を用いて試算をした。

すいか（果皮を含む。）、みかん（外果皮を含む。）及びもも（果皮及び種子を含む。）については、作物残留試験結果における果肉の残留濃度を用いて短期摂取量を推計した。

（参考）

これまでの経緯

平成１４年　４月２４日	初回農薬登録
平成１６年　６月２５日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼　（適用拡大：レタス、もも、ねぎ、かぶ及びブロッコリー）
平成１６年　７月１２日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成１６年１０月　７日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成１６年　９月２８日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成１７年　４月２７日	残留農薬基準告示
平成１７年１１月２９日	残留農薬基準告示
平成１８年１０月１２日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼　（適用拡大：非結球レタス、ネクタリン、さやえんどう等）
平成１８年１０月２３日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成１９年　５月３１日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成１９年　５月２５日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成１９年１２月１２日	残留農薬基準告示
平成２２年　２月１２日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：はくさい、いちご等）
平成２２年　２月２２日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２３年　２月１０日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２３年　６月２９日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２４年　４月２６日	残留農薬基準告示
令和　元年　９月　３日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：やまのいも、たまねぎ等）
令和　２年　７月２８日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請

令和　２年１１月２４日　食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和　３年　１月２７日　薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和　３年　３月１１日　薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

［委員］

○穐山	浩	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
石井	里枝	埼玉県衛生研究所副所長（兼）食品微生物検査室長
井之上	浩一	学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室教授
大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所化学部長
折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部生理学教授
加藤	くみ子	学校法人北里研究所北里大学薬学部生体分子解析学教室教授
魏	民	公立大学法人大阪大阪市立大学大学院医学研究科 環境リスク評価学准教授
佐藤	洋	国立大学法人岩手大学農学部共同獣医学科比較薬理毒性学研究室教授
佐野	元彦	国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵	雅之	学校法人東京農業大学応用生物科学部農芸化学科 生物有機化学研究室准教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部長
中島	美紀	国立大学法人金沢大学ナノ生命科学研究所 薬物代謝安全性学研究室教授
永山	敏廣	学校法人明治薬科大学薬学部特任教授
根本	了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会信頼性保証室付技術顧問
二村	睦子	日本生活協同組合連合会組織推進本部長

（○：部会長）

答申（案）

トルフェンピラド

食品名	残留基準値 ppm
ばれいしょ	0.05
やまいも（長いもをいう。）	0.01
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.03
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	2
かぶ類の根	0.2
かぶ類の葉	7
はくさい	1
キャベツ	0.3
カリフラワー	0.5
ブロッコリー	0.7
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	2
たまねぎ	0.02
ねぎ（リーキを含む。）	2
にんにく	0.05
にら	9
アスパラガス	0.7
その他のゆり科野菜[注1)]	0.1
セロリ	4
ピーマン	2
その他のなす科野菜[注2)]	0.2
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.7
すいか（果皮を含む。）	0.6
その他のうり科野菜[注3)]	0.2
未成熟えんどう	2
みかん（外果皮を含む。）	3
なつみかんの果実全体	3
レモン	3
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	3
グレープフルーツ	3
ライム	3
その他のかんきつ類果実[注4)]	3
日本なし	0.3
西洋なし	0.3
もも（果皮及び種子を含む。）	10
ネクタリン	5
すもも（プルーンを含む。）	1
いちご	0.1
ペカン	0.01

食品名	残留基準値 ppm
茶	30
その他のスパイス[注5)]	15

注1) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注2) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注3) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注4) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注5) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

令和８年５月 19 日開催部会

ピリフルキナゾン

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことから、農薬・動物用医薬品部会（以下「本部会」という。）において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

なお、本報告では、今般提出された作物残留試験成績に基づき、前回審議からの変更点をとりまとめる。また、今般の基準値設定依頼に当たって、毒性や代謝に関する新たな知見の提出がなく、既存の食品健康影響評価の結果に影響はないと考えられることから、本部会での審議後に内閣総理大臣から食品安全委員会に対して食品健康影響評価の要請を行うこととしている。

１．概要

（１）品目名：ピリフルキナゾン[Pyrifluquinazon（ISO）]

（２）分　類（用途）：農薬（殺虫剤）

（３）化学名、CAS 番号、構造式及び物性：変更なし（添付資料１参照）

２．適用の範囲及び使用方法

本剤の国内における適用の範囲及び使用方法は、別紙１のとおり。なお、今般の基準値設定依頼に係る新たな適用の範囲及び使用方法は網掛けとしている。

３．代謝試験

変更なし（添付資料１参照）

４．作物残留試験

今回追加のあった分析法については以下のとおり。

（１）分析の概要

①　分析対象物質

変更なし（添付資料1参照）

②　分析法の概要

試料からアセトン抽出し、グラファイトカーボン/エチレンジアミン-*N*-プロピルシリル化シリカゲル（PSA）積層カラム又はオクタデシルシリル化シリカゲル（C_{18}）カラム又はジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体カラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）で定量する。なお、代謝物 B の分析値は、換算係数 1.10 を用いてピリフルキナゾン濃度に換算した値として示した。

定量限界：ピリフルキナゾン 0.01 mg/kg
代謝物B 0.02 mg/kg（ピリフルキナゾン換算濃度）

（２）作物残留試験結果

国内作物残留試験については、ごぼう、ズッキーニ、ヤングコーン、食用ペンタス及びブルーベリーの試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙２に示す。

５．許容一日摂取量（ADI）及び急性参照用量（ARfD）の評価

先の審議の際に、食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたピリフルキナゾンに係る食品健康影響評価において、ピリフルキナゾンのADIを0.005 mg/kg体重/日、一般の集団に対するARfDを1 mg/kg体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対する急性参照用量を0.05 mg/kg体重と設定すると評価している。

６．諸外国における状況

変更なし（添付資料1参照）

なお、カナダは、2022年にばれいしょ、りんご等に基準値が設定されている。

７．残留規制

（１）残留の規制対象：変更なし

ピリフルキナゾンとする。

植物代謝試験において、作物の可食部で10%TRR以上認められた代謝物は代謝物Bであったが、ほとんどの作物残留試験において主要な残留物はピリフルキナゾンであったことから、残留の規制対象には代謝物Bを含めず、ピリフルキナゾンのみとする。

（２）基準値案

別紙３のとおりである。

８．暴露評価

（１）暴露評価対象：変更なし

ピリフルキナゾン及び代謝物Bとする。

植物代謝試験において、作物の可食部で10%TRR以上認められた代謝物は代謝物Bであった。作物残留試験で代謝物Bの分析が行われており、一部の作物ではピリフルキナゾンより代謝物Bの残留濃度が高い場合もあることから、暴露評価対象をピリフルキナゾン及び代謝物Bとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をピリフルキナゾン（親化合物のみ）としている。

（２）暴露評価結果

①　長期暴露評価

1 日当たり摂取する農薬の量の ADI に対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙 4 参照。

	EDI／ADI(%)注)
国民全体（1 歳以上）	29.6
幼小児（1～6 歳）	61.9
妊婦	27.2
高齢者（65 歳以上）	34.1

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。
EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

②　短期（1 日経口）暴露評価

各食品の短期推定摂取量(ESTI)を算出したところ、国民全体（1 歳以上)、幼小児（1～6 歳）及び妊婦又は妊娠している可能性のある女性（14～50 歳）のそれぞれにおける摂取量は ARfD を超えていない注)。詳細な暴露評価は別紙 5-1、5-2 及び 5-3 参照。

注）基準値案、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成 17～19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成 22 年度の厚生労働科学研究の結果に基づき ESTI を算出した。

（別紙1）

ピリフルキナゾンの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年3月16日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	ピリフルキナゾンを含む農薬の総使用回数
未成熟とうもろこし	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	64倍		1.6～3.2 L/10 a		
豆類(種実、ただし、らっかせいを除く)	20.0% WG	散布	4000～6000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ばれいしょ	20.0% WG	散布	4000～8000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
			400倍		25 L/10 a		
		無人航空機による散布	50倍		3.2 L/10 a		
かんしょ	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
やまのいも	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
こんにゃく	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
てんさい	20.0% WG	散布	4000～6000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	64倍		3.2 L/10 a		
			40倍		2 L/10 a		
			32倍		1.6 L/10 a		
はくさい	20.0% WG	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	48倍		3.2 L/10 a		
			30倍		2 L/10 a		
			24倍		1.6 L/10 a		
キャベツ	20.0% WG	散布	3000～4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
			3000倍				
		無人航空機による散布	32倍		3.2 L/10 a		
			20倍		2 L/10 a		
			16倍		1.6 L/10 a		
カリフラワー	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ブロッコリー	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	50倍		3.2 L/10 a		
			32倍		2 L/10 a		
			25倍		1.6 L/10 a		
ごぼう	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

（別紙1）

ピリフルキナゾンの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年3月16日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	ピリフルキナゾンを含む農薬の総使用回数
レタス	20.0% WG	散布	3000～4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	48倍		3.2 L/10 a		
			30倍		2 L/10 a		
			24倍		1.6 L/10 a		
非結球レタス	20.0% WG	散布	3000～4000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	48倍		3.2 L/10 a		
			30倍		2 L/10 a		
			24倍		1.6 L/10 a		
たまねぎ	20.0% WG	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ねぎ	20.0% WG	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
		無人航空機による散布	32倍		3.2 L/10 a		
			20倍		2 L/10 a		
			16倍		1.6 L/10 a		
にら	20.0% WG	散布	2000～4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
			2000倍				
アスパラガス	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～700 L/10 a	3回以内	3回以内
トマト	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ミニトマト	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ピーマン	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
なす	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
しょくようほおずき	20.0% WG	散布	4000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
とうがらし類（甘長とうがらしを除く）	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
甘長とうがらし	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
きゅうり	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
かぼちゃ	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ズッキーニ	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
しろうり	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
すいか	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
メロン	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内

（別紙1）

ピリフルキナゾンの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年3月16日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	ピリフルキナゾンを含む農薬の総使用回数
にがうり	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
オクラ	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ヤングコーン	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	1回	1回
食用ペンタス	20.0% WG	散布	4000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
さやいんげん	20.0% WG	散布	4000～6000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
			4000倍				
豆類(未成熟、ただし、さやいんげんを除く)	20.0% WG	散布	4000～6000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
かんきつ	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			3000倍				
			2000～3000倍				
			2000倍				
		無人航空機による散布	40倍		10 L/10 a		
			20倍		5 L/10 a		
			16倍		4 L/10 a		
りんご	20.0% WG	散布	3000～4000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			3000～6000倍				
			3000倍				
なし	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			3000～4000倍				
			3000倍				
もも	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			2000～3000倍				
ネクタリン	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			2000～3000倍				
小粒核果類	20.0% WG	散布	4000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			2000～4000倍				
			2000倍				
おうとう	20.0% WG	散布	10000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
			2000倍				
いちご	20.0% WG	散布	3000～4000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
ブルーベリー	20.0% WG	散布	3000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	1回	1回
ぶどう	20.0% WG	散布	3000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内

（別紙1）

ピリフルキナゾンの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年3月16日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数又は使用量	使用時期	散布液量	使用回数	ピリフルキナゾンを含む農薬の総使用回数
かき	20.0% WG	散布	2000～3000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
キウイフルーツ	20.0% WG	散布	3000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
マンゴー	20.0% WG	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
茶	20.0% WG	散布	2000～3000倍	摘採7日前まで	1000 L/10 a	2回以内	2回以内
					200～400 L/10 a		
			2000倍				

WG：顆粒水和剤
今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。

（別紙2）

ピリフルキナゾンの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計（mg/kg）注1)	各化合物の残留濃度（mg/kg）注2)【ピリフルキナゾン/代謝物B】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
未成熟とうもろこし（種子）	2	20.0% WG	4000倍散布 200,191 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02	◎
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
だいず（乾燥子実）	6	20.0% WG	4000倍散布 155～200 L/10 a	3	7,14,20,28	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02	◎
					7,14,21,28	圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
						圃場C:<0.03	圃場C:<0.01/<0.02	
						圃場D:<0.03	圃場D:<0.01/<0.02	
						圃場E:<0.03	圃場E:<0.01/<0.02	
						圃場F:<0.03	圃場F:<0.01/<0.02	
えんどうまめ（乾燥子実）	2	20.0% WG	4000倍散布 171～183 L/10 a	3	7,14,21,28	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02	◎
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
ばれいしょ（塊茎）	2	20.0% WG	4000倍散布 300,150 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02	◎
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
かんしょ（塊根）	2	20.0% WG	4000倍散布 188,180 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02	◎
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
やまのいも（塊茎）	2	20.0% WG	4000倍散布 198,177 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02	◎
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
こんにゃく（球茎）	2	20.0% WG	4000倍散布 300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02	◎
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
てんさい（根部）	3	20.0% WG	4000倍散布 180～200 L/10 a	3	7,14,21	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02	◎
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
						圃場C:<0.03	圃場C:<0.01/<0.02	
はくさい（茎葉）	2	20.0% WG	4000倍散布 238,292 L/10 a	3	3,7,14	圃場A:0.298	圃場A:0.225/0.074	◎
						圃場B:0.055（3回,7日）	圃場B:*0.025/*0.030（*3回,7日）	
キャベツ（葉球）	2	20.0% WG	3000倍散布 200～300 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.026	圃場A:0.01/0.016	◎
						圃場B:0.124	圃場B:0.085/0.038	
カリフラワー（花蕾）	2	20.0% WG	4000倍散布 220～281 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.16	圃場A:0.02/0.14	◎
						圃場B:0.10	圃場B:0.02/0.08	
ブロッコリー（花蕾）	2	20.0% WG	4000倍散布 300,200 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.530（3回,3日）	圃場A:*0.36/*0.170（*3回,3日）	◎
						圃場B:0.269	圃場B:0.205/0.064	
ごぼう（根）	3	20.0% WG	4000倍散布 278,286,289, L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02	◎
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
						圃場C:<0.03	圃場C:<0.01/<0.02	
レタス（茎葉）	4	20.0% WG	3000倍散布 150～200 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:1.064（3回,3日）	圃場A:*0.970/0.143（*3回,3日）	
						圃場B:0.100（3回,3日）	圃場B:*0.085/0.016（*3回,3日）	
					1,3	圃場C:0.051	圃場C:0.04/*0.011（*3回,3日）	
						圃場D:0.554	圃場D:0.40/0.154	
サラダ菜（茎葉）	2	20.0% WG	3000倍散布 300,50～150 L/10 a	3	*1,3,7*,14	圃場A:4.23	圃場A:2.98/1.25	◎
						圃場B:0.499	圃場B:0.40/0.099	
リーフレタス（茎葉）	2	20.0% WG	3000倍散布 150～200 L/10 a	3	*1,3,7*,14	圃場A:0.439	圃場A:0.34/0.099	◎
						圃場B:0.124	圃場B:0.08/0.044	
たまねぎ（鱗茎）	2	20.0% WG	2000倍散布 181,188 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02	◎
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
ねぎ（茎葉）	2	20.0% WG	2000倍散布 179,200 L/10 a	3	3,7,14	圃場A:0.23	圃場A:0.21/<0.02	◎
						圃場B:0.08	圃場B:0.06/<0.02	
にら（茎葉）	3	20.0% WG	2000倍散布 181,171 L/10 a	2	1,3,7	圃場A:8.60	圃場A:6.66/1.94	◎
						圃場B:1.85	圃場B:1.56/0.29	
						圃場C:3.19	圃場C:2.88/0.31	
アスパラガス（若茎）	2	20.0% WG	4000倍散布 278,300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.120	圃場A:0.01/0.110	◎
						圃場B:0.096	圃場B:0.03/0.066	
ミニトマト（果実）	2	20.0% WG	4000倍散布 300 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.326	圃場A:0.305/0.021	◎
						圃場B:0.268	圃場B:0.235/0.033	
ピーマン（果実）	2	20.0% WG	4000倍散布 200,250 L/10 a	2	1,3,7	圃場A:0.284	圃場A:0.24/0.044	◎
						圃場B:0.202	圃場B:0.12/0.082	
なす（果実）	2	20.0% WG	4000倍散布 130～150,200 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.026	圃場A:0.015/0.011	◎
						圃場B:0.085	圃場B:0.065/<0.02	
	2		*2000*倍散布 250,300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.036（#）	圃場A:0.02/0.016（#）	
						圃場B:0.107（*3回,3日）（#）	圃場B:*0.075/*0.032（*3回,3日）（#）	
ししとう（果実）	2	20.0% WG	4000倍散布 350,250 L/10 a	2	1,3,7	圃場A:0.59	圃場A:0.46/0.13	
						圃場B:0.48	圃場B:0.30/0.18	
甘長とうがらし（可食部）	2	20.0% WG	4000倍散布 249,182 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:2.01	圃場A:1.43/0.58	◎
						圃場B:1.39	圃場B:0.91/0.48	
しょくようほおずき（果実）	2	20.0% WG	4000倍散布 250,277 L/10 a	3	3,7,14	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02	
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
きゅうり（果実）	2	20.0% WG	4000倍散布 220,300 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.026	圃場A:0.01/0.016	◎
						圃場B:0.035	圃場B:0.015/<0.02	
	2		*2000*倍散布 231～290 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.108（#）	圃場A:0.075/0.033（#）	
						圃場B:0.072（#）	圃場B:0.045/0.028（#）	
ズッキーニ（果実）	2	20.0% WG	4000倍散布 208,333 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.04	圃場A:0.01/0.03	◎
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
かぼちゃ（果実）	2	20.0% WG	4000倍散布 228,280 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.032(3回,3日)	圃場A:*<0.01/*0.022（*3回,3日）	
						圃場B:0.032	圃場B:<0.01/0.022	

（別紙2）

ピリフルキナゾンの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計（mg/kg）注1)	各化合物の残留濃度（mg/kg）注2)【ピリフルキナゾン/代謝物B】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
しろうり（果実）	2	20.0% WG	4000倍散布 300,330 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.10	圃場A:0.07/0.03	◎
						圃場B:0.05	圃場B:0.02/0.03	
すいか（果肉）	2	20.0% WG	4000倍散布 200～250,252 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02	◎
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
メロン（果肉）	2	20.0% WG	4000倍散布 300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02	◎
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
にがうり（果実）	2	20.0% WG	4000倍散布 256,248 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.04	圃場A:0.02/<0.02	◎
						圃場B:0.12	圃場B:0.10/<0.02	
オクラ（果実）	2	20.0% WG	4000倍散布 245～269 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.172	圃場A:0.04/0.132	◎
						圃場B:0.174	圃場B:0.02/0.154	
さやえんどう（さや）	2	20.0% WG	4000倍散布 200 L/10 a	2	1,3,7	圃場A:0.08	圃場A:0.06/0.02	
						圃場B:0.13	圃場B:0.10/0.03	
	2	20.0% WG	4000倍散布 284～300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.56	圃場A:0.43/0.13	◎
						圃場B:0.32	圃場B:0.28/0.04	
さやいんげん（さや）	3	20.0% WG	4000倍散布 168～186 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.122	圃場A:0.09/0.032	◎
						圃場B:0.072	圃場B:0.015/0.056	
		20.0% WG	4000倍散布 300 L/10 a	3	1,3,7	圃場C:0.43	圃場C:0.32/0.11	
えだまめ（さや）	3	20.0% WG	4000倍散布 160～190 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.14	圃場A:0.10/0.04	◎
						圃場B:0.06	圃場B:0.04/0.02	
						圃場C:0.08	圃場C:0.06/0.02	
ヤングコーン（幼果（雌穂））	2	20.0% WG	4000倍散布 278,300 L/10 a	1	1,3,7	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02	
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
食用ペンタス	2	20.0% WG	4000倍散布 200 L/10 a	2	3,7,14	圃場A:0.14	圃場A:0.12/0.02	
						圃場B:0.12	圃場B:0.10/0.02	
みかん（果肉）	2	20.0% WG	2000倍散布 500 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.03	圃場A:0.01/<0.02	
					1,3,10	圃場B:0.026	圃場B:<0.01/0.016	
みかん（果皮）	2	20.0% WG	2000倍散布 500 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:1.492	圃場A:1.365/*0.143（*3回,3日）	◎
					1,3,10	圃場B:1.581	圃場B:1.295/0.286	
みかん（果実全体）	2	20.0% WG	2000倍散布 500 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.251注3)	圃場A:0.222/*0.030注3)（*3回,3日）	◎
					1,3,10	圃場B:0.327注3)	圃場B:0.262/0.065注3)	
なつみかん（果実全体）	2	20.0% WG	2000倍散布 816～1224,500 L/10 a	3	1,3,28	圃場A:0.41	圃場A:0.39/<0.02	◎
						圃場B:0.145	圃場B:0.125/<0.02	
すだち（果実全体）	1	20.0% WG	2000倍散布 500 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.172	圃場A:0.15/0.022	◎
かぼす（果実全体）	1	20.0% WG	2000倍散布 600 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.31	圃場A:0.29/*0.011（*3回,3日）	◎
りんご（果実）	2	20.0% WG	3000倍散布 500,580 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.135	圃場A:0.115/<0.02	◎
						圃場B:0.05	圃場B:0.03/<0.02	
なし（果実）	2	20.0% WG	2000倍散布 500,700 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.296（#）	圃場A:0.285/0.011（#）	◎
						圃場B:0.222（#）	圃場B:0.195/0.0275（#）	
もも（果肉）	2	20.0% WG	2000倍散布 400,444 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.0375	圃場A:<0.01/0.0275	
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
もも（果皮）	2	20.0% WG	2000倍散布 400,444 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:2.36	圃場A:1.535/0.825	
						圃場B:2.23	圃場B:1.790/0.440	
もも（果実）	2	20.0% WG	2000倍散布 400,444 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.384注4)	圃場A:0.238/0.146注4)	◎
						圃場B:0.358注4)	圃場B:0.276/0.081注4)	
ネクタリン（果実）	2	20.0% WG	2000倍散布 400,500 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.274（3回,3日）	圃場A:*0.23/*0.044（*3回,3日）	◎
						圃場B:0.133（3回,3日）	圃場B:*0.10/*0.033（*3回,3日）	
すもも（果実）	2	20.0% WG	2000倍散布 350,400 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.06	圃場A:0.04/<0.02	◎
						圃場B:0.05	圃場B:0.03/<0.02	
うめ（果実）	2	20.0% WG	2000倍散布 390～398,400 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.334	圃場A:0.285/0.0495	◎
						圃場B:1.394	圃場B:1.345/0.0495	
おうとう（果実）	2	20.0% WG	2000倍散布 450 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.612（3回,3日）	圃場A:*0.37/*0.242（*3回,3日）	◎
						圃場B:0.718	圃場B:0.63/0.088	
いちご（果実）	2	20.0% WG	3000倍散布 200,200～250 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.346	圃場A:0.28/0.066	◎
						圃場B:0.879	圃場B:0.285/0.594	
ブルーベリー（果実）	2	20.0% WG	3000倍散布 200,200～250 L/10 a	1	1,3,7	圃場A:0.21	圃場A:0.18/0.03	◎
						圃場B:0.07	圃場B:0.05/<0.02	
ぶどう（果実）	2	20.0% WG	3000倍散布 200,500 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.305	圃場A:0.285/<0.02	◎
						圃場B:0.982	圃場B:0.955/0.028	
	2		3000倍散布 500,480 L/10 a	3	3,7,14,21	圃場A:0.9785（3回,14日）	圃場A:*0.94/**0.044（*3回,14日、**3回,7日）	
						圃場B:0.968（3回,3日）	圃場B:*0.94/*0.0275（*3回,3日）	
かき（果実）	2	20.0% WG	2000倍散布 240,300 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.186	圃場A:0.165/0.021	◎
						圃場B:0.105	圃場B:0.085/<0.02	
キウイフルーツ（果肉）	2	20.0% WG	3000倍散布 375,300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.04	圃場A:0.02/<0.02	◎
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02	
マンゴー（果実）	2	20.0% WG	2000倍散布 314,400 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.112	圃場A:0.09/0.022	◎
						圃場B:0.331（3回,3日）	圃場B:*0.32/*0.011（*3回,3日）	

（別紙2）

ピリフルキナゾンの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計（mg/kg）注1)	各化合物の残留濃度（mg/kg）注2)【ピリフルキナゾン/代謝物B】	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
茶（荒茶）	4	20.0% WG	3000倍散布 200～1000 L/10 a	2	*1*,*3*,7,14	圃場A:0.596	圃場A:0.265/0.331	○
						圃場B:3.155	圃場B:2.05/1.105	
			2000倍散布 200～1000 L/10 a	2	*3*,7,14	圃場C:13.51	圃場C:8.14/5.38	
						圃場D:5.14	圃場D:2.16/2.98	
茶（浸出液）	4	20.0% WG	3000倍散布 200～1000 L/10 a	2	*1*,*3*,7,14	圃場A:0.15	圃場A:0.06/0.09	△
						圃場B:1.06	圃場B:0.75/0.31	
			2000倍散布 200～1000 L/10 a	2	*3*,7,14	圃場C:2.000	圃場C:1.34/0.660	
						圃場D:0.584	圃場D:0.32/0.264	

WG：顆粒水和剤
(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。
今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

基準値の設定の根拠に○、暴露評価に使用されているものに△、基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注1）ピリフルキナゾン及び代謝物Bの合計濃度（ピリフルキナゾン濃度に換算した値）を示した。

注2）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物Bの残留濃度は、ピリフルキナゾン濃度に換算した値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

注3）果肉及び果皮の重量比から果実全体の残留濃度を算出した。
注4）果肉、果皮及び種子の重量割合が不明のため、過去の作物残留試験等のデータから、それぞれの割合を果肉77%、果皮15%及び種子8%として果実全体の残留濃度を算出した。

農薬名　ピリフルキナゾン

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
とうもろこし	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)(未成熟とうもろこし)
大豆	0.01	0.01	○			<0.01(n=6)(大豆)<0.01,<0.01(えんどうまめ)
小豆類	0.01	0.05	○			(大豆参照)
えんどう	0.01	0.05	○			(大豆参照)
そら豆	0.01	0.05	○			(大豆参照)
その他の豆類	0.01	0.05	○			(大豆参照)
ばれいしょ	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
かんしょ	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
やまいも(長いもをいう。)	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
こんにゃくいも	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
てんさい	0.01	0.01	○			<0.01,<0.01,<0.01
はくさい	0.7	0.7	○			0.025,0.225(¥)
キャベツ	0.3	0.3	○			0.01,0.085(¥)
カリフラワー	0.1	0.1	○			0.02,0.02(¥)
ブロッコリー	1	1	○			0.205,0.36(¥)
ごぼう	0.01		申			<0.01,<0.01,<0.01,
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	7	7	○			0.40,2.98(サラダ菜)、0.08,0.34(リーフレタス)
たまねぎ	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
ねぎ(リーキを含む。)	0.7	0.7	○			0.06,0.21(¥)
にら	15	15	○			1.56,2.88,6.66
アスパラガス	0.2	0.2	○			0.01,0.03(¥)
トマト	1	1	○			0.235,0.305(¥)(ミニトマト)
ピーマン	0.7	0.7	○			0.12,0.24(¥)
なす	0.1	0.2	○			0.01～0.065(#)(n=4)※
その他のなす科野菜	3	3	○			0.91,1.43(¥)(甘長とうがらし)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.07	0.1	○			0.01～0.0375(#)(n=4)※
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.05	0.05	○			<0.01,0.01(¥)(ズッキーニ)
しろうり	0.3	0.3	○			0.02,0.07(¥)
すいか	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)(果肉)
メロン類果実	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)(果肉)
その他のうり科野菜	0.3	0.3	○			0.02,0.10(¥)(にがうり)
オクラ	0.2	0.2	○			0.02,0.04(¥)
未成熟えんどう	1	1	○			0.28,0.43(¥)(さやえんどう)
未成熟いんげん	0.8	0.8	○			0.015,0.09,0.32(さやいんげん)
えだまめ	0.2	0.2	○			0.04,0.06,0.10
その他の野菜	1	1	○			(未成熟えんどう参照)
みかん(外果皮を含む。)	0.7	1	○			0.222,0.262(¥)
なつみかんの果実全体	1	1	○			0.125,0.39(¥)
レモン	0.7	1	○			(0.15(すだち)、0.29(¥)(かぼす)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	0.7	1	○			(みかん(外果皮を含む。)参照)
グレープフルーツ	1	1	○			(なつみかんの果実全体参照)
ライム	0.7	1	○			(レモン参照)
その他のかんきつ類果実	1	1	○			(なつみかんの果実全体参照)
りんご	0.5	0.5	○			0.03,0.115(¥)
日本なし	0.5	0.7	○			0.13,0.19(#)(¥)※
西洋なし	0.5	0.7	○			(日本なし参照)
もも(果皮及び種子を含む。)	0.7	1	○			0.238,0.276(¥)

農薬名　ピリフルキナゾン

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
ネクタリン	0.7	0.7	○			0.10,0.23(¥)
あんず（アプリコットを含む。）	3	3	○			（うめ参照）
すもも（プルーンを含む。）	0.2	0.2	○			0.03,0.04(¥)
うめ	3	3	○			0.285,1.345(¥)
おうとう（チェリーを含む。）	2	2	○			0.37,0.63(¥)
いちご	0.7	1	○			0.28,0.285(¥)
ブルーベリー	0.5		申			0.05,0.18(¥)
ぶどう	2	3	○			0.285,0.955(¥)
かき	0.5	0.5	○			0.085,0.165(¥)
キウィー	0.1	0.1	○			<0.01,0.02(¥)
マンゴー	1	1	○			0.09,0.32(¥)
茶	20	20	○			0.398～8.14(n=4)(荒茶)※
その他のスパイス	3	5	○			1.295,1.365(¥)(みかん果皮)
はちみつ	0.05					※1

太枠：本基準（暫定基準以外の基準）を見直した基準値

○：既に、国内において登録等がされているもの

申：農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

(#)：適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥)：基準値設定の根拠とした作物残留試験成績（最大値）

※1)「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」（令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会）の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

※）なす、きゅうり（ガーキンを含む。）、日本なし及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した量として、なす及びきゅうり（ガーキンを含む。）は20.0%WG4000倍散布を基に、日本なしは20.0%WG3000倍散布を基に、茶は20.0%WG2000倍散布を基に換算した。

（別紙4）

ピリフルキナゾンの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) EDI
とうもろこし	0.05	0.030	0.1	0.2	0.2	0.1
大豆	0.01	0.030	1.2	0.6	0.9	1.4
小豆類	0.01	0.030	0.1	0.0	0.0	0.1
えんどう	0.01	0.030	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.01	0.030	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	0.01	0.030	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.05	0.030	1.2	1.0	1.3	1.1
かんしょ	0.05	0.030	0.2	0.2	0.4	0.3
やまいも（長いもをいう。）	0.05	0.030	0.1	0.0	0.1	0.1
こんにゃくいも	0.05	0.030	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	0.01	0.030	1.0	0.8	1.2	1.0
はくさい	0.7	0.177	3.1	0.9	2.9	3.8
キャベツ	0.3	0.075	1.8	0.9	1.4	1.8
カリフラワー	0.1	0.130	0.1	0.0	0.0	0.1
ブロッコリー	1	0.400	2.1	1.3	2.2	2.3
ごぼう	0.01	0.03	0.1	0.0	0.1	0.1
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	7	0.469	4.5	2.1	5.3	4.3
たまねぎ	0.05	0.030	0.9	0.7	1.1	0.8
ねぎ（リーキを含む。）	0.7	0.155	1.5	0.6	1.1	1.7
にら	15	3.190	6.4	2.9	5.7	6.7
アスパラガス	0.2	0.108	0.2	0.1	0.1	0.3
トマト	1	0.297	9.5	5.6	9.5	10.9
ピーマン	0.7	0.243	1.2	0.5	1.8	1.2
なす	0.1	0.040	0.5	0.1	0.4	0.7
その他のなす科野菜	3	1.700	1.9	0.2	2.0	2.0
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.07	0.036	0.7	0.3	0.5	0.9
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.05	0.035	0.3	0.1	0.3	0.5
しろうり	0.3	0.075	0.0	0.0	0.0	0.1
すいか	0.05	0.03	0.2	0.2	0.4	0.3
メロン類果実	0.05	0.03	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のうり科野菜	0.3	0.080	0.2	0.1	0.0	0.3
オクラ	0.2	0.173	0.2	0.2	0.2	0.3
未成熟えんどう	1	0.440	0.7	0.2	0.1	1.1
未成熟いんげん	0.8	0.122	0.3	0.1	0.0	0.4
えだまめ	0.2	0.080	0.1	0.1	0.0	0.2
その他の野菜	1	0.440	5.9	2.8	4.4	6.2
みかん（外果皮を含む。）	0.7	0.289	5.1	4.7	0.2	7.6
なつみかんの果実全体	1	0.278	0.4	0.2	1.3	0.6
レモン	0.7	0.241	0.1	0.0	0.0	0.1
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	0.7	0.289	2.0	4.2	3.6	1.2
グレープフルーツ	1	0.278	1.2	0.6	2.5	1.0
ライム	0.7	0.241	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のかんきつ類果実	1	0.278	1.6	0.7	0.7	2.6
りんご	0.5	0.093	2.2	2.9	1.7	3.0
日本なし	0.5	0.173	1.1	0.6	1.6	1.3
西洋なし	0.5	0.173	0.1	0.0	0.0	0.1
もも（果皮及び種子を含む。）	0.7	0.371	1.3	1.4	2.0	1.6
ネクタリン	0.7	0.204	0.0	0.0	0.0	0.0
あんず（アプリコットを含む。）	3	0.864	0.2	0.1	0.1	0.3
すもも（プルーンを含む。）	0.2	0.055	0.1	0.0	0.0	0.1
うめ	3	0.864	1.2	0.3	0.5	1.6
おうとう（チェリーを含む。）	2	0.665	0.3	0.5	0.1	0.2
いちご	0.7	0.613	3.3	4.8	3.2	3.6
ブルーベリー	0.5	0.14	0.2	0.1	0.1	0.2
ぶどう	2	0.644	5.6	5.3	13.0	5.8
かき	0.5	0.146	1.4	0.2	0.6	2.6
キウィー	0.1	0.035	0.1	0.0	0.1	0.1
マンゴー	1	0.222	0.1	0.1	0.0	0.1
茶	20	1.087	7.2	1.1	4.0	10.2
その他のスパイス	3	1.536	0.2	0.2	0.2	0.3

（別紙4）

ピリフルキナゾンの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）EDI
はちみつ	0.05	● 0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			81.4	51.1	79.7	95.5
ADI比（%）			29.6	61.9	27.2	34.1

EDI：推定一日摂取量（Estimated Daily Intake）

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

EDI試算の暴露評価に用いた数値には、暴露評価対象であるピリフルキナゾン及び代謝物Bをピリフルキナゾンに換算した濃度の合計濃度を使用した。

●：個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値（案）の数値を用いた。
なす、きゅうり（ガーキンを含む。）、日本なし及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を、評価に用いた数値に使用した。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いてEDI試算をした。

ピリフルキナゾンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI (μg/kg体重)	ESTI/ARfD (%)
とうもろこし	スイートコーン	0.05	0.2	2.3	0
大豆	大豆	0.01	○ 0.03	0.0	0
小豆類	いんげん	0.01	○ 0.03	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	0.2	1.9	0
かんしょ	かんしょ	0.05	0.2	2.5	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.05	0.2	1.6	0
はくさい	はくさい	0.7	0.7	9.1	1
キャベツ	キャベツ	0.3	0.5	4.8	0
カリフラワー	カリフラワー	0.1	0.5	3.7	0
ブロッコリー	ブロッコリー	1	2	12.0	1
ごぼう	ごぼう	0.01	0.03	0.1	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	7	○ 4.23	23.9	2
たまねぎ	たまねぎ	0.05	0.2	1.6	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.7	0.7	2.7	0
にら	にら	15	20	26.9	3
アスパラガス	アスパラガス	0.2	0.5	1.0	0
トマト	トマト	1	1	10.9	1
ピーマン	ピーマン	0.7	0.7	1.8	0
なす	なす	0.1	○ 0.085	0.5	0
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	3	5	8.1	1
	ししとう	3	5	5.1	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.07	○ 0.054	0.3	0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.05	0.2	2.0	0
	ズッキーニ	0.05	0.2	1.4	0
しろうり	しろうり	0.3	0.3	2.5	0
すいか	すいか	0.05	0.2	6.6	1
メロン類果実	メロン	0.05	0.2	3.4	0
その他のうり科野菜	とうがん	0.3	0.5	8.5	1
	にがうり	0.3	0.5	4.0	0
オクラ	オクラ	0.2	0.5	0.7	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	1	2	3.3	0
	未成熟えんどう（豆）	1	2	3.4	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.8	1	1.9	0
えだまめ	えだまめ	0.2	0.3	0.8	0
その他の野菜	ずいき	1	2	20.2	2
	もやし	1	2	4.6	0
	れんこん	1	2	12.4	1
	そら豆（生）	1	2	5.9	1
みかん（外果皮を含む。）	みかん	0.7	1	9.3	1
なつみかんの果実全体	なつみかん	1	1	12.4	1
レモン	レモン	0.7	1	2.1	0
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	0.7	1	9.4	1
	オレンジ果汁	0.7	○ 0.289	2.9	0
グレープフルーツ	グレープフルーツ	1	1	17.2	2
その他のかんきつ類果実	きんかん	1	1	2.4	0
	ぽんかん	1	1	10.5	1
	ゆず	1	1	1.6	0
	すだち	1	1	1.6	0
りんご	りんご	0.5	0.5	7.1	1
	りんご果汁	0.5	○ 0.093	1.0	0
日本なし	日本なし	0.5	0.5	7.6	1
西洋なし	西洋なし	0.5	0.5	7.0	1
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	0.7	1	13.6	1
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	0.2	0.3	1.8	0
うめ	うめ	3	3	4.1	0
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	2	2	5.0	1
いちご	いちご	0.7	2	7.6	1

ピリフルキナゾンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI (μg/kg体重)	ESTI/ARfD (%)
ブルーベリー	ブルーベリー	0.5	0.7	1.0	0
ぶどう	ぶどう	2	2	26.9	3
かき	かき	0.5	0.5	7.1	1
キウィー	キウィー	0.1	0.2	1.1	0
マンゴー	マンゴー	1	1	13.5	1
茶	緑茶類	20	○　1.087	0.7	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

暴露評価に用いた数値には、暴露評価対象であるピリフルキナゾン及び代謝物Bをピリフルキナゾンに換算した濃度の合計濃度を用いた。

みかん(外果皮を含む。）及びもも（果皮及び種子を含む。）については、果肉の作物残留試験結果より算出した果肉の基準値に相当する値を用いて短期摂取量を推計した。

なす、きゅうり（ガーキンを含む。）、日本なし及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いて試算をした。

ピリフルキナゾンの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
とうもろこし	スイートコーン	0.05	0.2	4.8	0
大豆	大豆	0.01	○ 0.03	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	0.2	4.5	0
かんしょ	かんしょ	0.05	0.2	5.0	1
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.05	0.2	2.7	0
はくさい	はくさい	0.7	0.7	11.0	1
キャベツ	キャベツ	0.3	0.5	7.8	1
ブロッコリー	ブロッコリー	1	2	28.8	3
ごぼう	ごぼう	0.01	0.03	0.2	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	7	○ 4.23	41.6	4
たまねぎ	たまねぎ	0.05	0.2	3.5	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.7	0.7	4.5	0
にら	にら	15	20	42.1	4
トマト	トマト	1	1	27.2	3
ピーマン	ピーマン	0.7	0.7	4.6	0
なす	なす	0.1	○ 0.085	1.3	0
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.07	○ 0.054	0.8	0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.05	0.2	3.2	0
すいか	すいか	0.05	0.2	17.3	2
メロン類果実	メロン	0.05	0.2	5.9	1
オクラ	オクラ	0.2	0.5	2.2	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	1	2	2.5	0
	未成熟えんどう（豆）	1	2	3.6	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.8	1	4.0	0
えだまめ	えだまめ	0.2	0.3	0.8	0
その他の野菜	もやし	1	2	8.4	1
	れんこん	1	2	20.6	2
みかん（外果皮を含む。）	みかん	0.7	1	27.4	3
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	0.7	1	26.9	3
	オレンジ果汁	0.7	○ 0.289	5.2	1
りんご	りんご	0.5	0.5	16.0	2
	りんご果汁	0.5	○ 0.093	3.1	0
日本なし	日本なし	0.5	0.5	14.4	1
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	0.7	1	42.4	4
うめ	うめ	3	3	10.2	1
いちご	いちご	0.7	2	21.6	2
ぶどう	ぶどう	2	2	61.2	6
かき	かき	0.5	0.5	10.5	1
茶	緑茶類	20	○ 1.087	1.0	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

暴露評価に用いた数値には、暴露評価対象であるピリフルキナゾン及び代謝物Bをピリフルキナゾンに換算した濃度の合計濃度を用いた。

みかん(外果皮を含む。）及びもも（果皮及び種子を含む。）については、果肉の作物残留試験結果より算出した果肉の基準値に相当する値を用いて短期摂取量を推計した。

なす、きゅうり（ガーキンを含む。）、日本なし及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いて試算をした。

ピリフルキナゾンの推定摂取量（短期）：妊婦又は妊娠している可能性のある女性(14～50歳)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
とうもろこし	スイートコーン	0.05	0.2	1.9	4
大豆	大豆	0.01	○ 0.03	0.0	0
小豆類	いんげん	0.01	○ 0.03	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	0.2	1.9	4
かんしょ	かんしょ	0.05	0.2	2.0	4
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.05	0.2	1.6	3
はくさい	はくさい	0.7	0.7	8.1	20
キャベツ	キャベツ	0.3	0.5	4.7	9
カリフラワー	カリフラワー	0.1	0.5	3.7	7
ブロッコリー	ブロッコリー	1	2	12.5	30
ごぼう	ごぼう	0.01	0.03	0.1	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	7	○ 4.23	24.0	50
たまねぎ	たまねぎ	0.05	0.2	1.6	3
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.7	0.7	2.4	5
にら	にら	15	20	18.8	40
アスパラガス	アスパラガス	0.2	0.5	0.9	2
トマト	トマト	1	1	9.8	20
ピーマン	ピーマン	0.7	0.7	1.7	3
なす	なす	0.1	○ 0.085	0.5	1
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	3	5	8.1	20
	ししとう	3	5	6.1	10
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.07	○ 0.054	0.3	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.05	0.2	1.9	4
	ズッキーニ	0.05	0.2	1.4	3
しろうり	しろうり	0.3	0.3	2.5	5
すいか	すいか	0.05	0.2	6.8	10
メロン類果実	メロン	0.05	0.2	3.6	7
その他のうり科野菜	とうがん	0.3	0.5	8.5	20
	にがうり	0.3	0.5	4.4	9
オクラ	オクラ	0.2	0.5	0.7	1
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	1	2	2.7	5
	未成熟えんどう（豆）	1	2	2.3	5
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.8	1	1.4	3
えだまめ	えだまめ	0.2	0.3	0.7	1
その他の野菜	ずいき	1	2	20.3	40
	もやし	1	2	4.5	9
	れんこん	1	2	12.1	20
	そら豆（生）	1	2	5.9	10
みかん（外果皮を含む。）	みかん	0.7	1	8.3	20
なつみかんの果実全体	なつみかん	1	1	12.4	20
レモン	レモン	0.7	1	2.1	4
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	0.7	1	8.6	20
	オレンジ果汁	0.7	○ 0.289	2.1	4
グレープフルーツ	グレープフルーツ	1	1	16.2	30
その他のかんきつ類果実	きんかん	1	1	2.4	5
	ぽんかん	1	1	10.5	20
	ゆず	1	1	1.5	3
	すだち	1	1	1.6	3
りんご	りんご	0.5	0.5	6.8	10
	りんご果汁	0.5	○ 0.093	1.0	2
日本なし	日本なし	0.5	0.5	7.3	10
西洋なし	西洋なし	0.5	0.5	7.0	10
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	0.7	1	12.8	30
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	0.2	0.3	1.8	4
うめ	うめ	3	3	4.1	8
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	2	2	5.0	10
いちご	いちご	0.7	2	6.7	10
ブルーベリー	ブルーベリー	0.5	0.7	1.0	2
ぶどう	ぶどう	2	2	26.2	50
かき	かき	0.5	0.5	6.4	10

ピリフルキナゾンの推定摂取量（短期）：妊婦又は妊娠している可能性のある女性(14～50歳)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
キウィー	キウィー	0.1	0.2	1.2	2
マンゴー	マンゴー	1	1	13.5	30
茶	緑茶類	20	○ 1.087	0.6	1
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

暴露評価に用いた数値には、暴露評価対象であるピリフルキナゾン及び代謝物Bをピリフルキナゾンに換算した濃度の合計濃度を用いた。

みかん(外果皮を含む。）及びもも（果皮及び種子を含む。）については、果肉の作物残留試験結果より算出した果肉の基準値に相当する値を用いて短期摂取量を推計した。

なす、きゅうり（ガーキンを含む。）、日本なし及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いて試算をした。

（参考）

これまでの経緯

平成１９年１１月２９日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼（新規：ばれいしょ、キャベツ等）
平成１９年１２月１８日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２１年　７月３０日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２２年　１月２７日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２２年１０月２０日	残留基準告示
平成２２年１０月２０日	初回農薬登録
平成２４年　３月　８日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼（適用拡大：だいこん、はくさい等）
平成２４年　５月１６日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２４年１２月１０日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２５年　７月２３日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２６年　４月２４日	残留基準告示
平成２６年　２月　５日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼（適用拡大：かんしょ、たまねぎ等）
平成２６年　３月２０日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２６年１０月　７日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２７年　１月２０日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２７年　５月１９日	残留基準告示
平成２８年　５月２５日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼（適用拡大：やまのいも、にがうり等）
平成２８年１２月１３日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２９年　２月２８日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知

平成２９年　９月　７日　薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成３０年　５月３０日　残留基準告示

平成３１年　２月２０日　農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼(適用拡大：てんさい、カリフラワー等)
令和　元年１２月１８日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和　２年　２月２５日　食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和　２年　６月２３日　薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和　３年　２月　３日　残留基準告示

令和　２年１０月１６日　農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼(適用拡大：豆類（未成熟）及びさやいんげん)
令和　４年　１月１９日　厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和　４年　３月　９日　食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和　４年　７月２８日　薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和　５年　３月２３日　残留基準告示

令和　７年　６月３０日　農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼(適用拡大：ごぼう、ブルーベリー)
令和　８年　５月１３日　食品衛生基準審議会へ諮問
令和　８年　５月１９日　食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

［委員］

大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	国立医薬品食品衛生研究所薬品部長
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部本部長
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
◎堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所（薬学系兼任）教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

（◎：部会長、○：部会長代理）

答申（案）

ピリフルキナゾンについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

ピリフルキナゾン
今回残留基準を設定する「ピリフルキナゾン」の規制対象は、ピリフルキナゾンとする。

食品名	残留基準値 ppm
とうもろこし	0.05
大豆	0.01
小豆類[注1)]	0.01
えんどう	0.01
そら豆	0.01
その他の豆類[注2)]	0.01
ばれいしょ	0.05
かんしょ	0.05
やまいも（長いもをいう。）	0.05
こんにゃくいも	0.05
てんさい	0.01
はくさい	0.7
キャベツ	0.3
カリフラワー	0.1
ブロッコリー	1
ごぼう	0.01
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	7
たまねぎ	0.05
ねぎ（リーキを含む。）	0.7
にら	15
アスパラガス	0.2
トマト	1
ピーマン	0.7
なす	0.1
その他のなす科野菜[注3)]	3
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.07
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.05

食品名	残留基準値 ppm
しろうり	0.3
すいか	0.05
メロン類果実	0.05
その他のうり科野菜[注4)]	0.3
オクラ	0.2
未成熟えんどう	1
未成熟いんげん	0.8
えだまめ	0.2
その他の野菜[注5)]	1
みかん（外果皮を含む。）	0.7
なつみかんの果実全体	1
レモン	0.7
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	0.7
グレープフルーツ	1
ライム	0.7
その他のかんきつ類果実[注6)]	1
りんご	0.5
日本なし	0.5
西洋なし	0.5
もも（果皮及び種子を含む。）	0.7
ネクタリン	0.7
あんず（アプリコットを含む。）	3
すもも（プルーンを含む。）	0.2
うめ	3
おうとう（チェリーを含む。）	2
いちご	0.7
ブルーベリー	0.5
ぶどう	2
かき	0.5
キウィー	0.1
マンゴー	1
茶	20
その他のスパイス[注7)]	3

食品名	残留基準値 ppm
はちみつ	0.05

注1）「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注2）「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注3）「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注4）「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注5）「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注6）「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注7）「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

令和４年７月 28 日開催部会

添付資料１

ピリフルキナゾン

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告をとりまとめるものである。

１．概要

（１）品目名：ピリフルキナゾン[Pyrifluquinazon (ISO)]

（２）分　類：農薬

（３）用　途：殺虫剤

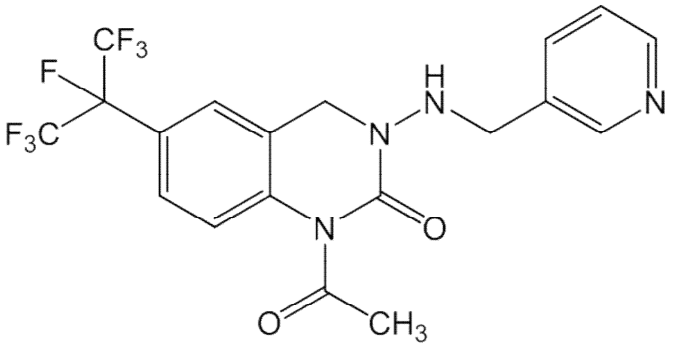
キナゾリン環を有する殺虫剤である。害虫の弦音器官のTRPVチャネル複合体との相互作用により、摂食行動を抑制することで殺虫効果を示すと考えられている。

（４）化学名及びCAS番号

1-Acetyl-6-(perfluoropropan-2-yl)-3-[(pyridin-3-ylmethyl)amino]-3,4-dihydroquinazolin-2(1*H*)-one (IUPAC)

2(1*H*)-Quinazolinone, 1-acetyl-3,4-dihydro-3-[(3-pyridinylmethyl)amino]-6-[1,2,2,2-tetrafluoro-1-(trifluoromethyl)ethyl]-
(CAS：No. 337458-27-2)

（５）構造式及び物性



分 子 式　$C_{19}H_{15}F_7N_4O_2$
分 子 量　464.34
水溶解度　1.21×10^{-2} g/L (20℃, pH 5.91)
分配係数　$\log_{10}Pow = 3.12$ (25℃, pH 6.31)

２．適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

（１）国内での使用方法

作物名、適用、本剤の使用回数、ピリフルキナゾンを含む農薬の総使用回数となっているものについては、今回農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

①　20.0%ピリフルキナゾン顆粒水和剤

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用</th><th>希釈倍数</th><th>使用
液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ピリフルキナゾンを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="4">かんきつ</td><td>アブラムシ類</td><td>4000倍</td><td rowspan="19">200～700
L/10 a</td><td rowspan="22">収穫前日
まで</td><td rowspan="22">3回以内</td><td rowspan="20">散布</td><td rowspan="22">3回以内</td></tr>
<tr><td>チャノキイロアザミウマ
コナジラミ類
ミカンバエ成虫</td><td>3000倍</td></tr>
<tr><td>カイガラムシ類
（アカマルカイガラムシを除く）</td><td>2000～3000倍</td></tr>
<tr><td>アカマルカイガラムシ</td><td>2000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="3">りんご</td><td>アブラムシ類</td><td>3000～6000倍</td></tr>
<tr><td>カイガラムシ類</td><td>3000～4000倍</td></tr>
<tr><td>リンゴワタムシ</td><td>3000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="3">なし</td><td>アブラムシ類
チュウゴクナシキジラミ</td><td>4000倍</td></tr>
<tr><td>カイガラムシ類</td><td>3000～4000倍</td></tr>
<tr><td>チャノキイロアザミウマ</td><td>3000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">もも
ネクタリン</td><td>アブラムシ類</td><td>4000倍</td></tr>
<tr><td>カイガラムシ類</td><td rowspan="2">2000～3000倍</td></tr>
<tr><td>かき</td><td>カイガラムシ類
チャノキイロアザミウマ</td></tr>
<tr><td>ぶどう</td><td>カイガラムシ類
チャノキイロアザミウマ
ツマグロアオカスミカメ</td><td rowspan="2">3000倍</td></tr>
<tr><td>キウイフルーツ</td><td>クワシロカイガラムシ</td></tr>
<tr><td>マンゴー</td><td>チャノキイロアザミウマ</td><td rowspan="2">2000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">おうとう</td><td>カイガラムシ類</td></tr>
<tr><td>オウトウショウジョウバエ</td><td>10000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="2">小粒核果類</td><td>アブラムシ類</td><td>2000～4000倍</td></tr>
<tr><td>カイガラムシ類</td><td>2000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ばれいしょ</td><td rowspan="3">アブラムシ類</td><td>4000～8000倍</td><td>100～300
L/10 a</td><td rowspan="3">散布</td></tr>
<tr><td>400倍</td><td>25 L/10 a</td></tr>
<tr><td>50倍</td><td>3.2
L/10 a</td><td>無人航空機による散布</td></tr>
<tr><td>かんしょ</td><td>コナジラミ類
アブラムシ類</td><td>4000倍</td><td>100～300
L/10 a</td><td>散布</td></tr>
</table>

① 20.0%ピリフルキナゾン顆粒水和剤（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用</th><th>希釈倍数</th><th>使用
液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の
使用回数</th><th>使用方法</th><th>ピリフルキナゾンを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td>やまのいも
にがうり
カリフラワー
こんにゃく</td><td rowspan="3">アブラムシ類</td><td>4000倍</td><td rowspan="2">100～300
L/10 a</td><td>収穫前日
まで</td><td rowspan="7">3回以内</td><td rowspan="2">散布</td><td rowspan="7">3回以内</td></tr>
<tr><td>てんさい</td><td>4000～6000倍</td><td rowspan="2">収穫7日前
まで</td></tr>
<tr><td></td><td>32倍</td><td>1.6
L/10 a</td><td>無人航空
機による
散布</td></tr>
<tr><td>いちご</td><td rowspan="4">アブラムシ類
コナジラミ類</td><td>3000～4000倍</td><td rowspan="9">100～300
L/10 a</td><td rowspan="9">収穫前日
まで</td><td rowspan="8">散布</td></tr>
<tr><td>トマト
ミニトマト
オクラ
甘長とうがらし
きゅうり
メロン
すいか
かぼちゃ</td><td rowspan="6">4000倍</td></tr>
<tr><td>なす</td><td>アブラムシ類
コナジラミ類
カスミカメムシ類</td></tr>
<tr><td>ピーマン
とうがらし類
（甘長とうがらしを除く）</td><td>アブラムシ類
コナジラミ類</td><td>2回以内</td><td>2回以内</td></tr>
<tr><td>しろうり</td><td>コナジラミ類</td><td rowspan="6">3回以内</td><td rowspan="6">3回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="3">キャベツ</td><td>アブラムシ類</td><td>3000～4000倍</td></tr>
<tr><td>ネギアザミウマ</td><td>3000倍</td></tr>
<tr><td rowspan="6">アブラムシ類</td><td>16倍</td><td>1.6
L/10 a</td><td>無人航空
機による
散布</td></tr>
<tr><td>レタス</td><td rowspan="2">3000～4000倍</td><td rowspan="2">100～300
L/10 a</td><td rowspan="2">収穫7日前
まで</td><td rowspan="2">散布</td></tr>
<tr><td>非結球レタス</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ブロッコリー</td><td>4000倍</td><td rowspan="2">収穫前日
まで</td></tr>
<tr><td>25倍</td><td>1.6
L/10 a</td><td>無人航空
機による
散布</td></tr>
<tr><td>はくさい</td><td rowspan="2">4000倍</td><td>100～300
L/10 a</td><td>収穫3日前
まで</td><td rowspan="3">散布</td></tr>
<tr><td>アスパラガス</td><td>コナジラミ類
ネギアザミウマ
カスミカメムシ類</td><td>100～700
L/10 a</td><td rowspan="2">収穫前日
まで</td></tr>
<tr><td>さやえんどう</td><td>アブラムシ類</td><td>4000～6000倍</td><td>100～300
L/10 a</td><td>3回以内</td><td>3回以内</td></tr>
</table>

① 20.0%ピリフルキナゾン顆粒水和剤（つづき）

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用</th><th>希釈倍数</th><th>使用液量</th><th>使用時期</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>ピリフルキナゾンを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">豆類（未成熟、ただし、さやいんげんを除く）</td><td rowspan="2">アブラムシ類</td><td rowspan="2">4000～6000倍</td><td rowspan="9">100～300 L/10 a</td><td rowspan="5">収穫前日まで</td><td rowspan="7">3回以内</td><td rowspan="12">散布</td><td rowspan="7">3回以内</td></tr>
<tr><td rowspan="2">さやいんげん</td><td>アブラムシ類</td></tr>
<tr><td>コナジラミ類</td><td rowspan="2">4000倍</td></tr>
<tr><td>未成熟とうもろこし</td><td>アブラムシ類</td></tr>
<tr><td>ねぎ</td><td>アブラムシ類
ネギアザミウマ
ネギハモグリバエ</td><td rowspan="3">2000倍</td><td>収穫3日前まで</td></tr>
<tr><td>たまねぎ</td><td>ネギアザミウマ
ネギハモグリバエ</td><td rowspan="2">収穫前日</td></tr>
<tr><td>にら</td><td>ネギアザミウマ</td><td>2回以内</td><td>2回以内</td></tr>
<tr><td>豆類（種実、ただし、らっかせいを除く）</td><td>アブラムシ類</td><td>4000～6000倍</td><td>収穫7日前まで</td><td>3回以内</td><td>3回以内</td></tr>
<tr><td>しょくようほおずき</td><td>コナジラミ類</td><td>4000倍</td><td>収穫3日前まで</td></tr>
<tr><td rowspan="3">茶</td><td>クワシロカイガラムシ</td><td rowspan="2">2000～3000倍</td><td>1000 L/10 a</td><td rowspan="3">摘採7日前まで</td><td rowspan="3">2回以内</td><td rowspan="3">2回以内</td></tr>
<tr><td>チャノミドリヒメヨコバイ
チャノキイロアザミウマ
チャトゲコナジラミ
アブラムシ類</td><td rowspan="2">200～400 L/10 a</td></tr>
<tr><td>ツマグロアオカスミカメ</td><td>2000倍</td></tr>
</table>

３．代謝試験

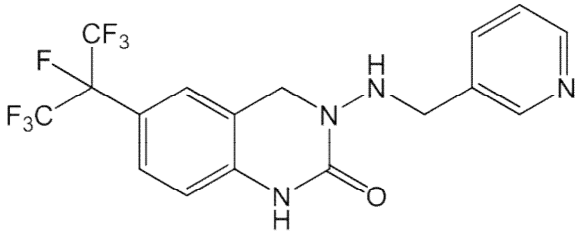
（１）植物代謝試験

植物代謝試験がトマト、はつかだいこん及びレタスで実施されており、可食部で10%TRR[注)] 以上認められた代謝物は、代謝物B（トマト、はつかだいこん及びレタス）であった。

注）%TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

【代謝物省略一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
B	1H(IV-01)	1,2,3,4-テトラヒドロ-3-[(3-ピリジルメチル)アミノ]-6-[1,2,2,2-テトラフルオロ-1-(トリフルオロメチル)エチル]キナゾリン-2-オン



代謝物B

注）残留試験の分析対象及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

４．作物残留試験

（１）分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

・ピリフルキナゾン

・代謝物B

② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・水（4：1）混液、アセトニトリル又はアセトンで抽出し、スチレンジビニルベンゼン共重合体カラム、C_{18}カラム又はHLBカラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計（LC-MS）又は液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）で定量する。

または、試料からアセトニトリル・水（4：1）混液で抽出し、LC-MS/MSで定量する。

なお、代謝物Bの分析値は、換算係数1.10を用いてピリフルキナゾン濃度に換算した値として示した。

定量限界：ピリフルキナゾン　0.010～0.050 mg/kg

代謝物B　0.011～0.055 mg/kg（ピリフルキナゾン換算濃度）

（２）作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1を参照。

５．ADI及びARfDの評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたピリフルキナゾンに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（１）ADI

無毒性量：0.5 mg/kg 体重/day

（動物種）　イヌ

（投与方法）　カプセル経口

（試験の種類）慢性毒性試験及び回復試験

（期間）　1年間（6か月間回復期間）

安全係数：100

ADI：0.005 mg/kg 体重/day

発がん性試験では、ラット及びマウスで精巣間細胞腫の発生頻度増加が認められたが、発生機序は本剤が有する抗アンドロゲン作用を介した二次的な影響によるものであり、遺伝毒性によるものとは考え難く、評価にあたり閾値を設定することは可能であると考えられた。

（参考）

評価に供された遺伝毒性試験の*in vitro*試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験を始め*in vivo*試験では陰性の結果が得られたので、ピリフルキナゾンは生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

（２）ARfD

①　国民全体の集団

無毒性量：100 mg/kg 体重

（動物種）　ラット

（投与方法）　強制経口

（試験の種類）急性神経毒性試験

安全係数：100

ARfD：1 mg/kg 体重

②　妊婦又は妊娠している可能性のある女性

無毒性量：5 mg/kg 体重/day

（動物種）　ラット

（投与方法）　強制経口

（試験の種類）発生毒性試験

（期間）　妊娠6～19日

安全係数：100

ARfD：0.05 mg/kg 体重

６．諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2019年にADI及びARfDが設定されている。国際基準は設定されていない。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においておうとう、かんきつ類果実等に基準値が設定されている。

７．残留規制

（１）残留の規制対象

ピリフルキナゾンとする。

植物代謝試験において、作物の可食部で10%TRR以上認められた代謝物は代謝物Bであったが、ほとんどの作物残留試験において主要な残留物はピリフルキナゾンであったことから、残留の規制対象には代謝物Bを含めず、ピリフルキナゾンのみとする。

（２）基準値案

別紙2のとおりである。

８．暴露評価

（１）暴露評価対象

ピリフルキナゾン及び代謝物Bとする。

植物代謝試験において、作物の可食部で10%TRR以上認められた代謝物は代謝物Bであった。作物残留試験で代謝物Bの分析が行われており、一部の作物ではピリフルキナゾンより代謝物Bの残留濃度が高い場合もあることから、暴露評価対象をピリフルキナゾン及び代謝物Bとする。

なお、食品安全委員会は食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をピリフルキナゾン（親化合物のみ）としている。

（２）暴露評価結果

①　長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI／ADI(%)注)
国民全体（1歳以上）	33.1
幼小児（1～6歳）	65.0
妊婦	32.7
高齢者（65歳以上）	36.8

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。
EDI試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を算出したところ、国民全体（1歳以上）、幼小児（1～6歳）及び妊婦又は妊娠している可能性のある女性（14～50歳）のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量（ARfD）を超えていない[注)]。詳細な暴露評価は別紙4-1、4-2及び4-3参照。

注）暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

（別紙1）

ピリフルキナゾンの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計（mg/kg）注1)	各化合物の残留濃度（mg/kg）注2)【ピリフルキナゾン/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
未成熟とうもろこし（種子）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 200,191 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02
だいず（乾燥子実）	6	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 155～200 L/10 a	3	7,14,20,28	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02
					7,14,21,28	圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02
						圃場C:<0.03	圃場C:<0.01/<0.02
						圃場D:<0.03	圃場D:<0.01/<0.02
						圃場E:<0.03	圃場E:<0.01/<0.02
						圃場F:<0.03	圃場F:<0.01/<0.02
えんどうまめ（乾燥子実）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 171～183 L/10 a	3	7,14,21,28	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02
てんさい（根部）	3	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 180～200 L/10 a	3	7,14,21	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02
						圃場C:<0.03	圃場C:<0.01/<0.02
ばれいしょ（塊茎）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 300,150 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:<0.02	圃場A:<0.01/<0.011
						圃場B:<0.02	圃場B:<0.01/<0.011
かんしょ（塊根）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 188,180 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02
やまのいも（塊茎）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 198,177 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02
こんにゃく（球茎）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02
はくさい（茎葉）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 238,292 L/10 a	3	3,7,14	圃場A:0.33	圃場A:0.25/0.077
						圃場B:0.08（3回,7日）	圃場B:*0.04/*0.04（*3回,7日）
キャベツ（葉球）	2	20.0%顆粒水和剤	3000倍散布 200～300 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.02	圃場A:0.01/0.011
						圃場B:0.14	圃場B:0.10/0.044
カリフラワー（花蕾）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 220～281 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.16	圃場A:0.02/0.14
						圃場B:0.10	圃場B:0.02/0.08
ブロッコリー（花蕾）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 300,200 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.60（3回,3日）	圃場A:*0.50/*0.24（*3回,3日）
						圃場B:0.29	圃場B:0.21/0.088
レタス（茎葉）	4	20.0%顆粒水和剤	3000倍散布 150～200 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:1.18（3回,3日）	圃場A:*1.10/0.176（*3回,3日）
						圃場B:0.11（3回,3日）	圃場B:*0.10/0.011（*3回,3日）
					1,3	圃場C:0.05	圃場C:0.04/*0.011（*3回,3日）
						圃場D:0.55	圃場D:0.40/0.154
サラダ菜（茎葉）	2	20.0%顆粒水和剤	3000倍散布 300,*50*～150 L/10 a	3	1,3,7,14	圃場A:4.23（3回,7日）	圃場A:*2.98/*1.25（*3回,7日）
						圃場B:0.50（3回,7日）(#)	圃場B:*0.40/*0.099（*3回,7日）(#)
リーフレタス（茎葉）	2	20.0%顆粒水和剤	3000倍散布 150～200 L/10 a	3	*1*,*3*,7,14	圃場A:0.44	圃場A:0.34/0.099
						圃場B:0.12	圃場B:0.08/0.044
たまねぎ（鱗茎）	2	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 181,188 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02
ねぎ（茎葉）	2	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 179,200 L/10 a	3	3,7,14	圃場A:0.24	圃場A:0.22/<0.02
						圃場B:0.11	圃場B:0.09/<0.02
にら（茎葉）	3	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 181,171 L/10 a	2	1,3,7	圃場A:8.60	圃場A:6.66/1.94
						圃場B:1.85	圃場B:1.56/0.29
						圃場C:3.19	圃場C:2.88/0.31
アスパラガス（若茎）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 278,300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.12	圃場A:0.01/0.110
						圃場B:0.10	圃場B:0.03/0.066
ミニトマト（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 300 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.39	圃場A:0.37/0.022
						圃場B:0.28	圃場B:0.24/0.044
ピーマン（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 200,250 L/10 a	2	1,3,7	圃場A:0.37	圃場A:0.30/*0.132（*2回,3日）
						圃場B:0.26	圃場B:0.13/0.132
なす（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 130～150,200 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.03	圃場A:0.02/0.011
						圃場B:0.08	圃場B:0.07/<0.011
	2		*2000*倍散布 250,300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.03（#）	圃場A:0.02/0.011（#）
						圃場B:0.16（#）	圃場B:0.12/0.044（#）
ししとう（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 350,250 L/10 a	2	1,3,7	圃場A:0.59	圃場A:0.46/0.13
						圃場B:0.48	圃場B:0.30/0.18
甘長とうがらし（可食部）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 249,182 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:2.01	圃場A:1.43/0.58
						圃場B:1.39	圃場B:0.91/0.48
しょくようほおずき（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 250,277 L/10 a	3	3,7,14	圃場A:<0.03	圃場A:<0.01/<0.02
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02
きゅうり（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 220,300 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.02	圃場A:0.01/0.011
						圃場B:0.03	圃場B:0.02/<0.011
	2		*2000*倍散布 231～290 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.14（#）	圃場A:0.10/0.044（#）
						圃場B:0.08（#）	圃場B:0.05/0.033（#）

（別紙1）

ピリフルキナゾンの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計（mg/kg）注1)	各化合物の残留濃度（mg/kg）注2)【ピリフルキナゾン/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
かぼちゃ（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 228,280 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.03	圃場A:<0.01/*0.022（*3回,3日）
						圃場B:0.03	圃場B:<0.01/0.022
しろうり（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 300,330 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.10	圃場A:0.07/0.03
						圃場B:0.05	圃場B:0.02/0.03
すいか（果肉）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 200～250,252 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.02	圃場A:<0.01/<0.011
						圃場B:<0.02	圃場B:<0.01/<0.011
メロン（果肉）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.02	圃場A:<0.01/<0.011
						圃場B:<0.02	圃場B:<0.01/<0.011
にがうり（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 256,248 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.03	圃場A:0.02/<0.011
						圃場B:0.11	圃場B:0.10/<0.011
オクラ（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 245～269 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.17	圃場A:0.04/0.132
						圃場B:0.17	圃場B:0.02/0.154
さやえんどう（さや）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 200 L/10 a	2	1,3,7	圃場A:0.08	圃場A:0.06/0.02
						圃場B:0.13	圃場B:0.10/0.03
	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 284～300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.56	圃場A:0.43/0.13
						圃場B:0.32	圃場B:0.28/0.04
さやいんげん（さや）	2	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 168～186 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.13	圃場A:0.10/0.033
						圃場B:0.10	圃場B:0.02/0.08
	1	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.43	圃場A:0.32/0.11
えだまめ（さや）	3	20.0%顆粒水和剤	4000倍散布 160～190 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.14	圃場A:0.10/0.04
						圃場B:0.06	圃場B:0.04/0.02
						圃場C:0.08	圃場C:0.06/0.02
みかん（果肉）	2	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 500 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.02	圃場A:0.01/<0.011
					1,3,10	圃場B:0.02	圃場B:<0.01/0.011
みかん（果皮）	2	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 500 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:1.50	圃場A:1.38/*0.176（*3回,3日）
					1,3,10	圃場B:1.73	圃場B:1.58/0.418
みかん（果実全体）	2	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 500 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.25注3)	圃場A:0.22/*0.035注3)（*3回,3日）
					1,3,10	圃場B:0.41注3)	圃場B:0.32/0.091注3)
なつみかん（果実全体）	2	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 816～*1224*,500 L/10 a	3	1,3,28	圃場A:0.49（#）	圃場A:0.48/<0.011（#）
						圃場B:0.15	圃場B:0.14/<0.011
すだち（果実全体）	1	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 500 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.17	圃場A:0.15/0.022
かぼす（果実全体）	1	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 600 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.30	圃場A:0.29/*0.011（*3回,3日）
りんご（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	3000倍散布 500,580 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.16	圃場A:0.15/<0.011
						圃場B:0.04	圃場B:0.03/<0.011
なし（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	*2000*倍散布 500,700 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.32（#）	圃場A:0.31/0.011（#）
						圃場B:0.28（#）	圃場B:0.24/0.044（#）
もも（果肉）	2	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 400,444 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.05	圃場A:<0.01/0.044
						圃場B:<0.02	圃場B:<0.01/<0.011
もも（果皮）	2	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 400,444 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:2.66	圃場A:1.74/0.924
						圃場B:2.93	圃場B:2.46/*0.473（*3回,3日）
もも（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 400,444 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.34注4)	圃場A:0.20/0.136注4)
						圃場B:0.47注4)	圃場B:0.39/*0.083注4)（*3回,3日）
ネクタリン（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 400,500 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.27（3回,3日）	圃場A:*0.23/*0.044（*3回,3日）
						圃場B:0.13（3回,3日）	圃場B:*0.10/*0.033（*3回,3日）
すもも（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 350,400 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.05	圃場A:0.04/<0.011
						圃場B:0.04	圃場B:0.03/<0.011
うめ（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 390～398,400 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.42（3回,3日）	圃場A:*0.38/0.055（*3回,3日）
						圃場B:1.53	圃場B:1.47/0.055
おうとう（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 450 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.61（3回,3日）	圃場A:*0.37/*0.242（*3回,3日）
						圃場B:0.72	圃場B:0.63/0.088
いちご（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	3000倍散布 200,200～250 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.37	圃場A:0.30/0.066
						圃場B:0.98	圃場B:0.36/0.616
ぶどう（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	3000倍散布 200,500 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.39	圃場A:0.38/*0.011（*3回,14日）
						圃場B:1.09（3回,3日）	圃場B:*1.08/0.033（*3回,3日）
	2		3000倍散布 500,480 L/10 a	3	3,7,14,21	圃場A:1.29（3回,7日）	圃場A:1.22/0.066（3回,7日）
						圃場B:1.09（3回,3日）	圃場B:1.06/0.033（3回,3日）
かき（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 240,300 L/10 a	3	1,3,14	圃場A:0.19	圃場A:0.17/0.022
						圃場B:0.10	圃場B:0.09/<0.011
キウイフルーツ（果肉）	2	20.0%顆粒水和剤	3000倍散布 375,300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.04	圃場A:0.02/<0.02
						圃場B:<0.03	圃場B:<0.01/<0.02
マンゴー（果実）	2	20.0%顆粒水和剤	2000倍散布 314,400 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.11	圃場A:0.09/0.022
						圃場B:0.33（3回,3日）	圃場B:*0.32/*0.011（*3回,3日）

（別紙1）

ピリフルキナゾンの作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				各化合物の残留濃度の合計（mg/kg）注1)	各化合物の残留濃度（mg/kg）注2)【ピリフルキナゾン/代謝物B】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
茶（荒茶）	2	20.0%顆粒水和剤	3000倍散布 200～1000 L/10 a	2	*1*,*3*,7,14	圃場A:0.62	圃場A:0.27/0.352
						圃場B:3.32	圃場B:2.20/1.12
	2		2000倍散布 200～1000 L/10 a	2	*3*,7,14	圃場A:14.37	圃場A:8.72/5.65
						圃場B:5.61	圃場B:2.40/3.21
茶（浸出液）	2	20.0%顆粒水和剤	3000倍散布 200～1000 L/10 a	2	*1*,*3*,7,14	圃場A:0.15	圃場A:0.06/0.09
						圃場B:1.06	圃場B:0.75/0.31
	2		2000倍散布 200～1000 L/10 a	2	*3*,7,14	圃場A:2.00	圃場A:1.34/0.660
						圃場B:0.58	圃場B:0.32/0.264

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

注1）ピリフルキナゾン及び代謝物Bの合計濃度（ピリフルキナゾン濃度に換算した値）を示した。

注2）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

代謝物Bの残留濃度は、ピリフルキナゾン濃度に換算した値で示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注3）果肉及び果皮の重量比から計算した。

注4）果実、果肉及び果皮の重量比から、種子重量も考慮に入れて計算した。

農薬名　ピリフルキナゾン

（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
とうもろこし	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)(未成熟とうもろこし)
大豆	0.01	0.01	○			<0.01(n=6)
小豆類	0.05	0.05	○			(えんどう参照)
えんどう	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
そら豆	0.05	0.05	○			(えんどう参照)
その他の豆類	0.05	0.05	○			(えんどう参照)
ばれいしょ	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
かんしょ	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
やまいも(長いもをいう。)	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
こんにゃくいも	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
てんさい	0.01	0.01	○			<0.01,<0.01,<0.01
はくさい	0.7	0.7	○			0.04,0.25(¥)
キャベツ	0.3	0.3	○			0.01,0.10(¥)
カリフラワー	0.1	0.1	○			0.02,0.02(¥)
ブロッコリー	1	1	○			0.20,0.50(¥)
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	7	7	○			0.40,2.98(#)(サラダ菜)、0.08,0.34(リーフレタス)
たまねぎ	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
ねぎ(リーキを含む。)	0.7	0.7	○			0.09,0.22(¥)
にら	15	15	○			1.56,2.88,6.66
アスパラガス	0.2	0.2	○			0.01,0.03(¥)
トマト	1	1	○			0.24,0.37(¥)(ミニトマト)
ピーマン	0.7	0.7	○			0.13,0.30(¥)
なす	0.2	0.2	○			0.01～0.07(#)(n=4)※
その他のなす科野菜	3	3	○			0.91,1.43(¥)(甘長とうがらし)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.1	0.1	○			0.01～0.05(#)(n=4)※
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
しろうり	0.3	0.3	○			0.02,0.07(¥)
すいか	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
メロン類果実	0.05	0.05	○			<0.01,<0.01(¥)
その他のうり科野菜	0.3	0.3	○			0.02,0.10(¥)(にがうり)
オクラ	0.2	0.2	○			0.02,0.04(¥)
未成熟えんどう	1	0.3	○・申			0.28,0.43(¥)(さやえんどう)
未成熟いんげん	0.8	0.3	○・申			0.02,0.10,0.32(さやいんげん)
えだまめ	0.2		申			0.04,0.06,0.10
その他の野菜	1		申			(さやえんどう参照)
みかん(外果皮を含む。)	1	1	○			0.22,0.32(¥)
なつみかんの果実全体	1	1	○			0.14,0.48(#)(¥)
レモン	1	1	○			(なつみかんの果実全体参照)
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	1	1	○			(なつみかんの果実全体参照)
グレープフルーツ	1	1	○			(なつみかんの果実全体参照)
ライム	1	1	○			(なつみかんの果実全体参照)
その他のかんきつ類果実	1	1	○			(なつみかんの果実全体参照)
りんご	0.5	0.5	○			0.03,0.15(¥)
日本なし	0.7	0.7	○			0.16,0.21(#)(¥)※
西洋なし	0.7	0.7	○			(日本なし参照)
もも(果皮及び種子を含む。)	1	1	○			0.20,0.39(¥)
ネクタリン	0.7	0.7	○			0.10,0.23(¥)
あんず(アプリコットを含む。)	3	3	○			(うめ参照)
すもも(プルーンを含む。)	0.2	0.2	○			0.03,0.04(¥)
うめ	3	3	○			0.38,1.47(¥)
おうとう(チェリーを含む。)	2	2	○			0.37,0.63(¥)

農薬名　ピリフルキナゾン

（別紙2）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
いちご	1	1	○			0.30,0.36(¥)
ぶどう	3	3	○			0.38,1.08(¥)
かき	0.5	0.5	○			0.09,0.17(¥)
キウィー	0.1	0.1	○			<0.01,0.02(¥)
マンゴー	1	1	○			0.09,0.32(¥)
茶	20	20	○			0.41～8.72(n=4)(#)(荒茶)※
その他のスパイス	5	5	○			1.38,1.58(¥)(みかん果皮)

本基準（暫定基準以外の基準）を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。
「登録有無」の欄に「○」の記載があるものは、国内で農薬等としての使用が認められていることを示している。
「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。
(#)これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。
(¥)作物残留試験結果の最大値を基準値設定の根拠とした。
※）なす、きゅうり（ガーキンを含む。）、日本なし及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した。なお、GAPに適合した量として、なす及びきゅうり（ガーキンを含む。）は20.0%顆粒水和剤4000倍散布を基に、日本なしは3000倍散布を基に、茶は2000倍散布を基に換算した。

（別紙３）

ピリフルキナゾンの推定摂取量　（単位：μg／人／day）

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼小児 (1～6歳) TMDI	幼小児 (1～6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
とうもろこし	0.05	0.030	0.2	0.1	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1
大豆	0.01	0.030	0.4	1.2	0.2	0.6	0.3	0.9	0.5	1.4
小豆類	0.05	0.030	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1
えんどう	0.05	0.030	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.05	0.030	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の豆類	0.05	0.030	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	0.05	0.020	1.9	0.8	1.7	0.7	2.1	0.8	1.8	0.7
かんしょ	0.05	0.030	0.3	0.2	0.3	0.2	0.6	0.4	0.5	0.3
やまいも（長いもをいう。）	0.05	0.030	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1
こんにゃくいも	0.05	0.030	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
てんさい	0.01	0.030	0.3	1.0	0.3	0.8	0.4	1.2	0.3	1.0
はくさい	0.7	0.205	12.4	3.6	3.6	1.0	11.6	3.4	15.1	4.4
キャベツ	0.3	0.080	7.2	1.9	3.5	0.9	5.7	1.5	7.1	1.9
カリフラワー	0.1	0.130	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
ブロッコリー	1	0.445	5.2	2.3	3.3	1.5	5.5	2.4	5.7	2.5
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	7	1.323	67.2	12.7	30.8	5.8	79.8	15.1	64.4	12.2
たまねぎ	0.05	0.030	1.6	0.9	1.1	0.7	1.8	1.1	1.4	0.8
ねぎ（リーキを含む。）	0.7	0.175	6.6	1.6	2.6	0.6	4.8	1.2	7.5	1.9
にら	15	4.547	30.0	9.1	13.5	4.1	27.0	8.2	31.5	9.5
アスパラガス	0.2	0.110	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.5	0.3
トマト	1	0.335	32.1	10.8	19.0	6.4	32.0	10.7	36.6	12.3
ピーマン	0.7	0.315	3.4	1.5	1.5	0.7	5.3	2.4	3.4	1.5
なす	0.2	0.051	2.4	0.6	0.4	0.1	2.0	0.5	3.4	0.9
その他のなす科野菜	3	1.700	3.3	1.9	0.3	0.2	3.6	2.0	3.6	2.0
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.1	0.040	2.1	0.8	1.0	0.4	1.4	0.6	2.6	1.0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.05	0.030	0.5	0.3	0.2	0.1	0.4	0.2	0.7	0.4
しろうり	0.3	0.075	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1
すいか	0.05	0.020	0.4	0.2	0.3	0.1	0.7	0.3	0.6	0.2
メロン類果実	0.05	0.020	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1
その他のうり科野菜	0.3	0.070	0.8	0.2	0.4	0.1	0.2	0.0	1.0	0.2
オクラ	0.2	0.170	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3
未成熟えんどう	1	0.440	1.6	0.7	0.5	0.2	0.2	0.1	2.4	1.1
未成熟いんげん	0.8	0.220	1.9	0.5	0.9	0.2	0.1	0.0	2.6	0.7
えだまめ	0.2	0.093	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.5	0.3
その他の野菜	1	0.440	13.4	5.9	6.3	2.8	10.1	4.4	14.1	6.2
みかん（外果皮を含む。）	1	0.020	17.8	0.4	16.4	0.3	0.6	0.0	26.2	0.5
なつみかんの果実全体	1	0.320	1.3	0.4	0.7	0.2	4.8	1.5	2.1	0.7
レモン	1	0.320	0.5	0.2	0.1	0.0	0.2	0.1	0.6	0.2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	1	0.320	7.0	2.2	14.6	4.7	12.5	4.0	4.2	1.3
グレープフルーツ	1	0.320	4.2	1.3	2.3	0.7	8.9	2.8	3.5	1.1
ライム	1	0.320	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のかんきつ類果実	1	0.320	5.9	1.9	2.7	0.9	2.5	0.8	9.5	3.0
りんご	0.5	0.100	12.1	2.4	15.5	3.1	9.4	1.9	16.2	3.2
日本なし	0.7	0.200	4.5	1.3	2.4	0.7	6.4	1.8	5.5	1.6
西洋なし	0.7	0.200	0.4	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.1
もも（果皮及び種子を含む。）	1	0.035	3.4	0.1	3.7	0.1	5.3	0.2	4.4	0.2
ネクタリン	0.7	0.200	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
あんず（アプリコットを含む。）	3	0.975	0.6	0.2	0.3	0.1	0.3	0.1	1.2	0.4
すもも（プルーンを含む。）	0.2	0.045	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
うめ	3	0.975	4.2	1.4	0.9	0.3	1.8	0.6	5.4	1.8
おうとう（チェリーを含む。）	2	0.665	0.8	0.3	1.4	0.5	0.2	0.1	0.6	0.2
いちご	1	0.675	5.4	3.6	7.8	5.3	5.2	3.5	5.9	4.0
ぶどう	3	0.740	26.1	6.4	24.6	6.1	60.6	14.9	27.0	6.7
かき	0.5	0.145	5.0	1.4	0.9	0.2	2.0	0.6	9.1	2.6
キウィー	0.1	0.035	0.2	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.3	0.1
マンゴー	1	0.220	0.3	0.1	0.3	0.1	0.1	0.0	0.3	0.1
茶	20	1.099	132.0	7.3	20.0	1.1	74.0	4.1	188.0	10.3
その他のスパイス	5	1.615	0.5	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2	1.0	0.3
計			429.5	91.2	208.3	53.6	392.8	95.8	521.0	103.2
ADI比（%）			155.9	33.1	252.5	65.0	134.3	32.7	185.7	36.8

TMDI：理論最大1日摂取量（Theoretical Maximum Daily Intake）
TMDI試算法：基準値案×各食品の平均摂取量
EDI：推定1日摂取量（Estimated Daily Intake）
EDI試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量
EDI試算の暴露評価に用いた数値には、暴露評価対象であるピリフルキナゾン及び代謝物Bをピリフルキナゾンに換算した濃度の合計濃度を使用した。
みかん(外果皮を含む。）及びもも（果皮及び種子を含む。）については、果肉における作物残留試験成績を用いてEDI試算をした。
なす、きゅうり（ガーキンを含む。）、日本なし及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を、評価に用いた数値に使用した。
茶については、浸出液における作物残留試験結果を用いてEDI試算をした。

ピリフルキナゾンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 （ppm）	評価に用いた数値 （ppm）	ESTI （μg/kg 体重/day）	ESTI/ARfD （%）
とうもろこし	スイートコーン	0.05	0.2	2.3	0
大豆	大豆	0.01	○ 0.03	0.0	0
小豆類	いんげん	0.05	○ 0.03	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	0.1	0.9	0
かんしょ	かんしょ	0.05	0.2	2.5	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.05	0.2	1.6	0
はくさい	はくさい	0.7	1	13.0	1
キャベツ	キャベツ	0.3	0.5	4.8	0
カリフラワー	カリフラワー	0.1	0.5	3.7	0
ブロッコリー	ブロッコリー	1	2	12.0	1
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	7	○ 4.23	23.9	2
たまねぎ	たまねぎ	0.05	0.2	1.6	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.7	0.7	2.7	0
にら	にら	15	20	26.9	3
アスパラガス	アスパラガス	0.2	0.5	1.0	0
トマト	トマト	1	1	10.9	1
ピーマン	ピーマン	0.7	1	2.6	0
なす	なす	0.2	○ 0.08	0.5	0
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	3	5	8.1	1
	ししとう	3	5	5.1	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.1	○ 0.07	0.4	0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.05	0.2	2.0	0
	ズッキーニ	0.05	0.2	1.4	0
しろうり	しろうり	0.3	0.3	2.5	0
すいか	すいか	0.05	0.1	3.3	0
メロン類果実	メロン	0.05	0.1	1.7	0
その他のうり科野菜	とうがん	0.3	0.5	8.5	1
	にがうり	0.3	0.5	4.0	0
オクラ	オクラ	0.2	0.5	0.7	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	1	2	3.3	0
	未成熟えんどう（豆）	1	2	3.4	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.8	1	1.9	0
えだまめ	えだまめ	0.2	0.3	0.8	0
その他の野菜	ずいき	1	2	20.2	2
	もやし	1	2	4.6	0
	れんこん	1	2	12.4	1
	そら豆（生）	1	2	5.9	1
みかん（外果皮を含む。）	みかん	1	0.1	0.9	0
なつみかんの果実全体	なつみかん	1	1	12.4	1
レモン	レモン	1	1	2.1	0
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	1	1	9.4	1
	オレンジ果汁	1	○ 0.32	3.2	0
グレープフルーツ	グレープフルーツ	1	1	17.2	2
その他のかんきつ類果実	きんかん	1	1	2.4	0
	ぽんかん	1	1	10.5	1
	ゆず	1	1	1.6	0
	すだち	1	1	1.6	0
りんご	りんご	0.5	0.5	7.1	1
	りんご果汁	0.5	○ 0.1	1.1	0
日本なし	日本なし	0.7	0.7	10.6	1
西洋なし	西洋なし	0.7	0.7	9.8	1
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	0.2	2.7	0
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	0.2	0.2	1.2	0
うめ	うめ	3	5	6.9	1
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	2	2	5.0	1
いちご	いちご	1	2	7.6	1
ぶどう	ぶどう	3	3	40.4	4
かき	かき	0.5	0.5	7.1	1
キウィー	キウィー	0.1	0.2	1.1	0
マンゴー	マンゴー	1	1	13.5	1
茶	緑茶類	20	○ 1.09	0.7	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

暴露評価に用いた数値には、暴露評価対象であるピリフルキナゾン及び代謝物Bをピリフルキナゾンに換算した濃度の合計濃度を用いた。

みかん(外果皮を含む。）及びもも（果皮及び種子を含む。）については、果肉の作物残留試験結果より算出した果肉の基準値に相当する値を用いて短期摂取量を推計した。

なす、きゅうり（ガーキンを含む。）、日本なし及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を、評価に用いた数値に使用した。

茶については、浸出液における作物残留試験結果を用いて試算をした。

ピリフルキナゾンの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg 体重/day）	ESTI/ARfD (%)
とうもろこし	スイートコーン	0.05	0.2	4.8	0
大豆	大豆	0.01	○ 0.03	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	0.1	2.3	0
かんしょ	かんしょ	0.05	0.2	5.0	1
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	0.05	0.2	2.7	0
はくさい	はくさい	0.7	1	15.7	2
キャベツ	キャベツ	0.3	0.5	7.8	1
ブロッコリー	ブロッコリー	1	2	28.8	3
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	7	○ 4.23	41.6	4
たまねぎ	たまねぎ	0.05	0.2	3.5	0
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	0.7	0.7	4.5	0
にら	にら	15	20	42.1	4
トマト	トマト	1	1	27.2	3
ピーマン	ピーマン	0.7	1	6.5	1
なす	なす	0.2	○ 0.08	1.3	0
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	0.1	○ 0.07	1.0	0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	0.05	0.2	3.2	0
すいか	すいか	0.05	0.1	8.7	1
メロン類果実	メロン	0.05	0.1	2.9	0
オクラ	オクラ	0.2	0.5	2.2	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	1	2	2.5	0
	未成熟えんどう（豆）	1	2	3.6	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.8	1	4.0	0
えだまめ	えだまめ	0.2	0.3	0.8	0
その他の野菜	もやし	1	2	8.4	1
	れんこん	1	2	20.6	2
みかん（外果皮を含む。）	みかん	1	0.1	2.7	0
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	1	1	26.9	3
	オレンジ果汁	1	○ 0.32	5.7	1
りんご	りんご	0.5	0.5	16.0	2
	りんご果汁	0.5	○ 0.1	3.4	0
日本なし	日本なし	0.7	0.7	20.1	2
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	0.2	8.5	1
うめ	うめ	3	5	17.1	2
いちご	いちご	1	2	21.6	2
ぶどう	ぶどう	3	3	91.8	9
かき	かき	0.5	0.5	10.5	1
茶	緑茶類	20	○ 1.09	1.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

暴露評価に用いた数値には、暴露評価対象であるピリフルキナゾン及び代謝物Bをピリフルキナゾンに換算した濃度の合計濃度を用いた。

みかん(外果皮を含む。）及びもも（果皮及び種子を含む。）については、果肉の作物残留試験結果より算出した果肉の基準値に相当する値を用いて短期摂取量を推計した。

なす、きゅうり（ガーキンを含む。）、日本なし及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を、評価に用いた数値に使用した。

茶については、浸出液における作物残留試験結果を用いて試算をした。

ピリフルキナゾンの推定摂取量（短期）：妊婦又は妊娠している可能性のある女性(14～50歳)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg 体重/day）	ESTI/ARfD (%)
とうもろこし	スイートコーン	0.05	0.2	1.9	4
大豆	大豆	0.01	○ 0.03	0.0	0
小豆類	いんげん	0.05	○ 0.03	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.05	0.1	0.9	2
かんしょ	かんしょ	0.05	0.2	2.0	4
やまいも（長いも）	やまいも	0.05	0.2	1.6	3
はくさい	はくさい	0.7	1	11.6	20
キャベツ	キャベツ	0.3	0.5	4.7	9
カリフラワー	カリフラワー	0.1	0.5	3.7	7
ブロッコリー	ブロッコリー	1	2	12.5	30
レタス	レタス類	7	○ 4.23	24.0	50
たまねぎ	たまねぎ	0.05	0.2	1.6	3
ねぎ	ねぎ	0.7	0.7	2.4	5
にら	にら	15	20	18.8	40
アスパラガス	アスパラガス	0.2	0.5	0.9	2
トマト	トマト	1	1	9.8	20
ピーマン	ピーマン	0.7	1	2.4	5
なす	なす	0.2	○ 0.08	0.5	1
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	3	5	8.1	20
	ししとう	3	5	6.1	10
きゅうり	きゅうり	0.1	○ 0.07	0.4	1
かぼちゃ	かぼちゃ	0.05	0.2	1.9	4
	ズッキーニ	0.05	0.2	1.4	3
しろうり	しろうり	0.3	0.3	2.5	5
すいか	すいか	0.05	0.1	3.4	7
メロン類果実	メロン	0.05	0.1	1.8	4
その他のうり科野菜	とうがん	0.3	0.5	8.5	20
	にがうり	0.3	0.5	4.4	9
オクラ	オクラ	0.2	0.5	0.7	1
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	1	2	2.7	5
	未成熟えんどう（豆）	1	2	2.3	5
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.8	1	1.4	3
えだまめ	えだまめ	0.2	0.3	0.7	1
その他の野菜	ずいき	1	2	20.3	40
	もやし	1	2	4.5	9
	れんこん	1	2	12.1	20
	そら豆（生）	1	2	5.9	10
みかん（外果皮を含む。）	みかん	1	0.1	0.8	2
なつみかんの果実全体	なつみかん	1	1	12.4	20
レモン	レモン	1	1	2.1	4
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	1	1	8.6	20
	オレンジ果汁	1	○ 0.32	2.3	5
グレープフルーツ	グレープフルーツ	1	1	16.2	30
その他のかんきつ類果実	きんかん	1	1	2.4	5
	ぽんかん	1	1	10.5	20
	ゆず	1	1	1.5	3
	すだち	1	1	1.6	3
りんご	りんご	0.5	0.5	6.8	10
	りんご果汁	0.5	○ 0.1	1.1	2
日本なし	日本なし	0.7	0.7	10.2	20
西洋なし	西洋なし	0.7	0.7	9.8	20
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	1	0.2	2.6	5
すもも	プルーン	0.2	0.2	1.2	2
うめ	うめ	3	5	6.8	10
おうとう	おうとう	2	2	5.0	10
いちご	いちご	1	2	6.7	10
ぶどう	ぶどう	3	3	39.3	80
かき	かき	0.5	0.5	6.4	10

ピリフルキナゾンの推定摂取量（短期）：妊婦又は妊娠している可能性のある女性(14～50歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI (μg/kg 体重/day)	ESTI/ARfD (%)
キウイー	キウィー	0.1	0.2	1.2	2
マンゴー	マンゴー	1	1	13.5	30
茶	緑茶類	20	○ 1.09	0.6	1

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

暴露評価に用いた数値には、暴露評価対象であるピリフルキナゾン及び代謝物Bをピリフルキナゾンに換算した濃度の合計濃度を用いた。

みかん(外果皮を含む。）及びもも（果皮及び種子を含む。）については、果肉の作物残留試験結果より算出した果肉の基準値に相当する値を用いて短期摂取量を推計した。

なす、きゅうり（ガーキンを含む。）、日本なし及び茶については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を、評価に用いた数値に使用した。

茶については、浸出液における作物残留試験結果を用いて試算をした。

（参考）

これまでの経緯

平成１９年１１月２９日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼（新規：ばれいしょ、キャベツ等）
平成１９年１２月１８日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２１年　７月３０日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２２年　１月２７日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２２年１０月２０日	残留農薬基準告示
平成２４年　３月　８日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼（適用拡大：だいこん、はくさい等）
平成２４年　５月１６日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２４年１２月１０日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２５年　７月２３日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２６年　４月２４日	残留農薬基準告示
平成２６年　２月　５日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼（適用拡大：かんしょ、たまねぎ等）
平成２６年　３月２０日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２６年１０月　７日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２７年　１月２０日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２７年　５月１９日	残留農薬基準告示
平成２８年　５月２５日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼（適用拡大：やまのいも、にがうり等）
平成２８年１２月１３日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２９年　２月２８日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２９年　９月　７日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成３０年　５月３０日	残留農薬基準告示

平成３１年　２月２０日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼(適用拡大：てんさい、カリフラワー等)
令和　元年１２月１８日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和　２年　２月２５日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和　２年　６月２３日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
令和　３年　２月　３日	残留農薬基準告示
令和　２年１０月１６日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る基準値設定依頼(適用拡大：豆類（未成熟）及びさやいんげん)
令和　４年　１月１９日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和　４年　３月　９日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和　４年　７月２２日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和　４年　７月２８日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

［委員］

○穐山	浩	学校法人星薬科大学薬学部薬品分析化学研究室教授
石井	里枝	埼玉県衛生研究所化学検査室長
井之上	浩一	学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室教授
大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部生理学教授
加藤	くみ子	学校法人北里研究所北里大学薬学部分析化学教室教授
魏	民	公立大学法人大阪大阪公立大学大学院医学研究科 環境リスク評価学准教授
佐藤	洋	国立大学法人岩手大学農学部共同獣医学科比較薬理毒性学研究室教授
佐野	元彦	国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
須恵	雅之	学校法人東京農業大学応用生物科学部農芸化学科 生物有機化学研究室教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部長
中島	美紀	国立大学法人金沢大学ナノ生命科学研究所 薬物代謝安全性学研究室教授
永山	敏廣	学校法人明治薬科大学薬学部特任教授
根本	了	国立医薬品食品衛生研究所食品部主任研究官
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会信頼性保証室付技術顧問
二村	睦子	日本生活協同組合連合会常務理事

（○：部会長）

答申（案）

ピリフルキナゾン

食品名	残留基準値 ppm
とうもろこし	0.05
大豆	0.01
小豆類[注1)]	0.05
えんどう	0.05
そら豆	0.05
その他の豆類[注2)]	0.05
ばれいしょ	0.05
かんしょ	0.05
やまいも（長いもをいう。）	0.05
こんにゃくいも	0.05
てんさい	0.01
はくさい	0.7
キャベツ	0.3
カリフラワー	0.1
ブロッコリー	1
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	7
たまねぎ	0.05
ねぎ（リーキを含む。）	0.7
にら	15
アスパラガス	0.2
トマト	1
ピーマン	0.7
なす	0.2
その他のなす科野菜[注3)]	3
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.05
しろうり	0.3
すいか	0.05
メロン類果実	0.05
その他のうり科野菜[注4)]	0.3
オクラ	0.2
未成熟えんどう	1
未成熟いんげん	0.8
えだまめ	0.2
その他の野菜[注5)]	1
みかん（外果皮を含む。）	1
なつみかんの果実全体	1
レモン	1

食品名	残留基準値 ppm
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。） グレープフルーツ ライム その他のかんきつ類果実[注6)]	1 1 1 1
りんご 日本なし 西洋なし	0.5 0.7 0.7
もも（果皮及び種子を含む。） ネクタリン あんず（アプリコットを含む。） すもも（プルーンを含む。） うめ おうとう（チェリーを含む。）	1 0.7 3 0.2 3 2
いちご	1
ぶどう かき	3 0.5
キウィー マンゴー	0.1 1
茶	20
その他のスパイス[注7)]	5

注1）「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。
注2）「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。
注3）「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。
注4）「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。
注5）「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注6）「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。
注7）「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

令和８年５月 19 日開催部会

ボスカリド

今般の残留基準の検討については、農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において内閣総理大臣からの依頼に伴う食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

１．概要

（１）品目名：ボスカリド[Boscalid(ISO)]

（２）分　類：農薬

（３）用　途：殺菌剤

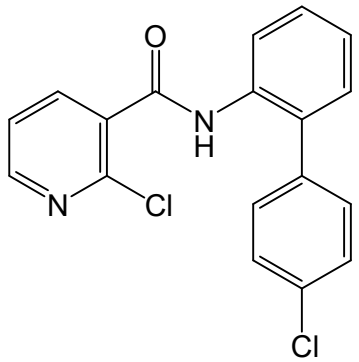
アミド系の殺菌剤である。ミトコンドリア内膜のコハク酸脱水素酵素（複合体Ⅱ）の電子伝達を阻害することで殺菌作用を示すと考えられている。

（４）化学名及びCAS 番号

2-Chloro-*N*-(4'-chlorobiphenyl-2-yl)nicotinamide (IUPAC)

3-Pyridinecarboxamide, 2-chloro-*N*-(4'-chloro[1,1'-biphenyl]-2-yl)-
(CAS：No.188425-85-6)

（５）構造式及び物性



分 子 式	$C_{18}H_{12}Cl_2N_2O$
分 子 量	343.20
水溶解度	4.64×10^{-3} g/L (20℃)
分配係数	$\log_{10}Pow = 2.96$

２．適用の範囲及び使用方法

本剤の国内及び海外における適用の範囲及び使用方法は、別紙1-1、1-2及び1-3のとおり。なお、今般の基準値設定依頼にかかる新たな適用の範囲及び使用方法は網掛けとしている。

３．代謝試験

（１）植物代謝試験

植物代謝試験が、いんげんまめ、レタス及びぶどうで実施されており、可食部で親化合物の残留が認められ、10%TRR[注)] 以上認められた代謝物は、代謝物R（いんげんまめ）であった。

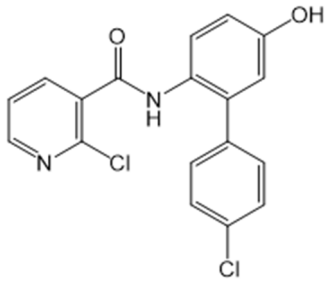
注）%TRR：総放射性残留物（TRR：Total Radioactive Residues）濃度に対する比率（%）

（２）家畜代謝試験

家畜代謝試験が、泌乳山羊及び産卵鶏で実施されており、乳汁並びにいずれの臓器及び組織においても、ボスカリドの残留が認められている。可食部で10%TRR以上認められた代謝物は、代謝物B（泌乳山羊の筋肉、脂肪及び乳並びに産卵鶏の卵）、代謝物BB（泌乳山羊の乳及び産卵鶏の肝臓）、代謝物C（泌乳山羊の筋肉及び腎臓並びに産卵鶏の卵）、代謝物CC（泌乳山羊及び産卵鶏の肝臓）、代謝物DD（泌乳山羊の肝臓及び乳）及び代謝物T（泌乳山羊及び産卵鶏の肝臓）であった。代謝物BB、代謝物CC、代謝物DD及び代謝物Tは、酸性条件下マイクロウエーブ処理による抽出過程において遊離、生成された、ボスカリド又は代謝物Bのアーティファクトと考えられた。

【代謝物略称一覧】

略称	JMPR評価書の略称	化学名
B	M510F01	2-クロロ-*N*-(4’-クロロ-5-ヒドロキシ-ビフェニル-2-イル)ニコチンアミド
BB	M510F51	*N*-(4’-クロロ-5-ヒドロキシビフェニル-2-イル)-2-ヒドロキシニコチンアミド
C	M510F02	4’-クロロ-6-{[(2-クロロ-3-ピリジニル)カルボニル]アミノ}ビフェニル-3-イルグリコピラノシドウロン酸
CC	M510F52	4-クロロ-2’-(フォルミルアミノ)-ビフェニル
DD	M510F53	4-クロロ-2’-(アセチルアミノ)-ビフェニル
R	M510F47	2-クロロニコチン酸
T	M510F49	*N*-(4’-クロロビフェニル-2-イル)-2-ヒドロキシニコチンアミド



代謝物B

注）残留試験の分析対象及び暴露評価対象となっている代謝物について構造式を明記した。

４．作物残留試験

（１）分析の概要

①　分析対象物質

・ボスカリド

②　分析法の概要

【国内】

試料からメタノールで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム、シリカゲルカラム、グラファイトカーボンカラム、オクタデシルシリル化シリカゲル（C_{18}）カラム等を用いて精製した後、高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ(GC-NPD)で定量する。

または、試料からメタノールで抽出し、多孔性ケイソウ土・シリカゲル連結カラム及びグラファイトカーボンカラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計（LC-MS）で定量する。

または、試料からアセトニトリルで抽出し、C_{18}カラムで精製し、液体クロマトグラフ・タンデム型質量分析計（LC-MS/MS）で定量する。

茶の熱湯浸出液については、試料に沸騰水を加え5分放置した後、ろ過する。*n*-ヘキサンに転溶し、C_{18}カラムを用いて精製した後、電子捕獲型検出器付きガスクロマトグラフ(GC-ECD)で定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶後、アセトンに再溶解してガスクロマトグラフ・質量分析計（GC-MS）で定量する。

または、アセトニトリルで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム及びフロリジルカラムで精製し、GC-NPDで定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム及びグラファイトカーボン/アミノプロピルシリル化シリカゲル積層カラム（GC/NH_2）で精製した後、GC-MSで定量する。

または、試料からアセトンで抽出し、*n*-ヘキサンに転溶して多孔性ケイソウ土カラム・フロリジルカラムの連結カラム及び中性アルミナカラムで精製し、紫外分光光度型検出器付き高速液体クロマトグラフ(HPLC-UV）を用いて定量する。

あるいは、試料からメタノールで抽出し、多孔性ケイソウ土カラムで精製し、シリカゲルカラム及びエチレンジアミン-*N*-プロピルシリル化シリカゲルカラム（PSA）で精製した後、HPLC-UVを用いて定量する。

定量限界: 0.005～0.5 mg/kg

【海外】

試料からメタノール・水・2 mol/L塩酸（14:5:1）混液で抽出し、シクロヘキサンに転溶する。シリカゲルカラムを用いて精製した後、LC-MS/MSで定量する。

定量限界: 0.005 mg/kg

（２）作物残留試験結果

国内作物残留試験については、だいこん、すいか、メロン等の試験成績を追加した。試験成績の概要を別紙2-1～2-3に示す。

５．畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料中の残留濃度及び動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

（１）分析の概要

①　分析対象物質

・ボスカリド

・代謝物B（抱合体を含む。）

②　分析法の概要

試料からメタノールで抽出し、β-グルクロニダーゼ/アリルスルファターゼで処理して代謝物C（代謝物Bのグルクロン酸抱合体）を代謝物Bに変換する。酢酸エチルに転溶し、C_{18}カラム及び必要に応じてシリカゲルカラムを用いて精製した後、ボスカリド及び代謝物BをLC-MS/MSで定量する。

または、試料からメタノールで抽出し、β-グルクロニダーゼ/アリルスルファターゼで処理する。水、アセトン、塩化ナトリウム及び酢酸エチル・シクロヘキサン（1:1）混液を加えて分配し有機層を採り、ゲル浸透クロマトグラフ（GPC）を用いて精製する。無水酢酸で代謝物Bをアセチル化した後、シリカゲルカラムを用いて精製し、ボスカリド及び代謝物B（アセチル化体）をGC-ECDで定量する。なお、代謝物Bの分析値は、換算係数0.955を用いてボスカリド濃度に換算した値として示した。

定量限界：ボスカリド　　0.01～0.025 mg/kg

代謝物B（抱合体を含む。）　0.01～0.024 mg/kg（ボスカリド換算濃度）

（２）家畜残留試験（動物飼養試験）

①　乳牛を用いた残留試験

乳牛（ホルスタイン種、体重504～640kg、13頭/時点）に対して、ボスカリドが飼料中濃度として1.5、4.5及び18 ppm に相当する量を28日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳に含まれるボスカリド及び代謝物濃度を測定した。結果については表1を参照。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度（mg/kg）

		1.5 ppm投与群	4.5 ppm投与群	18 ppm投与群
筋肉	ボスカリド	<0.025(最大) <0.025(平均)	<0.025(最大) <0.025(平均)	0.033(最大) 0.028(平均)
	代謝物B注)	<0.025(最大) <0.025(平均)	<0.025(最大) <0.025(平均)	<0.025(最大) <0.025(平均)
	ボスカリド＋代謝物B注)	<0.050(最大) <0.050(平均)	<0.050(最大) <0.050(平均)	0.058(最大) 0.053(平均)
脂肪	ボスカリド	0.053(最大) 0.034(平均)	0.099(最大) 0.080(平均)	0.27(最大) 0.24(平均)
	代謝物B注)	<0.025(最大) <0.025(平均)	<0.025(最大) <0.025(平均)	<0.025(最大) <0.025(平均)
	ボスカリド＋代謝物B注)	0.078(最大) 0.059(平均)	0.124(最大) 0.105(平均)	0.295(最大) 0.265(平均)
肝臓	ボスカリド	<0.025(最大) <0.025(平均)	<0.025(最大) <0.025(平均)	0.08(最大) 0.07(平均)
	代謝物B注)	<0.025(最大) <0.025(平均)	0.039(最大) 0.032(平均)	0.12(最大) 0.11(平均)
	ボスカリド＋代謝物B注)	<0.050(最大) <0.050(平均)	0.064(最大) 0.057(平均)	0.20(最大) 0.18(平均)
腎臓	ボスカリド	<0.025(最大) <0.025(平均)	<0.025(最大) <0.025(平均)	0.044(最大) 0.031(平均)
	代謝物B注)	<0.025(最大) <0.025(平均)	0.063(最大) 0.049(平均)	0.29(最大) 0.20(平均)
	ボスカリド＋代謝物B注)	<0.050(最大) <0.050(平均)	0.088(最大) 0.074(平均)	0.334(最大) 0.231(平均)
乳	ボスカリド	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	0.033(最大) 0.028(平均)
	代謝物B注)	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)	<0.01(最大) <0.01(平均)
	ボスカリド＋代謝物B注)	<0.02(最大) <0.02(平均)	<0.02(最大) <0.02(平均)	0.034(最大) 0.029(平均)

注）抱合体を含む

定量限界：ボスカリド　筋肉0.025 mg/kg、脂肪0.025 mg/kg、肝臓0.025 mg/kg、腎臓0.025 mg/kg、乳0.01 mg/kg

代謝物B（抱合体を含む。）　筋肉0.024 mg/kg、脂肪0.024 mg/kg、肝臓0.024 mg/kg、腎臓0.024 mg/kg、乳0.01 mg/kg

上記の結果に関連して、JMPR は、肉牛及び乳牛の最大飼料由来負荷[注1)] をそれぞれ34.9及び 34.5 ppm、平均的飼料由来負荷[注2)] をそれぞれ 12.1及び12.0 ppm と評価している。

注1）最大飼料由来負荷（Maximum dietary burden）：飼料の原料に農薬が最大まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2）平均的飼料由来負荷（Mean dietary burden）：飼料の原料に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に（作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる）、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる平均濃度。飼料中濃度として表示される。

② 産卵鶏を用いた代謝試験

産卵鶏において、放射性標識ボスカリドを用いた代謝試験が実施されている。

産卵鶏に対して、飼料中濃度として12.5 ppmに相当する量の^{14}C標識ボスカリドを含有するカプセルを10日間にわたり強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓及び鶏卵に含まれる総放射性残留物及びボスカリド濃度を測定した。

その結果、鶏卵及び脂肪中のボスカリドの濃度は0.020～0.023 mg/kgであった。肝臓からはボスカリドは検出されず、筋肉は放射性残留濃度自体が極めて低かった（0.0025 mg/kg）。

JMPR は、産卵鶏の最大飼料由来負荷を8.7 ppm、平均的飼料由来負荷を3.04 ppmと評価している。産卵鶏の筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び鶏卵における推定最大残留濃度と平均的な残留濃度を分析法としての定量限界を基にいずれも0.02 mg/kgとしている。

（３）推定残留濃度

牛について、最大及び平均的飼料由来負荷と家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果において、最大残留濃度はボスカリドのみの値で示した。平均的残留濃度はボスカリドと代謝物B（抱合体を含む。）の合計値で示した。表2を参照。

表2. 畜産物中の推定残留濃度：牛（mg/kg）

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳
牛	0.062 (0.035)	0.51 (0.18)	0.15 (0.12)	0.083 (0.16)	0.055 (0.033)

上段：最大残留濃度　　下段括弧内：平均的な残留濃度

６．許容一日摂取量（ADI）及び急性参照用量（ARfD）の評価

食品安全基本法（平成15年法律第48号）第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたボスカリドに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

（１）ADI

ADI：0.044 mg/kg体重/日

(ADI設定根拠資料) 慢性毒性試験

(動物種)　　ラット

(期間)　　2年間

(投与方法)　混餌

(無毒性量)　4.4 mg/kg体重/日

(安全係数)　100

（２）ARfD

ARfD ：3 mg/kg体重

(ARfD 設定根拠資料)　発生毒性試験

(動物種)　　ウサギ

(期間)　　妊娠 7～28 日

(投与方法)　経口

(無毒性量)　300 mg/kg体重/日

(安全係数)　100

７．諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2006年にADIが設定され、ARfDは設定の必要なしとされている。国際基準は大豆、ばれいしょ等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてしょうが、西洋なし等に、カナダにおいて穀類、あぶらな科野菜等に、EUにおいて大豆、ぶどう等に、豪州においてたまねぎ、きゅうり等に、ニュージーランドにおいてりんご、キウィー等に基準値が設定されている。

８．残留規制

（１）残留の規制対象

ボスカリドとする。

植物代謝試験において、可食部にボスカリドが認められ、いずれの植物においても残留物の主要成分であった。10%TRR以上認められる代謝物は代謝物R（いんげんまめの未成熟期の子実）であったが、他の植物では認められなかったこと、家畜代謝試験においては代謝物B、代謝物BB、代謝物C、代謝物CC、代謝物DD及び代謝物Tが認められたが、代謝物BB、代謝物C、代謝物CC、代謝物DD及び代謝物Tは、抽出過程において生成した、ボスカリド又は代謝物Bのアーティファクトと考えられることから、残留の規制対象をボスカリドとする。また、国際基準においては規制対象をボスカリドのみとしている。

（２）基準値案

別紙3のとおりである。

９．暴露評価

（１）暴露評価対象

農産物にあっては、ボスカリドとし、畜産物にあっては、ボスカリド及び代謝物B（抱合体を含む。）とする。

植物代謝試験において、可食部にボスカリドが認められ、いずれの植物においても残留物の主要成分であった。10%TRR以上認められる代謝物は代謝物R（いんげんまめの未成熟期の子実）であったが、他の植物では認められなかった。家畜代謝試験においては代謝物B、代謝物BB、代謝物C、代謝物CC、代謝物DD及び代謝物Tが認められたが、代謝物BB、代謝物CC、代謝物DD及び代謝物Tは、抽出過程において生成した、ボスカリド又は代謝物Bのアーティファクトと考えられた。代謝物B及びそのグルクロン酸抱合体である代謝物Cは、家畜残留試験においてボスカリドを超える残留が認められることがあったこと、代謝物Bにはグルクロン酸抱合体が含まれることから、農産物中の暴露評価対象物質をボスカリド、畜産物中の暴露評価対象物質をボスカリド及び代謝物B（抱合体を含む。）とする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をボスカリド（親化合物のみ）、畜産物中の暴露評価対象物質をボスカリド及び代謝物Bとしている。

（２）暴露評価結果

①　長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙4参照。

	EDI／ADI(%)注)
国民全体（1歳以上）	38.4
幼小児（1～6歳）	74.1
妊婦	34.3
高齢者（65歳以上）	44.4

注）各食品の平均摂取量は、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

②　短期（1日経口）暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を算出したところ、国民全体（1歳以上）及び幼

小児（1～6歳）のそれぞれにおける摂取量はARfDを超えていない[注)]。詳細な暴露評価は別紙5-1及び5-2参照。

注）基準値案、作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づき ESTIを算出した。

（別紙1-1）

ボスカリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 及び使用量	使用時期	散布液量	使用回数	ボスカリド を含む農薬の 総使用回数
小麦	50.0% DF	散布	1500倍	収穫45日前まで	60～150 L/10 a	2回以内	2回以内
未成熟とうもろこし	26.7% WDG 配合剤1	散布	2000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
あずき	50.0% DF	散布	1500倍 1000～1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
いんげんまめ	50.0% DF	散布	1000～1500倍	収穫21日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
実えんどう	50.0% DF	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	26.7% WDG 配合剤1	散布	1500～2000倍 1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
豆類(種実、ただし、らっかせい、あずき、いんげんまめを除く)	50.0% DF	散布	1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
だいこん	26.7% WDG 配合剤1	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10a	3回以内	3回以内
はくさい	26.7% WDG 配合剤1	散布	1500～2000倍 1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
キャベツ	50.0% DF	散布	1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	26.7% WDG 配合剤1	散布	1500～2000倍 1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
ブロッコリー	50.0% DF	散布	1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
なばな類	50.0% DF	散布	1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
はなやさい類	26.7% WDG 配合剤1	散布	1500～2000倍 1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
エンダイブ	50.0% DF	散布	1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	1回	1回
くきちしゃ	50.0% DF	散布	1000～1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
レタス	50.0% DF	散布	1000～1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	26.7% WDG 配合剤1	散布	1500～2000倍 1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
非結球レタス	50.0% DF	散布	1000～1500倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	26.7% WDG 配合剤1	散布	1500～2000倍 1500倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
トレビス	50.0% DF	散布	1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内

（別紙1-1）

ボスカリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 及び使用量	使用時期	散布液量	使用回数	ボスカリド を含む農薬の 総使用回数
プンタレッラ	50.0% DF	散布	1500倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
食用ぎく	50.0% DF	散布	1000倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
たまねぎ	50.0% DF	散布	1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	4回以内（定植前は1回以内、定植後は3回以内）
			1000～1500倍				
	26.7% WDG 配合剤1	散布	1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	
		5分間セル苗浸漬	500倍	定植直前	－	1回	
		5分間苗根部浸漬					
ねぎ	26.7% WDG 配合剤1	散布	1500倍	収穫7日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
にんにく	26.7% WDG 配合剤1	散布	1500倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
アスパラガス	26.7% WDG 配合剤1	散布	1500倍	収穫前日まで	100～500 L/10 a	2回以内	2回以内
らっきょう	50.0% DF	散布	1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
にんじん	50.0% DF	散布	1000～1500倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	26.7% WDG 配合剤1	散布	2000倍	収穫14日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	
トマト	50.0% DF	散布	1000～1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	26.7% WDG 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
ミニトマト	50.0% DF	散布	1000～1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	26.7% WDG 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
ピーマン	50.0% DF	散布	1000～1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	26.7% WDG 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
なす	50.0% DF	散布	1000～1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	26.7% WDG 配合剤1	散布	1500～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
			1500倍				
とうがらし類	50.0% DF	散布	1000～1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	26.7% WDG 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
きゅうり	50.0% DF	散布	1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
			1000～1500倍				
かぼちゃ	26.7% WDG 配合剤1	散布	1500～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
			1500倍				

（別紙1-1）

ボスカリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 及び使用量	使用時期	散布液量	使用回数	ボスカリド を含む農薬の 総使用回数
すいか	50.0% DF	散布	1000～1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	26.7% WDG 配合剤1	散布	1500～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	
			1500倍				
メロン	50.0% DF	散布	1000～1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
とうがん	26.7% WDG 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
さやえんどう	50.0% DF	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内
	26.7% WDG 配合剤1	散布	1500～2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
			1500倍				
さやいんげん	50.0% DF	散布	1000～1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
未成熟そらまめ	50.0% DF	散布	1000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
かんきつ	50.0% DF	散布	1500倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	13.6% WDG 配合剤2	散布	2000～2500倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
			2000倍				
りんご	13.6% WDG 配合剤2	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
なし	13.6% WDG 配合剤2	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
もも	13.6% WDG 配合剤2	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
ネクタリン	13.6% WDG 配合剤2	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
すもも	13.6% WDG 配合剤2	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
うめ	13.6% WDG 配合剤2	散布	2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
おうとう	13.6% WDG 配合剤2	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
いちご	50.0% DF	散布	1000～1500倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	3回以内	3回以内
	26.7% WDG 配合剤1	散布	2000倍	収穫前日まで	100～300 L/10 a	2回以内	
			1500～2000倍				
大粒種ぶどう	50.0% DF	散布	1000～1500倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
	13.6% WDG 配合剤2	散布	2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	
かき	13.6% WDG 配合剤2	散布	2000～3000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
			2000倍				

（別紙1-1）

ボスカリドの適用の範囲及び使用方法（国内）

2026年4月3日時点版

作物名	剤型	使用方法	希釈倍数 及び使用量	使用時期	散布液量	使用回数	ボスカリド を含む農薬の 総使用回数
キウイフルーツ	13.6% WDG 配合剤2	散布	2000倍	収穫前日まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
小粒核果類(うめ、すももを除く)	13.6% WDG 配合剤2	散布	2000倍	収穫7日前まで	200～700 L/10 a	2回以内	2回以内
茶	13.6% WDG 配合剤2	散布	2000倍	摘採7日前まで	200～400 L/10 a	2回以内	2回以内
ホップ	13.6% WDG 配合剤2	散布	2000倍	収穫14日前まで	200～700 L/10 a	3回以内	3回以内
バジル	26.7% WDG 配合剤1	散布	2000倍	収穫3日前まで	100～300 L/10 a	2回以内	2回以内

DF：ドライフロアブル
WDG：水和性顆粒剤
配合剤1：6.7%ピラクロストロビン
配合剤2：6.8%ピラクロストロビン
今回基準値設定依頼のあった適用の範囲及び使用方法を網掛けで示した。
ー：規定されていない項目

（別紙1-2）

ボスカリドの適用の範囲及び使用方法（EU）

作物名	剤型	使用方法	1回当たりの使用量	使用時期	使用回数
大麦	23.3% WP 配合剤1	散布	1.5 L ai/ha	収穫35日前まで	2回以内

WP：水和剤
配合剤1：6.7%エポキシコナゾール
ai：active ingredient（有効成分）

ボスカリドの適用の範囲及び使用方法（米国）

作物名	剤型	使用方法	1回当たりの使用量	年間最大使用量	使用時期	使用回数
ばれいしょ	70.0% WG	散布	3.5～4.5 oz/acre (220.7 g ai/ha)	20 oz/acre (1.1 kg ai/ha)	収穫10日前まで	4回以内
			5.5～10 oz/acre (382.5 g ai/ha)		収穫10日前まで	2回以内
根茎及び球茎状野菜類（しょうが等）	70.0% WG	散布	4.5 oz/acre (220.7 g ai/ha)	23.4 oz/acre (1.1 kg ai/ha)	収穫当日まで	5回以内
			7.8 oz/acre (382.5 g ai/ha)			3回以内
らっかせい	70.0% WG	散布	6.5～10 oz/acre (318.7～490.4 g ai/ha)	30 oz/acre (1.5 kg ai/ha)	収穫14日前まで	3回以内
			8～10 oz/acre (392.3～490.4 g ai/ha)		収穫14日前まで	3回以内
	25.2% WG 配合剤1	散布	12.5～18.5 oz/acre (220.7～326.6 g ai/ha)	84 oz/acre (1.5 kg ai/ha)	収穫14日前まで	3回以内
			18.5～28 oz/acre (326.6～494.3 g ai/ha)		収穫14日前まで	3回以内
仁果類果実（なし、びわ、マルメロ等）	70.0% WG	散布	6.5 oz/acre (318.7 g ai/ha)	26 oz/acre (1.3 kg ai/ha)	収穫当日まで	4回以内
	25.2% WG 配合剤1	散布	14.5～18.5 oz/acre (256～326.6 g ai/ha)	74 oz/acre (1.3 kg ai/ha)	収穫当日まで	4回以内
なたね	70.0% WG	散布	5～6 oz/acre (245.2～294.2 g ai/ha)	12 oz/acre (0.6 kg ai/ha)	収穫21日前まで	2回以内
	25.2% WG 配合剤1	散布	16.7 oz/acre (294.8 g ai/ha)	33.4 oz/acre (0.6 kg ai/ha)	収穫21日前まで	2回以内
ナッツ類（ペカン、クルミ等）	70.0% WG	散布	5.3 oz/acre (260 g ai/ha)	21.2 oz/acre (1.0 kg ai/ha)	収穫14日前まで	4回以内
	25.2% WG 配合剤1	散布	10.5～14.5 oz/acre (185.4～256 g ai/ha)	58 oz/acre (1.0 kg ai/ha)	収穫14日前まで	4回以内
アーモンド	70.0% WG	散布	5.3 oz/acre (260 g ai/ha)	21.2 oz/acre (1.0 kg ai/ha)	収穫25日前まで	4回以内
	25.2% WG 配合剤1	散布	10.5～14.5 oz/acre (185.4～256 g ai/ha)	58 oz/acre (1.0 kg ai/ha)	収穫25日前まで	4回以内

WG：顆粒水和剤（ドライフロアブルを含む）
配合剤1：12.8%ピラクロストロビン
ai：active ingredient（有効成分）
oz：オンス（1 oz = 28.35 g）
acre：エーカー（1 acre = 約4,047 m^2）

（別紙2-1）

ボスカリド作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度（mg/kg）注)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
小麦（玄麦）	2	50.0% DF	1500倍散布 150,153 L/10 a	2	*21, 28*, 42	圃場A:0.235(2回,42日)	◎
					21, 28, 43	圃場B:0.09(2回,43日)	
未成熟とうもろこし（子実）	3	26.7% WDG	2000倍散布 200,190～197,196 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:<0.01	
						圃場B:<0.01	
						圃場C:<0.01	
だいず（乾燥子実）	2	50.0% DF	1500倍散布 150 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A:0.025(3回,21日)	
						圃場B:0.525(3回,21日)	
小豆（乾燥子実）	2	50.0% DF	1000倍散布 150 L/10 a	3	7, 14, 20	圃場A:0.121	
					6, 14, 21	圃場B:0.124（3回,6日）	
いんげん（乾燥子実）	2	50.0% DF	1000倍散布 150 L/10 a	2	21, 28, 35, 45	圃場A:0.324	
					21, 28, 35, 42	圃場B:0.430(2回,28日)	
だいこん（根部）	6	26.7% WDG	*1500倍散布* 222,278,238,242,231, 166～298 L/10 a	3	*1, 3, 7,* 14	圃場A：0.01（#）	
					1, 3, 7, 14	圃場B：0.03（#）	
					7, 14, 21, 28	圃場C：0.14（#）	
					7, 14, 21, 28	圃場D：0.05（#）	
					7, 14, 21, 28	圃場E：0.02（#）	
					7, 14, 21, 28	圃場F：0.04(3回,21日)（#）	
だいこん（葉部）	6	26.7% WDG	*1500倍散布* 222,278,231,166～ 298,242,238 L/10 a	3	*1, 3, 7,* 14	圃場A：19.0（#）	◎
					1, 3, 7, 14	圃場B：27.2（#）	
					7, 14, 21, 28	圃場C：2.45（#）	
					7, 14, 21, 28	圃場D：33.3（#）	
					7, 14, 21, 28	圃場E：4.54(3回,21日)（#）	
					7, 14, 21, 28	圃場F：8.30（#）	
はくさい（茎葉）	2	26.7% WDG	1500倍散布 100～150,200 L/10 a	3	*3*, 7, 14	圃場A:0.215	
						圃場B:0.68	
キャベツ（葉球）	2	50.0% DF	1500倍散布 200 L/10 a	2	*1*, 7, 14	圃場A:0.43	
						圃場B:0.86	
ブロッコリー（花蕾）	2	50.0% DF	1500倍散布 200,226 L/10 a	1	14, 21, 28	圃場A:1.2	
						圃場B:0.55(1回,21日)	
	3		1500倍散布 250,278(279),267(268) L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:1.17	
						圃場B:1.22	
						圃場C:1.57	
なばな（花茎）	2	50.0% DF	1500倍散布 190,280 L/10 a	1	7, 14, 21	圃場A:3.54	
						圃場B:1.56	
プンタレッラ（茎葉）	3	50.0% DF	1500倍散布 300 L/10 a	2	3, 7, 14, 21	圃場A:8.14	
						圃場B:4.48(2回,14日)	
						圃場C:11.4	
エンダイブ（茎葉）	2	50.0% DF	1500倍散布 200 L/10 a	1	7, 14, 21, 28	圃場A:14.2(1回,14日)	
						圃場B:21.0	
結球レタス（茎葉）	6	50.0% DF	1000倍散布 288, 214, 290, 200, 230, 250 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:2.60	
						圃場B:8.13	
						圃場C:0.10	
						圃場D:2.98(2回,14日)	
						圃場E:7.56	
						圃場F:5.50	
レタス（茎葉）	2	50.0% DF	1000倍散布 200 L/10 a	1	14, 21, 28	圃場A:0.76(1回,14日)	
						圃場B:1.76(1回,21日)	
	2	26.7% WDG	1500倍散布 200,250,300 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:4.88	
						圃場B:0.46	
リーフレタス（茎葉）	2	50.0% DF	1000倍散布 200,250 L/10 a	1	14, 21, 28	圃場A:2.0	
						圃場B:3.4	
	2		1000倍散布 200 L/10 a	2	3, 7, 14	圃場A:0.08	◎
						圃場B:26.0	
	2	26.7% WDG	1500倍散布 150,200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.14	
						圃場B:3.56	

（別紙2-1）

ボスカリド作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度（mg/kg）注)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
サラダ菜（茎葉）	2	50.0% DF	1000倍散布 200,300 L/10 a	1	14,21,28	圃場A:10.5	
						圃場B:9.45	
	2		1000倍散布 167,200 L/10 a	2	3,7,14	圃場A:0.03	◎
						圃場B:9.88	
	2	26.7% WDG	1500倍散布 190,200 L/10 a	2	7,14,21	圃場A:3.04	
						圃場B:1.88	
くきちしゃ（茎葉）	2	50.0% DF	1000倍散布 300 L/10 a	2	7,14,21	圃場A:0.59(2回,14日)	
						圃場B:0.92	
食用ぎく（花器全体）	2	50.0% DF	1000倍散布 200 L/10 a	2	7,14,21	圃場A:11.8	
						圃場B:9.34	
トレビス（可食部）	2	50.0% DF	1500倍散布 300 L/10 a	2	7,14,21	圃場A:<0.05	
						圃場B:0.50	
たまねぎ（鱗茎）	2	50.0% DF	1000倍散布 150 L/10 a	3	1,7,14	圃場A:0.006	
						圃場B:0.040	
	2	26.7% WDG ＋50.0% DF	苗根部浸漬 ＋1500倍散布 180,196 L/10 a	1+3	1,3,7	圃場A:0.015(4回,3日)	
						圃場B:<0.01	
根深ねぎ（茎葉）	3	26.7% WDG	1500倍散布 193,200 L/10 a	3	3,7,14,21	圃場A:0.28	
						圃場B:0.34	
						圃場C:1.08	
葉ねぎ（茎葉）	4	26.7% WDG	1500倍散布 181,167,175,181 L/10 a	3	3,7,14,21	圃場A:1.04	
						圃場B:0.23	
						圃場C:0.32	
						圃場D:2.04	
にんにく（鱗茎）	2	26.7% WDG	1500倍散布 180,200 L/10 a	3	3,7,14	圃場A:<0.01	
						圃場B:<0.01	
アスパラガス（若茎）	2	26.7% WDG	1500倍散布 278,300 L/10 a	2	1,3,7,14	圃場A:0.30	
						圃場B:0.14	
らっきょう（鱗茎）	2	50.0% DF	1500倍散布 150 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:<0.1	
						圃場B:<0.1	
にんじん（根部）	2	50.0% DF	1000倍散布 120～150,150 L/10 a	3	7,14,21,28	圃場A:0.055(3回,21日)	
						圃場B:0.21	
トマト（果実）	2	50.0% DF	1000倍散布 200 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.803	◎
						圃場B:0.905	
ミニトマト（果実）	2	50.0% DF	1000倍散布 150～300,200 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:2.74	
						圃場B:1.56	
ピーマン（果実）	2	50.0% DF	1000倍散布 200 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:3.11	◎
						圃場B:1.96	
なす（果実）	2	50.0% DF	1000倍散布 183,200 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.577	
						圃場B:0.80	
ししとう（果実）	2	50.0% DF	1000倍散布 300 L/10 a	2	1,3,7	圃場A:5.4	
						圃場B:7.9	
甘長とうがらし（果実）	2	50.0% DF	1000倍散布 300 L/10 a	2	1,3,7	圃場A:19.2	
						圃場B:11.8	
	2	26.7% WDG	2000倍散布 300 L/10 a	2	1,3,7,14,21	圃場A:1.01	
						圃場B:1.29	
きゅうり（果実）	2	50.0% DF	1000倍散布 200,250 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:1.55	◎
						圃場B:0.944	
かぼちゃ（果実）	2	26.7% WDG	1500倍散布 300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.37	
						圃場B:0.21	
すいか（果肉）	2	50.0% DF	1000倍散布 200,300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.0295	
						圃場B:0.0325(3回,3日)	
	3	50.0% DF	1000倍散布 200～300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.02	
						圃場B:0.02(3回,7日)	
						圃場C:0.01	
すいか（果実）	3	50.0% DF	1000倍散布 200～300 L/10 a	3	1,3,7	圃場A:0.78	◎
						圃場B:1.03(3回,7日)	
						圃場C:0.40	

（別紙2-1）

ボスカリド作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度（mg/kg）注)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
メロン（果肉）	2	50.0% DF	1000倍散布 250, *600* L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:＜0.005	
					1, 4, 7	圃場B:0.02(3回, 1日)（#）	
	3	50.0% DF	1000倍散布 200～300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.007(3回, 3日) 圃場B:0.007(3回, 7日) 圃場C:0.067	
メロン（果実）	3	50.0% DF	1000倍散布 200～300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.53(3回, 3日) 圃場B:2.32(3回, 7日) 圃場C:2.20	◎
とうがん	2	26.7% WDG	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.10 圃場B:0.15(2回, 3日)	
さやえんどう（さや(花梗を除く)）	2	50.0% DF	1000倍散布 300 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:1.3 圃場B:1.8	◎
さやいんげん（さや）	2	50.0% DF	1000倍散布 150～200, 200 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:1.66 圃場B:0.97	◎
未成熟そらまめ（種子）	2	50.0% DF	1000倍散布 150, 180 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.03(3回, 3日) 圃場B:0.03(3回, 7日)	
温州みかん（果肉）	3	50.0% DF	1500倍散布 350～400, 500, *1000* L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:0.088(3回, 28日) 圃場B:0.212 圃場C:0.196(3回, 21日)（#）	
温州みかん（果皮）	3	50.0% DF	1500倍散布 350～400, 500, *1000* L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:9.6 圃場B:9.8(3回, 28日) 圃場C:24.2(3回, 14日)（#）	◎
温州みかん（果実）	3	50.0% DF	1500倍散布 350～400, 500, *1000* L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:2.352(3回, 21日) 圃場B:1.734 圃場C:3.201（#）	◎
なつみかん（果実）	2	50.0% DF	1500倍散布 400, 478.5 L/10 a	3	14, 28, 42	圃場A:2.72 圃場B:3.01(3回, 28日)	◎
すだち（果実）	1	50.0% DF	1500倍散布 400 L/10 a	3	14, 28, 42	圃場A:2.77	◎
かぼす（果実）	1	50.0% DF	1500倍散布 400 L/10 a	3	14, 28, 42	圃場A:2.26	◎
りんご（果実）	2	*18.2% SC*	2500倍散布 625, 600 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A:0.352(3回, 7日)（#） 圃場B:0.498(3回, 1日)（#）	
なし（果実）	2	*18.2% SC*	2500倍散布 300, 400 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A:0.486(3回, 1日)（#） 圃場B:0.408(3回, 1日)（#）	
おうとう（果実）	2	*18.2% SC*	2000倍散布 400 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.013(3回, 3日)（#） 圃場B:0.738(3回, 1日)（#）	
もも（果肉）	2	*18.2% SC*	2000倍散布 300 L/10 a	2	1, 7, 14, 21	圃場A:0.035(2回, 7日)（#） 圃場B:0.0125(2回, 7日)（#）	
もも（果実）	2	*18.2% SC*	2000倍散布 300 L/10 a	2	1, 7, 14, 21	圃場A:1.064(2回, 7日)（#） 圃場B:0.226（#）	
ネクタリン（果実）	2	13.6% WDG	2000倍散布 400, 500 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A:0.435(2回, 14日) 圃場B:0.79	
うめ（果実）	2	13.6% WDG	2000倍散布 500, 700 L/10 a	2	7, 21, 28	圃場A:0.895 圃場B:1.2	
すもも（果実）	2	13.6% WDG	2000倍散布 400 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A:<0.05(2回, 7日) 圃場B:<0.05(2回, 7日)	
	2	13.6% WDG	2000倍散布 333, 375 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.10(2回, 3日) 圃場B:0.02	
いちご（果実）	2	50.0% DF	1000倍散布 156.5, 250 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.81 圃場B:6.76	◎
ぶどう（果実）	2	50.0% DF	1000倍散布 300, 400 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:3.28 圃場B:4.44	◎
かき（果実）	2	13.6% WDG	2000倍散布 300 L/10 a	2	1, 7, 14, 21	圃場A:0.15(2回, 7日) 圃場B:0.43	◎
キウイフルーツ（果肉）	2	13.6% WDG	2000倍散布 375, 400 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A:0.01(2回, 7日) 圃場B:0.02	

（別紙2-1）

ボスカリド作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度（mg/kg）注)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
茶 （荒茶）	2	13.6% WDG	2000倍散布 400 L/10 a	2	7,14,21	圃場A:44.8 圃場B:20.8	○
茶 （浸出液）	2	13.6% WDG	2000倍散布 400 L/10 a	2	7,14,21	圃場A:15.6 圃場B:7.67	△
ホップ （乾花）	2	13.6% WDG	2000倍散布 500 L/10 a	3	14,21,28	圃場A:1.4(3回,21日) 圃場B:0.3（3回,28日）	
バジル （茎葉）	2	26.7% WDG	2000倍散布 200 L/10 a	2	3,7,14	圃場A:24.0 圃場B:13.8	

DF：ドライフロアブル
SC：フロアブル
WDG：水和性顆粒剤
(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

今回、新たに提出された作物残留試験成績を網掛けで示した。

基準値の設定の根拠に○、暴露評価に使用されているものに△、基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

(別紙2-2)

ボスカリド作物残留試験一覧表(EU)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
大麦 (玄麦)	10	23.3% WP	350 g ai/ha	2	35,41	圃場A:1.541(2回,41日)	◎
					35,42	圃場B:0.239(2回,42日)	
					36,43	圃場C:1.052	
					35,41,51	圃場D:<0.01	
					35,42	圃場E:0.890(2回,42日)	
					35,42	圃場F:1.79(2回,42日)	
					35,42	圃場G:1.29	
					35,42	圃場H:1.09(2回,42日)	
					35,42	圃場I:1.25	
					35,42	圃場J:1.31	

WP：水和剤
基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

（別紙2-3）

ボスカリド作物残留試験一覧表（米国）

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度（mg/kg）注)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
ばれいしょ（塊茎）	16	70.0% WG	0.47～0.52 kg ai/ha 散布（総使用量：0.96～1.03 kg ai/ha）	2	30	圃場A:<0.05	
					10,20,30,40,50	圃場B:<0.05	
					30	圃場C:<0.05	
					30	圃場D:<0.05	
					30	圃場E:<0.05	
					30	圃場F:<0.05	
					29	圃場G:<0.05	
					30	圃場H:<0.05	
					30	圃場I:<0.05	
					0,20,30,40,51	圃場J:<0.05(2回,20日)	
					30	圃場K:<0.05	
					30	圃場L:<0.05	
					30	圃場M:<0.05	
					30	圃場N:<0.05	
					30	圃場O:<0.05	
					29	圃場P:<0.05	
西洋なし	20	70.0% WG	0.33～0.35 kg ai/ha 散布（*総使用量：2.01～2.04 kg ai/ha*）	*6*	0	圃場A:0.57（#）	
						圃場B:1.89（#）	
						圃場C:1.22（#）	
						圃場D:0.78（#）	
						圃場E:2.31（#）	
						圃場F:0.69（#）	
						圃場G:0.89（#）	
						圃場H:0.83（#）	
						圃場I:0.54（#）	
						圃場J:0.37（#）	
						圃場K:0.74（#）	
						圃場L:1.26（#）	
						圃場M:0.74（#）	
						圃場N:0.56（#）	
						圃場O:0.85（#）	
						圃場P:1.70（#）	
						圃場Q:0.85（#）	
						圃場R:0.87（#）	
						圃場S:0.65（#）	
						圃場T:0.38（#）	
ペカン（可食部）	10	70.0% WG	0.25～0.27 kg ai/ha 散布（総使用量：1.02～1.05 kg ai/ha）	4	14	圃場A:<0.05	◎
						圃場B:<0.05	
						圃場C:<0.05	
						圃場D:<0.05	
						圃場E:<0.05	
						圃場F:<0.05	
						圃場G:<0.05	
						圃場H:<0.05	
						圃場I:<0.05	
						圃場J:<0.05	
アーモンド（可食部）	5	70.0% WG	0.25～0.26 kg ai/ha 散布（総使用量：1.01～1.03 kg ai/ha）	4	148	圃場A:0.03	◎
					108	圃場B:0.16	
					116	圃場C:0.13	
					115	圃場D:0.05	
					120,127,134,148,155	圃場E:0.08(4回,134日)	
	5	70.0% WG	0.25～0.27 kg ai/ha 希釈散布（総使用量：1.03～1.04 kg ai/ha）	4	148	圃場A:0.02	
					108	圃場B:0.20	
					116	圃場C:0.16	
					115	圃場D:0.04	
					120,127,134,148,155	圃場E:0.11(4回,134日)	

（別紙2-3）

ボスカリド作物残留試験一覧表(米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度（mg/kg）注)	設定の根拠等
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
らっかせい（可食部）	12	70.0% WG	0.49～0.52 kg ai/ha 散布（総使用量：1.50～1.55 kg ai/ha）	3	13	圃場A:0.05（#）	◎
					14	圃場B:<0.05	
					14	圃場C:<0.05	
					7,14,21,28,35	圃場D:<0.05	
					13	圃場E:<0.05（#）	
					15	圃場F:<0.05	
					14	圃場G:<0.05	
					14	圃場H:<0.05	
					14	圃場I:<0.05	
					14	圃場J:<0.05	
					13	圃場K:<0.05（#）	
					13	圃場L:<0.05（#）	
なたね	4	70.0% WG	*1.34 kg ai/ha 散布（総使用量：2.69 kg ai/ha）*	2	21,26	圃場A:0.72（#）	◎
						圃場B:1.87（#）	
						圃場C:2.28（#）	
						圃場D:1.76（#）	

WG：顆粒水和剤（ドライフロアブルを含む）

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

基準値の設定根拠及び暴露評価にも使用されているものに◎で示した。

注）当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（　）内に記載した。

農薬名　ボスカリド

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
小麦	0.7	0.7	○	0.5			0.09,0.235(¥)
大麦	3	3		0.5	4	EU	【<0.01～1.79(n=10)(EU)】※1
ライ麦	0.5	0.5		0.5			
とうもろこし	0.1	0.1	○	0.1			
そば	0.1	0.1		0.1			
その他の穀類	0.5	0.5		0.5			
大豆	3	3	○	3			
小豆類	3	3	○	3			
えんどう	3	3	○	3			
そら豆	3	3	○	3			
らっかせい	1	1		1			
その他の豆類	3	3	○	3			
ばれいしょ	2	2		2			
さといも類（やつがしらを含む。）	2	2		2			
かんしょ	2	2		2			
やまいも（長いもをいう。）	2	2		2			
こんにゃくいも	2	2		2			
その他のいも類	2	2		2			
てんさい	2	2		2			
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	2	2		2			
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	50	40	申	40			1.84～24.98(n=6)※2
かぶ類の根	2	2		2			
かぶ類の葉	40	40		40			
西洋わさび	2	2		2			
クレソン	40	40		40			
はくさい	40	40	○	40			
キャベツ	5	5	○	5			
芽キャベツ	5	5		5			
ケール	40	40		40			
こまつな	40	40		40			
きょうな	40	40		40			
チンゲンサイ	40	40		40			
カリフラワー	5	5	○	5			
ブロッコリー	5	5	○	5			
その他のあぶらな科野菜	40	40	○	40			
ごぼう	2	2		2			
サルシフィー	2	2		2			
アーティチョーク	30	30		30			
チコリ	40	40		40			
エンダイブ	40	40	○	40			
しゅんぎく	40	40		40			
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	60	40	○	40			0.03～26.0(n=4)（非結球レタス）
その他のきく科野菜	40	40	○	40			
たまねぎ	5	5	○	5			
ねぎ（リーキを含む。）	5	5	○	5			
にんにく	5	5	○	5			
にら	5	5		5			
アスパラガス	30	30	○	30			
わけぎ	5	5		5			
その他のゆり科野菜	30	30	○	30			
にんじん	2	2	○	2			
パースニップ	2	2		2			
セロリ	30	30		30			
その他のせり科野菜	5	5		5			

農薬名　ボスカリド

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm	作物残留試験成績等 ppm
トマト	5	5	○	3		0.80～2.74（n=4）
ピーマン	10	10	○	3		1.96,3.11(¥)
なす	3	3	○	3		
その他のなす科野菜	40	40	○	40		
きゅうり（ガーキンを含む。）	5	5	○	3		0.944,1.55(¥)
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	3	3	○	3		
しろうり	3	3		3		
すいか		0.2	○			
すいか（果皮を含む。）	3		○	3		0.40,0.78,1.03 (n=3)
メロン類果実		0.2	○			
メロン類果実（果皮を含む。）	6		○	3		1.53,2.20,2.32（n=3）
まくわうり		0.2				
まくわうり（果皮を含む。）	6			3		（メロン類果実（果皮を含む。）参照）
その他のうり科野菜	40	40	○	40		
ほうれんそう	40	40		40		
たけのこ	30	30		30		
オクラ	3	3		3		
しょうが	2	0.05		2		
未成熟えんどう	5	5	○	3		1.3,1.8(¥)(さやえんどう)
未成熟いんげん	5	5	○	3		0.97,1.66(¥)(さやいんげん)
えだまめ	3	3		3		
その他の野菜	40	40	○	40		
みかん		1	○			
みかん（外果皮を含む。）	8		○	2		1.734,2.352,3.201（n=3）
なつみかんの果実全体	10	10	○	2		2.73,3.01(¥)
レモン	5	10	○	2		2.26（かぼす),2.77（¥）（すだち）
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	8	10	○	2		（みかん（外果皮を含む。）参照）
グレープフルーツ	10	10	○	2		（なつみかんの果実全体参照）
ライム	5	10	○	2		（レモン参照）
その他のかんきつ類果実	10	10	○	2		（なつみかんの果実全体参照）
りんご	2	2	○	2		
日本なし	2	3	○	2		
西洋なし	2	3	○	2		
マルメロ	2	3		2		
びわ		3				
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	2			2		
もも		0.2	○			
もも（果皮及び種子を含む。）	4		○	4		
ネクタリン	4	3	○	4		
あんず（アプリコットを含む。）	4	3	○	4		
すもも（プルーンを含む。）	2	10	○	1.5		
うめ	4	3	○	4		
おうとう（チェリーを含む。）	5	3	○	5		
いちご	15	15	○	3		1.81,6.76(¥)
ラズベリー	10	10		10		
ブラックベリー	10	10		10		
ブルーベリー	10	10		10		
クランベリー	10	10		10		
ハックルベリー	10	10		10		
その他のベリー類果実	10	10		10		
ぶどう	10	10	○	5		3.28,4.44(¥)
かき	2	1	○	2		
バナナ	0.6	0.6		0.6		

農薬名　ボスカリド

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
キウィー		0.1	○				
キウィー（果皮を含む。）	5		○	5			
マンゴー	2			2			
その他の果実	10	10		10			
ひまわりの種子	1	1		1			
ごまの種子	1	1		1			
べにばなの種子	1	1		1			
綿実	1	1		1			
なたね	4	4		1	3.5	米国	【0.72～2.28(#)(n=4)(米国)】
その他のオイルシード	1	1		1			
ぎんなん	0.05	0.05		0.05			
くり	0.7	0.7		0.05	0.70	米国	【ペカン参照】
ペカン	0.7	0.7		0.05	0.70	米国	【<0.05(n=10)(米国ペカン)、0.02～0.2(n=10)(米国アーモンド)】
アーモンド	0.7	0.7		0.05	0.70	米国	【ペカン参照】
くるみ	0.7	0.7		0.05	0.70	米国	【ペカン参照】
その他のナッツ類	1	1		1			
茶	60	60	○	40			20.8,44.8(¥)(荒茶)
コーヒー豆	0.05	0.05		0.05			
ホップ	60	60	○	60			
その他のスパイス	50	40	○	10			9.6,9.8,24.2(#)(みかんの果皮)
その他のハーブ	40	40	○	40			
牛の筋肉	0.7	0.2		0.7			
豚の筋肉	0.7	0.2		0.7			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.7	0.2		0.7			
牛の脂肪	0.7	0.7		0.7			
豚の脂肪	0.7	0.7		0.7			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.7	0.7		0.7			
牛の肝臓	0.2	0.2		0.2			
豚の肝臓	0.2	0.2		0.2			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.2	0.2		0.2			
牛の腎臓	0.2	0.2		0.2			
豚の腎臓	0.2	0.2		0.2			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2	0.2		0.2			
牛の食用部分	0.2	0.2		0.2			
豚の食用部分	0.2	0.2		0.2			
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2	0.2		0.2			
乳	0.1	0.1		0.1			
鶏の筋肉	0.02	0.02		0.02			
その他の家きんの筋肉	0.02	0.02		0.02			
鶏の脂肪	0.02	0.02		0.02			
その他の家きんの脂肪	0.02	0.02		0.02			
鶏の肝臓	0.02	0.02		0.02			
その他の家きんの肝臓	0.02	0.02		0.02			
鶏の腎臓	0.02	0.02		0.02			
その他の家きんの腎臓	0.02	0.02		0.02			
鶏の食用部分	0.02	0.02		0.02			
その他の家きんの食用部分	0.02	0.02		0.02			
鶏の卵	0.02	0.02		0.02			
その他の家きんの卵	0.02	0.02		0.02			

農薬名　ボスカリド

（別紙3）

食品名	基準値案 ppm	基準値現行 ppm	登録有無	参考基準値 国際基準 ppm	参考基準値 国/地域基準値 ppm		作物残留試験成績等 ppm
はちみつ	0.05						※3
落花生油（注1に限る。）		0.2					
落花生油	0.2				0.15	米国	【<0.05～0.05(#)(n=12)(米国らっかせい)】
とうがらし（乾燥させたもの）		10		10			※4
すもも（乾燥させたもの）				5			※5
干しぶどう				10			※6

太枠：本基準（暫定基準以外の基準）を見直した基準値

斜線：食品区分を別途新設すること等に伴い、削除した食品区分、もしくは加工食品につき基準値を設定しないもの

○：既に、国内において登録等がされているもの

申：農薬の登録申請等に伴い基準値設定依頼がなされたもの

(#)：適用の範囲内で試験が行われていない作物残留試験成績

(¥)：基準値設定の根拠とした作物残留試験成績（最大値）

注1）食用植物油脂の日本農林規格に規定する精製落花生油、落花生サラダ油及びこれらと同等以上の規格を有すると認められる食用油

※1現行の基準値は当時のEUの基準値を参照して設定したものであり、現在もEUにおいて基準値が設定されていることを考慮し、現行の基準値を維持することとする。なお、EUにおける大麦の基準値は、4 ppmに変更されている。

※2だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。なお、GAPに適合した使用量として、26.7%WDGの2000倍希釈を基に換算した。

※3「食品中の農薬の残留基準設定の基本原則について」（令和6年6月25日食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会）の別添3「はちみつ中の農薬等の基準設定の方法について」に基づき設定。

※4加工食品である「とうがらし（乾燥させたもの）」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。なお、本物質について、JMPRはとうがらしの加工係数を10と算出している。

※5加工食品である「すもも（乾燥させたもの）」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。なお、本物質について、JMPRはすもも（乾燥させたもの）の加工係数を2.8と算出している。

※6加工食品である「干しぶどう」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。なお、本物質について、JMPRは干しぶどうの加工係数を2.42と算出している。

（別紙4）

ボスカリドの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）EDI
小麦	0.7	0.163	9.7	7.2	11.2	8.1
大麦	3	1.17	6.2	5.1	10.3	5.1
ライ麦	0.5	0.075	0.0	0.0	0.0	0.0
とうもろこし	0.1	0.05	0.2	0.3	0.3	0.2
そば	0.1	0.05	0.1	0.0	0.1	0.1
その他の穀類	0.5	0.075	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	3	0.12	4.7	2.4	3.8	5.5
小豆類	3	0.12	0.3	0.1	0.1	0.5
えんどう	3	0.12	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	3	0.12	0.1	0.0	0.1	0.1
らっかせい	1	0.145	0.2	0.1	0.1	0.2
その他の豆類	3	0.12	0.0	0.0	0.0	0.0
ばれいしょ	2	0.305	11.7	10.4	12.8	10.7
さといも類（やつがしらを含む。）	2	0.305	1.6	0.5	0.4	2.3
かんしょ	2	0.305	2.1	1.9	3.7	3.0
やまいも（長いもをいう。）	2	0.305	0.9	0.3	0.5	1.3
こんにゃくいも	2	0.305	0.4	0.1	0.2	0.4
その他のいも類	2	0.305	0.0	0.0	0.0	0.0
てんさい	2	0.305	9.9	8.4	12.5	10.1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	2	0.305	10.1	3.5	6.3	13.9
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	50	10.235	17.4	6.1	31.7	28.7
かぶ類の根	2	0.305	0.9	0.2	0.0	1.5
かぶ類の葉	40	3.65	1.1	0.4	0.4	2.2
西洋わさび	2	0.305	0.0	0.0	0.0	0.0
クレソン	40	2.95	0.3	0.3	0.3	0.3
はくさい	40	2.95	52.2	15.0	49.0	63.7
キャベツ	5	1.52	36.6	17.6	28.9	36.2
芽キャベツ	5	1.52	0.2	0.2	0.2	0.2
ケール	40	2.95	0.6	0.3	0.3	0.6
こまつな	40	2.95	14.8	5.3	18.9	18.9
きょうな	40	2.95	6.5	1.2	4.1	8.0
チンゲンサイ	40	2.95	5.3	2.1	5.3	5.6
カリフラワー	5	1.52	0.8	0.3	0.2	0.8
ブロッコリー	5	1.52	7.9	5.0	8.4	8.7
その他のあぶらな科野菜	40	2.95	10.0	1.8	2.4	14.2
ごぼう	2	0.305	1.2	0.5	1.2	1.4
サルシフィー	2	0.305	0.0	0.0	0.0	0.0
アーティチョーク	30	8.55	0.9	0.9	0.9	0.9
チコリ	40	2.95	0.3	0.3	0.3	0.3
エンダイブ	40	2.95	0.3	0.3	0.3	0.3
しゅんぎく	40	2.95	4.4	0.9	7.7	7.4
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	60	4.98	47.8	21.9	56.8	45.8
その他のきく科野菜	40	2.95	4.4	0.3	1.8	7.7
たまねぎ	5	2.2	68.6	49.7	77.7	61.2
ねぎ（リーキを含む。）	5	2.2	20.7	8.1	15.0	23.5
にんにく	5	2.2	0.9	0.2	2.2	1.1
にら	5	2.2	4.4	2.0	4.0	4.6
アスパラガス	30	8.55	14.5	6.0	8.6	21.4
わけぎ	5	2.2	0.4	0.2	0.2	0.4
その他のゆり科野菜	30	8.55	5.1	0.9	1.7	10.3
にんじん	2	0.305	5.7	4.3	6.9	5.7
パースニップ	2	0.305	0.0	0.0	0.0	0.0
セロリ	30	8.55	10.3	5.1	2.6	10.3
その他のせり科野菜	5	2.2	0.4	0.2	0.7	0.7
トマト	5	1.233	39.6	23.4	39.5	45.1
ピーマン	10	2.54	12.2	5.6	19.3	12.4
なす	3	0.565	6.8	1.2	5.7	9.7
その他のなす科野菜	40	2.95	3.2	0.3	3.5	3.5

（別紙4）

ボスカリドの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）EDI
きゅうり（ガーキンを含む。）	5	1.25	25.9	12.0	17.8	32.0
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	3	0.565	5.3	2.1	4.5	7.3
しろうり	3	0.565	0.3	0.1	0.1	0.5
すいか（果皮を含む。）	3	0.78	5.9	4.3	11.2	8.8
メロン類果実（果皮を含む。）	6	2.2	7.7	5.9	9.7	9.2
まくわうり（果皮を含む。）	6	2.2	0.4	0.2	0.2	1.1
その他のうり科野菜	40	2.95	8.0	3.5	1.8	10.0
ほうれんそう	40	2.95	37.8	17.4	41.9	51.3
たけのこ	30	8.55	32.5	13.7	8.6	36.8
オクラ	3	0.565	0.8	0.6	0.8	1.0
しょうが	2	0.305	0.5	0.1	0.3	0.5
未成熟えんどう	5	1.55	2.5	0.8	0.3	3.7
未成熟いんげん	5	1.32	3.2	1.5	0.1	4.2
えだまめ	3	0.5	0.9	0.5	0.3	1.4
その他の野菜	40	2.95	39.5	18.6	29.8	41.6
みかん（外果皮を含む。）	8	2.352	41.9	38.6	1.4	61.6
なつみかんの果実全体	10	2.87	3.7	2.0	13.8	6.0
レモン	5	2.52	1.3	0.3	0.5	1.5
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	8	2.352	16.5	34.3	29.4	9.9
グレープフルーツ	10	2.87	12.1	6.6	25.5	10.0
ライム	5	2.52	0.3	0.3	0.3	0.3
その他のかんきつ類果実	10	2.87	16.9	7.7	7.2	27.3
りんご	2	0.35	8.5	10.8	6.6	11.3
日本なし	2	0.35	2.2	1.2	3.2	2.7
西洋なし	2	0.35	0.2	0.1	0.0	0.2
マルメロ	2	0.35	0.0	0.0	0.0	0.0
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	2	0.35	0.2	0.1	0.7	0.1
もも（果皮及び種子を含む。）	4	0.6	2.0	2.2	3.2	2.6
ネクタリン	4	0.6	0.1	0.1	0.1	0.1
あんず（アプリコットを含む。）	4	0.6	0.1	0.1	0.1	0.2
すもも（プルーンを含む。）	2	0.25	0.3	0.2	0.2	0.3
うめ	4	0.6	0.8	0.2	0.4	1.1
おうとう（チェリーを含む。）	5	1.5	0.6	1.1	0.2	0.5
いちご	15	4.28	23.1	33.4	22.3	25.3
ラズベリー	10	2.53	0.3	0.3	0.3	0.3
ブラックベリー	10	2.53	0.3	0.3	0.3	0.3
ブルーベリー	10	2.53	2.8	1.8	1.3	3.5
クランベリー	10	2.53	0.3	0.3	0.3	0.3
ハックルベリー	10	2.53	0.3	0.3	0.3	0.3
その他のベリー類果実	10	2.53	0.3	0.3	0.5	0.3
ぶどう	10	3.86	33.6	31.7	78.0	34.7
かき	2	0.35	3.5	0.6	1.4	6.4
バナナ	0.6	0.05	0.7	0.8	0.8	0.9
キウィー（果皮を含む。）	5	0.073	0.2	0.1	0.2	0.2
マンゴー	2	0.255	0.1	0.1	0.0	0.1
その他の果実	10	2.53	3.0	1.0	2.3	4.3
ひまわりの種子	1	0.145	0.0	0.0	0.0	0.0
ごまの種子	1	0.145	0.1	0.1	0.1	0.1
べにばなの種子	1	0.145	0.0	0.0	0.0	0.0
綿実	1	0.145	0.0	0.0	0.0	0.0
なたね	4	1.815	10.7	6.7	9.8	8.3
その他のオイルシード	1	0.145	0.0	0.0	0.0	0.0
ぎんなん	0.05	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.7	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.7	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.7	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.7	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	1	0.27	0.0	0.0	0.0	0.0

（別紙4）

ボスカリドの推定摂取量　（単位：μg／人／日）

食品名	基準値案（ppm）	暴露評価に用いた数値（ppm）	国民全体（1歳以上）EDI	幼小児（1～6歳）EDI	妊婦 EDI	高齢者（65歳以上）EDI
茶	60	11.64	76.8	11.6	43.1	109.4
コーヒー豆	0.05	0.05	0.2	0.0	0.0	0.1
ホップ	60	21.5	2.2	2.2	2.2	2.2
その他のスパイス	50	9.85	1.0	1.0	1.0	2.0
その他のハーブ	40	2.95	2.7	0.9	0.3	4.1
陸棲哺乳類の肉類	0.7	筋肉　0.035 脂肪　0.18	3.7	2.8	4.1	2.6
陸棲哺乳類の食用部分（肉類除く）	0.2	0.16	0.2	0.1	0.8	0.1
陸棲哺乳類の乳類	0.1	0.066	17.4	21.9	24.1	14.3
家きんの肉類	0.02	0.02	0.4	0.3	0.5	0.3
家きんの卵類	0.02	0.02	0.8	0.7	1.0	0.8
はちみつ	0.05	●　0.05	0.0	0.0	0.1	0.1
計			931.6	537.9	883.3	1096.4
ADI比（%）			38.4	74.1	34.3	44.4

EDI：推定一日摂取量（Estimated Daily Intake）
EDI試算法：作物残留試験成績の中央値（STMR）等×各食品の平均摂取量

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。
茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いてEDI試算をした。
「陸棲哺乳類の肉類」については、EDI試算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。
●：個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値（案）の数値を用いた。

ボスカリドの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
小麦	小麦	0.7	○ 0.163	0.2	0
大麦	大麦	3	○ 1.17	1.0	0
	麦茶	3	○ 1.17	0.9	0
とうもろこし	スイートコーン	0.1	○ 0.05	0.6	0
そば	そば	0.1	○ 0.05	0.1	0
大豆	大豆	3	○ 0.12	0.1	0
小豆類	いんげん	3	○ 0.12	0.2	0
らっかせい	らっかせい	1	○ 0.145	0.2	0
ばれいしょ	ばれいしょ	2	○ 0.71	6.7	0
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	2	○ 0.71	3.8	0
かんしょ	かんしょ	2	○ 0.71	8.9	0
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	2	○ 0.71	5.8	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	2	○ 0.71	8.2	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	だいこんの葉	50	○ 24.98	206.4	7
かぶ類の根	かぶの根	2	○ 0.71	5.2	0
かぶ類の葉	かぶの葉	40	○ 29	77.2	3
はくさい	はくさい	40	○ 29	375.8	10
キャベツ	キャベツ	5	○ 2.7	25.8	1
ケール	ケール	40	○ 29	232.9	8
こまつな	こまつな	40	○ 29	122.9	4
きょうな	きょうな	40	○ 29	96.7	3
チンゲンサイ	チンゲンサイ	40	○ 29	215.3	7
カリフラワー	カリフラワー	5	○ 2.7	20.0	1
ブロッコリー	ブロッコリー	5	○ 2.7	16.2	1
その他のあぶらな科野菜	たかな	40	○ 29	227.5	8
	菜花	40	○ 29	80.0	3
ごぼう	ごぼう	2	○ 0.71	3.5	0
しゅんぎく	しゅんぎく	40	○ 29	94.6	3
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	60	○ 26	146.7	5
たまねぎ	たまねぎ	5	○ 2.73	22.4	1
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	5	○ 2.73	10.4	0
にんにく	にんにく	5	○ 2.73	1.7	0
にら	にら	5	○ 2.73	3.7	0
アスパラガス	アスパラガス	30	○ 20	41.8	1
わけぎ	わけぎ	5	○ 2.73	5.4	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	30	○ 20	35.4	1
	らっきょう	30	○ 20	21.3	1
にんじん	にんじん	2	○ 0.71	3.2	0
	にんじんジュース	2	○ 0.305	2.1	0
セロリ	セロリ	30	○ 20	110.3	4
その他のせり科野菜	せり	5	○ 2.73	4.5	0
トマト	トマト	5	○ 2.74	30.0	1
ピーマン	ピーマン	10	10	25.5	1
なす	なす	3	○ 1.27	8.2	0
その他のなす科野菜	とうがらし（生）	40	○ 29	46.8	2
	ししとう	40	○ 29	29.7	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	5	5	31.7	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	3	○ 1.27	12.5	0
	ズッキーニ	3	○ 1.27	9.2	0
しろうり	しろうり	3	○ 1.27	10.5	0
すいか（果皮を含む。）	すいか	3	3	98.8	3
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	6	6	101.9	3
その他のうり科野菜	とうがん	40	○ 29	493.5	20
	にがうり	40	○ 29	234.2	8
ほうれんそう	ほうれんそう	40	○ 29	140.5	5

ボスカリドの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
たけのこ	たけのこ	30	○ 20	160.3	5
オクラ	オクラ	3	○ 1.27	1.9	0
しょうが	しょうが	2	○ 0.71	0.7	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	5	5	8.1	0
	未成熟えんどう（豆）	5	5	8.5	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	5	5	9.7	0
えだまめ	えだまめ	3	○ 1.67	4.2	0
その他の野菜	ずいき	40	○ 29	293.5	10
	もやし	40	○ 29	66.5	2
	れんこん	40	○ 29	180.3	6
	そら豆（生）	40	○ 29	85.2	3
みかん（外果皮を含む。）	みかん	8	8	74.7	2
なつみかんの果実全体	なつみかん	10	10	124.3	4
レモン	レモン	5	5	10.5	0
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	8	8	75.2	3
	オレンジ果汁	8	○ 2.352	23.4	1
グレープフルーツ	グレープフルーツ	10	10	172.1	6
その他のかんきつ類果実	きんかん	10	10	23.9	1
	ぽんかん	10	10	105.2	4
	ゆず	10	10	15.8	1
	すだち	10	10	15.7	1
りんご	りんご	2	○ 1.3	18.6	1
	りんご果汁	2	○ 0.028	0.3	0
日本なし	日本なし	2	○ 1.3	19.7	1
西洋なし	西洋なし	2	○ 1.3	18.2	1
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	びわ	2	○ 1.3	9.3	0
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	4	○ 3.6	48.8	2
すもも（プルーンを含む。）	プルーン	2	○ 0.76	4.5	0
うめ	うめ	4	○ 3.6	4.9	0
おうとう（チェリーを含む。）	おうとう	5	○ 2.6	6.5	0
いちご	いちご	15	15	57.2	2
ブルーベリー	ブルーベリー	10	○ 6.83	9.8	0
ぶどう	ぶどう	10	10	134.7	4
かき	かき	2	○ 1.3	18.6	1
バナナ	バナナ	0.6	○ 0.42	4.7	0
キウィー（果皮を含む。）	キウィー	5	○ 2.38	13.5	0
マンゴー	マンゴー	2	○ 1	13.5	0
その他の果実	いちじく	10	○ 6.83	52.4	2
ごまの種子	ごまの種子	1	○ 0.145	0.0	0
ぎんなん	ぎんなん	0.05	○ 0.05	0.0	0
くり	くり	0.7	○ 0.05	0.1	0
アーモンド	アーモンド	0.7	○ 0.05	0.0	0
くるみ	くるみ	0.7	○ 0.05	0.0	0
茶	緑茶類	60	○ 11.64	7.1	0
ホップ	ホップ	60	○ 21.5	0.5	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.0	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いて試算をした。

ボスカリドの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)		ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
小麦	小麦	0.7	○	0.163	0.5	0
大麦	大麦	3	○	1.17	0.8	0
	麦茶	3	○	1.17	2.1	0
とうもろこし	スイートコーン	0.1	○	0.05	1.2	0
大豆	大豆	3	○	0.12	0.1	0
らっかせい	らっかせい	1	○	0.145	0.2	0
ばれいしょ	ばれいしょ	2	○	0.71	16.1	1
さといも類（やつがしらを含む。）	さといも	2	○	0.71	8.9	0
かんしょ	かんしょ	2	○	0.71	17.9	1
やまいも（長いもをいう。）	やまいも	2	○	0.71	9.7	0
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	だいこんの根	2	○	0.71	15.5	1
はくさい	はくさい	40	○	29	454.6	20
キャベツ	キャベツ	5	○	2.7	42.2	1
こまつな	こまつな	40	○	29	257.7	9
ブロッコリー	ブロッコリー	5	○	2.7	38.9	1
ごぼう	ごぼう	2	○	0.71	4.5	0
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	レタス類	60	○	26	255.4	9
たまねぎ	たまねぎ	5	○	2.73	47.9	2
ねぎ（リーキを含む。）	ねぎ	5	○	2.73	17.7	1
にんにく	にんにく	5	○	2.73	2.0	0
にら	にら	5	○	2.73	5.8	0
にんじん	にんじん	2	○	0.71	7.4	0
トマト	トマト	5	○	2.74	74.4	2
ピーマン	ピーマン	10		10	65.5	2
なす	なす	3	○	1.27	19.9	1
きゅうり（ガーキンを含む。）	きゅうり	5		5	73.0	2
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	かぼちゃ	3	○	1.27	20.4	1
すいか（果皮を含む。）	すいか	3		3	259.7	9
メロン類果実（果皮を含む。）	メロン	6		6	175.9	6
ほうれんそう	ほうれんそう	40	○	29	325.6	10
たけのこ	たけのこ	30	○	20	169.8	6
オクラ	オクラ	3	○	1.27	5.5	0
しょうが	しょうが	2	○	0.71	1.1	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう（さや）	5		5	6.2	0
	未成熟えんどう（豆）	5		5	9.0	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	5		5	20.1	1
えだまめ	えだまめ	3	○	1.67	4.7	0
その他の野菜	もやし	40	○	29	121.6	4
	れんこん	40	○	29	298.0	10
みかん（外果皮を含む。）	みかん	8		8	219.0	7
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	オレンジ	8		8	215.6	7
	オレンジ果汁	8	○	2.352	41.9	1
りんご	りんご	2	○	1.3	41.7	1
	りんご果汁	2	○	0.028	0.9	0
日本なし	日本なし	2	○	1.3	37.4	1
もも（果皮及び種子を含む。）	もも	4	○	3.6	152.7	5
うめ	うめ	4	○	3.6	12.3	0
いちご	いちご	15		15	162.0	5
ぶどう	ぶどう	10		10	306.1	10
かき	かき	2	○	1.3	27.2	1
バナナ	バナナ	0.6	○	0.42	16.2	1
ごまの種子	ごまの種子	1	○	0.145	0.1	0

ボスカリドの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 （基準値設定対象）	食品名 （ESTI推定対象）	基準値案 (ppm)	評価に用いた数値 (ppm)	ESTI （μg/kg体重）	ESTI/ARfD (%)
茶	緑茶類	60	○　11.64	11.2	0
はちみつ	はちみつ	0.05	0.05	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量（Estimated Short-Term Intake）

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

○を付していない食品については、基準値案の値又は暴露評価対象物質の残留濃度から推定される基準値に相当する値を使用した。

国際基準を参照したものについては、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてESTI試算をした。

だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉については、プロポーショナリティ（proportionality）の原則に基づき、処理濃度の比例性を考慮して換算した値を評価に用いた。

茶については、浸出液（茶葉当たりの残留濃度）における作物残留試験結果を用いて試算をした。

（参考）

これまでの経緯

平成１５年１１月　６日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡および基準設定依頼（新規：ぶどう、いちご及びトマト）
平成１５年１１月１７日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成１６年　５月２０日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成１６年　５月２６日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成１６年１２月１６日	残留基準告示
平成１７年　１月１７日	初回農薬登録
平成１７年　８月１２日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：ピーマン、ミニトマト、温州みかん、小粒かんきつ等）
平成１７年　８月２３日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留農薬設定に係る食品健康影響評価について要請
平成１７年１１月２９日	残留基準告示
平成１８年　７月１８日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留農薬設定に係る食品健康影響評価について追加要請
平成１８年１０月１１日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成１８年１０月２６日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成１９年　２月２７日	残留基準告示
平成２０年１０月２４日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：ししとう、かき、うめ、すもも等）
平成２０年１２月　９日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あて残留農薬設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２１年　２月１９日	インポートトレランス申請（セルリー及び大麦）
平成２１年　３月１９日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２１年　８月２１日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２２年　５月１９日	残留基準告示
平成２３年１１月　１日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：小麦、てんさい等）

平成２４年　１月１９日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留農薬設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２４年　８月　６日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２５年　９月２４日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２６年　８月　８日	残留基準告示
平成２７年１１月１８日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録に係る連絡及び基準設定依頼（適用拡大：キウイフルーツ及び茶）
平成２８年　５月１０日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留農薬設定に係る食品健康影響評価について要請
平成２８年　９月２７日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成２９年　２月１４日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成２９年１２月２５日	残留基準告示
令和　７年　６月　９日	農林水産省から消費者庁へ農薬登録に係る連絡及び基準値設定依頼(適用拡大：だいこん)
令和　７年　９月２４日	内閣総理大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和　７年１２月２４日	食品安全委員会委員長から内閣総理大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和　８年　５月１３日	食品衛生基準審議会へ諮問
令和　８年　５月１９日	食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

● 食品衛生基準審議会農薬・動物用医薬品部会

［委員］

大山	和俊	一般財団法人残留農薬研究所業務執行理事・化学部長
○折戸	謙介	学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部教授
加藤	くみ子	国立医薬品食品衛生研究所薬品部長
近藤	麻子	日本生活協同組合連合会執行役員組織推進本部本部長
須恵	雅之	東京農業大学応用生物科学部教授
瀧本	秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事
田口	貴章	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
◎堤	智昭	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
中島	美紀	金沢大学ナノ生命科学研究所（薬学系兼任）教授
野田	隆志	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問

（◎：部会長、○：部会長代理）

答申（案）

ボスカリドについては、以下のとおり食品中の農薬の残留基準を設定することが適当である。

ボスカリド
今回残留基準を設定する「ボスカリド」の規制対象は、ボスカリドとする。

食品名	残留基準値 ppm
小麦	0.7
大麦	3
ライ麦	0.5
とうもろこし	0.1
そば	0.1
その他の穀類[注1)]	0.5
大豆	3
小豆類[注2)]	3
えんどう	3
そら豆	3
らっかせい	1
その他の豆類[注3)]	3
ばれいしょ	2
さといも類（やつがしらを含む。）	2
かんしょ	2
やまいも（長いもをいう。）	2
こんにゃくいも	2
その他のいも類[注4)]	2
てんさい	2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	2
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	50
かぶ類の根	2
かぶ類の葉	40
西洋わさび	2
クレソン	40
はくさい	40
キャベツ	5
芽キャベツ	5
ケール	40
こまつな	40
きょうな	40

食品名	残留基準値 ppm
チンゲンサイ	40
カリフラワー	5
ブロッコリー	5
その他のあぶらな科野菜[注5)]	40
ごぼう	2
サルシフィー	2
アーティチョーク	30
チコリ	40
エンダイブ	40
しゅんぎく	40
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	60
その他のきく科野菜[注6)]	40
たまねぎ	5
ねぎ（リーキを含む。）	5
にんにく	5
にら	5
アスパラガス	30
わけぎ	5
その他のゆり科野菜[注7)]	30
にんじん	2
パースニップ	2
セロリ	30
その他のせり科野菜[注8)]	5
トマト	5
ピーマン	10
なす	3
その他のなす科野菜[注9)]	40
きゅうり（ガーキンを含む。）	5
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	3
しろうり	3
すいか（果皮を含む。）	3
メロン類果実（果皮を含む。）	6
まくわうり（果皮を含む。）	6
その他のうり科野菜[注10)]	40
ほうれんそう	40
たけのこ	30
オクラ	3

食品名	残留基準値 ppm
しょうが	2
未成熟えんどう	5
未成熟いんげん	5
えだまめ	3
その他の野菜[注11)]	40
みかん（外果皮を含む。）	8
なつみかんの果実全体	10
レモン	5
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	8
グレープフルーツ	10
ライム	5
その他のかんきつ類果実[注12)]	10
りんご	2
日本なし	2
西洋なし	2
マルメロ	2
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	2
もも（果皮及び種子を含む。）	4
ネクタリン	4
あんず（アプリコットを含む。）	4
すもも（プルーンを含む。）	2
うめ	4
おうとう（チェリーを含む。）	5
いちご	15
ラズベリー	10
ブラックベリー	10
ブルーベリー	10
クランベリー	10
ハックルベリー	10
その他のベリー類果実[注13)]	10
ぶどう	10
かき	2
バナナ	0.6
キウィー（果皮を含む。）	5
マンゴー	2
その他の果実[注14)]	10

食品名	残留基準値 ppm
ひまわりの種子	1
ごまの種子	1
べにばなの種子	1
綿実	1
なたね	4
その他のオイルシード[注15)]	1
ぎんなん	0.05
くり	0.7
ペカン	0.7
アーモンド	0.7
くるみ	0.7
その他のナッツ類[注16)]	1
茶	60
コーヒー豆	0.05
ホップ	60
その他のスパイス[注17)]	50
その他のハーブ[注18)]	40
牛の筋肉	0.7
豚の筋肉	0.7
その他の陸棲哺乳類に属する動物[注19)] の筋肉	0.7
牛の脂肪	0.7
豚の脂肪	0.7
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.7
牛の肝臓	0.2
豚の肝臓	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.2
牛の腎臓	0.2
豚の腎臓	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.2
牛の食用部分[注20)]	0.2
豚の食用部分	0.2
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.2
乳	0.1

食品名	残留基準値 ppm
鶏の筋肉 その他の家きん[注21)]の筋肉	0.02 0.02
鶏の脂肪 その他の家きんの脂肪	0.02 0.02
鶏の肝臓 その他の家きんの肝臓	0.02 0.02
鶏の腎臓 その他の家きんの腎臓	0.02 0.02
鶏の食用部分 その他の家きんの食用部分	0.02 0.02
鶏の卵 その他の家きんの卵	0.02 0.02
はちみつ	0.05
落花生油	0.2

注1）「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2）「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3）「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4）「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注5）「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注6）「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注7）「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注8）「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9）「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注10）「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注11）「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注12）「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注13）「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注14）「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウィー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注15）「その他のオイルシード」とは、オイルシードのうち、ひまわりの種子、ごまの種子、べにばなの種子、綿実、なたね及びスパイス以外のものをいう。

注16）「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注17）「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注18）「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注19）「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注20）「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注21）「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。